

現代日本人の生き方

—生活観の構造と変容 その1—

I. 序	7
II. 調査の方法	33
III. 調査の結果 (1)	49
巻末資料	107

謝 辞

今回の調査においては、数千名にも及ぶ方々にご回答いただきました。これらの方々にあらためてお礼を申し上げます。また、調査協力者として、多くの大学や企業など、各方面の方々に御協力いただきました。特に、千葉大学の青木孝悦先生、日本大学の大村政男先生、生涯学習開発財団の岡本健次郎氏、筑波大学の落合良行先生、国士館大学の川村幹先生、東北福祉大学の黒田正典先生、薫風会山田病院の坂部先平先生、長寿社会文化協会の田中尚輝氏、ゆたかな老後をつくる中高年者の会の出口義朗氏、東京電機大学の袴田明先生、北里大学の林峻一郎先生、東京大学の古畑和孝先生、放送大学の星薫先生と糸賀千恵子さん、北陸学院短期大学の星野命先生には、多大な御尽力を賜りました。ここに記して感謝の意を表する次第です。

慶應義塾大学文学部横田ゼミナールの 21 期生（平成 3 年卒）と 22 期生（平成 4 年卒）の皆さんには、データの配布、整理、集計をお願いいたしました。特に、22 期生ゼミ長の四ツ谷定和君には、ゼミの中心として作業を進めていただきました。ゼミ生の皆さんにあらためて御礼申し上げます。

株式会社キュービッド殿には、調査費並びに調査実施、整理等において多大な御協力をいただきました。ここに記して感謝の意を表する次第です。

この調査は、慶應パーソナリティ研究会が計画・実施したものです。研究会の参加者は以下の通りです。

慶應パーソナリティ研究会

代表 榎 田 仁

プロジェクト参加者

榎 田 仁	慶應義塾大学
小林 ポオル	慶應義塾大学
碓 由美子	
伊 藤 ひろみ	
伊 藤 隆 一	尚美学園短期大学
岩 熊 史 朗	慶應義塾大学新聞研究所
大 塚 泰 子	プライスウォーターハウスコンサルタント
大 野 靖 子	慶應義塾大学社会学研究科
神 木 直 子	言語文化研究所
川 島 真 真	尚美学園短期大学
川 俣 真 由 美	
久 保 寺 美 佐	神奈川県立新羽高等学校
小 林 和 久	小松短期大学
齋 藤 律 子	
佐 藤 由 美 子	富士通
菅 野 陽 子	皆川記念病院
鈴 木 典 子	慶應義塾大学社会学研究科
田 辺 満 彦	野村証券
田 辺 稔 樹	福島女子短期大学
塚 越 美 樹	日本産業訓練協会
西 村 麻 由 美	キューピッド
中 野 敬 子	
榎 田 紋 子	神奈川歯科大湘南短期大学
増 野 信 子	
三 浦 公 一	パーソナリティ・ダイナミックス
美ノ谷 香代子	
向 井 恒 夫	明治生命
渡 辺 秀 樹	慶應義塾大学

執 筆 者 紹 介

- | | |
|-----------|------------------|
| ●まきた ひとし | (慶應義塾大学名誉教授) |
| ●こばやし ぼおる | (慶應義塾大学文学部助教授) |
| ●わたなべ ひでき | (慶應義塾大学文学部助教授) |
| ●いわくま しろう | (慶應義塾大学新聞研究所研究員) |
| ●にしむら まゆみ | ((株)キューピッド) |

I

序

I-1. 序	7
I-2. 家族の変容を捉えるために	16
I-3. 現代人の生活価値意識と社会観	25

I-1. 序

槇 田 仁

目的

人の「生き方」、人生観、価値観というものは時代と共に変化していく。第2次大戦前は、「忠君愛国・富国強兵」型の教育が行われていたが、敗戦によって「民主主義・自由主義」の時代になった。また、高度成長期を経て、日本は豊かになり、都市と村落の差が縮まり、ほとんどの家庭が車を持てるようになった。そして、核家族化が進み、親戚、近所づきあいも希薄になったと言われている。

私どもは、このような社会の変化に伴う、日本人の「生活観の構造と変容」を全国規模に近いかたちで、5年おきに調べてみたいと考えて、この調査を企画した。

ご承知のようにこの種の調査としては、統計数理研究所が1953～1978年（昭和28～53年）の25年間に5年おきに行った「国民性の研究」がある。そして、それに続いてNHKが1973～1988年（昭和48～63年）まで行った調査がある。どちらも画期的な業績と言える。「国民性」について言えば、戦前の価値観から戦後の民主主義・自由主義、個人主義への移り変わり、世代間の相異をカバーできるように工夫が凝らされている。また、NHKの意識調査では、この調査を視野に置きながら、その後の変化、高度成長期を踏まえた調査がなされている。

しかしながら、この10年間の変化はさらに激しいものがある。それは、経済的に豊かな社会を前提として、その上にわれわれの生活を大きく変

えそうなできごとが重なって起きている。ちょっと数えてみても、一方では超人手不足、高学歴化、若者のメーカー離れ、“3K”（危険、きつい、汚い）の仕事の忌避、雇用均等法…などがあげられる。また、出生率の低下、体外授精、臓器移植、脳死…、性の自由化、夫婦別姓…などの問題もある。これは、まさに有史以来の激変の時代と言える。今後 10 年、20 年の日本の変化、高齢化社会、世帯規模縮小などを考えると、現在を起点として、5 年おきに 25 年間くらいの推移を見つめることは、極めて意義深いことだと思われる。

以上のような考えに立って、私どもは長期的な調査のスタートを切ることにした。（具体的な計画については、II-1 で述べることにする。）

生命倫理に関する諸問題

近年、生命科学の目ざましい発展に伴い、今までは考えも及ばなかった倫理的、社会的、法律的、経済的問題が次々とおこってきた。

これらの問題は整理すると、凡そ、3つのグループに分けられる。第1は生物医学実験および「生命の始期」に関連する倫理的問題、第2は「生命の質」の向上に関する倫理的問題、第3は「生命の終期」に関する倫理的問題である。

以下、これらについて若干のコメントを行うことにする。

第1の問題は具体的には遺伝子操作、人工授精体外受精、胎児実験、胎児の保護、妊娠中絶、優生計画、遺伝相談、人口政策、等々を巡っての倫理価値基準の問題である。

第2の問題は、例えば、自然社会環境と生命、医療保健と財政、生命権、健康権、治療と看護、人工臓器、臓器移植、ライフ・サイエンス研究者、医師、医療従事者、等々に関する倫理上あるいは宗教、社会、文化に関する問題である。

第3は死の定義、死期の看護、植物状態人間をどうするのか、あるいは延命装置の使用、安楽死、医療辞退、医療拒否等々の問題である。

これらの問題の中、いくつかを例としてとりあげることにする。

まず、人工授精について。これは、夫の精液を

使う場合はまあ問題はないが、それがドナー（提供者）による場合には、法律的、経済的、倫理的にさまざまな問題が起りうる。

日本の場合、ドナーは匿名になっている。併し、これが分った時に戸籍上の父親とドナーは子供に対してどういう責任があるのか？ 又、現在そういう子供達は1万人以上いると推定されるが、将来そういう子供達同志が結婚する場合をどうするのか、等々の問題が考えられる。

次に、体外授精。現在のところは正式に婚姻した夫婦間に限ると考えられているが、論理的には多様なケースが考えられる。

受精卵を妻の子宮に返す、つまり胚子を妻の子宮に着床させるだけではなくて、第三者に（他の女性の子宮で）子供を育ててもらい、いわゆるホストマザーとか、夫の精子と第三者の卵子との結合による受精卵を妻の子宮に着床させ、出産する方法、夫の精子を第三者に人工授精して出産してもらい方法など、いろいろなバリエーションが考えられる。そうすると、その場合の親子関係は、卵を提供した母親との母子関係が成立するのか、それとも実際に産んだ人との、貸し腹の人との親子関係が成立するのか。出生証明はもちろん産んだ人がもらうわけであり、出生届もその人の子供として出生届を出さなければならない。そうすると、その場合に、貸し腹をした人（又は卵を提供した第三者）に夫がいれば夫の子として推定され、嫡出子推定が行われるが、それでいいのかとか、いろいろな問題がある。

さらには、第三者の受精卵をまた別の人の子宮に着床するなどということもあり得るし、いろいろなことができるわけで、男女の産み分けも夢でなくなった。いろんな意味で人間が生命の誕生に人為的にかかわってくるその範囲、可能性というものは開けてきた。それに対して人類は、将来のことを考えていかに対応すべきかということを考えなければならない。

図表 I-1 は、このような考えられる生殖医学の可能性を中谷論文から引用したものである。

体外受精に関しては、それによって生まれた子供との親子関係のほかにも、例えば、受精卵はいついかなのか、法的にどのように保護されるのか、

図表 I-1 生殖医学の可能性

精子	卵	子宮	コメント	例
他人	妻	妻	AID (なお体外受精の方法でも可能)	世界各国 日本約1万例
夫	妻	妻	AIH「試験管ベビー」	世界12カ国300例
夫	妻	他人	「借り腹」ホスト・マザー	米(障害児引取拒否事件, 1983), 豪
夫	他人	妻	「借り卵」	米(幹旋団体あり), 豪
他人	本人	本人	「行為を伴わない妊娠」	スウェーデン
他人	妻	他人		
夫	他人	他人	「代理母」サロゲイト・マザー	
他人	他人	妻		

注) 法律関係においては、上記表のうち、卵、子宮の提供者が他人の場合については、それが未婚者か既婚者かを区別して考える必要がある。

単なる財物としてか、生命体としてか、生命の発生はどの時点で考えるのか、受精の瞬間に人間になるということ。1981年のアメリカ合衆国の上院の司法委員会の三権分立問題小委員会決定法案では定義したことがある。受精の瞬間に人間になる、だから、胎児(受精卵)は既に人間としてあらゆる憲法上の権利が得られるように法で担保されなければならないという。そうすると、中絶は殺人ということになり、さらに徹底すれば体外受精用の受精卵を誤ってどうかした場合には、それは殺人になるのか、何になるのかという問題にもなる。アメリカでは既にそういう体外受精というのは反倫理的だということで受精卵を捨ててしまった医者が裁判にかけられた。その結果母親に対し慰謝料5万ドル、父親に対し同3ドルの陪審員判決が認められた判決なども出ている。

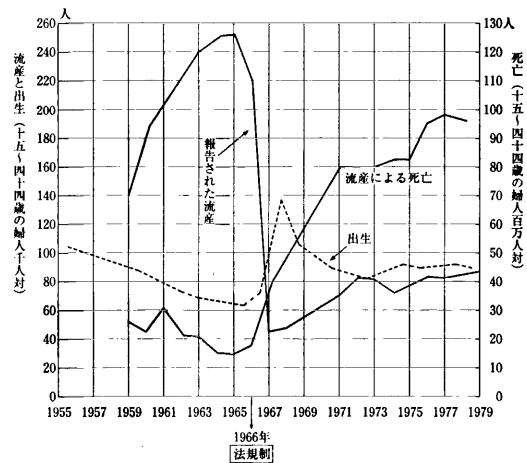
人工中絶

図表 I-2 は、国立公衆衛生院衛生人口学部部长の村松稔博士が提示されたもので、ルーマニアでの人工妊娠中絶の法的規制(1966年)以後、出生数は一時的にやや増加したがその後再び低下し、代わりにヤミの人工流産によると思われる母体死亡数が急激に増加したことをドラマチックに示すものである。

これは法律をつくれれば問題は解決するといった

(注) '84 11 月 26 日朝日夕刊の記事によると着床、出生率は、オーストラリアでさえ 10% に満たない。

つまり受精卵の 90% 以上は着床しない。その受精卵を人間と見做すのは問題ではないか。



図表 I-2 ルーマニアにおける人工中絶法規制の影響を示すグラフ

ものでないことを示すものであろう。中絶に関しては古代から行われており、特に禁止もされていなかったようである。ヨーロッパにおいてはキリスト教の皇帝が出た2世紀頃から禁止されるようになったようである。それが20世紀に入ると次第に緩和されてきて現代では国によりさまざまである。(別表参照)

'83 6 月 15 日米連邦最高裁は女性の意志を尊重して人工妊娠中絶の自由を再確認する判決を下した。「産む産まないは妊婦のプライバシー。行政機関が口出しすべき問題ではない」という結論で当時話題になったものである。

脳死、臓器移植

以下に引用したのは朝日新聞が——日本医師会

〔別表〕 人工妊娠中絶の法的適応（国別および人口割合別）

- (1) いかなる場合にも非合法とするもの。例：スペイン、フィリピン、エジプト、インドネシア、ハイチ、パナマ、ポルトガルなど。(9%)
- (2) 母体の生命を保護するためにのみ合法とするもの。(厳格な医学的適応) 例：バングラディッシュ、ベルギー、ブラジル、チリ、コロンビア、イラン、イラク、アイルランド、マレーシア、メキシコ、パキスタン、スリランカ、台湾など。(19%)
- (3) (2)のほか母体の健康保護、優生学的(胎児)適応、暴行による(妊娠犯罪学的・倫理的適応)を認めるもの。例：アルゼンチン、カナダ、コスタリカ、エチオピア、ケニア、韓国、オランダ、スイス、タイ、イスラエルなど。(10%弱)
- (4) (2)、(3)と合わせて、または単独に社会的、社会・医学的または社会・経済的適応を認めるもの。例：ブルガリア、チェコスロバキア、ルーマニア、イギリス、フィンランド、ハンガリー、西ドイツ、インド、ポーランド、日本など。(24%)
- (5) 特別の適応を設けず、妊婦の要求次第とするもの。(ただし(1)通常妊娠の初期約3か月まで。(2)妊娠4か月以上は医学的適応を必要とする) 例：オーストリア、中国、キューバ、デンマーク、東ドイツ、イタリア、スウェーデン、ノルウェー、ユーゴスラビア、ソ連、アメリカ合衆国、ベトナムなど。(38%)
注 カッコ内のパーセンテージは、それが適応される地域の人口割合を示す。

法律の規定と実行との差のあるもの

——法律はきついが実際には中絶を受けることが容易な国。韓国、台湾、オランダ。

——法律はゆるいが実際には中絶を受けることが必ずしも容易ではない国。オーストリア、フランス、西ドイツ、インド、イタリア、アメリカ合衆国。

が「脳死を個体死と認めてよい」との見解を出したのをうけて——'88年3月に行った調査結果並びにそれについての評論家立花隆のコメントである。敢えてこのような引用を行ったのはこれを見れば'88年現在の現状並びに問題点がよく分ると考えたからである。(我々が本調査を行ったのは'91年、予備調査は'90年である。)

質問と回答 (数字は%)

〈問1〉 最近の医学のことでお聞きします。人工呼吸器で心臓が動いていても、脳の働きがすべて止まった状態を脳死とっています。あなたは「脳死」という言葉を聞いたことがありますか。

ある 94
ない 5
その他・答えない 1

〈問2〉 「脳死になった人は死んだと認めてよい」という意見があります。一方、「脳死になっても、心臓が動いている限りは死んだとはいえない」という意見もあります。あなたはどちらの意見に賛成ですか。

脳死を死と認める 43
認めない 42
その他・答えない 15

〈問3〉 仮の話ですが、あなた自身の場合、

脳死によって死と判断されてもよいと思いますか。それとも、抵抗を感じますか。

脳死でよい 55
抵抗を感じる 37
その他・答えない 8

〈問4〉 外国では心臓移植が行われていますが、日本では現在行われていません。日本でも、心臓移植を進める方がよいと思いますか。そうは思いませんか。

進める方がよい 74
そうは思わない 13
その他・答えない 13

〈問5〉 心臓移植のためには、脳死の段階で提供者から心臓を取り出す必要があります。日本医師会は、「提供者本人が事前に了解しているか家族の同意があれば、脳死段階で死と判定して心臓を取り出し、移植に使ってもよい」としています。あなたは、医師会のこの決定に賛成ですか。反対ですか。

賛成 68
反対 19
その他・答えない 13

〈問6〉 あなたは、移植のために、脳死の段階で自分の心臓を提供してもよいと思いますか。そうは思いませんか。

提供してもよい	57
そうは思わない	31
その他・答えない	12
〈問7〉 仮に、あなたが心臓の病気になって、 医者から「心臓移植をするしかない」とすすめら れたら、その移植手術を受けますか。	
受ける	50
受けない	37
その他・答えない	13
〈問8〉 心臓移植は外国では行われています。 日本では20年前に一度行われただけで、その後 は行われていません。こうした違いがあるのは、 どうしてだと思いますか。(回答カードから1つ選 択)	
命や死に対する考え方が違う	28
脳死を世間が認めなかった	20
移植に抵抗を感じる人が多い	17
最初の移植が社会的な問題になった	9
医学水準に差がある	9
医学関係者が慎重だった	5
医者が信頼されていない	3
その他・答えない	9
〈問9〉 あなたは、心臓移植について、どんな 感じを持ちますか。(回答カードから一つ選択)	
医学の進歩	42
生命の継承	17
生への執着	15
人類愛	7
実験	6
反自然	5
死者への冒とく	2
その他・答えない	6
〈問10〉 じん臓移植は脳死を前提にする必要が ないので、日本でも行われています。しかし、じ ん臓移植を希望する患者の数に比べて、死んだ後 にじん臓を提供してもよいという人が、極めて少 ないのが現実です。これは、どうしてだと思います か。(回答カードから一つ選択)	
死後の体を傷つけない人が多い	40
じん臓病患者の実態が知られていない	20
じん臓バンクへの登録の働きかけが少ない	17
移植医療は日本人の死生観になじまない	11

日本人は博愛・奉仕の心が薄い	6
その他・答えない	6
〈問11〉 あなたは医者を信頼していますか。あ まり信頼していませんか。	
信頼している	69
あまり信頼していない	21
その他・答えない	10

調査結果を見て 立花 隆

この調査では、最初に、脳死とはこういうもの
だという知識を与えることから質問をはじめてい
るが、そのような机上の知識を言葉の上で与えて
みたところで、脳死というものが直ちにわかるわ
けではない。

結局、みな本当はよくわからないままに答えて
いる。それが、いくつかの質問に対する答えをク
ロスして集計するとあらわれてくる。

例えば、「脳死を死と認めない」のに「心臓移植
を進める方がよい」という人が29%もいる。こ
の人たちは、心臓移植には脳死を死と認めること
が絶対に必要なのだということがわかっていな
い。これでは、心臓移植推進派の医者たちも、心
臓移植支持者が74%もいるとあって単純に喜ぶ
わけにはいくまい。脳死を死と認めた上で心臓移
植を支持する人となると、たちまち37%に減っ
てしまうのである。

同様に、「脳死を死と認めない」のに、医師会の
決定に「賛成」という人が23%もいる。この人
たちの意見は「生きている人の心臓を取り出して
もよいことにしよう」というのと同じことなので
ある。

あるいは、「脳死を死と認めない」のに、自分の
心臓を移植用に提供してよいという人が17%も
いる。この人たちは、生きているうちに自分の心
臓を取り出して移植してよいとっていることにな
る。

自分の心臓は提供してもよいが、脳死で死と判
断されるのはいやだという人が12%いるが、こ
の人たちは心臓死のあとで心臓を取ってくれとい
うのだろうか。それでは心臓移植には役に立たな
いのである。

脳死を死と認めないのに、人の心臓はもらいた

いという人が19%いる。この人たちは、生きた人間の心臓を自分にくれといっているのに等しい。

これだけ珍妙な答えが続出するというのは、相当の人が脳死も心臓移植もよくわかっていないままに答えているということである。そして、その人たちは結局、理性的判断でなく、感覚的判断で答えているのである。この調査結果は、そのようなものとして解釈されるべきである。つまり、感覚的には大多数の人が心臓移植を支持しているが、同時に半数近くの人が、脳死というものに対して感覚的に不安ないし反発を感じている。そのため相当部分の人が、自己矛盾に陥っているということである。

多数による感覚的支持を重視して、心臓移植をどんどん進めるべきなのか。それとも、脳死を死と認めることをためらう人が半数近くいることを重視して、ひとまず啓蒙(けいもう)に力を入れるべきなのか。

私は後者であろうと思う。そして、いま本当に必要なのは、脳死のどの問題点がどの程度理解されているのか、どこがどう誤解されているのかを調べる理解度調査ではないだろうか。そういうデータが出てこないことには、啓蒙のしようもないのである。

—— 以下、略 ——

これを見れば分るように多数の人が問題をよく理解していない。併し、これを一般の人々の無知、不勉強と切捨ててすむ問題ではない。しかほど左様に医学の進歩が早過ぎるとも云える。「科学が疾走するときに、法は腹ばいになって動く」という諺がある。これは法の歩みがおそすぎるといことであるが、逆にいえば、科学の進歩が早過ぎるともいえる。詳細は省くが「未熟児網膜症の高山赤十字病院の判決」などはこの間の齟齬が前提の問題であろう。近年の著者の感慨は「法はおそくてよい」というよりひっくりかえして「科学にブレーキをかけるべきだ」という想が強い。

つい、この間まで医師にとって治療と延命は無条件の善であった。併し、植物人間を生かすこと、末期ガンの患者の苦しみを長引かせることが無条件の善といえるかどうか。勿論、これには法律の問題、素朴な市民感情、財政、宗教、等々が凡て

からんでくる。

「人間らしく生きる」ひっくりかえせば「人間の尊厳を保って死にたい」。そのためにはどうすればよいのか？

今後、このような難問が続出することが予想される。これらは医師は勿論医療従事者、ライフ・サイエンス研究者、法律家、経済学者、社会学者、文化人類学者、心理学者、哲学者、宗教家、等々が協同して取り組まなければならない問題である。そして、それらは立法、財政、行政、等々の問題として実現を迫られることになろう。

モラルコード・コーホート・コンセンサス

一般に「生き方」の基本的スタイルが略々できるのは13~14歳頃といわれる。これは大体、中学2~3年に相当する。その後、高校(大学)、社会人と経験を積み、その人の「生活態度」「人生観」「価値観」が形成されていく。そして、その人らしいパーソナリティが出来あがるのは、大体23~24歳頃である。

この時期に、同じ文化、同じ風潮、同じ生活体験を共有した人々は或る程度、同じ感覚、同じ価値観をもつ。例えば、第2次大戦、集団疎開、敗戦、安保闘争等々である。

そこから、大正世代、戦中派、昭和1ヶタ、安

生れた年 西暦代	育った時代(5~15歳)	青年時代(16~25歳)	年齢(一九七三年)	生活目標	主要な不満	性のモラル	家庭の理想像	信仰形態	天皇感情	政党支持	年齢(一九七三年)
1903	明治	大正→戦前	70	愛	不満少		大喇嘛型	神・仏信仰		保守	70代
1908	明治	大正→戦前	65	(男は正)							60代
1913	明治	大正→戦前	60								50代
1918	大正	戦時中	55			結婚式前提					50代
1923	大正	戦時中	50				内外分担型				40代
1928	昭和(前半)	戦時中	45		物質的不満			仏信仰			40代
1933	昭和(前半)	戦時中	40								30代
1938	昭和(前半)	戦後初期	35								30代
1943	昭和(前半)	戦後初期	30					無信仰	無関心	革新	30代
1948	昭和(後半)	戦後中期	25			愛情前提	家庭中心型			支持なし	20代
1953	昭和(後半)	戦後中期	20	男は正	精神的不満						20代
1958	昭和(後半)	戦後中期	15	愛				易占			10代

図表 I-3

保の世代等の言葉が生れる。図表 I-3 は見田宗介「新版現代日本の精神構造 (p. 200)」より転載したものである。'73 で、資料としては古いが、ここで述べたコーホートのイラストとして分かり易いと思われるので引用することにした。

これを見ると政党支持・天皇感情、信仰形態などで 1933 年前後の生れを境として断層がうかがえる。これは初等・中等教育を戦前に受けた世代と戦後の教育を受けた世代に照応する。

そして、生活目標、不満の内容、性のモラル、家庭の理想像などはそれと別の 3 つの世代があるようにみえる。このような重層的な構造をみることができそうである。とすれば、例えば、脳死、臓器移植等に対する態度についても、同様のことが考えられる。

このことは、例えば、1970 年時点での「感覚」「道徳」と 1980 年時点のそれとは重層的な分布も含めて推移しているであろうことを意味する。ということは、例えば、或る時点での「感覚」で「心臓移植」の是非を決めて、それを可成りの期間固定化することはその後の現実・国民感情からは遊離することになる。年々歳々、序々に意見の分布は動いていく。従って、例えば '91 年度に「体外授精」に関する意見調査を行い、その結果を参考

にして、その時点でのモラルコードを決めるとする。これは '91 年時点でのモラルコードである。そして、それは次の調査までは参考にされる。併し、例えば '96 年に調査を行い、その結果がでたら、以後は '96 年版モラルコードを参考にするとしようにするのがよいのではないか。

この場合「現代日本」のような「変容」の大きい時代には恐らく 5 年おき位に調査を行って「モラルコード」を柔軟に見直していくべきではないかと思われる。

このように考えて、この調査を企画した次第であり、図表 I-4 は第 1 回調査時点でのコーホートを図式的に示したものである。(尚、この図表は図表 II-2 調査年と世代構成の第 1 回目を切り取って示したものである)

次にコンセンサスについて一言したい。以下に引用したのは「生命倫理懇の報告」の中にある加藤一郎「脳死の社会的承認について」からの一部抜萃である。

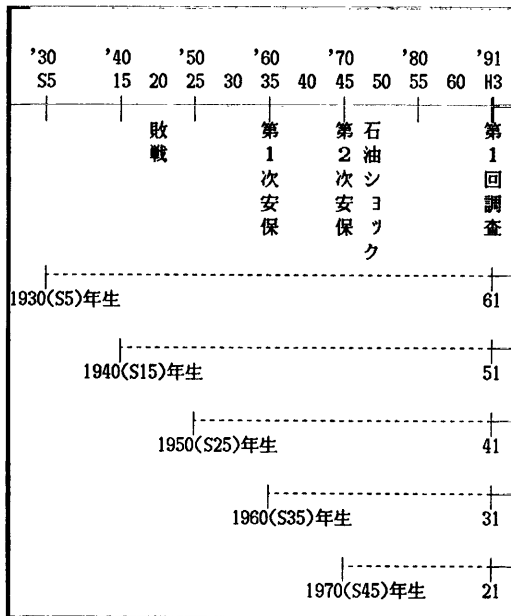
— 前 略 —

それでは、社会的合意とは一体何であろうか。換言すれば、どういうことがあれば社会的合意があったとされるのであろうか。

今日の社会では、一般には多数決原理が承認され、支配している。国会の多数決で法律がつけられれば、個人としては反対であっても、それが拘束力を持ち、それに従わなければならない。これは、多数決があれば、それが個人の個別意思をこえて国民の一般意思となり、個別意思に優越し、それを拘束すると説明されたりする。これは一種の擬制的な説明ではあるが、そういう約束ごとがなければ今日の社会の発展は成り立ちえないのである。

それでは、脳死について単なる多数決ではなく社会的合意が必要だといわれるのは、なぜだろうか。それは、おそらく、個々人の生死に直接にかかわるような脳死については、形式的な多数決ではなく、国民の大多数の納得と承認が必要だという素朴な気持に由来するものであろう。

そこで、第一には、国民の何パーセントが承認すれば、社会的合意があったことになるのだろうか



図表 I-4

か。コンセンサスという全員がそれを承認するようにも聞こえるが、今日のような多様化の時代に反対者がいなくなることは不可能であるから、社会的合意のために全員一致やそれに近いことが必要だと主張する人はおそらくいないであろう。また、多数決の中でも特別に重要なものについては、憲法改正や株式会社の重要事項のように3分の2の特別多数決が必要とされることがある（憲96条、商343条）。社会的合意論は、そのように単純多数でなく、3分の2とか4分の3とかかなりの多数の者が承認すればよいとするもののように思われるが、そのことを数字的に明らかにした主張は見当たらないのである。

つぎに、第二の点として、そのような社会的合意は、どのような形式で確認されるのだろうか。世論調査で支持者が反対者をかなり上回ればよいのか。あるいは国会ですべての党派あるいは大多数の議員が賛成すればよいのだろうか。このような社会的合意の確認手続についても、社会的合意論からは、なんら具体的な提案はされていないのである。

—— 以下、略 ——

これについての私見を述べることにする。先づ、多数決であるが、多数決ということはそのこと自体が反対意見が存在するというを前提にしている。従って、多数決で決めるという時、そのこと自体が「合意」がえられていないということの意味する。しからば、どういう時に合意がえられたといえるのか。加藤のいうように全員一致でなければならぬということはない。然らば何%の人が賛成すればコンセンサスがえられたといえるのか？ これが加藤の指摘の第一点である。

加藤のいうように重要事項によっては2/3とか3/4以上といった条文がある。著者は法律に関しては素人であるが、聞くところによると現在一番高いのは「建物の区分所有等に関する法律」の62条に「集会に於て4/5以上の多数決によらなければ建替は出来ない」という条文があるそうである。

これをウラ返せば、80%以下では、コンセンサスがあるとはいえないということになる。

これと全く逆の論理のたて方が推計学にある。

「統計的仮説の検定」である。これは立証したいことと反対のテーゼを仮に立てる。

例えば「男女間の意見に差はない」ということを実証したい時に、これと反対の「男女間の意見には差がある」という仮説をたてて調査を行うのである。その結果、調査の仮説が否定されれば「男女間の意見に差はない」というテーゼが実証されたとするのである。

具体的にいうと、調査のデータから「男女間の意見に差があるとはいえない」という否定的な結果がでた場合、そのデータが偶々偏ったデータであり、実際には「男女間の意見には差がある」ということもありうる。その様な誤った結論を出す危険性が0ではない。このデータからその様な誤った断定を下す危険性も万に一つはある。

併し、そのような危険性は無視して、「男女間の意見に差はない」という結論を出そう。それが間違いである危険性はこのデータの場合1%以下である。このような場合、「危険率1%以下で有意」であるという。そして「男女間の意見に差がある」という仮説は棄却される。この発想は、多数決原理とは丁度、逆の論理のたて方である。

つまり、誤りを犯す危険性が1%以下の場合には、それを無視して「～である」と断定しようということである。

この考え方をコンセンサスにあてはめれば、例えば「99%の人が同意なら合意が成立したと云おう」ということである。つまり、1%の人の反対意見は無視されるわけである。

このような何%までの意見ならば無視し得るのが次の問題である。統計的仮説の検定の場合、通常採られている危険率は1%と5%が多い。10%の場合もあるが、これは少々甘い数字のように思われる。

この考え方をコンセンサスに流用すれば、恐らく甘い基準で10%以下ということになろう。

つまり、90%以上の人が同意した時に合意がえられたといえるということである。少し甘いかもしれないが常識的な感覚とも略々合うのではないか。

逆にいえば、10%以上の人が反対している時に合意がえられたと称するのは少し乱暴のような気

50 55 60 65 73 70 75 80 85 90 95 99 100%

がする。(余談になるが、このような「云い方・キメ方」が我が国の政治問題、社会問題には多すぎるような気がするが) では一体何%の合意があればコンセンサスがえられたといえるのかが次の問題である。

筆者は、これも多数決と同様に重要度によっていくつかの段階を考えた方がよいのではないかと思う。

例えば、非常に重要であり、慎重を要する問題、やり直しの出来ない問題等については1%の合意度。それに準ずるがそれ程厳しくない問題は5%合意度。更に緩くてよいものは10%合意度。というようにテーマ毎に合意度を決めればよい。

こう言うと途端に、その様な合意度を何時、誰が、どこで決めるのか、その決め方はどうするのか。という質問がきそうである。当然のことである。と同時に、当然のことながら、それを決めるのにもコンセンサスがいきりそうである。

そこで、筆者は以前この問題について“「**コンセンサス**」の**コンセンサス**について”と題して話したことがある。(第38回医療をめぐる法律問題研究会 '86, 7, 17) (残念乍ら、あまり賛成はえられなかったが。) いずれにしてもそのような、「コンセンサス」とはこういうものだというコンセンサスを得ておいた方がよいであろう。そうすれば、例えば、心臓移植についてはこれこれの調査

で1%合意がえられるまでは早急に実施しない方がよいとか、脳死については生命倫理学会で5%の合意度が必要であるとか、もう少し、具体的な、生産的な議論ができるのではないか。

勿論、合意がえられたと認知するということが物事を多数決原理で決めるということは別問題である。その点についても例えば、この問題は1%合意の重要問題であるから4/5の多数決にすべきだとか、この問題は5%合意であるから3/4にしよう、或いは2/3の多数決にしよう、この問題は10%合意であるから過半数の賛成でよいのではないかといった合意をつみかさねていくことが可能になると思われる。

上図は以上の点を図示したものである。

文 献

- 慶応義塾大学文学部 人間科学フォーラム 人間生命を考える 慶応通信
厚生省健康政策局医事課 生命と倫理について考える 医学書院
中谷瞳子 体外受精の法律問題 産婦人科の世界 36巻 1号 '84.
NHK 世論調査部 現代日本人の意識構造 日本放送出版協会.
林 知己夫 日本人の心をはかる 朝日新聞社.
見田宗介 新版 現代日本の精神構造 弘文堂.

I-2. 家族の変容を捉えるために

渡 辺 秀 樹

1. はじめに

——家族の変容を捉えるために——

本調査の目的の一つは、人々の家族についての意識のなかに、家族の変容の特質と方向を探ろうとすることがある。小論では、調査の分析に先立って、基本的には家族社会学の立場から、家族の変化を捉える視点について整理し、家族を問題として評価する視点を列挙するという作業をおこない、そのことを通して、現代家族への接近のしかたについて試案を提示することを試みる。ここでは、まず変化する家族の現状を捉える視点について論じ、また変化にともなう生ずる問題を捉える視点について論じる。次に小論で採用する変化と問題を捉える視点から、家族変化の内実の何が見えてくるか、を論ずる。

同棲の増加、単身者の増加、婚外子の増加、少子化、離婚および義理の関係を含む家族の増加、など、欧米の家族の変化を示す統計的な（あるいは、ケース・スタディによる質的な）実態が多く報告されている。日本の家族においても、晩婚化、未婚率の上昇、夫婦の役割関係の変化（共働きの増加）、少子化、高齢者の核家族世帯（および単身世帯）の増加、などの統計的データが報告され、現代家族についての質的な研究と相まって、家族が変化のただなかにあることを我々に強く訴えかける。こうした家族の変化を捉える視点について、まず整理してみよう。

家族の変化に接近する主要な視点として、以下の4つがあるように思われる。

第1に、変化を家族の危機あるいは家族の崩壊として捉えようとする視点がある。アメリカやヨーロッパでは、同棲や離婚が増え、そして婚外子

が増えている。また、ひとり親家庭、義理の関係を含む家庭なども増えている。あるいは共働き家庭の増加は、日本を含め、先進産業社会の共通した趨勢である。こうした変化は、かつての性別分業型（夫が働き、妻が家庭にとどまる）の夫婦家族からの乖離であると同時に逸脱である、とする見方である。一つの家族モデル、すなわち、夫婦は一生添い遂げるものであり、性に応じて役割を分担するものであり、子どもはいるのが望ましいという家族のモデルを設定したうえで、現実の家族がこのモデルから、どんどん離れていくことに危機を感じ、それを家族の崩壊と捉え、変化を問題視するわけである。これは、伝統的な家族への回帰は、どうしたら可能になるか、という問題の立て方につながっていくだろう。

第2に、従来の家族モデル（近代産業社会に固有の家族のかたち）から、何らかの新しい安定した家族モデル（脱工業社会や高度情報社会に相応しい家族のかたち）への移行期もしくは過渡期として変化を位置づけようとする視点がある。危機と見えるもの、崩壊と見えるものは、過渡期の変化にともなう混乱であり、新しい家族モデルが定着すれば混乱は治まると期待する。混乱は一時的なものとする。こうした見方は、戦後の家族の変化を捉える方法として我々に馴染みの深いものである。つまり、戦後の新憲法および民法改正を大きな契機とする、戦前の家制度から戦後の夫婦家族制度への制度的移行が、現実の家族生活においてどれだけ達成されているかを実証的に明らかにするという研究が多くなされた。移行過程に伴う問題（封建遺制、世代間ギャップなど）は当然ながら、移行が終了すれば解消するものと位置づけられた。

戦後の家族変化が封建的家族から民主的家族への移行として捉えられたとすれば、現在の家族変化は、先にも触れたように、近代産業社会適合型家族から、脱工業社会適合型家族への移行として捉えられることになる。A. トフラーの言葉を借りれば、第2の波の時代の家族から第3の波の時代の家族への変化である。これは、未来の、あるいは、ありうべき家族のかたちはどのようなのか、という家族のモデルの構想や、混乱の少ないスムーズな移行（ソフト・ランディング）は、いかにして可能かという問題の立て方につながっていくだろう。

第3に、一つの支配的な家族モデルの時代からいくつもの多様な家族のかたちが共存する時代への変化、すなわち家族の多様化として現在の状況を見ようとする視点がある。多様化が常に変化をとまらうとすれば、変化は一時的なものではなく常態であるとする。時代が一つの支配的な家族モデルから、別の支配的な家族モデルへと移るのではなく、人々が個別に多様な家族モデルの間を移りつつ、それぞれに固有の家族経験を積んでいくと考えるのである。多様な家族のモデルのなかからひとつのモデルを選択するというを人生において繰り返す一選択しなおす—と見る（家族の選択的多様化仮説）。あるいは階層や地域などの状況の制約によって人々の家族経験が分化し多様化していくと見るのである（家族の状況制約的多様化仮説）。とくに家族の選択的多様化仮説においては、同棲も、離婚も、ひとり親家庭も、家族の危機や崩壊を示すものというよりも、家族の多様な選択肢のひとつとして位置づけられる。ここでは、社会全体として一つの家族モデルを設定し、そこに人々を導いたり、家族を制御したりという問題の立て方はできなくなる。家族の多様な選択的経験を可能にする社会とは、どのようなものか、という問題の立て方が必要になってこよう。

さらに第4に、歴史社会的あるいは社会史的視点から、家族モデルの相対性・可変性（普遍性や固定性でなく）を強調して、家族の変化を説明しようとする視点がある。もちろん、比較社会的に家族モデルの相対性・可変性に取り組む人た

ちもいる。これは、第2や第3の視点と独立ではない。第2や第3の見方を基礎づける有力な視点ともなっている。ここでは、変化はおしとどめることができないものとして、つまり、おしとどめるべきものというより、受け入れざるをえないもの、もしくは受け入れるべきものとして肯定的に捉えられる。時代に制約された、あるいは文化に制約された家族の個性性が強調される。時代や文化が変われば（違えば）、家族も変わる（違う）—ということ、歴史社会的に、そして比較社会的に明らかにし、現在の家族の動揺や不安定さを、この文脈において理解しようとするわけである。

このように、家族が変化していることを認めても、それをどう捉えるかはさまざまである。第1と第2の見方は、特定の家族モデル—それは伝統的な家族であったり、きたるべき家族であったりする—を座標軸とし、そこからの距離として家族の現状・変化を測ろうとするものである。家族の変化は、固定された座標軸から遠ざかったり、近づいたりする過程であるとみなされる。第3と第4の見方は、特定の家族モデルを変化の座標軸として設定しえないと考える。しいていえば、座標軸そのものが動き（変化し）、複合し、重層しているとみなす。視点を相対化したうえで、現実の家族の変化をみることを強調しているといえるだろう。時代や社会の変化に、家族がいかに対応しているか、という観点から家族の変化が捉えられる。

家族の変化に対する上に述べた4つの見方は、それぞれに重要であろう。座標軸のなかの変化と見るか、座標軸の変化と見るか。我々は、どの視点を採るか。我々が、家族の変化に注目するのは、変化が何らかの「問題」を伴うからだ。個人個人のニーズの充足、社会全体のニーズの充足に関わる問題を惹起するからである。したがって、変化を捉える視点は、問題を捉える視点と結びつく。そこで次に、「問題」にどのように接近するかを考えてみよう。

2. 家族という「問題」の捉え方

社会学から家族の問題に取り組む視点として

は、次の3つの視点が重要であろう。すなわち「家族の問題を捉える」という視点と、「家族に問題の原因を求める」という視点、そして「家族を問題として捉える」という視点である。我々は、この最後の視点を採用したいと考えるが、家族の問題に接近する、あるいは家族を問題として考えるとは、どのようなことを意味しているのかを、まず説明しなければならない。

1) 「家族の問題を捉える」

これまで、家族の問題に接近する場合、家族のあり方について一般的な基準（モデル）を設定して、この基準から逸脱した事例を「問題」として取り上げるという方法が多くとられた。たとえば、家族構成においては、夫婦と子どもによって形成される核家族を一般的な基準として、これとは異なる家族構成（ひとり親と子どもからなる母子家族や父子家族、あるいは単身世帯など）を問題として取り上げる。そしてこうした家族構成に属すものに「欠損」家族といった、マイナスの意味が付与された言葉をあてがって、その逸脱性を固定的に論じる。また、結婚の永続性を一般的な基準として設定し、この基準から逸脱した事態としての離婚を問題として取り上げ、その原因、プロセス、帰結、対策などを分析し、検討するという視点である。つまり、従来の支配的な（あるいは新たな目標としての）家族モデルからのズレとして家族の問題を定義し、定義された問題に接近するという方法である。これは、上でみた家族の変化の見方の第1および第2に対応する方法であろう。

この視点は、一定の家族を一般的な基準に見合っているということを理由に、問題のない家族として類別し考察の対象から除く（比較のための対象群としては重視される）。他方、一般的な基準からズレているということを理由に、特定の家族を問題のある家族として、これを考察の対象とする。家族の理想と、家族の現実との間のズレに、家族の問題を見いだす。家族の現状が生活上の困難に直面している場合もいない場合も、ズレがあることを理由に家族問題として、位置づけられる。たとえば、「母親は、家庭にいて子育てに専念すべき」という基準のもとに、働く母親が問題と

される。子どもにとって、母親が働くことが、プラスであるか、あるいはマイナスであるかの具体的な検討を待つ前に、母親の就労が問題として定義されるのである。

さらには、問題として定義されることを通して、現実の家族に、まさに問題を現実のものとしてもたらすということもあろう。すなわち、「母親は子育てに専念すべき」という理想があるがゆえに、働く母親は、必要以上に子どもを甘やかしたり、理想からの乖離を理由とする社会の非難を浴びないために、人一倍無理をして、子どもにかかわり、子どもを拘束してしまうことがある。また、理想とのズレからくる人々の偏見や差別（冷たい眼差し）のなかで、働く母親が、あるいはその子どもが問題を現実のものとして引き受けてしまうということもあるだろう。「カギッ子」への偏見のなかで、「カギッ子」は、実際に問題行動を起こしてしまう。離婚者への偏見と差別（就業機会や再婚機会を狭めるなど）のなかで、離婚者は実際の生活上の困難に遭遇する。離婚が問題として定義されていないければ、離婚者は生活上の困難を回避できたかもしれないのである。R. K. マートンのいう「予言の自己成就」というメカニズムを、われわれは思い起こすべきであろう。

もちろん、家族の問題を捉えるこの方法が全く無意味であるわけではない。ひとり親家族の現状・離婚の現状・共働き家族の現状など、その形成原因・形成過程・生活上のニーズの充足/不充足の度合いなどを知り、これに対処しなければならないのは当然である。上述したように、ひとり親家族や離婚や共働きを、あらかじめ問題として定義することから起こる逆機能に、十分な注意を払う必要があるということである。

2) 「家族に問題の原因を求める」

一般に社会現象は、さまざまな要因の複合的な関連のなかで起こる。この視点は、そうしたさまざまな要因のうち、とくに家族という要因を主要なものとして狙上りにせ、社会現象の原因を論ずるという方法である。高齢者の孤独や不安が、家族の機能不充足として語られる。犯罪や非行が家族におけるしつけや養育経験に結び付けて考えられる。

確かに家族は、社会における重要な構成要素である。家族は多くの社会現象の生起に関わっているに違いない。したがって、この方法は社会現象の発生についてのわれわれの理解を深めてくれるものである。しかし、他の要因との複合的な関連のなかに家族を位置づけるのではなく、家族をいわば社会現象を引き起こす単一の要因として見てしまうということが、しばしば起こる。社会が良くなるのも悪くなるのも、人々が幸福になるのも不幸になるのも家族次第という暗黙の前提を、強化するという効果をこの方法は持つ。家族に過重の負担をかけ、人々の家族に係わる行動を窮屈にする。(たとえば、『母原病』という言葉のもつ顕在的・潜在的機能に我々は十分な注意を払うべきである。)

全能としての家族という観念、あるいは家族が果たすべき機能についての固定した観念を強化する。職場や地域、行政など、家族以外の諸領域との機能連関を見失うという危険があるのである。他の領域との機能代替や機能協同あるいは機能委譲などを見通した家族の変化の可能性は、閉ざされている。社会のなかで、家族が果たすべき機能が定義される、あるいは家族に過重な機能が割り当てられる、という社会の固定的な枠組みのなかで、さまざまな機能不充足が家族の問題として論じられる。

子育ては、あるいは人々の情緒的ニーズを含むパーソナリティの安定は、家族のみが専一に担うべき機能なのだろうか。もし、そうであれば、養育やパーソナリティ形成に関わって起こるさまざまな問題は、家族にひたすら原因を求めなければならなくなる。もし、そうでなければ、問題は、家族を含みながら社会に広く開かれることになる。

3) 「家族を問題として捉える」

「家族の問題を捉える」にしても、「家族に問題の原因を求める」にしても、どちらも家族についての理想像と現実の家族とのズレに焦点をあわせる。前者には、家族そのものの固定的なモデルがあり、後者には、家族を組み込んだ社会について(社会のなかでの家族のあり方について)の固定的なモデルがある。こうした前提が、人々を不安

にさせるのは、現実の家族がモデルからズレているからである。もし仮にモデルの固定性が失われれば、人々の不安も違ったものになるだろう。現実の家族についての、プラスの評価もマイナスの評価も、モデル(理想像)からの距離によってなされる。モデルにより近ければプラスに、モデルからより遠く離れていけばマイナスに評価される。したがって、家族のモデルが変われば、評価も変わる。同様に、社会のモデルからの乖離によって、家族の機能不全が定義される。もし仮に社会のモデルが変われば、さまざまな社会現象は家族の責任・家族の問題(=機能不全)ではなくなってしまう、“家族の肩の荷が軽くなる”，ということもあろう。

家族の多様な形態は、「共婦と子どもからなり、夫が働き妻が家庭にとどまる」という家族を唯一のモデルとする場合には、逸脱であり、欠損であると見なされる。しかし、唯一の固定的な家族のモデルおよび社会のモデルではなく、家族が変わり、社会が変わるといようにモデルを相対化してみると、家族の多様性は、社会の変化への適合可能性として、異なった評価を得ることもできるだろう。家族の多様性は、社会の変化にとまらざるさまざまな事態に対応するための選択肢と考えることもできよう。

子育てが、家族において単独に担われるべき課題とされるとき、子育てについての全ての責任と帰結を家族が引き受けることになる。しかし、子育てが、社会のなかで、公的な福祉を基盤とし、地域や職場や親族と家族との連携において、また夫と妻との共同において担われるべき課題であり、福祉の支援や、家族以外の諸社会システムとの「連携」や、子育てに関わる人々相互の「共同」は一様ではなくさまざまであると見れば、子育ての責任と帰結について家族が負うべき負担は違ってこよう。このことは、家族を孤立から救い、また社会現象に対応する手立てを拡げる。家族のみが対応に苦慮するのではなく、社会全体を動員して対策に当たることを可能にする(ある家族モデルと異なるものを、逸脱や欠損ではなく、多様な選択肢の一つであると位置づけることは、そのことによるニーズ不充足を不問に付してよいという

ことを意味しない。また同時に、問題を家族以外の要因にのみ帰して、家族を不問に付すことを意味してもいない。

こうして見ると、家族の変化や社会の変化を前提にしたときには、固定的な家族のモデルや固定的な社会のモデルそのものが「問題」として浮かび上がる。あるいはそうした固定的なモデルに適合した家族の現実態こそが、「問題」となる。「問題」としての家族とは、「家族を問題として捉える」とは、このように、従来の固定的なモデルのもとでは、「問題」とならなかった大勢としての家族を組上に乗せることを意味する。社会が大きな変動の渦中にあるときには、この方法が重要になろう。そして、今がそのときであるということ、家族の変化を捉える第4の視点に基づく多くの研究が、我々に教えている。

「家族を問題として捉える」ということは、周辺のとされる家族の一部を取り上げるのではないし、社会の問題を家族に預けるのでもない。家族のモデルの相対性・社会のモデルの相対性のなかで、現実の家族を、変化への適合性という視点から、吟味・検討することを意味するのである。ここでは、家族の現状を、家族を含む社会の枠組み——座標軸——の変化として捉えたい。以下、家族ライフイベントの人々の経験の様相と、家族システムの他のシステムとの関わりの様相という側面から、家族の現状に迫り、「問題」としての家族の一端を明らかにしたい。

3. 家族ライフイベントの経験の実態

——ボーダーレス家族イベントの時代へ——

ライフイベントとは、われわれが、生涯に経験するであろう出来事のことである。たとえば、出生・就学・就職・結婚・出産・退職・死亡などをいう。こうしたライフイベントのなかで、家族に関連する出来事を、ここではとくに家族ライフイベントと呼ぶ。家族ライフイベントとしては、結婚・出産・離婚・再婚・子どもの巣立ち・配偶者の死亡・本人の死亡などが考えられよう。

家族の現状を、人々が家族ライフイベントをどのように経験しているかに注目することで、明らかにしようという方法がある。家族ライフイベン

トをどれだけの人が経験するか、経験のしかた、経験する時期（年齢）、経験する時期がバラツキているか否か、イベントの継続期間、ほかのイベントとの関係はどうなっているか——イベント間の順序関係や規定関係、あるいは間隔——、などを、コーホート（同じ時期に生まれた人たちの集団であれば、出生コーホート、同じ時期に結婚した人たちの集団であれば、結婚コーホート）別に見たり、地域別に見たり、階層別に見たりすることで、家族の変化の実態に迫ろうという試みである。とくに変化を見るときには、コーホート別に見て、イベント経験における変化の有無や緩急を検討することが重要である。その上で、階層別（あるいは職業別や学歴別など）、地域別にイベント経験のコーホートによる変化を追うことによって、どの階層が変化を導き、どの地域が変化にさらされていないかを見ることが、必要になってくるだろう。

結婚という代表的な家族ライフイベントを例にとって、考えてみよう（小論では、図表によるデータ提示を省略する。文末の文献・資料を参照されたい）。

1) 結婚をどれだけの人が経験するか。

ほとんど全ての人が一生に一度は結婚する社会を、皆婚社会と呼び、1割近くあるいはそれ以上の人が一生に一度も結婚しない人生をおくる社会を稀婚社会と呼ぶ。戦後、日本社会はずっと皆婚社会を続けてきた。しかし、1985年以降、この特徴を危うくする変化が、人口動態統計などに見られる（こうしたデータは、全て「届け出られた結婚」についてのものであることに注意したい。以下も同様）。つまり生涯未婚率が高まっているのである。この変化は次の3)にも関わる。

2) 結婚のしかた。

結婚のしかたとしては、恋愛か見合いかがある。見合い結婚が減り、恋愛結婚が増えるという一貫した変化を示していることは、5年ごとの厚生省による出産力調査などの結果からも明らかである。

また、欧米では、同棲が増えている。同棲は、結婚における法的手続きを省略したものと見ることが出来る。これも結婚のしかたの変化と考えら

れるが、日本において同棲が増えているという信頼できるデータはない。

3) 結婚する時期。

日本は諸外国と比較して、もともと晩婚社会であった。そして平均初婚年齢はますます高くなっている。すなわち、晩婚化という変化のただなかにある。とくに男では、初等学歴において、そして農業や自営業において晩婚化が激しい。女では、高等学歴において、そして常勤の職業従事者において晩婚化が激しい（第9次出産力調査より）。男女で晩婚化を導く層が異なることに留意したい。

4) 結婚の時期はバラツキているか——適齢期的社会か否か。

人々が結婚する年齢は画一的か、それとも多様か。そして、その傾向に変化はあるか。日本は、人々が適齢期になると、落ち着かなくなり、まわりからのいろいろな圧力もあって、一定の年齢でドッと結婚する適齢期的社会なのだろうか。あるいは産業化とともに、人々の生活経験がより一層平準化して、結婚も一定年齢にますます集中するようになっているのだろうか。これについてはデータによって多少異なる結果がでていいる。人口動態統計によれば、1975年以降、初婚年齢の分散はどんどん大きくなっている。ところが1985年のSSM女性データによれば、結婚年齢は画一化の方向への変化を示している。前者は、毎年のデータであり、後者は1985年までの、15年間隔でまとめた結婚コーホート（つまり、1955以前、1956～1970、1971～1985の3つの結婚コーホート）の比較データである。ここでは、細かい検討を省くが、より詳しいデータである前者の結果を採り、晩婚化とともに適齢期的社会が揺らぎつつあると考えておこう。

5) 結婚の継続性——離婚の動向

結婚の終局には、主に死別と離別のふたつがある。寿命の伸びは結婚の継続期間を延ばし、離婚の増加は継続期間を縮める。1985年の平均結婚余命は37.41年である。この余命は戦前との比較では延びているが、10年前の1975年との比較ではおよそ1年短くなっている。1955年頃までの寿命の急激な伸びと、その後のなだらかな伸び、

そして1960年台半ば以降の離婚の増加によるものと考えられる。非選択的な終局としての死別が引き延ばされ、選択的な終局としての離婚が、まさに選択肢として人々に認められるようになってきているとみてよいだろう。

離婚の増加は、欧米諸国においても共通する動向である。結婚の終局は、「死が二人を分かるとき」に訪れる（所与・宿命）のではなく、意図的に選ばれることも多くなっているのである。

以上、簡単に結婚に関わる動向を見てきた。ほかに結婚と出産との関係や、結婚と他の家族イベントとの関係についての動向、など残されているが、これらは以下に触れることになる。こうした動向について、家族を問題として捉える立場から、次の2つの点を指摘しなければならない。

[A] 夫婦関係と親子関係の乖離

まず第1に、夫婦と親子という家族のなかの2つのダイアッドの関連についてである。夫婦関係は、結婚という選択的——契約的——な行為によって成立し、離婚という選択的行為によって終わらせることができる。親子関係は、多くは血縁という非選択的な契機によって成り立つ。したがって関係は固定的であり安定している。子どもにとっては所与・宿命として与えられた関係である。家族というシステムにおいては、こうした異なる性格のふたつのダイアッドが共存している。

上に見た結婚の動向は、夫婦関係が有する選択的な性格の顕在化を示していると見ることができる。とくに離婚の増加は、結婚についての永続性規範（死がふたりを分かつまで）を崩し、家族の不安定性を増した。夫婦関係が永続性規範のもとにある限りは、固定的な親子関係と適合していた。しかし、夫婦関係の選択的な性格が行動のレベルへとそのまま具体化すると、夫婦関係と親子関係は相互に乖離してゆく。離婚は、親にとっては選択した行動かもしれないが、子どもにとっては非選択的に巻き込まれた出来事である。妊娠を理由とする結婚は非選択的結婚（dependent marriage）と呼ばれる。しかし逆に、妊娠したからやむをえず結婚する、ということなく非婚の母

となるとき、非婚の母自身はその状態を選びとったとしても、婚外子は、所与としての状況を与えられたにすぎない。義理の親は、再婚を選択した結果だとしても、義理の子は、親の再婚によって、義理の関係がもたらされたにすぎない。

離婚や婚外子や義理の関係が、子どもにとってア・ブリアリにマイナスであるということを、知っているのではない。子どもは、そうした出来事を非選択的に経験するというを指摘したいのである。成人の家族ライフイベントの経験が、宿命的なものではなく、選択的なものになっていくことは、歓迎すべきことであろう。結婚するか/しないか、誰とするか、いつするか、いつまで続けるか、子どもを産むか/産まないか、…などが、有無をいわず強制されるよりは、自分自身で決定できることのほうが、望ましいに違いない。しかし、そのことが、子どもにとっては、家族の状況の大きな変化への非選択的な遭遇を意味し、子どもの「非選択的な不幸」につながる危険を持つことに、十分な注意を払う必要がある。非選択的であるということは、責任も問われないということであろう。婚外子などを差別することの非論理性がここに求められる。

これまで、家族システムのなかで、どちらかといえば親子関係にみられる性格——所与性・固定性——が中心となり、夫婦関係にみられる性格——選択性・不安定性——は、表面化せず、潜伏していた。親子関係に夫婦関係が従属していたのである。ところが結婚に関わる動向は、夫婦関係が持つ原理的な性格が家族の前面におしでてきたことを示している。我々はいま、家族経験の選択性の高まりと、非選択的な家族経験にさらされる子どもたち（や老人たち）のニーズ（福祉）充足とを、両立させるという困難な課題に直面しているのである。親子関係と夫婦関係とが持つ性格が、現実的に乖離してきているということに、現代家族の問題をみいだすことができよう。

[B] 家族イベントのボーダーレス化

結婚の動向に関わって、2番目に指摘しなければならないことは、イベント経験・イベント移行の簡略化についてである。欧米において増加して

いる同棲は、結婚という家族ライフイベントの（法的な手続きを省いた）簡略な方法といえよう。あるいは未婚と結婚との間の区別の曖昧化である。同棲の増加を一つの理由とする婚外子（children born outside marriage）の増加は、婚内で生まれた子どもと婚外で生まれた子どもの区別が不明確化していることを示す（したがって、非嫡出子 illegitimate child という差別的用語は使わない。アメリカでは 20% 以上の子どもたちが、現在、婚外子として生まれてくる。フランスでは約 4 分の 1 が婚外子として生まれる）。

離婚についての法律も、多くの先進諸国において、1970 年前後から、有責主義から破綻主義へと変化し、結婚から離婚へのハードルが低くなり、離婚が容易になってきている。そして、たとえばアメリカでは、夫婦は離婚後も、子どもの利益を第 1 にするという理由で、関係を保ち続けることも多くなっている。つまり、両親の離婚後、子どもはいずれの親との関係も失うことなく、保護や養育や生活費などのニーズを双方の親から受ける可能性をより強く持つような（離婚手続きにおける）対応に変化しているのである。別れた両親が、離婚後もともに養育に関わるかたちを共同監護（joint custody）と呼ぶ。

こうして欧米においては、結婚前と結婚後との、生活の連続性がより強くなってきている。生活の連続性を可能なかぎり維持することで、イベント経験やイベント移行にともなうマイナスの影響を排除する努力をすることが重要であろう。言い換えれば、イベント経験の前後で、生活にさほどの落差がなく、ニーズ充足/不充足に大きな変化が無ければ、人々をして、強いて結婚届けを出したり、気の進まない結婚をしたり、不幸な結婚を続けて離婚をしなかったり、…という行動へと拘束する力は弱まるに違いない、ということである。そうした拘束力の強い社会が、これまでの日本社会であったといえないだろうか。

日本になぜ、婚外子が少なく（1% 弱）、離婚が少ないのか（他の先進諸国と較べて）。その原因を考えてみると、日本の家族の問題も浮かび上がってこよう。日本に婚外子が少ない理由としては、さまざまな要因を考えなければならないが、

まず第1に、婚外子が被る不利益の大きさを指摘できるだろう。法における差別のほか、文化的な差別（冷たい眼差しにさらされる…）、社会・経済的な差別（就職や結婚における…）など、婚内子（＝嫡出子）とは、大きく異なる状況がある。われわれは、当然、大きな不利益から逃れようとする。そして、ここから逃れる手段が日本において、比較的容易に利用可能なことが、第2の要因である。すなわち、妊娠を契機とする結婚（dependent marriageあるいはshotgun marriage）と言う。先述したように、強いられた、とか、やむをえざる、という意味である）が多いということ。これによって、婚外子や未婚の母になって大きな不利益を得る危険からのがれるのである。さらに、中絶という手段を使って、婚外子や非婚の母の発生を防ぐということが多く行われている。

こうして婚外子1%の理由をみてみると、婚外子の多い/少ないによって、単純に欧米をマイナスに、日本をプラスに評価できるものではない、ということに気づくであろう。日本では、ある家族イベントを経験するか/しないか（結婚届けを出すか/出さないか・婚内子になるか/ならないか）が、非常に大きく当事者の生活を左右するのである。人々にとって、イベント経験の有無による生活の格差は大きく、イベント経験に対する拘束感強い（選択性は弱い）。

日本における離婚についても、婚外子に似た状況を指摘できるだろう。欧米と較べて、離婚が少ない理由のひとつに、離婚前と離婚後の大きな生活の格差がある。離婚者に対する（そして離婚に直接の責任のない子どもをも巻き込んだ）文化的・社会的・経済的差別、そこからくる社会的孤立や経済的な困窮は、とくに女性に離婚することを踏み止まらせるに十分なものがあった。「悲惨な」離婚よりも、「不幸な」結婚（＝家庭内離婚）の方がまだよかったのである。

離婚前後の生活の落差とともに、生活の非連続性も指摘しなければならない。別れた夫婦が、その後会うことはないし、子どもにも絶対に会わせないということが多かった。イベント前後の生活の隔絶感が大きいのである。このことが子どもの保護の担い手を失うことにもつながる。別れた一

方の親とも関係を維持していれば、経済的な援助や、保護を受ける可能性を保ち続けることもできよう。子どものニーズの充足を可能にする手立てや人々を、多く確保しておく方がよいに決まっている。

このような離婚についての状況は、緩やかに変化しつつあり、差別も少しは弱まり、離婚前後の生活の落差や隔絶も、多少は弱まりつつある。そうした状況の変化のなかで、日本でも1960年台半ば以降、離婚が増えてきているのである。しかし、欧米との比較のなかで、上述の状況を日本の特徴として指摘しておくことは重要であろう。離婚（婚外子）の多さではなく、離婚（婚外子）の少なさのなかにも、家族の問題があることを確認したいのである。

特定の家族ライフイベントを経験するか/しないかによって、あるいは、どの家族ライフイベントを経験するかによって、生活に大きな落差や隔絶が生じない状況、すなわち、ボーダーレスな家族イベントという状況を、そのマイナス面だけでなく、プラスの面からも評価してみる必要がある。日本社会では、オルタナティブな家族イベントを経験することが、生活の質の下降を招いてしまうという仕組みになっている。人々の「選択」にもとづく家族の多様化は、こうした状況では起こりにくい。

4. 家族の自立

——ボーダーレスな家族システムからの脱却——

最後に、家族と他のシステムとの関係について、問題を指摘しておこう。家族に関わるライフイベントの経験については、上で見たように壁は厚い。しかし逆に、システムとしての家族は、自立性に乏しく、自己を守る壁は薄い。すなわち、日本では家族はシステムとして自立しておらず、企業システム（や学歴社会）に呑み込まれている。家族のニーズよりも、企業のニーズが優先され、成人男子は、企業に囲いこまれて、父親・夫としての役割を遂行できない。また、親子関係は、学歴社会の論理に規定されてしまっている。

家族員の行動は、企業社会の論理によって動かされてきたのである。他のシステムに浸食されて

いるという意味で、日本の家族は、ボーダーレスなシステムであり続けてきた。個人の立場からいえば、男性においては家族生活や市民生活が無視あるいは軽視され、職業生活が肥大化している。女性は家族に囲いこまれ、その家族は企業社会の論理に呑み込まれている。子どもは学校に囲いこまれ、家族生活も学歴社会の論理で導かれている。

家族生活・市民生活・職業生活のバランスのとれた状況を実現するために、家族は自立性を高めるべきであろう。ボーダーレスな家族システムから脱却し、他のシステムと共存するなかで、さまざまな問題解決の糸口を探っていくことが重要であろう。たとえば、現在、緊要な問題とされている母親就労下の子育てや、高齢化社会における介護・扶養についても、家族が自立することによって、社会全体の課題として取り組まれることになるのである。建設的で、現実的な対策は、こうした状況のなかで、はじめて生まれてくるのである。ここでは家族を含む社会のありようこそが問題となる。

家族の変化と多様化のただなかで、家族の枠組みを相対化し、社会の枠組みを相対化するという視点にたつと、ボーダーレスな家族イベントの推進と、ボーダーレスな家族システムからの脱却とが、われわれの課題として浮かび上がってくるのである。

本調査結果を、家族ライフイベントのボーダーレス化、家族システムの自立化、夫婦関係と親子

関係の分離/あるいは従属関係、といった枠組みで見るとどのような像が浮かんでくるだろうか。家族についての意識の変化を、こうした視点から追って見る必要があるように思われる。

文 献

- 1) 人口問題審議会ほか編 1988 『日本の人口・日本の家族』東洋経済新報社.
- 2) 金子武治ほか 1988 「結婚の生命表: 昭和50年, 55年, 60年」『人口問題研究』187号.
- 3) 厚生省大臣官房統計情報部編 1987 『婚姻統計——人口動態統計特殊報告——』財団法人 厚生統計協会.
- 4) 厚生省人口問題研究所 1988 『日本人の結婚と出産——第9次出産力調査——』財団法人 厚生統計協会.
- 5) 渡辺秀樹・近藤博之 1990 「結婚と階層結合」岡本英雄・直井道子編 『現代日本の階層構造4 女性と社会階層』東京大学出版会.
- 6) 渡辺秀樹 1989 「アメリカの家族と福祉」『社会保障研究』25巻2号.
- 7) —— 1987 「家族システムの構造と諸相」中山慶子ほか、『社会システムと人間』福村出版.
- 8) —— 1990 「家族変動の実態——現代家族をどう捉えるか——」社会保障研究所『21世紀の社会保障に関する研究〈家族の変容と社会保障分科会〉』.
- 9) T. K. Hareven 1986 “American Families in Transition; Historical Perspectives on Change” in Skolnick & Skolnick (ed.), *Family in Transition*, 5th ed., Little, Brown.

I-3. 現代人の生活価値意識と社会観

小林 ポオル

われわれは、自分たちの生活しているこの環境を、どのようなイメージでとらえているのだろうか。そしてその環境イメージは、社会システムの変容に対してどのように変化していくのか。社会変化に敏感で、その影響に最初に対応している若年層の生活イメージおよび、さまざまな新しい概念に対する意見・評価をみることで、その間の関係を見、それらを支配している構造を同定したい。そして、その構造を世代間で比較することによって生活価値意識と社会観の変化を把握することを考える。

1. 我々のおかれていた環境を記述するための基本的枠組み

1-1. 「高度産業社会」という環境イメージ

我々の生活は、高度産業社会のなかで今までにない「豊かさ」の中にある、と描写されることが多い。この生活の「豊かさ」は通常、物質の豊かさ・アクセスできる情報の豊かさ、および特に都会生活の合理性・効率を基にした便利さをさしていると考えられている。

科学技術にささえられた生産システムは、現代人の生活の構造をあらゆる面で大きく変化させた。日常生活全般に渡るさまざまな諸活動について、生産システムは人間の労力を軽減することを目的として対応し、さまざまなモノを提供してきた。家庭に広く普及した電気製品やオフィスでの情報機器など、われわれを取り巻く環境を見渡せば、生産システムが日常生活を快適にしている例は枚挙に暇がなく、その説得力は圧倒的であった。

確かに、高度産業社会の発展にともなう物質的な繁栄と生活水準の向上を、われわれは享受している。この経済的な発展の中で、我々の大多数は中流意識をもてるようになった。そして、少なくとも差し迫った経済的・生理的な生命維持に窮々とすることはない、という意味で余裕を持って生

活していると感じている。

この、高度産業社会が形成される過程においては、自らの生活が社会の「進歩・発展」とともに豊かになると感ずることは自然なことであった。科学技術の進歩を原動力として生産力が向上し、それにつれて生活が向上するというプロセスの正当性は、日常生活の感覚に照らせば自明であった。この生活環境の改変が「豊かさ」の表徴であると認識されている限りでは、このプロセスは生活にとってなら都合の悪いものではなかった。

しかし、社会環境の合理的な設計とその効率的な運用が遙か先にある目標であった時代はすでに終わっている。経済的な成長が一段落した今、改めてこの過程と激変した環境をみると、「科学的な」「合理的な」「効率的な」ことに限定無しの正の価値を置くことには疑問を持たざるを得ない。¹⁾ 産業システムが高度化し、その効率的運用が徹底されるにつれ、その行き着く先が、豊かな生活のイメージとは乖離してきた、ということが明確になりつつある。

1-2. 高度産業社会システムを維持する構造

高度産業社会は、その成立をささえる必要条件として、個人的幸福追求の権利を最大限に承認する。そして、生産システムは個人が自由に欲望を

追求することを自らのサイクルに取り込み、その欲望を肥大化させることでシステムを維持し増大させてきた。さらに進んで、現在の高度産業社会は人間の欲望を先取り、誘導し、またある時は拡大さえした上で対応するシステムを完成させている。³⁾

このことはただ単に巨大な消費社会を出現させただけではない。同時に、人間の欲求の自由な発現を規制するものとしての社会規範の衰退も出来た。個人が幸福を追い求めることはそのまま、それを拘束しようとする社会的規制を消滅させる論理になる。社会規範は個人の欲望の自由な発現を抑制する方向に働くから、それを厳密に保つことは、生産システム運用の観点からすれば邪魔になる。高度産業社会が生産システムの安定を凶ればそれだけ、社会の統合性とその安定性とは減少してゆかざるを得ない。³⁾

そして「豊かさ」を追求しようとして、システムを精緻化し、さらに効率的運用を進めようとするれば、人間はそのシステムに組込まれ、厳密に管理されることを受入れざるを得ない。拡大を続けるシステムは、巨大化して見通しが悪くなる。管理するための情報も膨大になり複雑化する。それらの情報を適切に処理するために高い能力が常に要求される。

1-3. 「幸福な生活」の二重性

しかし、すべての人々がこの巨大システムの中で積極的に生活することに適性を持っているわけではない。むしろ多くの人々は、このようなシステムの全体像を認識することは出来ない。しかし、現象として表われる、大都市への人口集中、それに対応するための環境の激変や社会規範の弱体化、管理による息苦しさ、また更新され続ける情報を追い続けなければならないという不断の圧迫感など、豊さを手に入れる代償として受入れることになったさまざまなことは、日常生活の中で直接感じ取ることが出来る。そしてこれらは、社会が「発展し」「豊か」になるにしたがってますます強く感じられるようになるから、これらは単に社会変容に付随的な過渡的現象としてではなく、こ

の社会に本質的に備ったものとしてイメージされることになる。

このことを日々実感せざるを得ない、という地点に到達してしまえば、豊かな社会を支え推し進めてきたものに対する態度は、単純な賞賛から否定的なものへと変化せざるを得ない。⁴⁾

結局のところ、生産システムによって提供された多種のモノを使う「豊かな」生活は逆に、それらの消費を強制されることで成立する。システムの効率を維持するためには、それに組込まれている人間がシステムの論理に従順であることを要求するし、情報は人間のそれではなく、機械の論理にそって適切に処理されることを要求する。⁵⁾「快適な生活」は、それを支えるシステムにわれわれが適合するために、この上なく大きな犠牲を払った上で初めて得られる。

豊かな生活を維持するために自分の生活を犠牲にする、という構造で構成される「豊かな」社会、という構図には全面的な信頼をおくことが出来なくなってきた。現代社会を支え、「発展」させてきた科学的・合理的なものは今度は自分たちの生活に高圧的に指示を発し、脅かす存在として知覚されるようになる。このような科学技術への不信は、すでに一部の人々のみの疑問ではなくなっている。

一方でわれわれは、その社会のただ中で生活しており、日々の活動はこの社会のメカニズムを前提としている。日常生活の隅々まで行き渡った科学技術の「成果」と、それを最大限に利用して初めて成立する自分たちの生活を見れば、その疑問を口にする事は出来ない。やっと手に入れた「豊かな生活」が思い描いたものとは異なる苦いものであっても、社会の存立について根源的な疑問を提起することは、自らの現在の生活を基盤から否定することにつながってしまう。

我々の得た「幸福な生活」は、このような背反するふたつの感覚の上に成立している。

従って、我々の生活は、この構造のもつ本質的な矛盾を見ないようにすることで成り立っていることになる。

巨大化した生産システムは、いったん成立するや人間の手を離れ自立し、独自の論理でわれわれ

の生活を規制しているように感じられる。このシステムの前には、個人は無力感を持たざるを得ない。したがってこのシステムに対する疑問は、個人の中に内閉せざるを得ない。解くことの出来ない疑問を抱えたままであるより、自己の生活に埋没することでこの疑問を忘れる方が「合理的」である。

知らず知らずのうちに疑問を押さえ、手に入れた生活を「快適な」生活と感じて満足を得るためには、現在の社会の状況を与えられた・変更の余地のないモノとして受入れることが前提となる。

現代の生活を、特に都市環境の下でのそれを受入れることは、生活をシステムが提供する豊富な選択肢の中から単に選ぶだけで構成することを意味する。システムは生存を賭けて次々と「新しい」ものを社会に投入するから、それらを疑問なしに消費していくことで結構気を紛らわせることが可能になる。

このメカニズムが、現代の生活全般をも規定していると考えられる。つまり、多数を占める「豊かな」生活イメージは、現在の社会システムが個人生活に与える不具合を所与のものとし、あきらめることによって成立しているように見える。

2. 若年層の「快適な生活」

このような生活構造の二重性は、その中で生活しか知らない若年層に新しい生活態度をうみだしたように思える。彼らにとって現代の巨大社会システムは、複雑であって全貌を見通すことはできないものの、すでによく整備され、快適さを提供するものである。彼らにはこのシステムが非常に都合のよいものに映るから、このシステムに対抗したり逃避したりして自分の生活を守るのではなく、システムを徹底的に利用して快適性を得るという生活態度を産み出すことは容易に想定される。

2-1. 快適さへの最適戦略

若年層は、「豊かな社会」の形成過程には参画せず、社会をそれとして意識した時にはすでに豊かなものとして「出来上がっていた」というイメージ

で捉えている。

このようなイメージの中では、社会が所与のものであり、自分の力では変更不可能なものであるとの思いは一層強くなる。彼ら自身はたとえ、管理された学校生活や受験戦争などに不満を持って育ってきたにしても、その代償としてすべての快適さを与えられてきている。それによって彼らの不満は、多くの場合、直截に表面化する前にシステムにより柔らかく包み込まれ、方向を変えられてしまう。

このように順応を強制され、変更を迫る努力をも無効にしてしまう環境枠組みの中では、生産システムが推奨するように自分の欲望の充足を最大化することで生活満足を得るように考えるしかない。彼らの現代社会のシステムに適応するための行動戦略は、自らの行動の可能性が限定されていることを承知の上で、それを抑圧したところで初めて成り立っているに過ぎない。

しかし彼らにとっては、そのような行動戦略を取らざるを得ないように仕向けたプロセスをすべて捨象して、「豊かな社会」を素直に楽しんでしまうということもまた可能である。自己認識および環境認識をこれに都合よく変容させて、社会システムに関与できるという「幻想」など持たずに、実利的なものしか求めない、という態度をとることにすれば、現代環境のもとで「快適な生活」を楽しむことが可能になる。⁹⁾

このように、「豊かな生活」を手に入れるために環境を一方的に利用する、ということを考えるなら、社会システムから受け取ることの出来る快適さを最大化するための方策だけを考えればよいことになる。環境メカニズムもまた、他のすべてのモノと同じように、自らの生活とは無関係に既に成立していて、こちらからの働きかけによって変化することはないと考えるなら、環境の利用法を考えるにあたっては、購入した既製品を使用する、ということを考える時に使ったのと同じ枠組みが使えることになる。

つまり環境を、既成のものであって自分の力では変更不能なものとして見て、それを一時的に利用しようとする戦略をとることにより、「モノを消費する」態度が生活のすべてに敷衍されることにな

る。

およそ、すべての欲望は生産システムによって先回りされ、それに対応するモノが豊富に準備されている。したがって、モノを消費する側はあれこれ思いを巡らさずとも、ただ選択、行いさえすればよい。ここでは、豊富な選択肢の中から何を選択し、また選択したものをどのように使って快適さを楽しむのかという「使いこなし」が問題になるだけである。

そしていったん、提供される選択肢から選ぶだけの生活に慣れてしまえば、「使いこなし」を快適にするための方策を作成するにあたって、たくさんある使用法の雛型から単に「選べば良い」という方式が適用出来れば便利である。モノと使用者の間の相互作用を無視すれば、生活の快適性を最大化する使用法は、さまざまなヴァリエーションをもつマニュアルとして定式化出来る。このようにして既成化された基準を取り込み、使用法をそこから選択することにすれば、モノの使用までもが自動化出来、「快適な使いこなし」が完成する。

この戦略を実行することで、現代環境を最大限に利用して「快適な生活」が効率的に手に入ることになる。提供される豊富な選択肢を選びさえすればよい便利な社会では、自覚的に欲望し考えることをせずとも、ただ選択しさえすれば満足が得られる。生活は選択を繰り返すことによって成立する。このことは、画一化されることの逆説的な心地好さも産み出したが、これにより必然的に、自らの欲望は選択肢に見合った欲望に整除されることになる。

2-2. 関係の規格化

環境に存在するさまざまなモノに対する欲望のありようは、容易に他の領域にも汎化する。環境との関係を取り結ぶ方式として形成された、既成のモノとマニュアル化された使い方をそれぞれ豊富な選択肢群の中から選ぶという態度は、人間関係にも適用されるようになる。特に都会生活では人間関係を取り結ぶ相手を自由に選択することが出来る。そうであれば、自らの欲求にあうモノを

選択するという行動基準を、対人関係にも適用することが可能になる。さらに、人間関係そのものが豊富な選択肢として存在するという条件のもとでは、マニュアルを援用して用途によってモノを使い分けるのと同様、つきあい方そのものを規格化することによって、対人関係を取り結んだ相手を「使い分ける」ことも可能である。

このように、人間関係をも含めた環境に対して、それを自らに提供された豊富な選択肢群とみて対応する行動戦略を徹底すれば、システムを一方的に消費するものとして現行の社会システムの持つ「豊かさ」を享受することが出来るようになる。この、すべてを既成のパターンでかためる戦略は、自らをも既成の型にはめ込むことで完成する。つまり、この戦略をとるものは自らにラベルをはることで自己を同定する。戦略を共有するもの同士の間では、そのラベルを他人に向かって表示することで結びたい関係を示すことが出来る。つまり、互いにラベルによってデジタルに位置を占めることになる。これにより、ラベルで規格化して表現しない場合のような微妙な位置のずれなどなくなるから、「ずれ」を相互の努力で埋める必要がなくなる。このような構図は対人関係をステレオタイプなもの同士の関係にしてしまう。しかし、いったんこの構造を構築してしまえば、自己表現も対人関係もマニュアル通りにことが運ぶようになる。

2-3. こたわりのない明るさ

若年層におけるこのような生活態度は、現代環境のもとでは容易に形成され得る。生産システムは、それ自体を維持するために常に供給するモノを更新し続ける。そのためには、利用し得るあらゆる技術革新を取り込むから、その障害となる方可能性のある伝統的な構造には本質的に価値を認めない。そして、技術革新の結果である「新しさ」とそれに柔軟に対応する「若さ」に大きな正の価値をおく。その上、生産システムは彼らをメインターゲットとしているから、彼らが生産システムから供給されるさまざまなモノで生活の表面を飾るのは容易である。

すべての関係を規格化することで形成された彼らの行動戦略は、現代社会のシステムに適合したのものとして、そして変化にも敏感に反応し、追従できる「明るく軽やかでこだわりのない」態度として現れる。

2-4. 順応行動としての軽やかさ

もともと彼らの行動様式は、現代の社会システムに順応するためにやむを得ず編み出した戦略であるから、与えられた環境をその戦略のもとに楽しんでしまわない限り、彼らには環境に対処する如何なる技術も持っていない。また、過去の生活イメージとの比較という基準を持たない彼らは、「相対的な豊かさの幸福」という感覚は持っていないし、それに代って準拠すべき規範も持たない。⁶⁾

つまり、「こだわりのなさ」という態度は、さまざまなこだわりの存在を認めた上で、それらを離脱して得られたものではなく、これ以外の戦略を知らないことによって形成されたのである。そうであるからこそ、彼らは現代環境に過剰とも思えるほどの適応を見せているのである。

彼らは、複雑化した巨大なシステムについて、その構造を正確に把握することをあきらめることで、生活のすべてをマニュアルで対応することに成功した。何かにこだわって疑問をふくらませても、それを解決することはこの行動様式では不可能である。そうであるならば根源的な疑問は無限に先送りして、興味を自らの生活のみに絞ってしまうのが合理的である。若年層に強く見られる自己生活中心の態度の生成は、このプロセスの直接の帰結であると考えられる。

しかしこれは同時に、「軽やかさ」というひとつの行動様式しかとれないという余裕のなさをも意味している。この戦略を成立させるためには、モノの構造に興味を抱かないこと、こだわらないことが必要条件であった。彼らは、豊かさの源泉が物質の豊富のみにしかないという空虚さを抑圧し、システムに疑問を持たず順応することで平和な生活を得ている。従って彼らにとって、この戦略以外の行動様式を見せつけられることは自らの

存立基盤に対する脅威と知覚される。そこで、この生活態度を実践するというを、自己にラベルを貼ることで他に示し、それを認めあうもの同士で共同してこの様式を支え合うことが必要になる。「明るく軽やかでこだわりのない」態度をこの意味でラベルとして採用し、自己規定すれば、このラベルを共有するもの同士は字義通り「軽やかな」人間関係を取り結ぶことが出来る。これがいったん多数を占めれば、「明るくないこと」を敏感に感じとりそれを排除する、という機構が生まれる。結局のところ、長期的な傾向として同じ行動様式を有するものだけの均質的な社会が構成されて行くことになる。⁸⁾

3. 環境イメージの多様性・多義性を確保すること

このような若年層の行動原理は、表面的には環境の多様性に対応した柔軟な態度のように見える。そしてその柔軟性は、とても処理しきれないようにみえる膨大な情報を環境から要領よく取捨選択し、軽やかに変化に対応することで実現しているように見える。

3-1. レディーメイドの多様性

確かに現代の環境では、生活のどのような分野についても選択肢は豊富に用意されているし、それらに関する情報もよく整備されているから、それらにアクセスし楽しむことは容易である。

しかし、これはレディーメイドの多様性でしかない。ここでは、環境の持つ多様性がそれとして受容されているのではない。われわれを取り巻いている環境の諸側面のすべては、システムにとっての有用性に鑑みて、利用可能な形に成型されて切り取られているのである。こうして環境を構成するさまざまなものは、いったん「情報」という操作可能なものに分解された上で扱われることになる。従って、それらはどんなに多量になり多様になっても、切り取られ、整理されたものであることに変わりはない。この構造が存在するからこそマニュアルを作成することの可能な、またマニュアルで対応することの出来るシステムが構築され

ているのである。

このシステムのもとでは、環境のすべての側面は要素に分解され、有用性の序列に一元化されるこの価値尺度のなかに統合され得るもののみが選択肢として環境内に存在し得る。

このようにすべての側面が一度情報化されてから再構成された、いわば情報の寄せ集めがモノ化して成立している現代環境の中で、彼らが行うべきことはモノやものの考え方・生活様式、つまり生活のすべてについて、単に提示されたものを受入れるか否かの決定のみになっている。そして、その判断すらマニュアルに準拠して行う傾向にある。つまり、生活全般がデジタルな選択によって構成されていくことになる。

もし、自らの欲望と環境との間の調整を計る必要がない、ということが余計な手間のかからない「便利な生活」なのであれば、確かにこの生活様式は目的にかなっている。しかも、このような受動的な行動戦略でも、選択肢の豊富さを反映して自らの生活の中に集められた選択肢の組み合わせは複雑で、みかけの多様性を確保することを可能にしている。ここでは、行動は単に選択し、消費するというただひとつの形式に統一されてしまうが、多様性が、選択肢の数多さやあらゆる状況に用意されたマニュアルの周到さによって実現されると考えるのであれば、現在の状況は満足すべきものに近づきつつあるのかもしれない。

3-2. 行動様式の均質化

しかし情報の多様性は、それをマニュアルにしたがって処理する人間の側の行動の多様性を意味してはいない。環境に対する対応が、すべてを情報として再構成したものを利用することになってしまえば、多様性は表面だけのものになってしまう。もとより環境内の諸側面が情報化されずにそのまま流通することは不可能であるし、流通情報量の飛躍的増大と流通チャンネルの増加が、単一の整備され統合された情報以外のものの流通を許容することになってはきている。しかし、それらのもも同一の戦略でしか処理されないから、行動の多様性をうみだす力にはなり得ない。

伝統的な行動様式では、情報化された環境はそれ以外の未組織の「現実」を参照することで評価され受入れられ、また排除される。この時の戦略の個別性が行動様式の多様性を確保する。この多様性が社会変化への柔軟な対応を可能にしているのであるが、限りなく組織化の進んだ現代環境と若年層の均質な行動戦略ではこのような調整能力は失われ、多様性は限りなく失われてしまう。かくして、環境の持つ表面的多様性と若年層の行動の均質性とは同時に進行することになる。

4. 社会環境イメージの調査について

現代の状況の中にあって、我々は自らを取り囲むものの総体としての環境について、どのようなイメージを形成しているのだろうか。またそれが、社会の構造変化にどのように関連してゆくのか、その経緯を観察するための資料を収集したい。それを手がかりとして、そのような現代人の環境認識の枠組みが社会システムの変化とどのように相関していくのか、我々の環境イメージの構造を明らかにしたい。

我々の生活の基底に存在する二重性を 1-2. で見た。日常生活とは無関係に発展していくように見える生産技術は、次々と新しいモノをわれわれの生活の中に供給し続けている。高度産業社会は、そのシステムを維持し発展させるためにそれらを導入してきたが、システム自体にはそれらを環境内に意味付けて定位させる機能はない。われわれが持っている環境イメージがそれらを解釈し、意味を与えるための枠組みとして作用するのである。そして、逆に、その意味作用によって環境イメージを支える価値観は構造的に変容していくから、このような双方向に働きかける機構が安定して行くことで環境の変容が受入れられていくことになる。

しかし現代の環境は、その圧倒的な技術力と産出する膨大な情報によってこのバランスを大きくくずし、環境に対する人間の個々の関与を無効にし、システムが自立的にすべてを統御しているかのイメージさえ与えている。システムの発展を支えてきた科学主義的態度は、価値にたいして客観的であろうとして新しい技術の効率的優位性のみ

を主張するが、それはまた、高度産業社会が自らを推し進める論理の底で、若さや新しさに対して信仰とも看做し得る絶対的価値を置いてきたことと符合し、システムによって若さや新しさに絶対的価値を与えるその態度に変換させられてきた。この過程で、本来意味生産の主体にはなり得ないはずのシステムが、あたかも独自に価値と意味賦与の体系を持つごとくにイメージされるようになってきた。

この状況に順応を強いる圧力の下で、とくに若年層は社会システムを一方的に消費するという戦略を形成した。若年層の行動様式は、マニュアルにしたがって新奇なものを追い求め、無限に消費し続けることを志向する。

多くの若年層を対象とした生活意識調査において、表面上は、対象者の生活満足感と生活に肯定的な態度との比較的強いことが確認されている。このように若年層を広範に覆う満足感は、「豊かな社会」と彼らの戦略の成功とを反映しているように見える。しかし問題はこの生活満足感が、このように社会システムの一方的な受け手・享受者の立場をとるという受動的な行動様式によって得られている。と見られることである。高度産業社会のメリットを最大限に利用した若年層のこの行動様式は、積極的な生活態度を産み出しているようにはみえない。逆にある種の「あきらめ」と同居しているように見える。現状に対する無力感とその状況に順応する態度としての「こだわらない」ものわりの良さ、要領よく楽しむ戦略が浮び上がってくる。

しかし現状は、科学主義的態度を無限定に適用することで発展し、さまざまな技術と巨大な情報の無秩序な混合体とも見える高度産業社会の行き着く先を、新たな価値観を創出することによって生産的に考える方向に進むのか、そのような社会から疎外されたものとして社会に無関心にかつ享乐的な方向へと突き進むのか、重要な段階に差し掛かっている。これに対して、一方的に消費する行動様式が状況に対応した新しい価値観を生成する可能性は乏しいといわざるを得ない。社会に積極的に関与しようとする態度とは反対に自己の生活へ埋没し、快樂を個人生活の中に追求する行動

様式は、システムの安定的な推移を前提として初めて成り立つものである。社会を成立させているモードとしてのあらゆる行動傾向の同一平面上の散乱を多様化と言い募ってみても、変動期にある現代環境に安定的な意味体系を持つ環境イメージの中に定位させるだけの力があるとは考えられない。これとは別に、今まで辛うじてこの役割を担ってきた伝統的価値観も、個人生活を重視する行動様式によって希薄化されている。また、これを補間するためにシステム存続の価値観をスライドさせても、単純な科学主義は無自覚な現状肯定につながってしまうだけで、現代技術がわれわれに提起する問題、たとえば新しい死の基準・人工的な生命操作の問題に対処することは不可能である。

そこで、その生活満足と社会観との関連を仔細に分析しなければならない。現代環境を快適なものとして捉らえるか、複雑になりすぎたものと捉らえるか、ということと、社会に積極的に関与しようとするか、自分の生活を優先させるか、ということのふたつを軸に考察を進める。それによって、このような傾向を確認したい。

若年層の明るさ・生活満足感などの生活感情は社会変動に対してどのように影響し、また影響を受けているのか。

自己に内閉する傾向は若年層に特有なものなのか。今後、他の年齢層に広がっていくものなのか。我々の生活を変革してゆく新技術・それが生活の中にはいっていくことによって否応なく形成されていく新しい概念（遺伝子操作・脳死など）を、どのように受入れる態度とつながっていくのか。個人生活の無条件の尊重によって肥大化した自己は、家庭・家族に対する態度をどこまで変化させるのか。

その結果我々は将来どのような社会の中で生活することになるのか、を見る。そしてそれらが、地域・世代によって変化しているものなのか、共通の傾向なのかを把握したい。それにより、これらの考え方が何を意味しているのかが理解できるだろう。

註

- 1) いわゆるモダニズムを支えていた科学主義的な言説の根拠のなさ、あるいは「物語性」については、例えば、Lyotard, J., *La condition postmoderne*, Minuit, 1979 小林康夫訳『ポスト・モダンの条件』風の薔薇, 1986.
- 2) 消費というメカニズムが現代社会における基本的な行動原理である、ということの包括的な理論化については、Baudrillard, J., *La société de consommation*, Planète, 1970 今村仁司他訳『消費社会の神話と構造』紀伊國屋, 1979 参照.
- 3) 資本主義システムにおける禁欲的労働規範と「良き消費者」たることの本質的な矛盾、および文化と経済システムの乖離について、Bell, D., *Cultural contradictions of capitalism*, Basic Books, 1978 で詳細に論じられている。特に、60年代アメリカを例にとった楽主義的傾向の分析については 同書 pp. 120-145.
- 4) 中流意識および生活に関する満足意識の高さを指摘する調査報告は数多い。しかし同時に豊かさに関する疑問も増加している。例えば、経済企画庁
国民生活局(編)『国民生活を変える新たな主役たち』, 1991.
- 5) 情報化ということのネガティブな側面、特に「意味生成の遅れ」についての社会心理学的考察に、Klapp, E., *Overload and boredom*, Greenwood, 1986 小池和子訳『過剰と退屈』勁草, 1988 がある。
- 6) このメカニズムによって得られる受動的な幸福について、そのイメージをシニカルに叙述したものに、Baudrillard, J., 'The ecstasy of communication' in Foster, H. (ed.), *The anti-aesthetic*, pp. 126-134, Bay Press, 1983 がある。
- 7) 大学生の生活意識における深層的な「あきらめ」の感覚の上に立つ「軽やかさ」については小林ポオル、『学生の生活意識：こだわりなく軽やかに』, 慶大学生生活実態調査報告書, 1990 参照.
- 8) このメカニズムは生活に対する一定の満足と平行的に無力感をも産み出す。総務庁青少年対策本部(編)『青少年と活力』1985, 東京都生活文化局『大都市青少年の生活・価値観に関する調査』, 1989 などの調査報告に現れている若年層の無力感、このことの反映とも考えられる。

II

調査の方法

1. 調査のスキーム	33	3. 予備調査	39
2. 調査技法	34	1. 目的	39
1. 重層的調査技法	34	2. 方法	39
2. 質問紙	36	3. 結果と考察	41
3. SCT(文章完成法テスト)	36	4. 本調査に向けての提言	42
4. 面接	38	4. 調査計画	43
		1. 調査内容	43
		2. 調査方法	44
		3. 分析手続き	47

II-1. 調査のスキーム

調査のスキームとしては、図 II-1 にあるような 5 つの領域を考えた。もちろん、これらは互いにオーバーラップしているものであるが、考え方の手引として作ってみた。各領域の項目は、以下のようなものである。

- I 自己に対する態度
満足度、豊かさ、科学技術、仕事、余暇
- II プライマリー・グループに対する態度
性道德、結婚観、家族観、家庭観、子供、家事、育児、老後、ガン患者
- III セカンダリー・グループに対する態度
親戚、近所、職場、愛国心、天皇制
- IV モノ、自然に対する態度
機械文明、都市化、自然破壊、環境汚染
- V 超越者に対する態度
宗教、神、運命、死、産み分け、臓器移植、尊厳死、死後

これらの中の内 I~IV は、図 II-1 に示したように、同一平面上の 4 つの同心円であらわすことができるように思われる。そして V はそれらに

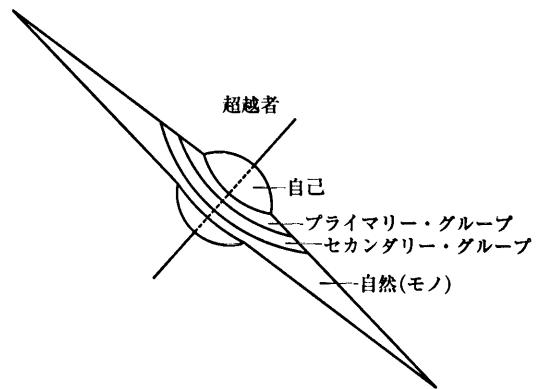


図 II-1 調査のスキーム

対して、直交する形で表わすのがよいではないかと思われる。

現在 (1992 年) は、戦中・戦後世代と言われる人たちが親として子育てに従事し、彼らの新しい規範に影響されて、子供たちの態度も様変わりしているように思われる。そして、25 年後には、今度は現在の子供たちが親の世代となり、また新しい規範で子供を育て、子供たちの態度に影響を及ぼしているであろう。

これから 25 年間 5 年目毎に調査を継続していくと、戦中派の親、現在の親、いま子供である 25

ように、調査内容はかなり広い範囲にわたっている。個人の生活や社会に対する態度、家族関係、さらには生命倫理に関する問題も調査内容に含まれている。このような広範囲な問題について調査を行なうには、多数の質問項目が必要となる。

第2に、多くの個人に施行できる調査技法である必要がある。この調査は、現代の日本人の生き方を探ることを目的としている。そのため、全国規模に近い調査を行なう必要があり、サンプル数も数千人に及ぶ。このような多数の個人を対象とするには、施行が容易で、施行のコストも低い技法が望ましい。また、得られた大量の調査データの分析が可能である必要もある。

第3の条件が最も重要であるが、個人の“生”の声を反映するようなデータを得られる技法であるということである。たとえ多様な調査内容を多数の個人に施行したところで、それが個人の本当の態度や意識を反映していなければ、調査を行なう意味はない。また、調査は“生き方”という個人の根幹に関わる問題を対象としており、調査内容には、家族・家庭などの個人的な問題や、生命倫理などのデリケートな問題も含まれている。このような調査内容に対しては、個人が防衛的になったり、個人的な意見よりも社会一般の風潮に同調した意見を示す可能性もある。そういう意味では、個人の“ホンネ”を聞き出すための工夫が必要となるであろう。

このような条件を考慮して調査技法を検討すると、まず、一般的な技法として挙げられるのは、選択肢を設けた質問紙法である。この技法では、ある程度の数の質問項目を盛り込むことが可能であり、また、郵送法を用いることによって広い地域のデータを大量に収集することも可能となる。また、選択肢法ならば、集計において大量のデータを処理することができる。そういう意味では、選択肢法による質問紙調査は、第1と第2の条件を満たしたものと言えるであろう。

ところが、選択肢法によって、個人の“生”の声をどれだけ捉えることができるかについては疑問が残る。実際に質問紙に挙げることのできる選択肢の数には限りがある。そのため、代表的な意見や極端な意見が選択肢となり易い。しかし、調

査内容に対する個人の意見は多様であり、選択肢に示されたものとは全く異なる意見や2つの選択肢の中間に位置するような意見もあり得る。また、回答の際に被調査者が受身となり、世の中の風潮に対して同調的な意見を示すことも考えられる。結果として、質問紙だけから得られる結果は深みのないものとなりがちになる。

このような問題を解決するためには、被調査者がより自由に意見を表明でき、調査に主体的に関われるような技法が望ましい。具体的には、選択肢を選ぶのではなく、自分の意見を自分自身の言葉で表明できるような技法が望まれる。例えば、個人の意見をそのまま述べさせるような面接調査が考えられる。面接においては、自分の意見を自分自身の言葉で表明できる。また、面接調査においては、被調査者が調査へ主体的に関与することになり、生き生きとした個人の意見を表明することができる。ところがこのような面接調査を多数の個人に実施することは難しく、また、多数の面接結果を集計・整理することにも難点が多い。

もう1つ考えられるのは、オープン・エンドの質問紙である。つまり、選択肢を設けずに、質問に対する回答を被調査者が自分自身の言葉で記述できるようにした質問紙である。このような技法ならば、選択肢法ほどではないにしても、ある程度の数のデータを収集・分析することも可能である。さらに、投影的な技法を用いることにより、被調査者が防衛的にならないようにすることもできる。例えば、文章完成法テスト(SCT)では、直接的に質問文を示すのではなく、何らかの刺激文を示して、その後に自由に思い付くことを記述させて、文章を完成させる。刺激文として調査内容に関係するキーワードを示すことにより、被調査者が“ホンネ”をのぞかせることも期待できる。ただし、直接的な質問文ではないので、調査者の意図とは異なる反応が得られる可能性もある。また、分析にはかなりの時間と手間を要する。

このように、選択肢法による質問紙調査、面接調査、オープン・エンドの質問紙、SCTは、それぞれ長所と短所を持ち合わせている。そこで、われわれは、調査において1つの技法だけを用いるのではなく、複数の技法を組合せて、それぞれの

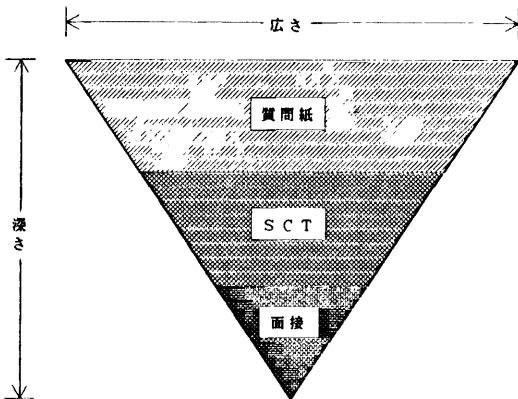


図 II-3 重層的調査技法の施行

短所を補うことを考えた。具体的には、図 II-3 に示したように、重層的に調査技法を施行することにした。まず、質問紙をなるべく広い層の個人に実施し、その内の一部の個人には SCT も実施する。そして、SCT を実施した者の一部にさらに面接調査を実施するのである。このように調査技法を組合せて用いることにより、広い層の個人の態度と、個人の“ホンネ”に近い態度を把握することが可能となる。

次節以降では、質問紙、SCT、面接の方法について具体的に述べる。

2. 質問紙

前節でも述べたように、われわれの調査における質問紙の役割は、調査内容について、より多くの個人、より広い層の個人の態度を把握することにある。そのために、われわれは選択肢法を採用することにした。現在のようにアンケート調査が一般的な状況においては、選択肢式の調査に対して被調査者の抵抗は少なく、また、選択肢法は、大量のデータの集計も可能である。しかし、選択肢法の質問紙を用いると言っても検討すべき問題がいくつか残っている。その1つは、具体的にどのように質問紙を作成するかということである。もう1つは、質問紙の施行方法、具体的には質問紙の配布と回収方法の問題である。

まず、質問紙の作成については、調査内容と密接に結び付いた問題であり、それについては前節

で述べた。そこでここでは、主に質問紙の形式的な側面について触れることにする。まず、第1に質問の数とそれに対する選択肢の数を決定する必要がある。調査を行なう立場からは、なるべく多くの質問を入れて、詳しい調査結果を得たいと考える。一方、被調査者の立場から見れば、質問の数の多い調査は面倒なものであり、できれば拒否したくなる。つまり、この2つの間のバランスをどこでとるかということが問題となる。選択肢の数については、多くすることによって微妙な態度の違いを把握することが可能となるが、質問全体としては煩雑になり、調査結果も曖昧になりやすい。これらの問題は、単純に決定できるものではないため、予備調査を実施し、その結果を考慮して最終的に決定することにした。

なお、原則としては選択肢法を用いることにしたが、被調査者の反応が多様であると予想されるものについては、選択肢「その他」の後に（ ）を設けて、自由に記述できるようにした。また、特に被調査者の自発的な反応が見たい質問では、選択肢を設けずオープン・エンドの形式をとった。

施行方法については、調査対象者や調査地域をどうするかによって大きく異なる。この調査では、全国規模に近いものとなるが、全国的なサンプリングは、様々な制約条件から実施不可能と判断した。そこで、ある程度全国的な意見が反映されるように、いくつかの調査地域を選択し、各地域の調査協力者が質問紙を配布するという方法をとることにした。原則として、調査協力者が被調査者に直接配布し、その際口頭で依頼と教示を行なう。回収方法は、調査協力者が直接回収してまとめて返送するという方法と、被調査者が個々に返送するという方法をとることにした。

3. SCT (文章完成法テスト)

SCT (文章完成法テスト) は、パーソナリティ診断などに広く用いられている技法である。これは、基本的には、書きかけの文章を呈示し、被検査者がそれを完成するというものである。今回の調査における SCT の役割は、質問紙では捉えき

れない被調査者の“生”の声を聞くことである。具体的には、質問紙の選択肢にはない意見や態度、質問紙では答えにくい意見などを SCT で補足し、より厚みのある調査結果を得ようということである。このような目的に合わせて SCT を作成することにしたが、実際には、著者らが長年用いている精研式 SCT (佐野・楨田, 1960) に変更を加えて用いることにした。

精研式 SCT を基本とした理由の 1 つは、それが短文形式であるためである。SCT には、大きく分けると長文形式 (long form) と、短文形式 (short form) がある。長文形式では長い刺激文を呈示する (e. g., 私は私の父に～を望む; それはばかげたことだと思うが、私は～を恐れている)。それに対し短文形式では、短い文、あるいは、節や単語を刺激文として示す (e. g., 私は～; もっともよいのは～)。

この 2 つの形式は、それぞれ長所と短所とをもっている。例えば、父親に対する態度を調べたい場合に、「私は自分の父親を～と思う」という長文形式の刺激文を示せば、質問意図が明確に伝わり、それに合った反応が得られる可能性も高くなる。また、反応の多様性が減り、分析結果も明確なものとなる。特に検査目的が狭く明確なものである場合には有効性を持つ。しかし、検査の目的が明確になることによって、被検査者が防衛的になり、自分の真意を隠す恐れもでてくる。それに対し、「私の父～」という短文形式の刺激文では、父親に対する態度を調べるという目的は明確に伝わらず、被検査者は多様な反応をすることになる。父親の職業や身体的特徴を記述する者もいれば、父親の性格を記述する者もいる。このような反応は、父親に対する態度を直接的に示したものではなく、検査者の意図に合ったものとは言えないかも知れない。しかし、このような反応の中にも父親に対する態度が示されていたり、反応の背後にある態度を感じ取ることが可能な場合もある。また、中には「[私の父]を尊敬している」とか「[私の父]が嫌いである」というように父親に対する態度を明確に示す者もいる。このような態度は自発的に示されたものであり、被検査者の真意を反映している可能性が高い。このように、短

文形式では、検査者の意図からはずれた反応が多くなったり、反応の分析にも主観的な解釈が必要となることもあるが、より被検査者の真意に近い反応が得られるという長所もある。さらに、今回の調査のように目的が漠然としたものである場合は、むしろ多様な反応が得られることが長所となり、反応の内容分析や事例分析から新たな事実が得られる可能性もある。

精研式 SCT を基本としたもう 1 つの理由は、パーソナリティ・スキームに従って刺激文が設定されており、これが、今回の調査のスキームとかなりの重なりを持っているためである。そのため、精研式 SCT の刺激文のかなりの部分をそのまま使用できることになる。具体的には、調査のスキームの自己、プライマリー・グループ、セカンダリー・グループについては、精研式 SCT の刺激文に多く含まれている。ところで、このように調査スキームとパーソナリティ・スキームが対応するという事は、ある意味で当然のことといえる。それは、「生き方」即ち“パーソナリティ”である」と言っても過言でないほど、両者は密接に関連し合っているからである。被調査者のパーソナリティを全体的に捉えることができれば、現代日本人の生き方も自ずと浮き彫りになってくるであろう。

とは言え、精研式 SCT はあくまでも個人のパーソナリティを把握するために作成されたものであり、現代の日本人を集団として理解しようという今回の調査目的とは、適合しない部分も出てくる。例えば、身体的側面や力動的側面は、個人のパーソナリティを理解する上では重要であるが、今回の調査ではあまり大きな意味を持たない。それに対し、プライマリー・グループやセカンダリー・グループに対する態度は、より大きな意味を持つことになる。従って、身体や力動についての刺激文は減らし、セカンダリー・グループに関する刺激文を追加する必要がある。また、精研式 SCT は作成されてからかなりの年月を経ており、刺激文には変更の必要のあるものもある。そこで、われわれは調査のために、精研式 SCT の 60 の刺激文のうち 10 項目に変更を加えることにした。具体的な変更点は、表 II-1 の通りである。

表 II-1 精研式 SCT から調査用 SCT への変更点

削除された刺激文	追加された刺激文
運動	私にとって大事なものは
私の顔	病気
私の服	転職
私が思いだすのは	私の家
もう一度やり直せるなら	子供
私の気持ち	同僚
家の暮らし	親戚
人々	近所づきあい
学校では	日本
自殺	天皇制

SCT の分析手続きとしては、反応の内容分析と事例分析を考えている。内容分析では、まず、地域、年齢、性別などを考慮して数百程度のSCTを抜き出し、刺激文ごとに KJ 法 (川喜田, 1967) によって反応カテゴリー (基準書) を作成する。そして、この基準書に基づいてすべての SCT の反応を分類評定し、反応頻度を算出する。このような分析によって、被調査者の“生”の声をその反応頻度とともに把握することができる。一方、事例分析では、いくつかの SCT 事例を選び出し、その反応全体から個人のパーソナリティ・スケッチを作成する。事例の選択は、上記の反応の分類評定の際に、各地域・年齢・性別で代表的あるいは特徴的な反応を選び出すことにした。このようなパーソナリティ・スケッチには各集団の被調査者の人物像が現れており、それらを総合的に見ることによって、現代の日本人像も浮かび上がってくるものと思われる。

4. 面接

面接調査の利点の1つは、被調査者の態度や意見を、被調査者との直接的な会話を通して知ることができる点である。そのため、被調査者は質問の意図が分からなければ、それを確認することができるし、被調査者の回答に疑問点があれば、それについてさらに質問をすることもできる。また場合によっては、当初の質問にはなかった点が会話の中で発展し、予想外の成果が得られることも

ある。

今回の調査では、このような利点を活かすために、質問紙と SCT で得られた結果を面接資料として被調査者に示し、それに対する意見や感想を求めることとした。このような面接を行なうことの意味の1つは、質問紙や SCT で得られた結果の裏付けを取ることができるということである。質問紙で得られた結果は、多数の被調査者の意見を反映したものであるが、皮相的なものになり易い。SCT では、質問紙よりも深みのある結果が得られるが、前節でも述べたように、調査によって知りたいことがすべて分かるとは限らない。質問紙や SCT で得られた結果を示し、被調査者の“生”の声を聞くことによって、質問紙や SCT の短所を補うことができるものと思われる。

面接のもう1つの意味は、質問紙や SCT の内容分析では軽視されがちな、一個のパーソナリティとしての被調査者を捉えることができる点である。質問紙の分析では、どうしても数量的な把握が中心となる。SCT についても、一部で事例分析を行なう予定であるが、内容分析の結果にはパーソナリティのまとまりがあまり反映されない。それに対し面接の結果は、サンプル数が少ないためもあるが、事例分析が中心となる。しかも、面接対象者は原則として質問紙と SCT にも回答しているため、これらを総合的に用いて個人を分析することも可能となる。このような事例分析を行なえば、一個のパーソナリティとしての個人が浮かびあがり、1人の個人の“生き方”も捉えられるものと思われる。

具体的な面接資料は、質問紙と SCT の分析結果がまとまった時点で検討する予定である。基本的には、被調査者の動機づけを高めるようなもの、例えば、被調査者が興味を持ちそうな結果や、解釈の時点で疑問点のある結果を中心に面接資料を構成する予定である。また、面接対象者は、居住地域や面接を行なう調査員などの問題もあるが、基本的には、SCT の反応などから調査に対する動機づけが強いと判断できる者を中心に行なう予定である。このように動機づけを重視するのは、積極的に調査に関与した被調査者の、防衛的でない意見を聞くためである。

以上のように、今回の調査では質問紙、SCT、面接という 3 つの調査技法を重層的に用いることにする。質問紙については、質問項目や選択肢に関して検討の余地が残っている。そこで次節では、このような問題を検討するために行なった予備調査について述べる。

引用文献

- 川喜田二郎 1967 発想法 中公文庫。
佐野勝男・榎田 仁 1960 精研式文章完成法テスト
解説——成人用——金子書房。

II-3. 予備調査

1. 目的

われわれは、前節までに示した調査を本格的に実施するのに先だち、より少数の被調査者を対象とした予備調査を行なうことにした。本節では、この予備調査について述べる。

予備調査の主な目的は、本調査で用いる質問紙を作成するための資料を収集することである。まず内容的な側面では、問題となる恐れのある事柄について、どこまで質問に加えることが可能かを確認することが大きな目的となる。そのような質問の 1 つは、被調査者のプライバシーに関するものである。例えば、学歴、職業、収入や、家族関係についての質問なども拒否される可能性がある。また、記名式の調査にするか否かについては特に重要な問題となる。調査内容から言えば、記名にする必要はないが、その後、SCT や面接を行なうことを考慮に入れると、被調査者の氏名や住所が必要となる。一方、記名にすることで、プライバシーに関する事柄について拒否する者が増えることも考えられる。その他に、生命倫理に関する事柄も問題となる。これは、最近注目を集めた問題であり、被調査者がどの程度の関心や知識を持っているかを確認しておく必要がある。

形式的な側面としては、本調査での質問紙の量、即ち、質問の数、選択肢の数と、個々の質問のワーディングを検討することが大きな目的となる。質問紙の量については、回答に要する時間と

も関連する。そこで、予備調査の質問紙では、最後に回答所要時間を聞くことにした。また、各質問の選択肢の数については、回答のばらつきや拒否者の数でもある程度把握できるが、被調査者の意見を直接聞くために、やりづらかった質問の番号を挙げさせる欄と、質問紙全体に対する感想や意見を自由に記述させる欄を設けた。これらによって、内容的な側面についても、判断の材料となる情報が得られると考えられる。

2. 方法

〔質問紙〕

予備調査の質問紙は、本調査に用いる質問紙のひな型として作成された。質問紙の作成には、約 20 名のプロジェクト・チームがあたり、調査スキームを考慮して重要と思われる具体的な問題を数ヶ月にわたって検討した。さらに、統計数理研究所の「国民性調査」や NHK 放送文化研究所の「世論調査」の質問紙も参考にして、質問文と選択肢を作成した。その結果得られた予備調査の質問紙は、《I. フェイス》、《II. 自己》、《III. プライマリー・グループ》、《IV. セカンダリー・グループ》、《V. 超越者》、《VI. 質問紙に関する意見》という 6 つの部分から成り、計 74 の質問を含んでいる。具体的な質問文や選択肢は割愛するが、その概要を表 II-2 に示す。なお、質問紙は B5 版で 16 ページである。

〔調査時期・調査地域〕

予備調査は、1990 年（平成 2 年）12 月から 1991 年（平成 3 年）1 月にかけて実施された。

調査地域は、京浜地区（東京都、横浜市、川崎市）と首都圏（横浜・川崎市を除く神奈川県、埼玉県、千葉県）、関東近郊（群馬県、茨城県、栃木県）を中心に行なわれた。また、地方のデータも必要なため、福島県福島市と石川県小松市などでも調査を行なった。それ以外の地方においても少数のデータを収集した。

〔質問紙の配布・回収方法〕

配布には各地域の調査協力者があたった。質問

表 II-2 予備調査質問紙の概要

	調査スキーム	質問内容	質問数
I	フェイス	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名、性別、年齢、住所。 ・未・既婚、家族構成、出身。 ・職業、学歴、収入。 	14
II	自己	<ul style="list-style-type: none"> ・生活満足度、生活目標。 ・科学技術や金銭に関する態度。 ・職業生活、職業選択、転職に関する態度。 	21
III	プライマリー・グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚、結婚の契機、離婚に関する態度。 ・女性の職業・社会参加と家庭との両立に関する態度。 ・家族観。 ・子供のしつけに関する態度。 	12
IV	セカンダリー・グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・親戚付き合いに関する態度。 ・近所付き合いに関する態度。 ・職場の人間関係に関する態度。 ・国家と個人、天皇制に関する態度。 	9
V	超越者	<ul style="list-style-type: none"> ・老後の生活、老親の世話に関する態度。 ・寝たきり老人、痴呆老人、末期ガン患者の世話・介護に関する態度。 ・尊厳死、体外授精、借り腹、産み分け、臓器移植に関する態度。 ・死後、お墓に関する態度。 ・宗教、信仰。 	14
VI	質問紙に関する意見・感想	<ul style="list-style-type: none"> ・回答所要時間。 ・やりづらい質問。 ・質問紙に関する意見・感想。 	4

計 74

表 II-3 予備調査の地域・性・年齢別の被調査者数

	全年齢			～24才			25～49才			50才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
京浜地区	235	90	145	101	29	72	86	38	48	48	23	25
首都圏	156	64	92	41	5	36	81	38	43	34	21	13
関東近郊	68	28	40	9	3	6	40	16	24	19	9	10
東北・北海道	353	111	242	133	9	124	159	61	98	61	41	20
北陸	87	31	36	28	6	20	27	15	12	14	10	4
静岡	29	8	21	12	4	8	11	2	9	6	2	4
愛知	9	5	4	1	1	-	8	4	4	-	-	-
関西	27	11	16	15	6	9	5	-	5	7	5	2
その他	10	3	7	1	-	1	5	1	4	4	2	2
計	954	351	603	339	63	276	422	175	247	183	113	80

紙は、調査協力者が被調査者に直接手渡し、その際に依頼と教示を行なった。また、一部では、質問紙を大学等の授業において学生に配布し、学生自身とその家族に回答を求めた。

回収には2つの方法がとられた。1つは、質問紙配布の際に返送用の封筒を被調査者に手渡し、回答済みの質問紙を返送させる方法である。もう1つは、配布の数日後に調査協力者が直接回収する方法で、これは主に大学等の授業において用いられた。

〔被調査者〕

上記のような手続きによって約1,800の質問紙が配布されたが、最終的に954の有効回答が得られた。回収率は約55%である。各地域の被調査者の年齢・性別の構成は表II-3の通りである。職業別に見ると、学生が31.3%、民間企業勤務が21.5%、自営業が13.9%、無職が11.7%、公務員が5.2%であった。

3. 結果と考察

調査スキームに従って結果を検討して行くことにする。まず、《I. フェイス》の質問から見る。予備調査では、質問紙の一番最初に記名欄を設けたが、記名されている割合は49.0%であった。つまり、過半数の被調査者は名前を記入しなかったことになる。質問紙での教示が「もし差し支えなければ、お名前をご記入下さい」という柔らかいものであるためかも知れないが、記名率は高いとは言えない。中には、当初記名されていたにもかかわらず、後で消された形跡のあるものもある。これは、他の質問をやった後で消したとも考えられる。以上のような結果を見ると、被調査者は、記名に対してかなり強い抵抗感を持っていると考えられる。

収入については、個人収入と家族全体の収入を聞いている。これらの質問に対する「無回答」の割合を見ると、個人収入が13.8%、家族全体の収入が21.5%であった。また、“やりづらい質問”として個人収入を挙げている者は4.6%、家族全体の収入を挙げている者は6.9%であった。質問

紙に対する感想・意見の欄には、家族全体の収入がやりづらい理由として、「よく知らないから」というものが多く見られた。いずれにしても、収入については《I. フェイス》の中で最も拒否の多い質問であり、再検討の余地がある。

《II. 自己》には、オープン・エンドの質問として、「あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。何でもかまいませんので自由に書いて下さい」という質問がある。回答をすべて書き抜いて整理した結果、予想外に回答のバリエーションが少なかった。これは、調査結果としては面白味が少ないとも言えるが、分析を行なう上では本調査において数千の回答を分析することも不可能ではないことを示唆している。また、回答内容を見ると、地域、年齢、性別との間にある程度の関連が認められた。そういう意味では、分析には手間が掛かるが、本調査に採用する意味のある質問と考えられる。

《II. 自己》のそれ以外の質問は、「無回答」の割合や“やりづらい質問”として挙げられる割合が比較的低い。ただし、転職に関する態度を聞いた質問では、「無回答」が5.7%であった。これは、転職が大学生や主婦などの現在職業に就いてない被調査者にとって現実感のない質問であること、選択肢の数が他に較べて多かったことが要因として働いているものと思われる。特に、選択肢のそれぞれに条件が付いているため、長く複雑な文になり、被調査者が煩雑な印象を受けた可能性が高い。

《III. プライマリー・グループ》には、「無回答」や“やりづらい質問”の割合が高い質問が多い。その原因は、既婚者を対象とした質問が多いことにある。結婚の契機や結婚生活の実体を聞いているものを除いても、未婚者には現実感が希薄なものが多い。それに対し、家庭や家族に関するより一般的な問題についての質問は少ない。もちろん、結婚に関する質問も重要ではあるが、家庭生活は個人の生き方とも大きく関わる問題でもあるため、質問項目の大幅な再検討が必要と思われる。

《IV. セカンダリー・グループ》では、国家と個人の問題や天皇制に関する質問を“やりづらい質問”として挙げる者が多かった。この結果は、

ある意味で時代を反映したものと言えるかも知れないが、質問文や選択肢が抽象的すぎた可能性もある。このような問題を扱う時にはどうしても抽象的になりがちであるが、被調査者が回答し易いような工夫も必要であろう。

その他に《IV. セカンダリー・グループ》では、職場の人間関係を聞いている質問と、最も大切な人間関係を、「親戚」、「近所の人」、「職場の同僚」、「学校時代の友人」、「サークルや趣味の仲間」の中から1つ選ばせる質問において、「無回答」の割合が高い。前者については就職していない被調査者のためと考えられるが、後者についてはそれが理由とは思われない。自分を取り巻く人間関係を“天秤にかける”ことを被調査者が嫌ったとも考えられるが、“やりづらい質問”として挙げている者は少ないため、明確な理由は分からない。

《V. 超越者》では、「無回答」の割合の高い質問は比較的少ないが、“やりづらい質問”とされる質問が多い。最もその頻度が高かったのは、末期ガン患者の介護をどうすべきかを聞いた質問で、10.1%の被調査者がこの質問を挙げている。その他に、尊厳死、産み分け、脳死、臓器移植といった生命倫理に関する質問の頻度が高い。これらは、現在注目を集めている問題であり、世論が必ずしも1つの方向に定まっているとは言えない問題である。そういう意味では、「やりづらい」問題とされるのはやむを得ないと思われる。しかし、被調査者が、なるべく公正に判断できるような配慮が必要と思われる。

最後に《VI. 質問紙に関する意見・感想》の結果を見ると、回答に要した時間は、「20～30分くらい」が42.8%で最も多く、次いで「20分以内」の32.0%であった。それに対し「40分以上」は5.9%で最も少なかった。この結果は、われわれが予想していた所要時間とほぼ一致しており、この程度の量ならば本調査も実施可能と言える。一方、やりづらい質問があったかどうかを聞いた質問では、「特にない」が39.5%、「ちょっとやりづらい質問があった」が47.3%であった。また、被調査者がやりづらい質問として挙げた質問の数は、無しが52.0%、1～5問が30.4%、6～10問が12.5%であった。これらの結果を見ると、確

かにやりづらい質問はあるが、数はそれほど多くないことが分かる。

質問紙に関する意見・感想として書かれた内容を見ると、特に、多いのは「選択肢が少なすぎてあてはまるものがない」という意見である。これを解決するには、より多くの選択肢を設けることも考えられるが、そうすることによって質問が煩雑になり、かえって抵抗感が増す恐れもある。この問題は選択技法を用いた場合、必ずと言ってもいいほど起こる問題で、選択技法の短所とも言える。しかし、本調査においては、SCTや面接によって、ある程度この短所を補えるのではないかと考えられる。

全体的な感想としては、「調査の意図がわからない」、「このような調査には意味がない」といった否定的な感想もあるが、その一方で、「この調査は興味深い」、「あらためて自分自身を見直すいい機会になった」といった肯定的なものもかなりあった。調査意図がわかりにくい理由の1つは、質問が広い範囲に及んでいるためとも考えられる。これは調査目的から見ればやむを得ないところもあるが、質問紙の構成を明確にすることで、ある程度は解決できるかも知れない。

4. 本調査に向けての提言

ここでは、以上のような予備調査の結果から、本調査へ向けてのいくつかの提言をしてみたい。内容的な側面では、まず、プライマリー・グループ、即ち、家族・家庭についての質問に検討の余地がある。予備調査の質問紙では、プライマリー・グループの質問には、一部の被調査者だけを対象とした質問や一部の者にはあまり現実感のない質問が多く含まれていた。例えば、女性と職業との関係についての質問などである。家族・家庭のあり方に対して、女性の就職が非常に大きな影響を及ぼすことは確実であり、家族・家庭を考える上で、現在最も重要な問題の1つと言える。しかしそれ以外に、高齢化社会における家族の問題も深刻になりつつある。また、質問紙でどこまで可能かは別として、「家族とは何か、家庭とは何か」という根本的な疑問にも答えていく必要があ

る。このようなことを考えると、より広い視点から質問を設定する必要があるように思われる。

超越者、特に、生命倫理に関しては、関連する話題が毎日のようにマスコミで騒がれており、日々情勢が変化しているという状況である。そのため被調査者の知識も増えつつあるが、その知識の量には個人差も大きい。このような状況で調査を行なうためには、まず、詳しい知識を持たない被調査者に、適切な知識を与える必要がある。形式的には、質問文の中で必要な情報を与えることも考えられるが、それには必ずと限界がある。というのは、質問文が長くなったり、回答に何らかのバイアスを与える恐れもあるからである。できれば、質問文とは独立した形で適切な情報を供給することが望ましい。例えば、質問文とは別のページに“註”として示すことも考えられる。

最後に記名の問題であるが、予備調査の結果を見ると、できれば無記名にする方が望ましい。しかしながら、質問紙の後に SCT と面接を施行するためには、記名はどうしても必要となる。そこで考えられるのは、なるべく被調査者に記名式である印象を与えないようにすることである。例えば、記名欄の位置を工夫し、質問紙の回答内容の匿名性をなるべく保証するようにすることが考えられる。

II-4. 調査計画

1. 調査内容

今回の調査は、現代日本人の生き方を探ることを目的としている。われわれは、調査技法の節でも述べたように、質問紙、SCT、面接の3つの技法を重層的に用いて調査を行なうことにした。ここでは、それぞれの調査技法の内容について具体的に述べる。

[質問紙]

質問紙については、前節で述べた予備調査を通じて内容の検討を行ってきた。その結果作成された質問紙は巻末資料1に掲載されているが、その概要を表 II-4 に示す。質問紙は、予備調査の

74項目から52項目へとかなり少なくなっているが、質問紙のボリュームは予備調査と同じく16ページとなっている。また、質問紙は、予備調査とはほぼ同様に、調査スキームに従って構成されている。

質問数が減っている理由は、予備調査にあった質問紙に対する意見・感想についての質問を削除したことと、1つのテーマに対する質問の数を絞り込んだためである。特に、《自己》の生活態度、生活目標や《プライマリー・グループ》の女性の職業、家事、育児などに関する質問は減少している。一方、《プライマリー・グループ》では、予備調査では《超越者》に含められていた老後の問題などを含めて、より広く家族・家庭を捉えられるように配慮した。

質問の数を減らすことによってできたスペースは、“註”にあてることにした。今回の調査のような内容については状況の変化が激しく、すべての被調査者が正しい情報を持っているとは言えない。そこで、あまり一般的とは言えないが、註を設けて、なるべく正確な情報を被調査者に示すことにした。このようにすることで、被調査者はより公平な視点から判断できるようになると思われる。もちろん、註によって判断に特殊なバイアスがかかることのないように配慮した。

[SCT]

SCT（文章完成法テスト）は、調査技法の章で示したように、精研式 SCT の刺激文を一部変更して用いることにした。SCT の用紙は、巻末資料2に掲載されているが、表 II-5 は、本調査で用いる SCT の刺激文を調査スキームに従って示したものである。《自己》の刺激文が多いのは、精研式 SCT がパーソナリティ診断を目的として作られており、それに関する刺激文に《自己》に関するものが多いためである。この分類は刺激文が狙っている対象に従ったものであるが、反応は必ずしも狙った対象に関するものとは限らない。特に、《自己》の刺激文には、他の領域とも関連するものが多い。例えば、Part I の 27 番の「私にとって大事なものは」という刺激文では、その個人にとって何が重要であるかという、自己の最も中

表 II-4 本調査質問紙の概要

	調査スキーム	質問内容	質問数
I	フェイス	<ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、住所、出身、学歴。 ・未・既婚、家族構成。 ・職業、収入。 	12
II	自己	<ul style="list-style-type: none"> ・生活満足度、生活目標。 ・科学技術や環境問題に関する態度。 ・自分にとって大切なもの。 ・職業生活に関する態度。 ・転職経験、転職に関する態度。 	12
III	プライマリ・グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚、同棲、性交渉に関する態度。 ・結婚と子供の有無の問題に関する態度。 ・女性の職業と家事・育児に関する態度。 ・家庭観、家族観。 ・離婚に関する態度。 ・老後問題、寝たきり老人に関する態度。 ・ガンの告知、末期ガン患者に関する態度。 	15
IV	セカンダリー・グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・親戚付き合いに関する態度。 ・近所付き合いに関する態度。 ・職場の人間関係に関する態度。 ・日本、天皇制に関する態度。 	6
V	超越者	<ul style="list-style-type: none"> ・産み分けに関する態度。 ・臓器移植、臓器提供に関する態度。 ・尊厳死に関する態度。 ・死後、お墓に関する態度。 ・宗教、信仰。 	7

計 52

心的なものを狙ったものである。しかし、実際の反応には「家族」、「友人」、「命」などといった反応が得られると予想され、《自己》と《プライマリ・グループ》、《セカンダリー・グループ》、《超越者》との関連が現れてくるものと思われる。従って、調査スキームにあわせた刺激文の分類は、あくまでも便宜的な分類であり、反応の分析結果からは、より広い領域についての知見が得られるものと期待できる。

用意して、それに対する賛成・反対を聞くのではなく、質問紙や SCT の分析結果を面接資料として呈示し、それに対する意見、感想、解釈などを自由に話させるという手続きをとることにした。具体的な面接資料は、質問紙と SCT の分析結果がある程度まとまった時点で、解釈の難しい結果や被調査者が興味を持ちそうな結果を中心に構成する予定である。

2. 調査方法

【面接】

面接は、質問紙と SCT で得られた結果を補足し、より深みのある調査結果を得ることを目的としている。特に、被調査者の“生”の声を聞くことに焦点をあて、被調査者がなるべく自由に発言できるようにした。そのため、明確な質問項目を

【調査手続き】

調査では、上記の 3 つの技法を重層的に用いる。具体的には、なるべく広い範囲の多くの個人に質問紙を施行し、そのうちの一部に SCT を施行する。さらに、SCT を施行した個人の一部に

表 II-5 SCT の刺激文

	調査スキーム	刺 激 文		刺激 文数
		Part I	Part II	
I	自己	1 子供の賢い、私は 2 私はよく人から 4 私の失敗 6 私が得意になるのは 7 争い 8 私が知りたいことは 10 私がきらいなのは 14 私ができないことは 16 将来 19 私がひそかに 22 時々私は 23 私が心ひかれるのは 24 私の不平は 27 私にとって大事なのは 28 今までは	2 私を不安にするのは 4 私はよく 6 もし私が 10 私の眠り 13 私が好きなのは 15 私の頭脳 16 金 17 私の野心 19 調子のよい時 21 私が残念なのは 22 大部分の時間を 25 どうしても私は 27 私が羨ましいのは 29 私が努力しているのは 30 私が忘れられないのは	30
II	プライマリー・ グループ	3 私の家 5 家の人を私は 9 私の父 17 もし私の母が 21 夫 25 私の兄弟(姉妹)	1 家では 5 子供 7 私の母 11 もし私の父が 12 同僚 18 妻 23 結婚 28 家の人	14
III	セカンダリー・ グループ	11 親戚 13 世の中 15 恋愛 18 仕事 20 近所づきあい 26 職場 29 女 30 日本	3 友だち 8 転職 9 男 24 天皇制	12
IV	超越者	12 死	14 病気 20 私の健康 28 年をとった時	4

計 60

対し面接調査を行なうことにした。

まず、質問紙については、様々な制約条件から、体系的なサンプリングを行なうことができないと判断した。そこで、各調査地域の調査協力者を通じて、質問紙を配布することにした。質問紙の回収には2つの方法がとられ、1つは調査協力者が回収し、返送するというものである。これは、大学の授業等で学生に配布する場合に用いられ、学

生は両親等の年長者に質問紙を配布し、自分自身の質問紙とともに提出するよう求められた。もう1つは質問紙とともに返送用の封筒を配布し、それによって被調査者が直接返送するというものである。

質問紙は、無記名としたが、返送用封筒には住所と氏名の記入欄を設け、「質問紙の後に SCT をやってもよい」という被調査者は住所・氏名を記

入するよう求めた。返送用封筒を配布しなかった者についても、「SCT をやってもよい」という者には、質問紙の空白部分に住所・氏名を記入させることにした。なお、原則として住所・氏名を記入した者すべてに謝礼として500円のテレホンカードを送付する旨を告げたが、大学等での配布においては、質問紙に対しては謝礼は出さず、第2次調査にあたるSCTに回答した者に謝礼を出すことを告げた。

質問紙に対する謝礼は、質問紙の配布時にそのように教示した者のうち、住所・氏名が分かっている者すべてに送付した。謝礼が必要かどうかは、質問紙の返送用封筒によって識別できるようになっている。ただし、SCTを施行する者に対しては、SCT用紙を同時に送付した。

SCTは、質問紙に回答した者のうち住所・氏名の分かっている者の中から、地域、性別、年齢を考慮して郵送で配布した。その際、SCTの用紙のほかに、質問紙調査に対する礼状とSCTの依頼状、SCT返送用の封筒を同封した（謝礼が必要な場合は謝礼も同封した）。なお、SCTの依頼状には、返送用封筒に住所・氏名を記入してSCTを返送した者すべてに、謝礼として500円のテレホンカードを郵送する旨を記した。返送されたSCTのうち、住所・氏名の記入があるものは、被調査者に謝礼を送付し、SCTの用紙自体は質問紙と可能な限り対応をとった。

面接については、SCTの回答者のうち、住所・氏名が分かっている者の中から、地域、年齢、性別等を考慮して対象者を選定する予定である。具体的な依頼方法、面接手続き等は、面接資料を作成した時点で改めて決定することになっている。

[調査地域・被調査者数]

この調査は、日本人の生き方を探ることを目的としている。従って、全国調査を行なうことが本来望ましいが、予算や調査協力者などの条件から全国調査は難しいと判断し、東日本に焦点を絞って調査を行なうことにした。具体的な調査地域は、地域性や調査協力者などの条件を考慮して、京浜地区（東京都、横浜市、川崎市）、首都圏（横浜・川崎を除く神奈川県、埼玉県、千葉県）、関東

表 II-6 質問紙とSCTの配布・回収
予定数

調査地域	質問紙		SCT	
	配布	回収	配布	回収
京浜地区	3,500	1,000	850	250
首都圏	2,000	650	450	150
関東地方	1,300	450	300	100
東海地方	3,100	1,000	600	200
北陸地方	1,300	450	250	100
東北地方	1,300	450	250	100
計	12,500	4,000	2,500	900

地方（栃木県、茨城県、群馬県）、東海・中部地方、北陸地方、東北地方とした。計画の時点での各地域の質問紙とSCTの配布及び回収の予定数は、表II-6の通りである。この表の数値は、あくまでも予定で、種々の条件により変更されうる。被調査者の性別については、男女をなるべく同数にすることを目標とした。年齢については、なるべく広い層の個人のデータをとることが望ましいため、原則として18才以上として、上限は設けなかった。また、高齢者のデータは不足することが予想されるため、なるべく高齢者のデータを収集するよう心がけた。

[調査時期]

質問紙の配布は、1991年（平成3年）の5月から6月にかけて行なった。SCTの配布は、質問紙の回収後に行なわれるため、同年の6月から8月にかけて行なった。なお、SCTの回収は、同年9月まで行なわれた。

面接については、当初1991年の秋に行なり予定であったが、SCTの回収が遅れ、調査結果が出るのも遅れたため、質問紙とSCTの一応の分析結果のまとまる1992年の秋まで繰り越すことにした。

3. 分析手続き

得られたデータは、大きく分けて2つの方向で分析を行なう。1つは数量的な把握を目指すものである。これは、多くの個人のデータを数量的・統計的に分析し、地域性、性、年齢なども考慮した一般的な傾向を導き出すことを目的としている。もう1つは事例分析である。これは、被調査者の“生”の声から、その個人の生き方をなるべく包括的に理解しようとするものである。そして、このような事例分析の積み重ねから、現代の日本人の生き方を捉えることを目指している。以下、この2つの分析手続きについて具体的に述べる。

[数量的把握]

今回の質問紙においては、ほとんどの質問が選択肢法であるため、まず、結果の基本的な集計が行なわれる。基本的な集計では、被調査者の居住地、年齢、性別を基本的な要因として、各質問の回答頻度を分析する。つまり、各要因による回答頻度の違いや、要因間の相互作用による回答頻度の違いが分析される。このような分析を通じて、地域性、年齢・世代、性による態度や生き方の違いが把握できる。さらに、このような要因にあまり影響されないもの、即ち、現代の日本人に共通する態度や生き方も現れてくるものと思われる。また、質問間の相関関係は、クロス集計や多変量解析によって分析される。このような相関関係の分析から、日本人の生き方が構造的に理解されるものと思われる。

一方、質問紙には選択肢法以外の質問も若干含まれている。1つは、「あなたにとって1番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。何でもかまいませんので自由に書いて下さい」というものである。この質問の場合、直接的に数量的な分析を行なうことはできない。そこで、回答をKJ法によって内容分析し、その結果に基づき回答のカテゴリーを作成する。そして、各カテゴリーごとの回答頻度を算出するという手続きをとる。このような手続きにより、回答内容

の質的な把握が可能になるとともに、選択肢法と同様の数量的な把握も可能となる。その他に、選択肢の「その他」の後に()を設けてある質問がある。このような質問の場合、どのくらい頻度で()内に記述されているかにもよるが、記述内容の内容分析が必要となる。

SCTについても、数量的な分析が行なわれる。手続きとしては、まず、刺激文ごとにKJ法による反応の内容分析を行なう。つまり、意味内容の類似した反応をまとめて、反応のクラスターを作る。このように反応をまとめることで、SCTで得られた反応の全体像が、被調査者の“生”の声に近い形で把握できる。さらにそのクラスターを反応カテゴリーとして反応頻度の分析を行なうことで、数量的な把握も可能となる。

[事例分析]

SCTの分析では、本来、個人の反応を全体的に読んで、個人像を把握するという方法がとられる。被調査者の60の刺激文に対するそれぞれの反応は、自分のパーソナリティ、態度、生き方などを断片的に示している。それらの断片的な情報を有機的に総合することによって、個人の姿が浮かんでくる。地域、年齢、性別ごとに、このような個人像を積み重ねることにより、地域性、世代差、性差なども自ずと現れてくる。さらに、これらの全体からは、現代の日本人の生き方も把握できるものと思われる。

しかし、SCTだけから理解できる個人像には限界がある。より深く個人を理解するためには、SCT以外の情報も必要となる。幸いにも、SCTに回答した被調査者は、原則として質問紙にも回答している。従って、場合によってはSCTから得られた個人像を補足することも可能である。ただし、質問紙には被調査者の“生”の声はほとんど現れていない。それに対し面接では、より自然な形で被調査者の声を聞くことができる。従って最終的には、SCTと面接の結果を総合的に分析し、より包括的に個人の姿を捉えることにする。

以上のような手続きで分析した結果を次章以降で示していく。ただし本号では、質問紙の基礎的

な集計結果を示すにとどめる。質問紙のより詳細な分析結果，SCT の内容分析の結果，事例分析

の結果については，次号の「組織行動研究，No. 23」に掲載する予定である。

III

調査の結果 (1)

1. 質問紙の基礎的な集計結果	49
1. 集計方法	49
2. 集計結果	50

III-1. 質問紙の基礎的な集計結果

1. 集計方法

【回収率・有効回答率】

質問紙は、調査計画に従い東日本の各地域において計 22,500 部配布された。そのうち回収されたものは 7,478 部で、回収率は 59.8% である。この中から、性別、年齢、居住地域のいずれかが不明のものと、無回答あるいは無効回答 (e.g., 1つの選択肢を選択すべき質問で複数を選択しているもの) が5答以上あるものは、無効データとして分析から除外した。その結果、有効データ数は7,133 となり、有効回答率は 57.1% となる。

【被調査者数】

分析の対象となった被調査者の年齢構成は、表 III-1 に示された通りである。これを見ると 19~22 歳が最も多く、約 1/3 を占めている。これは、大学の授業において質問紙の配布が行なわれた場合が多かったためである。一方、60 歳以上は全体の 4.8% と少なくなっている。全体の性別構成を

見ると、男性が 38.0%、女性が 62.0% となっており、かなり女性に偏っている。

被調査者の居住地域を都道府県別に見ると、表 III-2 のようになる。最も多いのは東京都で、全体の 23.8% を占めており、ついで神奈川県 14.7% となっている。これは、京浜地区にかなり重点をおいてデータ収集を行なったためである。

表 III-1 年齢別被調査者数

年 齢	男 性		女 性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
~18	258	9.5	507	11.5	765	10.7
19~22	877	32.3	1,612	36.5	2,489	34.9
23~24	87	3.2	85	1.9	172	2.4
25~29	104	3.8	205	4.6	309	4.3
30~34	180	5.9	245	5.5	405	5.7
35~39	130	4.8	259	5.9	389	5.5
40~44	231	8.5	583	13.2	814	11.4
45~49	345	12.7	447	10.1	792	11.1
50~54	228	8.4	219	5.0	447	6.3
55~59	98	3.5	112	2.5	208	2.9
60~64	72	2.7	59	1.3	131	1.8
65~69	58	2.1	53	1.2	109	1.5
70~74	27	1.0	19	0.4	46	0.6
75~79	21	0.8	12	0.3	33	0.5
80~	21	0.8	3	0.1	24	0.3
計	2,713	100.0	4,420	100.0	7,133	100.0

表 III-2 居住地域別被調査者数

居住地域	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
北海道	11	0.4	9	0.2	20	0.3
青森県	6	0.2	67	1.5	73	1.0
岩手県	24	0.9	179	4.0	203	2.8
宮城県	104	3.8	231	5.2	335	4.7
秋田県	15	0.6	29	0.7	44	0.6
山形県	8	0.3	39	0.9	47	0.7
福島県	15	0.6	407	9.2	422	5.9
茨城県	175	6.5	252	5.7	427	6.0
栃木県	32	1.2	239	5.4	271	3.8
群馬県	31	1.1	55	1.2	86	1.2
埼玉県	272	10.0	270	6.1	542	7.8
千葉県	286	10.5	281	6.4	567	7.9
東京都	758	27.9	939	21.2	1,697	23.8
神奈川県	404	14.9	641	14.5	1,045	14.7
新潟県	10	0.4	65	1.5	75	1.1
富山県	34	1.3	61	1.4	95	1.3
石川県	284	10.5	338	7.6	622	8.7
福井県	23	0.8	43	1.0	66	0.9
山梨県	8	0.3	5	0.1	13	0.2
長野県	11	0.4	13	0.3	24	0.3
岐阜県	9	0.3	16	0.4	25	0.4
静岡県	72	2.7	98	2.2	170	2.4
愛知県	53	2.0	85	1.9	138	1.9
三重県	12	0.4	23	0.5	35	0.5
その他	58	2.1	35	0.8	91	1.3
計	2,713	100.0	4,420	100.0	7,133	100.0

また、データ数にはかなり偏りがあるものの、データは東日本全域に及んでいる。ただし、計画時点で調査地域とされていなかった地域も若干含まれている。

調査計画と性、年齢、地域別の被調査者の構成の両者を考慮して、分析に用いる被調査者の区分を決定した。これに基づいて被調査者数を示したものが表 III-3 である。年齢については、24 歳以下、25～34 歳、35～44 歳、45～54 歳、55 歳以上の 5 つに区分した。居住地域については、京浜地区（東京都、横浜市、川崎市）、首都圏（横浜・川崎以外の神奈川県、埼玉県、千葉県）、関東・中部（茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、その他）、東北・北陸（北海道、東北地方、北陸地方）の 4 つに区分した。原則として、性、年齢、地域の 3 つの要因で分類された各セルの被調査者数が 50 名を超えるように区分することにしたが、一部のセルで

表 III-3 年齢・居住地域別被験者数

居住地域	性別	年 齢					計
		～24	25～34	35～44	45～54	55～	
京浜	男性	540	126	107	112	74	959
	女性	609	204	210	167	85	1,275
	計	1,149	330	317	279	159	2,234
首都圏	男性	413	49	68	150	81	761
	女性	394	75	167	170	50	856
	計	807	124	235	320	131	1,617
関東・中部	男性	147	46	87	132	47	459
	女性	503	40	137	108	33	821
	計	650	86	224	240	80	1,280
東北・北陸	男性	122	43	99	179	91	534
	女性	698	131	328	221	90	1,468
	計	820	174	427	400	181	2,002
計	男性	1,222	264	361	573	293	2,713
	女性	2,204	450	842	666	258	4,420
	計	3,426	714	1,203	1,239	551	7,133

はこの基準が満たされていない。

[集計方法]

基礎的な集計では、性別、年齢、居住地域を要因として、原則としてすべての質問の回答構成比（百分率）を算出した。ただし、性別、年齢、居住地域についての質問と、オープンエンドの質問（II-4）は除外した。また、無回答と無効回答は“DK”として集計した。次節の集計結果では、集計表の上に質問文と選択肢がそれぞれ示されている。集計表の各セルには、3つの要因で分類された集団における回答分布が百分率で示されており、セル内の数値の和は 100 となる。ただし、複数回答を許す質問（I-8 と V-7）には“*”が示されており、これらにおいて数値の和は 100 とならない。また、集計表の中の“—”は該当する者が 1 人も居ないことを示しており、“0.0”とは区別されている。

2. 集計結果

ここには、前節で挙げた 4 つの質問（I-1, I-2, I-3, II-4）を除く、質問紙のすべての質問の質問文、選択肢、集計表を掲載する。

I-4 あなたは義務教育終了の頃、どこに住んでおられましたか。

都道府県 市郡区 市

I-4	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
全地域																			京浜	20.7	22.3	19.7	20.0	25.4	17.0	30.0	26.9	31.8	19.8	20.2	19.6	17.4	15.0	19.4	22.7	22.2	23.3	首都圏	15.4	19.1	13.0	20.7	29.6	15.7	13.9	11.7	15.1	8.6	8.3	8.8	11.4	12.7	10.2	7.8	7.8	7.8	関東	10.6	8.9	11.7	12.5	7.9	15.1	6.2	5.3	6.7	9.2	11.1	8.4	9.6	10.8	8.6	10.0	9.9	10.1	中部	9.8	11.6	8.8	9.8	10.6	9.4	9.4	13.6	6.9	9.1	11.6	8.0	11.2	13.1	9.6	9.4	11.3	7.4	北海道	1.8	2.4	1.5	1.5	2.1	1.2	1.5	3.0	0.7	2.6	4.4	1.8	1.9	1.6	2.3	1.8	1.7	1.9	東北	18.4	9.3	24.0	18.8	5.3	26.2	16.3	9.9	20.0	19.2	11.9	22.3	16.6	11.7	20.9	20.9	17.4	24.8	北陸	12.8	13.1	12.7	9.2	8.6	9.6	7.8	7.6	8.0	18.2	15.5	19.4	20.3	22.2	18.6	13.4	16.4	10.1	近畿	2.7	3.3	2.3	1.8	2.5	1.3	4.3	6.4	3.1	4.0	5.5	3.3	3.1	2.8	3.3	3.3	2.4	4.3	中国	2.2	2.8	1.8	1.6	2.3	1.2	3.4	5.3	2.2	2.6	3.3	2.3	2.7	3.1	2.3	2.2	1.7	2.7	四国	0.9	1.0	0.9	0.7	0.6	0.7	1.1	1.5	0.9	1.3	1.7	1.1	1.0	0.9	1.2	1.3	1.7	0.8	九州	3.6	4.8	2.8	2.4	3.4	1.8	4.9	7.2	3.6	5.2	6.1	4.8	4.4	5.4	3.6	4.0	5.1	2.7	海外	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	0.4	0.8	0.8	0.9	0.1	—	0.1	—	—	—	3.1	2.4	3.9	DK	0.6	0.9	0.3	0.8	1.4	0.4	0.4	0.8	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.7	0.2	0.2	—	0.4	京浜																			京浜	52.8	52.0	53.3	56.7	55.0	58.3	54.2	50.0	56.9	46.4	47.7	45.7	45.9	51.8	41.9	45.9	40.5	50.6	首都圏	5.9	5.6	6.0	5.0	5.7	4.3	7.9	5.6	9.3	6.3	3.7	7.6	6.8	8.0	6.0	5.7	4.1	7.1	関東	4.4	4.0	4.8	5.5	4.8	6.1	1.8	0.8	2.5	4.7	3.7	5.2	3.2	4.5	2.4	3.8	2.7	4.7	中部	9.4	11.6	7.8	8.7	9.8	7.7	8.8	11.9	6.9	10.4	17.8	6.7	10.4	10.7	10.2	12.6	16.2	9.4	北海道	2.6	2.7	2.6	2.6	2.2	3.0	2.1	4.8	0.5	3.8	5.6	2.9	2.2	0.9	3.0	2.5	1.4	3.5	東北	6.4	5.9	6.8	5.6	5.4	5.8	4.2	2.4	5.4	6.0	6.5	5.7	12.5	8.0	15.6	7.6	12.2	3.5	北陸	3.1	2.7	3.4	2.3	2.6	2.1	2.4	2.4	2.5	3.5	1.9	4.3	4.7	1.8	6.6	6.3	6.8	5.9	近畿	3.5	3.7	3.4	2.2	2.4	2.0	6.1	7.1	5.4	6.0	5.6	6.2	2.5	2.7	2.4	4.4	5.4	3.5	中国	3.3	3.5	3.1	3.7	4.3	3.1	3.6	4.8	2.9	3.2	1.9	3.8	2.9	2.7	3.0	1.3	—	2.3	四国	1.2	0.9	1.3	0.9	0.7	1.0	0.6	0.8	0.5	1.9	0.9	2.4	1.8	0.9	2.4	1.9	2.7	1.2	九州	5.7	5.7	5.7	5.1	5.6	4.6	6.4	6.3	6.4	7.3	4.7	8.6	6.8	7.1	6.6	4.4	5.4	3.5	海外	0.9	0.6	1.2	0.9	0.4	1.3	1.2	1.6	1.0	0.3	—	0.5	—	—	—	3.8	2.7	4.7	DK	0.7	0.9	0.5	1.0	1.1	0.8	0.6	1.6	—	0.3	—	0.5	0.4	0.9	—	—	—	—	首都圏																			京浜	12.4	8.9	15.4	2.5	1.7	3.3	15.3	12.2	17.3	24.3	17.6	27.0	20.9	12.7	28.2	28.2	29.6	26.0	首都圏	57.1	58.7	55.7	78.6	77.7	79.4	55.7	44.9	62.7	32.8	35.3	31.7	35.0	40.0	30.6	24.4	24.7	24.0	関東	4.0	3.0	4.9	3.5	2.7	4.3	3.2	2.0	4.0	4.3	2.9	4.8	5.3	4.0	6.5	4.6	3.7	6.0	中部	6.3	6.6	6.0	5.1	4.8	5.3	8.1	8.2	8.0	6.0	7.3	5.4	7.8	9.3	6.5	8.4	8.6	8.0	北海道	1.5	1.8	1.3	0.6	1.2	—	—	—	—	3.4	4.4	3.0	3.4	3.3	3.5	0.8	1.2	—	東北	6.1	7.1	5.1	2.7	3.4	2.0	3.2	8.2	—	11.5	14.7	10.2	10.3	11.3	9.4	9.2	11.1	6.0	北陸	2.7	2.0	3.4	1.9	1.5	2.3	2.4	4.1	1.3	3.4	—	4.8	4.1	2.7	5.3	3.8	3.7	4.0	近畿	2.6	2.8	2.5	1.7	1.9	1.5	4.0	8.2	1.3	3.4	7.3	1.8	2.8	2.0	3.5	4.6	1.2	10.0	中国	2.1	2.8	1.5	0.6	1.0	0.3	4.0	8.2	1.3	3.0	2.9	3.0	2.8	4.7	1.2	6.1	4.9	8.0	四国	0.7	0.8	0.7	0.3	0.2	0.3	0.8	—	1.3	1.3	2.9	0.6	1.9	2.0	1.8	—	—	—	九州	3.5	4.1	3.0	1.4	1.9	0.8	2.4	4.1	1.3	6.8	4.4	7.8	5.3	7.3	3.5	7.6	8.6	6.0	海外	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	2.5	2.0	DK	0.6	1.0	0.2	1.0	1.7	0.3	0.8	—	1.3	—	—	—	0.3	0.7	—	—	—	—
京浜	20.7	22.3	19.7	20.0	25.4	17.0	30.0	26.9	31.8	19.8	20.2	19.6	17.4	15.0	19.4	22.7	22.2	23.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
首都圏	15.4	19.1	13.0	20.7	29.6	15.7	13.9	11.7	15.1	8.6	8.3	8.8	11.4	12.7	10.2	7.8	7.8	7.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関東	10.6	8.9	11.7	12.5	7.9	15.1	6.2	5.3	6.7	9.2	11.1	8.4	9.6	10.8	8.6	10.0	9.9	10.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中部	9.8	11.6	8.8	9.8	10.6	9.4	9.4	13.6	6.9	9.1	11.6	8.0	11.2	13.1	9.6	9.4	11.3	7.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
北海道	1.8	2.4	1.5	1.5	2.1	1.2	1.5	3.0	0.7	2.6	4.4	1.8	1.9	1.6	2.3	1.8	1.7	1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
東北	18.4	9.3	24.0	18.8	5.3	26.2	16.3	9.9	20.0	19.2	11.9	22.3	16.6	11.7	20.9	20.9	17.4	24.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
北陸	12.8	13.1	12.7	9.2	8.6	9.6	7.8	7.6	8.0	18.2	15.5	19.4	20.3	22.2	18.6	13.4	16.4	10.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
近畿	2.7	3.3	2.3	1.8	2.5	1.3	4.3	6.4	3.1	4.0	5.5	3.3	3.1	2.8	3.3	3.3	2.4	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中国	2.2	2.8	1.8	1.6	2.3	1.2	3.4	5.3	2.2	2.6	3.3	2.3	2.7	3.1	2.3	2.2	1.7	2.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
四国	0.9	1.0	0.9	0.7	0.6	0.7	1.1	1.5	0.9	1.3	1.7	1.1	1.0	0.9	1.2	1.3	1.7	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
九州	3.6	4.8	2.8	2.4	3.4	1.8	4.9	7.2	3.6	5.2	6.1	4.8	4.4	5.4	3.6	4.0	5.1	2.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
海外	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	0.4	0.8	0.8	0.9	0.1	—	0.1	—	—	—	3.1	2.4	3.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
DK	0.6	0.9	0.3	0.8	1.4	0.4	0.4	0.8	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.7	0.2	0.2	—	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
京浜																			京浜	52.8	52.0	53.3	56.7	55.0	58.3	54.2	50.0	56.9	46.4	47.7	45.7	45.9	51.8	41.9	45.9	40.5	50.6	首都圏	5.9	5.6	6.0	5.0	5.7	4.3	7.9	5.6	9.3	6.3	3.7	7.6	6.8	8.0	6.0	5.7	4.1	7.1	関東	4.4	4.0	4.8	5.5	4.8	6.1	1.8	0.8	2.5	4.7	3.7	5.2	3.2	4.5	2.4	3.8	2.7	4.7	中部	9.4	11.6	7.8	8.7	9.8	7.7	8.8	11.9	6.9	10.4	17.8	6.7	10.4	10.7	10.2	12.6	16.2	9.4	北海道	2.6	2.7	2.6	2.6	2.2	3.0	2.1	4.8	0.5	3.8	5.6	2.9	2.2	0.9	3.0	2.5	1.4	3.5	東北	6.4	5.9	6.8	5.6	5.4	5.8	4.2	2.4	5.4	6.0	6.5	5.7	12.5	8.0	15.6	7.6	12.2	3.5	北陸	3.1	2.7	3.4	2.3	2.6	2.1	2.4	2.4	2.5	3.5	1.9	4.3	4.7	1.8	6.6	6.3	6.8	5.9	近畿	3.5	3.7	3.4	2.2	2.4	2.0	6.1	7.1	5.4	6.0	5.6	6.2	2.5	2.7	2.4	4.4	5.4	3.5	中国	3.3	3.5	3.1	3.7	4.3	3.1	3.6	4.8	2.9	3.2	1.9	3.8	2.9	2.7	3.0	1.3	—	2.3	四国	1.2	0.9	1.3	0.9	0.7	1.0	0.6	0.8	0.5	1.9	0.9	2.4	1.8	0.9	2.4	1.9	2.7	1.2	九州	5.7	5.7	5.7	5.1	5.6	4.6	6.4	6.3	6.4	7.3	4.7	8.6	6.8	7.1	6.6	4.4	5.4	3.5	海外	0.9	0.6	1.2	0.9	0.4	1.3	1.2	1.6	1.0	0.3	—	0.5	—	—	—	3.8	2.7	4.7	DK	0.7	0.9	0.5	1.0	1.1	0.8	0.6	1.6	—	0.3	—	0.5	0.4	0.9	—	—	—	—	首都圏																			京浜	12.4	8.9	15.4	2.5	1.7	3.3	15.3	12.2	17.3	24.3	17.6	27.0	20.9	12.7	28.2	28.2	29.6	26.0	首都圏	57.1	58.7	55.7	78.6	77.7	79.4	55.7	44.9	62.7	32.8	35.3	31.7	35.0	40.0	30.6	24.4	24.7	24.0	関東	4.0	3.0	4.9	3.5	2.7	4.3	3.2	2.0	4.0	4.3	2.9	4.8	5.3	4.0	6.5	4.6	3.7	6.0	中部	6.3	6.6	6.0	5.1	4.8	5.3	8.1	8.2	8.0	6.0	7.3	5.4	7.8	9.3	6.5	8.4	8.6	8.0	北海道	1.5	1.8	1.3	0.6	1.2	—	—	—	—	3.4	4.4	3.0	3.4	3.3	3.5	0.8	1.2	—	東北	6.1	7.1	5.1	2.7	3.4	2.0	3.2	8.2	—	11.5	14.7	10.2	10.3	11.3	9.4	9.2	11.1	6.0	北陸	2.7	2.0	3.4	1.9	1.5	2.3	2.4	4.1	1.3	3.4	—	4.8	4.1	2.7	5.3	3.8	3.7	4.0	近畿	2.6	2.8	2.5	1.7	1.9	1.5	4.0	8.2	1.3	3.4	7.3	1.8	2.8	2.0	3.5	4.6	1.2	10.0	中国	2.1	2.8	1.5	0.6	1.0	0.3	4.0	8.2	1.3	3.0	2.9	3.0	2.8	4.7	1.2	6.1	4.9	8.0	四国	0.7	0.8	0.7	0.3	0.2	0.3	0.8	—	1.3	1.3	2.9	0.6	1.9	2.0	1.8	—	—	—	九州	3.5	4.1	3.0	1.4	1.9	0.8	2.4	4.1	1.3	6.8	4.4	7.8	5.3	7.3	3.5	7.6	8.6	6.0	海外	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	2.5	2.0	DK	0.6	1.0	0.2	1.0	1.7	0.3	0.8	—	1.3	—	—	—	0.3	0.7	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																										
京浜	52.8	52.0	53.3	56.7	55.0	58.3	54.2	50.0	56.9	46.4	47.7	45.7	45.9	51.8	41.9	45.9	40.5	50.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
首都圏	5.9	5.6	6.0	5.0	5.7	4.3	7.9	5.6	9.3	6.3	3.7	7.6	6.8	8.0	6.0	5.7	4.1	7.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関東	4.4	4.0	4.8	5.5	4.8	6.1	1.8	0.8	2.5	4.7	3.7	5.2	3.2	4.5	2.4	3.8	2.7	4.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中部	9.4	11.6	7.8	8.7	9.8	7.7	8.8	11.9	6.9	10.4	17.8	6.7	10.4	10.7	10.2	12.6	16.2	9.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
北海道	2.6	2.7	2.6	2.6	2.2	3.0	2.1	4.8	0.5	3.8	5.6	2.9	2.2	0.9	3.0	2.5	1.4	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
東北	6.4	5.9	6.8	5.6	5.4	5.8	4.2	2.4	5.4	6.0	6.5	5.7	12.5	8.0	15.6	7.6	12.2	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
北陸	3.1	2.7	3.4	2.3	2.6	2.1	2.4	2.4	2.5	3.5	1.9	4.3	4.7	1.8	6.6	6.3	6.8	5.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
近畿	3.5	3.7	3.4	2.2	2.4	2.0	6.1	7.1	5.4	6.0	5.6	6.2	2.5	2.7	2.4	4.4	5.4	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中国	3.3	3.5	3.1	3.7	4.3	3.1	3.6	4.8	2.9	3.2	1.9	3.8	2.9	2.7	3.0	1.3	—	2.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
四国	1.2	0.9	1.3	0.9	0.7	1.0	0.6	0.8	0.5	1.9	0.9	2.4	1.8	0.9	2.4	1.9	2.7	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
九州	5.7	5.7	5.7	5.1	5.6	4.6	6.4	6.3	6.4	7.3	4.7	8.6	6.8	7.1	6.6	4.4	5.4	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
海外	0.9	0.6	1.2	0.9	0.4	1.3	1.2	1.6	1.0	0.3	—	0.5	—	—	—	3.8	2.7	4.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
DK	0.7	0.9	0.5	1.0	1.1	0.8	0.6	1.6	—	0.3	—	0.5	0.4	0.9	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
首都圏																			京浜	12.4	8.9	15.4	2.5	1.7	3.3	15.3	12.2	17.3	24.3	17.6	27.0	20.9	12.7	28.2	28.2	29.6	26.0	首都圏	57.1	58.7	55.7	78.6	77.7	79.4	55.7	44.9	62.7	32.8	35.3	31.7	35.0	40.0	30.6	24.4	24.7	24.0	関東	4.0	3.0	4.9	3.5	2.7	4.3	3.2	2.0	4.0	4.3	2.9	4.8	5.3	4.0	6.5	4.6	3.7	6.0	中部	6.3	6.6	6.0	5.1	4.8	5.3	8.1	8.2	8.0	6.0	7.3	5.4	7.8	9.3	6.5	8.4	8.6	8.0	北海道	1.5	1.8	1.3	0.6	1.2	—	—	—	—	3.4	4.4	3.0	3.4	3.3	3.5	0.8	1.2	—	東北	6.1	7.1	5.1	2.7	3.4	2.0	3.2	8.2	—	11.5	14.7	10.2	10.3	11.3	9.4	9.2	11.1	6.0	北陸	2.7	2.0	3.4	1.9	1.5	2.3	2.4	4.1	1.3	3.4	—	4.8	4.1	2.7	5.3	3.8	3.7	4.0	近畿	2.6	2.8	2.5	1.7	1.9	1.5	4.0	8.2	1.3	3.4	7.3	1.8	2.8	2.0	3.5	4.6	1.2	10.0	中国	2.1	2.8	1.5	0.6	1.0	0.3	4.0	8.2	1.3	3.0	2.9	3.0	2.8	4.7	1.2	6.1	4.9	8.0	四国	0.7	0.8	0.7	0.3	0.2	0.3	0.8	—	1.3	1.3	2.9	0.6	1.9	2.0	1.8	—	—	—	九州	3.5	4.1	3.0	1.4	1.9	0.8	2.4	4.1	1.3	6.8	4.4	7.8	5.3	7.3	3.5	7.6	8.6	6.0	海外	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	2.5	2.0	DK	0.6	1.0	0.2	1.0	1.7	0.3	0.8	—	1.3	—	—	—	0.3	0.7	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
京浜	12.4	8.9	15.4	2.5	1.7	3.3	15.3	12.2	17.3	24.3	17.6	27.0	20.9	12.7	28.2	28.2	29.6	26.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
首都圏	57.1	58.7	55.7	78.6	77.7	79.4	55.7	44.9	62.7	32.8	35.3	31.7	35.0	40.0	30.6	24.4	24.7	24.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
関東	4.0	3.0	4.9	3.5	2.7	4.3	3.2	2.0	4.0	4.3	2.9	4.8	5.3	4.0	6.5	4.6	3.7	6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中部	6.3	6.6	6.0	5.1	4.8	5.3	8.1	8.2	8.0	6.0	7.3	5.4	7.8	9.3	6.5	8.4	8.6	8.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
北海道	1.5	1.8	1.3	0.6	1.2	—	—	—	—	3.4	4.4	3.0	3.4	3.3	3.5	0.8	1.2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
東北	6.1	7.1	5.1	2.7	3.4	2.0	3.2	8.2	—	11.5	14.7	10.2	10.3	11.3	9.4	9.2	11.1	6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
北陸	2.7	2.0	3.4	1.9	1.5	2.3	2.4	4.1	1.3	3.4	—	4.8	4.1	2.7	5.3	3.8	3.7	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
近畿	2.6	2.8	2.5	1.7	1.9	1.5	4.0	8.2	1.3	3.4	7.3	1.8	2.8	2.0	3.5	4.6	1.2	10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
中国	2.1	2.8	1.5	0.6	1.0	0.3	4.0	8.2	1.3	3.0	2.9	3.0	2.8	4.7	1.2	6.1	4.9	8.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
四国	0.7	0.8	0.7	0.3	0.2	0.3	0.8	—	1.3	1.3	2.9	0.6	1.9	2.0	1.8	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
九州	3.5	4.1	3.0	1.4	1.9	0.8	2.4	4.1	1.3	6.8	4.4	7.8	5.3	7.3	3.5	7.6	8.6	6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
海外	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	2.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
DK	0.6	1.0	0.2	1.0	1.7	0.3	0.8	—	1.3	—	—	—	0.3	0.7	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

(次ページに続く)

(前ページの続き)

I-4	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
関東・中部																		
京浜	3.8	4.1	3.7	1.2	2.7	0.8	5.8	—	12.5	8.9	8.1	9.5	4.2	3.0	5.6	7.5	8.5	6.1
首都圏	1.4	1.7	1.2	1.5	3.4	1.0	1.2	2.2	—	1.8	1.1	2.2	1.3	0.8	1.9	—	—	—
関東	44.3	37.3	48.2	49.4	37.4	52.9	37.2	23.9	52.5	37.0	37.9	36.5	37.1	37.1	37.0	52.5	48.9	57.6
中部	27.8	30.1	26.5	28.3	35.4	26.2	24.4	34.8	12.5	25.5	19.5	29.2	32.1	32.6	31.5	21.3	21.3	21.2
北海道	0.6	1.1	0.2	0.9	2.7	0.4	—	—	—	0.4	1.1	—	—	—	—	—	—	—
東北	6.9	4.4	8.4	9.5	5.4	10.7	—	—	—	5.8	3.5	7.3	5.8	6.8	4.6	—	—	—
北陸	1.9	2.0	1.8	2.3	3.4	2.0	1.2	2.2	—	1.3	1.1	1.5	2.1	1.5	2.8	—	—	—
近畿	3.8	4.1	3.5	2.5	4.1	2.0	4.7	4.3	5.0	4.9	4.6	5.1	5.0	3.8	6.5	6.3	4.3	9.1
中国	2.9	4.1	2.2	0.9	0.7	1.0	5.8	6.5	5.0	6.3	9.2	4.4	4.6	4.6	4.6	1.3	2.1	—
四国	2.0	2.4	1.7	1.5	1.4	1.6	5.8	6.5	5.0	1.8	2.3	1.5	0.8	0.8	0.9	5.0	6.4	3.0
九州	4.3	8.5	2.0	1.5	2.7	1.2	11.6	19.6	2.5	6.3	11.5	2.9	7.1	9.1	4.6	5.0	8.5	—
海外	0.2	—	0.4	—	—	—	2.3	—	5.0	—	—	—	—	—	—	1.3	—	3.0
DK	0.2	0.2	0.1	0.3	0.7	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
京浜	2.4	3.6	2.0	0.5	1.6	0.3	6.3	4.7	6.9	3.3	3.0	3.3	2.5	2.8	2.3	5.0	7.7	2.2
首都圏	1.1	1.9	0.8	0.9	4.1	0.3	1.7	2.3	1.5	0.7	1.0	0.6	1.8	1.7	1.8	1.1	—	2.2
関東	1.4	1.7	1.2	2.1	3.3	1.9	1.1	2.3	0.8	0.7	1.0	0.6	1.0	1.1	0.9	0.6	1.1	—
中部	1.7	3.0	1.2	1.2	3.3	0.9	4.0	2.3	4.6	1.2	1.0	1.2	2.0	3.3	0.9	2.2	4.4	—
北海道	1.9	3.6	1.3	1.5	4.1	1.0	2.3	4.7	1.5	2.3	6.1	1.2	1.8	1.7	1.8	2.8	3.3	2.2
東北	49.0	22.7	58.5	60.4	11.5	68.9	56.3	44.2	60.3	40.3	23.2	45.4	31.0	17.9	41.6	50.3	36.3	64.4
北陸	38.9	57.3	32.2	31.6	65.6	25.6	25.3	32.6	22.9	46.1	53.5	43.9	55.0	66.5	45.7	32.6	44.0	21.1
近畿	1.4	3.0	0.8	0.6	3.3	0.1	1.1	4.7	—	2.3	5.1	1.5	2.5	2.8	2.3	—	—	—
中国	0.5	0.6	0.5	0.2	—	0.3	1.1	2.3	0.8	—	—	—	1.3	1.1	1.4	0.6	—	1.1
四国	0.2	0.4	0.1	0.1	0.8	—	—	—	—	0.5	1.0	0.3	—	—	—	—	—	—
九州	0.8	0.8	0.8	0.2	—	0.3	0.6	—	0.8	2.1	4.0	1.5	0.5	—	0.9	0.6	—	1.1
海外	0.3	0.6	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	3.3	4.4
DK	0.6	1.1	0.4	0.7	2.5	0.4	—	—	—	0.5	1.0	0.3	0.8	1.1	0.4	0.6	—	1.1

I-5 あなたが最後に行った、又は、在学中の学校は、次のどれにあたりますか。

1. 中学校 2. 高等学校 3. 専修学校 4. 短大・高専 5. 大学・大学院 6. その他()

I-5	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	4.2	4.8	3.8	0.2	0.1	0.2	0.7	1.5	0.2	6.1	6.1	6.1	11.9	12.2	11.7	12.5	11.6	13.6
2.	21.3	18.4	23.1	3.9	4.3	3.7	18.9	11.4	23.3	42.0	28.8	47.6	48.0	45.5	50.2	27.4	17.8	38.4
3.	7.6	8.1	7.3	8.1	11.8	6.1	10.2	9.1	10.9	7.7	5.3	8.7	6.5	4.4	8.4	3.3	3.1	3.5
4.	20.8	5.7	30.1	31.5	7.2	45.0	14.3	1.5	21.8	11.7	3.3	15.3	6.6	1.6	11.0	14.3	14.0	14.7
5.	43.4	60.7	32.7	55.7	76.1	44.4	54.5	76.1	41.8	29.9	54.6	19.4	24.8	35.8	15.3	23.6	38.9	6.2
6.	2.2	1.8	2.5	0.3	0.3	0.4	0.7	0.4	0.9	1.9	0.8	2.4	1.7	0.5	2.7	17.8	13.3	22.9
DK	0.5	0.4	0.5	0.2	0.3	0.2	0.7	—	1.1	0.8	1.1	0.6	0.4	—	0.8	1.1	1.4	0.8
京浜																		
1.	1.5	1.6	1.4	0.2	0.2	0.2	0.6	0.8	0.5	2.5	2.8	2.4	3.9	4.5	3.6	6.3	6.8	5.9
2.	12.3	8.6	15.1	3.3	3.7	3.0	8.5	7.1	9.3	21.8	14.0	25.7	37.3	28.6	43.1	22.6	9.5	34.1
3.	12.0	11.1	12.7	16.4	16.5	16.3	10.6	7.9	12.3	5.4	1.9	7.1	7.9	2.7	11.4	3.8	2.7	4.7
4.	9.9	1.5	16.2	7.3	0.6	13.3	14.2	1.6	22.1	13.9	0.9	20.5	8.2	1.8	12.6	14.5	8.1	20.0
5.	61.2	75.2	50.8	71.6	78.2	65.8	64.8	82.5	53.9	53.3	79.4	40.0	40.9	61.6	27.0	30.2	55.4	8.2
6.	2.6	1.8	3.2	0.8	0.6	1.0	0.3	—	0.5	3.2	0.9	4.3	1.4	0.9	1.8	21.4	16.2	25.9
DK	0.5	0.3	0.6	0.4	0.4	0.5	0.9	—	1.5	—	—	—	0.4	—	0.6	1.3	1.4	1.2
首都圏																		
1.	3.8	3.7	4.0	0.1	—	0.3	—	—	—	3.8	4.4	3.6	9.7	9.3	10.0	16.0	13.6	20.0
2.	19.3	14.6	23.5	4.1	3.6	4.6	8.1	6.1	9.3	43.0	27.9	49.1	45.0	42.7	47.1	18.3	12.4	28.0
3.	9.1	9.9	8.4	9.3	11.6	6.8	14.5	12.2	16.0	10.6	8.8	11.4	6.0	7.7	5.3	7.4	2.0	2.0
4.	11.5	2.6	19.4	13.5	1.0	26.6	6.4	—	10.7	11.5	5.9	13.8	7.8	2.0	12.9	13.0	11.1	16.0
5.	53.6	67.0	41.7	72.6	83.3	61.4	69.3	81.6	61.3	28.1	50.0	19.2	28.1	38.7	18.8	29.8	42.0	10.0
6.	2.3	1.7	2.8	0.3	0.2	0.3	0.8	—	1.3	2.5	1.5	3.0	2.2	1.3	2.9	16.0	11.1	24.0
DK	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2	—	0.8	—	1.3	0.4	1.5	—	0.3	—	0.6	1.5	2.5	—
関東・中部																		
1.	3.4	5.2	2.4	0.2	—	0.2	2.3	4.3	—	3.1	4.6	2.2	10.0	9.9	10.2	12.5	10.6	15.1
2.	23.3	30.7	19.1	4.0	8.2	2.8	24.4	17.4	32.5	41.5	36.8	44.5	57.9	58.3	57.4	23.8	25.5	21.2
3.	4.8	6.5	3.9	2.3	4.8	1.6	10.5	15.2	5.0	11.2	10.3	11.7	5.0	5.3	4.6	1.3	—	3.0
4.	24.5	3.7	36.2	37.7	2.0	48.1	16.3	4.3	30.0	10.7	1.1	16.8	7.1	1.5	13.9	17.5	19.1	15.1
5.	42.0	52.1	36.3	55.5	85.0	46.9	46.5	58.7	32.5	32.1	46.0	23.4	19.6	25.0	13.0	21.3	29.8	9.1
6.	1.6	1.3	1.8	0.2	—	0.2	—	—	—	0.4	—	0.7	0.4	—	0.9	22.5	12.8	36.4
DK	0.3	0.4	0.2	0.2	—	0.2	—	—	—	0.9	1.1	0.7	—	—	—	1.3	2.1	—
東北・北陸																		
1.	8.1	12.0	6.7	0.2	—	0.3	0.6	2.3	—	11.5	12.1	11.3	20.5	21.2	19.9	15.5	14.3	16.7
2.	31.7	30.7	32.0	4.4	4.1	4.4	43.7	23.3	50.4	56.7	38.4	62.2	52.0	49.2	54.3	39.8	25.3	54.4
3.	3.3	1.9	3.8	0.1	—	0.1	6.3	2.3	7.6	5.8	2.0	7.0	6.3	3.3	8.6	2.2	1.1	3.3
4.	38.1	19.3	45.0	78.3	63.9	80.8	19.0	—	25.2	10.8	6.1	12.2	4.3	1.1	6.8	13.8	18.7	8.9
5.	16.1	33.2	9.9	16.8	32.0	14.2	28.2	69.8	14.5	12.4	38.4	4.6	14.0	25.1	5.0	14.4	27.5	1.1
6.	2.2	2.6	2.0	—	—	—	1.7	2.3	1.5	1.4	1.0	1.5	2.3	—	4.1	13.8	13.2	14.4
DK	0.6	0.4	0.7	0.1	—	0.1	0.6	—	0.8	1.4	2.0	1.2	0.8	—	1.4	0.6	—	1.1

I-6 あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。

1. 未婚 2. 結婚 3. 離別 4. 死別

I-6	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	53.4	50.8	54.9	99.2	99.1	99.2	44.7	54.2	39.1	5.7	5.8	5.7	0.7	0.5	0.9	2.0	0.3	3.9
2.	43.6	47.9	40.9	0.6	0.6	0.6	52.9	44.7	57.8	89.2	92.8	87.7	95.6	98.4	93.1	81.7	93.5	68.2
3.	1.4	0.4	2.0	0.1	—	0.1	2.2	0.8	3.1	3.6	0.8	4.8	2.3	0.5	3.8	2.0	1.0	3.1
4.	1.6	0.7	2.1	—	—	—	—	—	—	1.4	0.6	1.8	1.4	0.5	2.1	14.0	4.8	24.4
DK	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.4	—	0.1	—	0.1	0.1	—	0.2	0.4	0.3	0.4
京浜																		
1.	60.0	65.3	56.0	99.0	98.5	99.3	50.0	64.3	41.2	9.5	11.2	8.6	0.4	0.9	—	4.4	—	8.2
2.	37.1	33.8	39.6	0.7	0.9	0.5	48.5	34.9	56.9	85.5	87.8	84.3	95.0	98.2	92.8	78.6	95.9	63.5
3.	1.3	0.2	2.1	0.1	—	0.2	1.2	—	2.0	3.8	0.9	5.2	3.2	0.9	4.8	1.9	—	3.5
4.	1.4	0.3	2.3	—	—	—	—	—	—	1.3	—	1.9	1.4	—	2.4	15.1	4.1	24.7
DK	0.2	0.4	—	0.3	0.6	—	0.3	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
首都圏																		
1.	54.9	57.8	52.3	99.6	99.5	99.8	51.6	49.0	53.3	6.4	4.4	7.2	1.3	1.3	1.2	0.8	—	2.0
2.	42.5	40.5	44.3	0.4	0.5	0.3	45.2	46.9	44.0	89.8	92.7	88.6	96.6	98.7	94.7	82.4	88.9	72.0
3.	0.8	0.5	1.0	—	—	—	3.2	4.1	2.7	2.5	1.5	3.0	0.6	—	1.2	0.8	1.2	—
4.	1.7	1.2	2.1	—	—	—	—	—	—	1.3	1.5	1.2	1.3	—	2.3	15.3	9.9	24.0
DK	0.1	—	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.6	0.8	—	2.0
関東・中部																		
1.	53.7	36.8	63.1	99.5	100.	99.4	39.5	43.5	35.0	2.7	2.3	2.9	—	—	—	—	—	—
2.	44.1	62.3	33.9	0.5	—	0.6	59.3	56.5	62.5	93.3	95.4	92.0	97.5	98.5	96.3	83.8	100.	60.6
3.	0.8	0.2	1.1	—	—	—	1.2	—	2.5	2.2	1.1	2.9	1.3	—	2.8	1.3	—	3.0
4.	1.5	0.6	2.0	—	—	—	—	—	—	1.8	1.1	2.2	1.3	1.5	0.9	15.0	—	36.4
DK	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	44.5	27.0	50.9	98.8	99.2	98.7	32.2	41.9	29.0	4.2	4.0	4.3	1.0	—	1.8	1.7	1.1	2.2
2.	51.3	71.3	44.0	1.0	0.8	1.0	63.8	58.1	65.7	89.5	96.0	87.5	94.0	98.3	90.5	82.9	92.3	73.3
3.	2.4	0.8	3.0	0.1	—	0.1	4.0	—	5.3	4.7	—	6.1	3.5	1.1	5.4	3.3	2.2	4.4
4.	1.6	0.8	2.0	—	—	—	—	—	—	1.4	—	1.8	1.5	0.6	2.3	11.6	3.3	20.0
DK	0.2	0.2	0.1	0.1	—	0.1	—	—	—	0.2	—	0.3	—	—	—	0.6	1.1	—

I-7 あなたが現在、一緒に暮らしている人は全部で何人ですか。

1. ()人(あなた自身を含めてお答え下さい)
2. 一人暮らし(下宿、寮などに入っている人も含みます)

I-7	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1人	20.0	20.4	19.8	34.6	35.7	34.0	17.4	28.0	11.1	3.7	5.8	2.8	1.9	1.8	2.1	8.9	3.8	14.7
2人	9.1	8.8	9.3	4.2	3.7	4.5	22.3	20.8	23.1	7.4	7.8	7.2	7.5	4.5	10.1	29.4	28.7	30.2
3人	15.4	16.0	15.1	10.4	10.6	10.3	22.8	23.9	22.2	16.4	14.4	17.2	20.7	19.2	21.9	23.6	26.6	20.2
4人	30.1	30.3	30.0	28.3	29.3	27.8	21.7	18.6	23.6	37.7	38.2	37.4	39.5	40.1	38.9	14.5	15.7	13.2
5人	15.0	15.1	14.9	14.4	14.6	14.2	7.6	3.8	9.8	18.8	17.7	19.2	19.5	22.5	16.8	10.5	9.9	11.2
6人	7.1	6.7	7.3	5.5	4.4	6.1	5.6	3.8	6.7	10.6	9.7	11.1	8.6	9.9	7.5	7.4	8.9	5.8
7人	2.3	1.8	2.6	1.8	0.9	2.3	1.5	0.4	2.2	4.2	4.7	4.0	1.7	1.2	2.1	3.3	4.1	2.3
8人	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.2	0.4	0.4	0.4	0.8	1.4	0.5	0.5	0.5	0.4	1.3	1.4	1.2
9人	0.2	0.0	0.2	0.1	—	0.1	0.6	0.4	0.7	0.3	—	—	—	—	—	—	0.4	—
10人以上	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	0.3	—
DK	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	—	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.5	0.7	0.4
京浜																		
1人	24.0	28.7	20.5	36.5	40.6	32.8	22.7	33.3	16.2	6.6	11.2	4.3	0.7	—	1.2	11.9	2.7	20.0
2人	11.7	10.8	12.3	6.2	5.2	7.1	25.5	26.2	25.0	11.7	13.1	10.9	6.8	3.6	9.0	31.5	33.8	29.4
3人	15.9	14.7	16.7	11.1	10.0	12.0	22.7	19.8	24.5	17.4	14.9	18.6	23.7	23.2	24.0	19.5	27.0	12.9
4人	30.4	27.7	32.4	28.2	26.3	29.9	20.6	17.5	22.5	43.5	42.1	44.3	41.2	37.5	43.7	21.4	20.3	22.4
5人	13.2	13.9	12.7	13.2	13.5	13.0	6.7	3.2	8.8	14.8	15.9	14.3	21.1	27.7	16.8	9.4	10.8	8.2
6人	3.5	2.8	4.0	3.6	3.0	4.1	1.2	—	2.0	3.8	0.9	5.2	5.0	6.3	4.2	4.4	4.1	4.7
7人	0.9	0.7	1.1	0.9	0.7	1.0	0.3	—	0.5	1.6	0.9	1.9	1.1	0.9	1.2	1.3	1.4	1.2
8人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	0.3	—	0.5	—	—	—	—	—	—
9人	0.1	—	0.2	0.1	—	0.2	0.3	—	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10人以上	0.0	0.1	—	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	0.2	0.4	0.1	0.2	0.4	—	—	—	—	0.3	0.9	—	0.4	0.9	—	0.6	—	1.2
首都圏																		
1人	11.3	12.8	9.9	17.4	18.2	16.5	14.5	26.5	6.7	2.5	2.9	2.4	1.3	0.7	1.8	10.7	7.4	16.0
2人	7.1	6.2	7.8	3.2	2.7	3.8	23.4	20.4	25.3	7.2	7.3	7.2	4.7	2.7	6.5	20.6	21.0	20.0
3人	17.4	17.6	17.2	13.5	13.6	13.4	25.8	30.6	22.7	16.6	16.2	16.8	18.4	18.0	18.8	32.1	30.9	34.0
4人	39.0	37.8	40.1	40.8	39.7	41.9	25.0	16.3	30.7	43.0	38.2	44.9	47.2	50.7	44.1	14.5	17.3	10.0
5人	16.2	17.4	15.2	17.7	18.9	16.5	8.1	6.1	9.3	18.7	25.0	16.2	15.6	16.7	14.7	11.4	11.1	12.0
6人	6.6	6.3	6.9	5.4	5.3	5.6	1.6	—	2.7	7.7	4.4	9.0	10.0	10.0	10.0	8.4	9.9	6.0
7人	1.5	1.0	2.0	1.2	1.0	1.5	0.8	—	1.3	3.4	4.4	3.0	1.6	0.7	2.3	0.8	—	2.0
8人	0.5	0.8	0.2	0.4	0.7	—	—	—	—	0.4	1.5	—	0.9	0.7	1.2	0.8	1.2	—
9人	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.6	—	—	—	—	—	—
10人以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	0.4	0.1	0.6	0.4	—	0.8	0.8	—	1.3	—	—	—	0.3	—	0.6	0.8	1.2	—
関東・中部																		
1人	26.8	22.0	29.5	48.8	59.2	45.7	18.6	23.9	12.5	3.1	2.3	3.7	—	—	—	3.8	2.1	6.1
2人	6.3	8.5	5.0	2.5	2.7	2.4	12.8	10.9	15.0	5.4	6.9	4.4	8.3	7.6	9.3	26.3	29.8	21.2
3人	13.3	15.7	11.9	7.7	6.8	7.9	17.4	21.7	12.5	16.1	12.6	18.3	24.6	25.0	24.1	12.5	17.0	6.1
4人	27.2	28.5	26.4	22.0	19.7	22.7	25.6	26.1	25.0	34.4	31.0	36.5	38.8	41.7	35.2	16.3	17.0	15.1
5人	14.4	12.0	15.8	10.9	7.5	11.9	8.1	2.2	15.0	21.4	18.4	23.4	18.8	16.7	21.3	17.5	10.6	27.3
6人	8.5	9.1	8.2	6.3	2.7	7.4	13.9	13.0	15.0	13.8	20.7	9.5	6.3	6.8	5.6	12.5	10.6	15.1
7人	2.2	2.2	2.2	1.4	0.7	1.6	1.2	—	2.5	4.5	5.8	3.7	2.5	1.5	3.7	2.5	4.3	—
8人	1.2	1.7	0.9	0.3	0.7	0.2	2.3	2.2	2.5	1.3	2.3	0.7	0.8	0.8	0.9	7.5	6.4	9.1
9人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10人以上	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	2.1	—
DK	0.1	—	0.1	0.2	—	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(次ページに続く)

(前ページの続き)

I-7	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
東北・北陸																		
1人	18.3	14.8	19.5	37.7	45.1	36.4	8.6	18.6	5.3	2.6	5.1	1.8	4.5	5.0	4.1	7.2	2.2	12.2
2人	9.6	9.0	9.9	3.9	1.6	4.3	20.1	16.3	21.4	5.4	3.0	6.1	9.8	4.5	14.0	35.4	30.8	40.0
3人	14.8	16.1	14.4	8.5	8.2	8.6	23.6	30.2	21.4	15.7	14.1	16.2	18.0	13.4	21.7	26.0	27.5	24.4
4人	24.4	25.5	24.0	21.2	18.9	21.6	19.5	16.3	20.6	32.1	40.4	29.6	32.5	31.8	33.0	7.7	9.9	5.6
5人	16.4	17.0	16.2	15.4	13.9	15.6	8.6	4.7	9.9	20.4	14.1	22.3	21.8	28.5	16.3	7.7	7.7	7.8
6人	10.5	12.2	9.9	7.6	9.8	7.2	12.6	9.3	13.7	15.7	13.1	16.5	11.5	14.5	9.1	7.2	11.0	3.3
7人	4.4	4.3	4.4	3.9	1.6	4.3	4.6	2.3	5.3	6.6	8.1	6.1	1.8	1.7	1.8	7.2	9.9	4.4
8人	0.6	0.8	0.5	0.6	0.8	0.6	0.6	—	0.8	0.9	2.0	0.6	0.3	0.6	—	—	—	—
9人	0.4	0.2	0.5	0.1	—	0.1	1.7	2.3	1.5	0.5	—	0.6	—	—	—	1.1	—	2.2
10人以上	0.3	—	0.4	0.7	—	0.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	0.3	0.2	0.3	0.4	—	0.4	—	—	—	0.2	—	0.3	—	—	—	0.6	1.1	—

I-8 あなたが現在、一緒に暮らしている人すべてに○をつけて下さい。

ア. 祖父・祖母 イ. 父 ウ. 母 エ. 兄・弟 オ. 姉・妹 カ. 配偶者（夫または妻） キ. 配偶者の父母
 ク. 兄弟・姉妹の配偶者 ケ. 息子 コ. 息子の配偶者 サ. 娘 シ. 娘の配偶者 ス. 孫 セ. その他の血縁者
 ソ. その他の非血縁者

I-8 ※	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全地域																			ア.	9.8	6.7	11.7	17.1	11.9	20.0	5.5	4.6	6.0	2.7	1.9	3.0	2.7	2.4	3.0	1.6	1.4	1.9	イ.	34.0	32.1	35.2	59.1	56.7	60.4	26.3	23.9	27.8	10.1	14.7	8.2	6.6	9.6	4.1	1.8	2.7	0.8	ウ.	39.2	38.4	39.8	63.0	59.7	64.9	30.8	28.4	32.2	15.7	20.8	13.5	15.6	23.7	8.6	6.7	8.5	4.7	エ.	16.2	14.4	17.3	31.4	30.0	32.2	7.6	5.7	8.7	1.2	1.4	1.1	0.8	0.9	0.8	0.4	0.3	0.4	オ.	15.9	13.9	17.1	30.1	28.1	31.2	9.7	7.2	11.1	1.5	1.4	1.5	0.6	0.5	0.8	1.3	2.0	0.4	カ.	42.0	46.3	39.4	0.6	0.5	0.6	52.0	43.9	56.7	86.7	91.1	84.8	90.9	94.2	88.0	78.9	90.1	66.3	キ.	4.8	2.0	6.5	0.1	—	0.1	5.6	1.1	8.2	12.6	3.3	16.5	10.3	5.2	14.6	3.5	2.7	4.3	ク.	0.3	0.3	0.4	0.5	0.3	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	—	0.2	0.1	0.2	—	0.2	0.3	—	ケ.	24.7	26.1	23.8	0.2	0.3	0.1	23.8	20.1	26.0	57.9	59.8	57.0	54.3	55.5	53.3	38.8	39.6	38.0	コ.	1.2	1.5	1.1	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.2	0.8	0.7	0.9	13.6	12.3	15.1	サ.	27.4	28.0	27.0	0.2	0.1	0.3	22.0	18.9	23.8	63.6	56.5	66.6	69.4	71.4	67.7	29.4	32.4	26.0	シ.	0.4	0.4	0.4	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.4	0.6	0.3	0.8	3.3	3.1	3.5	ス.	1.5	1.8	1.3	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.2	0.9	0.3	1.4	17.1	16.0	18.2	セ.	1.3	0.8	1.6	1.7	0.9	2.1	1.1	—	1.8	0.6	0.6	0.9	0.6	0.5	0.8	2.0	2.0	1.9	ソ.	3.0	2.2	3.5	4.9	3.3	5.8	2.2	3.4	1.6	1.1	1.1	1.1	0.6	0.3	0.9	1.5	1.4	1.5	京浜																			ア.	6.7	6.1	7.1	11.9	9.6	14.0	1.8	2.4	1.5	0.3	—	0.5	0.7	0.9	0.6	1.9	2.7	1.2	イ.	31.9	31.5	32.2	54.1	49.8	58.0	20.3	19.0	21.1	4.7	3.7	5.2	2.9	4.5	1.8	0.6	—	1.2	ウ.	36.5	36.5	36.5	59.1	54.3	63.4	23.9	23.0	24.5	8.5	6.5	9.5	9.0	17.0	3.6	3.1	2.7	3.5	エ.	16.7	16.8	16.6	30.3	28.1	32.2	5.4	5.6	5.4	0.9	—	1.4	1.1	1.8	0.6	0.6	—	1.2	オ.	17.3	16.4	18.0	30.1	27.0	32.8	10.6	7.9	12.3	1.3	—	1.9	—	—	—	0.6	1.4	—	カ.	36.1	33.2	38.3	0.6	0.7	0.5	47.9	34.9	55.9	83.3	86.9	81.4	91.4	96.4	88.0	76.7	93.2	62.3	キ.	2.5	1.1	3.6	—	—	—	3.0	0.8	4.4	7.9	3.7	10.0	6.4	4.5	7.8	2.5	1.4	3.5	ク.	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケ.	21.0	18.4	23.1	0.2	0.4	—	22.1	17.5	25.0	54.9	56.1	54.3	59.1	58.0	59.9	35.2	36.5	34.1	コ.	0.4	0.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.6	4.4	2.7	5.9	サ.	22.1	18.3	25.0	0.1	—	0.2	16.4	10.3	20.1	57.1	45.8	62.9	73.8	75.0	73.1	32.7	39.2	27.1	シ.	0.2	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	1.4	4.7	ス.	0.9	0.8	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	セ.	1.3	1.0	1.5	1.7	1.3	2.1	0.3	—	0.5	0.9	—	1.4	0.7	0.9	0.6	11.9	10.8	12.9	ソ.	4.0	2.8	4.9	6.3	3.0	9.2	2.7	5.6	1.0	0.9	1.9	0.5	0.7	—	1.2	2.5	2.7	2.3	首都圏																			ア.	7.6	7.1	8.1	12.9	12.1	13.7	4.0	4.1	4.0	2.5	1.5	3.0	1.9	0.7	2.9	1.5	—	4.0	イ.	42.7	45.5	40.3	75.1	75.5	74.6	35.5	26.5	41.3	8.5	10.3	7.8	6.3	8.7	4.1	0.8	1.2	—	ウ.	48.0	49.9	46.4	78.9	76.8	81.2	42.7	32.7	49.3	16.2	19.1	15.0	13.4	18.7	8.8	4.6	7.4	—	エ.	21.5	22.1	20.9	39.7	38.3	41.1	16.9	10.2	21.3	1.3	2.9	0.6	0.9	2.0	—	—	—	—	オ.	19.2	20.5	18.1	35.6	35.3	35.8	10.5	6.1	13.3	2.5	2.9	2.4	0.9	2.0	—	1.5	2.5	—	カ.	41.0	38.6	43.1	0.3	0.2	0.3	43.5	42.9	44.0	88.1	91.2	86.8	92.2	93.3	91.2	80.2	86.4	70.0	キ.	3.5	1.8	5.0	—	—	—	2.4	—	4.0	9.8	4.4	12.0	8.8	6.0	11.2	2.3	2.5	2.0	ク.	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	0.4	—	0.6	0.3	0.7	—	—	—	—	ケ.	24.1	21.7	26.3	0.1	0.2	—	15.3	12.2	17.3	59.2	58.8	59.3	56.9	57.3	56.5	37.4	39.5	34.0	コ.	0.9	1.2	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	1.3	—	9.9	8.6	12.0	サ.	29.1	26.4	31.4	0.1	0.2	—	12.9	16.3	10.7	65.1	60.3	67.1	76.9	78.0	75.9	41.2	42.0	40.0	シ.	0.5	0.7	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.7	1.2	3.8	4.9	2.0	ス.	1.1	1.2	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.6	13.0	11.1	16.0	セ.	0.8	0.5	1.0	1.2	1.0	1.5	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	0.3	—	0.6	—	—	—	ソ.	1.7	1.8	1.6	2.6	2.7	2.5	—	—	—	0.9	1.5	0.6	1.3	0.7	1.8	0.8	1.2	—
ア.	9.8	6.7	11.7	17.1	11.9	20.0	5.5	4.6	6.0	2.7	1.9	3.0	2.7	2.4	3.0	1.6	1.4	1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
イ.	34.0	32.1	35.2	59.1	56.7	60.4	26.3	23.9	27.8	10.1	14.7	8.2	6.6	9.6	4.1	1.8	2.7	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ウ.	39.2	38.4	39.8	63.0	59.7	64.9	30.8	28.4	32.2	15.7	20.8	13.5	15.6	23.7	8.6	6.7	8.5	4.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
エ.	16.2	14.4	17.3	31.4	30.0	32.2	7.6	5.7	8.7	1.2	1.4	1.1	0.8	0.9	0.8	0.4	0.3	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
オ.	15.9	13.9	17.1	30.1	28.1	31.2	9.7	7.2	11.1	1.5	1.4	1.5	0.6	0.5	0.8	1.3	2.0	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
カ.	42.0	46.3	39.4	0.6	0.5	0.6	52.0	43.9	56.7	86.7	91.1	84.8	90.9	94.2	88.0	78.9	90.1	66.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
キ.	4.8	2.0	6.5	0.1	—	0.1	5.6	1.1	8.2	12.6	3.3	16.5	10.3	5.2	14.6	3.5	2.7	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ク.	0.3	0.3	0.4	0.5	0.3	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	—	0.2	0.1	0.2	—	0.2	0.3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ケ.	24.7	26.1	23.8	0.2	0.3	0.1	23.8	20.1	26.0	57.9	59.8	57.0	54.3	55.5	53.3	38.8	39.6	38.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
コ.	1.2	1.5	1.1	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.2	0.8	0.7	0.9	13.6	12.3	15.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
サ.	27.4	28.0	27.0	0.2	0.1	0.3	22.0	18.9	23.8	63.6	56.5	66.6	69.4	71.4	67.7	29.4	32.4	26.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
シ.	0.4	0.4	0.4	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.4	0.6	0.3	0.8	3.3	3.1	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ス.	1.5	1.8	1.3	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.2	0.9	0.3	1.4	17.1	16.0	18.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
セ.	1.3	0.8	1.6	1.7	0.9	2.1	1.1	—	1.8	0.6	0.6	0.9	0.6	0.5	0.8	2.0	2.0	1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ソ.	3.0	2.2	3.5	4.9	3.3	5.8	2.2	3.4	1.6	1.1	1.1	1.1	0.6	0.3	0.9	1.5	1.4	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
京浜																			ア.	6.7	6.1	7.1	11.9	9.6	14.0	1.8	2.4	1.5	0.3	—	0.5	0.7	0.9	0.6	1.9	2.7	1.2	イ.	31.9	31.5	32.2	54.1	49.8	58.0	20.3	19.0	21.1	4.7	3.7	5.2	2.9	4.5	1.8	0.6	—	1.2	ウ.	36.5	36.5	36.5	59.1	54.3	63.4	23.9	23.0	24.5	8.5	6.5	9.5	9.0	17.0	3.6	3.1	2.7	3.5	エ.	16.7	16.8	16.6	30.3	28.1	32.2	5.4	5.6	5.4	0.9	—	1.4	1.1	1.8	0.6	0.6	—	1.2	オ.	17.3	16.4	18.0	30.1	27.0	32.8	10.6	7.9	12.3	1.3	—	1.9	—	—	—	0.6	1.4	—	カ.	36.1	33.2	38.3	0.6	0.7	0.5	47.9	34.9	55.9	83.3	86.9	81.4	91.4	96.4	88.0	76.7	93.2	62.3	キ.	2.5	1.1	3.6	—	—	—	3.0	0.8	4.4	7.9	3.7	10.0	6.4	4.5	7.8	2.5	1.4	3.5	ク.	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ケ.	21.0	18.4	23.1	0.2	0.4	—	22.1	17.5	25.0	54.9	56.1	54.3	59.1	58.0	59.9	35.2	36.5	34.1	コ.	0.4	0.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.6	4.4	2.7	5.9	サ.	22.1	18.3	25.0	0.1	—	0.2	16.4	10.3	20.1	57.1	45.8	62.9	73.8	75.0	73.1	32.7	39.2	27.1	シ.	0.2	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	1.4	4.7	ス.	0.9	0.8	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	セ.	1.3	1.0	1.5	1.7	1.3	2.1	0.3	—	0.5	0.9	—	1.4	0.7	0.9	0.6	11.9	10.8	12.9	ソ.	4.0	2.8	4.9	6.3	3.0	9.2	2.7	5.6	1.0	0.9	1.9	0.5	0.7	—	1.2	2.5	2.7	2.3	首都圏																			ア.	7.6	7.1	8.1	12.9	12.1	13.7	4.0	4.1	4.0	2.5	1.5	3.0	1.9	0.7	2.9	1.5	—	4.0	イ.	42.7	45.5	40.3	75.1	75.5	74.6	35.5	26.5	41.3	8.5	10.3	7.8	6.3	8.7	4.1	0.8	1.2	—	ウ.	48.0	49.9	46.4	78.9	76.8	81.2	42.7	32.7	49.3	16.2	19.1	15.0	13.4	18.7	8.8	4.6	7.4	—	エ.	21.5	22.1	20.9	39.7	38.3	41.1	16.9	10.2	21.3	1.3	2.9	0.6	0.9	2.0	—	—	—	—	オ.	19.2	20.5	18.1	35.6	35.3	35.8	10.5	6.1	13.3	2.5	2.9	2.4	0.9	2.0	—	1.5	2.5	—	カ.	41.0	38.6	43.1	0.3	0.2	0.3	43.5	42.9	44.0	88.1	91.2	86.8	92.2	93.3	91.2	80.2	86.4	70.0	キ.	3.5	1.8	5.0	—	—	—	2.4	—	4.0	9.8	4.4	12.0	8.8	6.0	11.2	2.3	2.5	2.0	ク.	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	0.4	—	0.6	0.3	0.7	—	—	—	—	ケ.	24.1	21.7	26.3	0.1	0.2	—	15.3	12.2	17.3	59.2	58.8	59.3	56.9	57.3	56.5	37.4	39.5	34.0	コ.	0.9	1.2	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	1.3	—	9.9	8.6	12.0	サ.	29.1	26.4	31.4	0.1	0.2	—	12.9	16.3	10.7	65.1	60.3	67.1	76.9	78.0	75.9	41.2	42.0	40.0	シ.	0.5	0.7	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.7	1.2	3.8	4.9	2.0	ス.	1.1	1.2	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.6	13.0	11.1	16.0	セ.	0.8	0.5	1.0	1.2	1.0	1.5	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	0.3	—	0.6	—	—	—	ソ.	1.7	1.8	1.6	2.6	2.7	2.5	—	—	—	0.9	1.5	0.6	1.3	0.7	1.8	0.8	1.2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ア.	6.7	6.1	7.1	11.9	9.6	14.0	1.8	2.4	1.5	0.3	—	0.5	0.7	0.9	0.6	1.9	2.7	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
イ.	31.9	31.5	32.2	54.1	49.8	58.0	20.3	19.0	21.1	4.7	3.7	5.2	2.9	4.5	1.8	0.6	—	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ウ.	36.5	36.5	36.5	59.1	54.3	63.4	23.9	23.0	24.5	8.5	6.5	9.5	9.0	17.0	3.6	3.1	2.7	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
エ.	16.7	16.8	16.6	30.3	28.1	32.2	5.4	5.6	5.4	0.9	—	1.4	1.1	1.8	0.6	0.6	—	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
オ.	17.3	16.4	18.0	30.1	27.0	32.8	10.6	7.9	12.3	1.3	—	1.9	—	—	—	0.6	1.4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
カ.	36.1	33.2	38.3	0.6	0.7	0.5	47.9	34.9	55.9	83.3	86.9	81.4	91.4	96.4	88.0	76.7	93.2	62.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
キ.	2.5	1.1	3.6	—	—	—	3.0	0.8	4.4	7.9	3.7	10.0	6.4	4.5	7.8	2.5	1.4	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ク.	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ケ.	21.0	18.4	23.1	0.2	0.4	—	22.1	17.5	25.0	54.9	56.1	54.3	59.1	58.0	59.9	35.2	36.5	34.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
コ.	0.4	0.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.6	4.4	2.7	5.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
サ.	22.1	18.3	25.0	0.1	—	0.2	16.4	10.3	20.1	57.1	45.8	62.9	73.8	75.0	73.1	32.7	39.2	27.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
シ.	0.2	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	1.4	4.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ス.	0.9	0.8	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
セ.	1.3	1.0	1.5	1.7	1.3	2.1	0.3	—	0.5	0.9	—	1.4	0.7	0.9	0.6	11.9	10.8	12.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ソ.	4.0	2.8	4.9	6.3	3.0	9.2	2.7	5.6	1.0	0.9	1.9	0.5	0.7	—	1.2	2.5	2.7	2.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
首都圏																			ア.	7.6	7.1	8.1	12.9	12.1	13.7	4.0	4.1	4.0	2.5	1.5	3.0	1.9	0.7	2.9	1.5	—	4.0	イ.	42.7	45.5	40.3	75.1	75.5	74.6	35.5	26.5	41.3	8.5	10.3	7.8	6.3	8.7	4.1	0.8	1.2	—	ウ.	48.0	49.9	46.4	78.9	76.8	81.2	42.7	32.7	49.3	16.2	19.1	15.0	13.4	18.7	8.8	4.6	7.4	—	エ.	21.5	22.1	20.9	39.7	38.3	41.1	16.9	10.2	21.3	1.3	2.9	0.6	0.9	2.0	—	—	—	—	オ.	19.2	20.5	18.1	35.6	35.3	35.8	10.5	6.1	13.3	2.5	2.9	2.4	0.9	2.0	—	1.5	2.5	—	カ.	41.0	38.6	43.1	0.3	0.2	0.3	43.5	42.9	44.0	88.1	91.2	86.8	92.2	93.3	91.2	80.2	86.4	70.0	キ.	3.5	1.8	5.0	—	—	—	2.4	—	4.0	9.8	4.4	12.0	8.8	6.0	11.2	2.3	2.5	2.0	ク.	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	0.4	—	0.6	0.3	0.7	—	—	—	—	ケ.	24.1	21.7	26.3	0.1	0.2	—	15.3	12.2	17.3	59.2	58.8	59.3	56.9	57.3	56.5	37.4	39.5	34.0	コ.	0.9	1.2	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	1.3	—	9.9	8.6	12.0	サ.	29.1	26.4	31.4	0.1	0.2	—	12.9	16.3	10.7	65.1	60.3	67.1	76.9	78.0	75.9	41.2	42.0	40.0	シ.	0.5	0.7	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.7	1.2	3.8	4.9	2.0	ス.	1.1	1.2	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.6	13.0	11.1	16.0	セ.	0.8	0.5	1.0	1.2	1.0	1.5	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	0.3	—	0.6	—	—	—	ソ.	1.7	1.8	1.6	2.6	2.7	2.5	—	—	—	0.9	1.5	0.6	1.3	0.7	1.8	0.8	1.2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ア.	7.6	7.1	8.1	12.9	12.1	13.7	4.0	4.1	4.0	2.5	1.5	3.0	1.9	0.7	2.9	1.5	—	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
イ.	42.7	45.5	40.3	75.1	75.5	74.6	35.5	26.5	41.3	8.5	10.3	7.8	6.3	8.7	4.1	0.8	1.2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ウ.	48.0	49.9	46.4	78.9	76.8	81.2	42.7	32.7	49.3	16.2	19.1	15.0	13.4	18.7	8.8	4.6	7.4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
エ.	21.5	22.1	20.9	39.7	38.3	41.1	16.9	10.2	21.3	1.3	2.9	0.6	0.9	2.0	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
オ.	19.2	20.5	18.1	35.6	35.3	35.8	10.5	6.1	13.3	2.5	2.9	2.4	0.9	2.0	—	1.5	2.5	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
カ.	41.0	38.6	43.1	0.3	0.2	0.3	43.5	42.9	44.0	88.1	91.2	86.8	92.2	93.3	91.2	80.2	86.4	70.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
キ.	3.5	1.8	5.0	—	—	—	2.4	—	4.0	9.8	4.4	12.0	8.8	6.0	11.2	2.3	2.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ク.	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	—	—	—	0.4	—	0.6	0.3	0.7	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ケ.	24.1	21.7	26.3	0.1	0.2	—	15.3	12.2	17.3	59.2	58.8	59.3	56.9	57.3	56.5	37.4	39.5	34.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
コ.	0.9	1.2	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	1.3	—	9.9	8.6	12.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
サ.	29.1	26.4	31.4	0.1	0.2	—	12.9	16.3	10.7	65.1	60.3	67.1	76.9	78.0	75.9	41.2	42.0	40.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
シ.	0.5	0.7	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.7	1.2	3.8	4.9	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ス.	1.1	1.2	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.6	13.0	11.1	16.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
セ.	0.8	0.5	1.0	1.2	1.0	1.5	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	0.3	—	0.6	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
ソ.	1.7	1.8	1.6	2.6	2.7	2.5	—	—	—	0.9	1.5	0.6	1.3	0.7	1.8	0.8	1.2	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

(次ページに続く)

(前ページの続き)

I-8 ※	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
関東・中部																		
ア.	12.8	4.8	17.3	22.3	10.2	25.8	8.1	6.5	10.0	3.1	2.3	3.7	1.7	1.5	1.9	1.3	—	3.0
イ.	34.1	23.1	40.2	54.6	36.0	60.0	27.9	30.4	25.0	15.6	26.4	8.8	8.3	10.6	5.6	2.5	4.3	—
ウ.	39.2	30.3	44.2	57.8	38.1	63.6	33.7	34.8	32.5	22.3	37.9	12.4	17.5	22.7	11.1	6.3	8.5	3.0
エ.	14.4	5.0	19.6	26.6	13.6	30.4	8.1	2.2	15.0	1.8	2.3	1.5	—	—	—	—	—	—
オ.	15.6	7.4	20.2	28.1	17.7	31.2	9.3	6.5	12.5	2.2	3.5	1.5	0.8	—	1.9	2.5	4.3	—
カ.	43.4	61.7	33.1	0.5	—	0.6	58.1	56.5	60.0	92.0	94.3	90.5	95.8	97.7	93.5	82.5	97.9	60.6
キ.	5.2	2.6	6.7	0.3	—	0.4	7.0	—	15.0	11.6	3.5	16.8	11.7	4.6	20.4	6.3	6.4	6.1
ク.	0.6	—	0.9	0.8	—	1.0	2.3	—	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケ.	23.4	30.7	19.4	—	—	—	20.9	23.9	17.5	57.6	55.2	59.1	46.3	47.7	44.4	52.5	40.4	69.7
コ.	2.1	2.8	1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	0.8	0.9	31.3	25.5	39.4
サ.	28.2	38.6	22.4	0.2	—	0.2	34.9	39.1	30.0	65.2	65.5	65.0	68.3	68.9	67.6	25.0	23.4	27.3
シ.	0.6	0.4	0.6	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.7	0.8	0.8	0.9	5.0	2.1	9.1
ス.	2.5	3.0	2.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	1.5	1.9	35.0	25.5	48.5
セ.	1.7	0.9	2.2	1.9	—	2.4	2.3	—	5.0	0.4	1.1	—	0.8	0.8	0.9	6.3	4.3	9.1
ソ.	3.0	2.0	3.7	5.1	5.4	5.0	3.5	2.2	5.0	0.4	—	0.7	—	—	—	2.5	—	6.1
東北・北陸																		
ア.	13.2	9.0	14.7	24.4	23.0	24.6	12.1	9.3	13.0	4.2	4.0	4.3	5.5	5.6	5.4	1.7	2.2	1.1
イ.	29.3	22.1	31.9	53.8	48.4	54.7	30.5	27.9	31.3	12.2	19.2	10.1	8.5	12.9	5.0	3.3	5.5	1.1
ウ.	35.2	32.2	36.3	57.1	52.5	57.9	33.9	32.6	34.3	17.3	22.2	15.9	20.8	33.0	10.9	11.6	14.3	8.9
エ.	12.5	7.5	14.4	28.5	29.5	28.4	4.6	4.7	4.6	0.9	1.0	0.9	1.0	—	1.8	0.6	1.1	—
オ.	11.8	5.4	14.1	26.2	20.5	27.2	7.5	7.0	7.6	0.7	—	0.9	0.8	—	1.4	1.1	1.1	1.1
カ.	48.5	67.4	41.6	1.0	0.8	1.0	62.6	58.1	64.1	85.7	92.9	83.5	86.5	91.1	82.8	78.4	86.8	70.0
キ.	7.9	3.0	9.7	—	—	—	12.1	4.7	14.5	18.0	2.0	22.9	13.3	5.6	19.5	3.9	2.2	5.6
ク.	0.4	0.6	0.3	0.6	0.8	0.6	0.6	2.3	—	0.2	—	0.3	—	—	—	0.6	1.1	—
ケ.	29.9	42.1	25.5	0.4	0.8	0.3	34.5	32.6	35.1	59.5	68.7	56.7	53.8	58.1	50.2	37.0	41.8	32.2
コ.	1.9	3.0	1.4	—	—	—	—	—	—	0.5	—	0.6	1.3	0.6	1.8	16.6	16.5	16.7
サ.	31.3	38.6	28.6	0.5	—	0.6	32.8	25.6	35.1	66.7	57.6	69.5	61.0	65.4	57.5	19.9	23.1	16.7
シ.	0.4	0.6	0.3	—	—	—	—	—	—	0.5	—	0.6	0.5	—	0.9	2.2	3.3	1.1
ス.	1.8	3.4	1.2	—	—	—	—	—	—	0.5	—	0.6	1.0	—	1.8	16.6	19.8	13.3
セ.	1.5	0.8	1.8	2.0	—	2.3	—	—	3.0	1.2	1.0	1.2	0.8	0.6	0.9	1.7	2.2	1.1
ソ.	2.8	1.7	3.3	5.2	4.1	5.4	2.3	2.3	2.3	1.6	1.0	1.8	0.5	0.6	0.4	0.6	1.1	—

I-9 あなたの職業は大きく分けて次のどれにあたりますか。複数があてはまる方は、その中で中心になるもの1つを選んで下さい。

1. 自営業主（農・林・漁業） 2. 自営業主（製造業） 3. 自営業主（商業） 4. 自営業主（その他）
 5. 家の仕事を手伝っている（自営業の手伝い） 6. 民間企業などの常勤 7. 官公庁などの常勤 8. 主婦 9. 学生
 10. 無職 11. その他（ ）

I-9	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	0.7	1.5	0.3	0.1	0.1	0.1	—	—	—	0.8	1.9	0.4	2.3	3.7	1.0	2.4	4.1	0.4
2.	1.0	2.1	0.3	0.1	0.2	—	1.4	3.0	0.4	1.4	3.6	0.5	2.8	5.4	0.6	1.3	1.4	1.2
3.	1.9	3.2	1.1	0.2	0.3	0.2	2.1	3.8	1.1	2.9	4.4	2.3	5.3	7.5	3.3	2.5	4.4	0.4
4.	4.4	4.5	4.4	0.1	0.2	0.1	3.8	3.4	4.0	10.1	8.0	11.1	9.5	10.3	8.9	8.0	7.5	8.5
5.	1.9	0.9	2.6	0.2	0.1	0.2	1.5	1.9	1.3	4.7	1.4	6.2	3.5	0.3	6.3	3.6	3.4	3.9
6.	21.0	31.8	14.4	4.6	4.7	4.5	47.2	61.7	38.7	35.5	61.5	24.4	35.8	55.2	19.2	24.3	35.8	11.2
7.	4.3	6.4	3.0	0.4	0.6	0.3	9.4	11.0	8.4	8.1	11.9	6.4	8.1	12.6	4.2	5.6	7.5	3.5
8.	12.0	0.2	19.2	0.2	—	0.3	17.2	0.4	27.1	26.3	0.3	37.4	24.7	0.5	45.5	18.5	—	39.5
9.	45.0	42.0	46.8	92.3	91.7	92.7	4.9	5.7	4.4	0.5	0.3	0.6	0.1	—	0.2	0.5	0.7	0.4
10.	1.9	2.9	1.3	0.3	0.6	0.1	0.6	—	0.9	0.3	0.3	0.4	0.7	0.3	1.0	20.0	23.5	15.9
11.	4.8	3.9	5.3	1.0	0.8	1.2	10.8	8.7	12.0	7.7	5.8	8.4	6.1	3.8	8.1	10.7	10.2	11.2
DK	1.0	0.7	1.3	0.6	0.8	0.4	1.1	0.4	1.6	1.7	0.6	2.1	1.0	0.3	1.6	2.5	1.4	3.9
京浜																		
1.	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.9	—	0.6	—	1.2
2.	1.0	1.9	0.3	0.2	0.4	—	1.5	3.2	0.5	1.3	2.8	0.5	3.6	7.1	1.2	0.6	1.4	—
3.	1.6	2.7	0.7	0.3	0.4	0.3	1.2	3.2	—	1.9	3.7	0.9	5.7	10.7	2.4	3.1	5.4	1.2
4.	2.5	3.3	1.8	0.2	0.4	—	2.7	3.2	2.5	6.3	8.4	5.2	5.7	10.7	2.4	5.0	6.8	3.5
5.	1.3	0.4	2.0	0.1	—	0.2	0.6	0.8	0.5	4.4	1.9	5.7	2.5	—	4.2	3.1	1.4	4.7
6.	18.9	26.8	12.9	5.1	4.4	5.8	47.6	62.7	38.2	29.6	61.7	13.3	27.2	50.9	11.4	22.0	41.9	4.7
7.	3.5	4.5	2.8	0.5	0.7	0.3	7.3	7.9	6.9	6.6	11.2	4.3	7.9	10.7	6.0	3.8	6.8	1.2
8.	15.3	0.2	26.7	0.1	—	0.2	22.1	—	35.8	37.8	—	57.1	36.6	1.8	59.9	28.9	—	54.1
9.	48.1	53.1	44.3	91.3	91.7	91.0	6.4	9.5	4.4	0.6	0.9	0.5	—	—	—	1.3	1.4	1.2
10.	2.0	2.4	1.6	0.4	0.7	0.2	0.6	—	1.0	0.9	0.9	0.9	1.4	0.9	1.8	18.9	23.0	15.3
11.	4.9	4.0	5.6	1.3	0.6	2.0	9.1	9.5	8.8	8.2	8.4	8.1	8.2	6.3	9.6	9.4	9.5	9.4
DK	1.0	0.6	1.3	0.4	0.7	0.2	0.9	—	1.5	2.2	—	3.3	0.7	—	1.2	3.1	2.7	3.5
首都圏																		
1.	0.7	1.2	0.3	—	—	—	—	—	—	1.3	2.9	0.6	1.9	2.7	1.2	2.3	3.7	—
2.	1.0	1.8	0.2	—	—	—	0.8	2.0	—	1.3	2.9	0.6	3.1	6.7	—	1.5	1.2	2.0
3.	1.6	2.4	0.9	—	—	—	—	—	—	3.4	4.4	3.0	5.0	8.7	1.8	1.5	2.5	—
4.	2.7	3.8	1.6	—	—	—	0.8	2.0	—	4.7	4.4	4.8	6.9	11.3	2.9	6.9	9.9	2.0
5.	1.6	0.1	2.9	0.3	0.2	0.3	0.8	—	1.3	6.0	—	8.4	2.2	—	4.1	1.5	—	4.0
6.	17.4	26.4	9.4	3.8	2.9	4.8	41.9	61.2	29.3	26.4	63.2	11.4	32.2	56.0	11.2	25.2	39.5	2.0
7.	4.8	5.1	4.6	0.7	0.7	0.8	16.9	18.4	16.0	11.1	10.3	11.4	5.9	10.7	1.8	4.6	4.9	4.0
8.	15.4	0.1	29.0	—	—	—	15.3	—	25.3	36.2	1.5	50.3	36.3	—	68.2	22.1	—	58.0
9.	47.3	50.8	44.2	93.1	93.0	93.2	8.1	6.1	9.3	1.3	—	1.8	0.3	—	0.6	—	—	—
10.	1.7	2.5	1.0	0.5	0.7	0.3	0.8	—	1.3	—	—	—	0.3	—	0.6	16.8	19.8	12.0
11.	4.5	4.5	4.6	0.6	1.0	0.3	12.9	8.2	16.0	7.2	10.3	6.0	4.7	3.3	5.9	15.3	17.3	12.0
DK	1.2	1.2	1.3	1.0	1.5	0.5	1.6	2.0	1.3	1.3	—	1.8	1.3	0.7	1.8	2.3	1.2	4.0

(次ページに続く)

(前ページの続き)

I-9	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
関東・中部																		
1.	1.5	3.3	0.5	0.2	0.7	—	—	—	—	2.7	4.6	1.5	3.3	4.6	1.9	5.0	8.5	—
2.	0.9	2.0	0.4	—	—	—	2.3	2.2	2.5	1.8	3.5	0.7	2.1	3.0	0.9	1.3	2.1	—
3.	2.3	4.1	1.3	0.3	0.7	0.2	7.0	8.7	5.0	3.6	5.8	2.2	5.0	5.3	4.6	2.5	4.3	—
4.	3.5	6.3	2.0	—	—	—	2.3	4.3	—	8.9	12.6	6.6	8.8	10.6	6.5	2.5	4.3	—
5.	3.5	2.2	4.3	0.2	—	0.2	8.1	6.5	10.0	5.4	2.3	7.3	7.5	0.8	15.7	8.8	8.5	9.1
6.	16.8	35.1	6.6	3.8	9.5	2.2	34.9	54.3	12.5	28.6	49.4	15.3	34.6	50.8	14.8	16.3	25.5	3.0
7.	6.9	11.8	4.3	0.3	0.7	0.2	16.3	15.2	17.5	12.9	17.2	10.2	14.2	18.9	8.3	12.5	12.8	12.1
8.	10.5	0.2	16.2	0.5	—	0.6	11.6	—	25.0	30.4	—	49.6	19.2	0.8	41.7	8.8	—	21.2
9.	47.1	27.9	57.9	92.5	87.1	94.0	2.3	—	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10.	2.5	3.3	2.1	0.2	—	0.2	—	—	—	—	—	—	0.4	0.8	—	37.5	29.8	48.5
11.	3.4	3.3	3.4	1.7	1.4	1.8	13.9	8.7	20.0	3.6	2.3	4.4	3.8	3.8	3.7	3.8	4.3	3.0
DK	1.0	0.6	1.2	0.5	—	0.6	1.2	—	2.5	2.2	2.3	2.2	1.3	0.8	1.9	1.3	—	3.0
東北・北陸																		
1.	1.0	3.0	0.3	0.1	—	0.1	—	—	—	0.2	1.0	—	3.3	5.6	1.4	2.8	5.5	—
2.	1.0	3.2	0.3	—	—	—	1.1	4.7	—	1.4	5.1	0.3	2.5	5.0	0.4	1.7	1.1	2.2
3.	2.3	4.3	1.6	0.2	0.8	0.1	2.9	4.7	2.3	3.0	4.0	2.7	5.3	6.2	4.5	2.8	5.5	—
4.	8.6	5.8	9.6	0.2	—	0.3	8.6	4.7	9.9	16.6	6.1	19.8	14.8	8.9	19.5	13.8	7.7	20.0
5.	1.9	1.5	2.0	0.1	—	0.1	0.6	2.3	—	4.0	1.0	4.9	3.0	0.6	5.0	3.3	5.5	1.1
6.	29.1	45.7	23.0	5.1	5.7	5.0	56.3	67.4	52.7	48.5	70.7	41.8	45.5	60.3	33.5	29.3	33.0	25.6
7.	3.2	7.1	1.7	—	—	—	4.6	7.0	3.8	4.9	9.1	3.7	6.3	10.6	2.7	5.0	7.7	2.2
8.	6.4	0.2	8.6	0.2	—	0.3	12.1	2.3	15.3	10.1	—	13.1	10.5	—	19.0	11.1	—	22.2
9.	38.2	21.4	44.3	92.8	92.6	92.8	1.1	—	1.5	0.2	—	0.3	—	—	—	0.6	1.1	—
10.	1.6	4.1	0.8	—	—	—	0.6	—	0.8	0.2	—	0.3	0.8	—	1.4	15.5	24.2	6.7
11.	5.7	3.6	6.5	0.6	0.8	0.6	10.9	7.0	12.2	9.6	3.0	11.6	7.3	2.8	10.9	11.6	7.7	15.6
DK	1.0	0.2	1.3	0.5	—	0.6	1.1	—	1.5	1.2	—	1.5	1.0	—	1.8	2.8	1.1	4.4

I-10 あなたはアルバイト、パートタイマー、内職などをしていらっしゃいますか。

- 1. している
- 2. していない

I-10	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	37.3	30.7	41.3	57.6	60.2	56.1	19.6	11.0	24.7	21.5	6.9	27.8	18.9	4.4	31.4	9.8	6.5	13.6
2.	61.5	68.0	57.5	42.3	39.6	43.8	79.0	87.5	74.0	76.4	91.4	69.9	78.1	92.8	65.5	87.8	91.1	84.1
DK	1.3	1.3	1.2	0.2	0.2	0.1	1.4	1.5	1.3	2.1	1.7	2.3	3.0	2.8	3.2	2.4	2.4	2.3
京浜																		
1.	41.2	39.5	42.4	60.1	62.2	58.3	20.0	15.1	23.0	22.1	9.4	28.6	26.5	8.0	38.9	11.9	6.8	16.5
2.	57.7	59.4	56.5	39.9	37.8	41.7	78.5	82.5	76.0	76.7	89.7	70.0	70.3	89.3	57.5	84.3	89.2	80.0
DK	1.1	1.0	1.1	—	—	—	1.5	2.4	1.0	1.3	0.9	1.4	3.2	2.7	3.6	3.8	4.1	3.5
首都圏																		
1.	41.7	33.6	48.8	61.6	58.1	65.2	18.5	8.2	25.3	29.4	4.4	39.5	21.6	2.0	38.8	12.2	7.4	20.0
2.	56.8	64.7	49.9	38.2	41.4	34.8	79.8	89.8	73.3	67.2	92.7	56.9	75.3	94.0	58.8	86.3	90.1	80.0
DK	1.5	1.7	1.3	0.3	0.5	—	1.6	2.0	1.3	3.4	2.9	3.6	3.1	4.0	2.3	1.5	2.5	—
関東・中部																		
1.	39.1	25.0	47.0	58.6	68.7	55.7	15.1	6.5	25.0	25.9	8.1	37.2	18.3	2.3	38.0	6.3	2.1	12.1
2.	59.8	74.3	51.8	41.4	31.3	44.3	84.9	93.5	75.0	72.8	91.9	60.6	77.9	95.4	56.5	92.5	97.9	84.8
DK	1.0	0.6	1.2	—	—	—	—	—	—	1.3	—	2.2	3.8	2.3	5.6	1.3	—	3.0
東北・北陸																		
1.	28.2	15.7	32.7	49.2	48.4	49.3	21.8	7.0	26.7	14.5	5.1	17.4	11.8	5.6	16.7	7.7	7.7	7.8
2.	70.4	82.6	65.9	50.5	51.6	50.3	76.4	93.0	71.0	83.1	91.9	80.5	86.0	92.2	81.0	90.1	90.1	90.0
DK	1.5	1.7	1.4	0.4	—	0.4	1.7	—	2.3	2.3	3.0	2.1	2.3	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2

I-11 あなたの個人の収入は、過去1年間に税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 40万円未満 2. 40万円から 90万円未満 3. 90万円から 150万円未満 4. 150万円から 200万円未満
 5. 200万円から 300万円未満 6. 300万円から 400万円未満 7. 400万円から 500万円未満 8. 500万円から 600万円未満
 9. 600万円から 700万円未満 10. 700万円から1000万円未満 11. 1000万円から1300万円未満 12. 1300万円以上

I-11	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	32.2	22.3	38.2	55.4	48.1	59.5	12.2	1.5	18.4	12.4	0.3	17.6	9.9	1.0	17.4	7.1	2.4	12.4
2.	13.0	11.1	14.3	18.7	23.2	16.2	5.0	2.7	6.4	9.5	—	13.5	9.1	0.7	16.4	4.7	1.7	8.1
3.	6.5	5.1	7.3	6.5	10.1	4.5	8.1	3.0	11.1	7.2	0.3	10.2	5.7	—	10.7	4.4	2.4	6.6
4.	3.7	2.5	4.4	2.5	3.7	1.8	6.6	4.2	8.0	5.1	1.1	6.8	3.6	0.3	6.5	4.2	1.7	7.0
5.	6.6	5.2	7.4	3.3	4.7	2.5	13.7	7.6	17.3	9.0	3.6	11.3	6.9	3.3	9.9	11.8	10.9	12.8
6.	5.8	7.0	5.1	0.9	1.3	0.6	20.2	25.8	16.9	9.0	7.2	9.7	6.0	5.6	6.3	10.9	16.4	4.7
7.	5.3	7.5	3.9	0.3	0.5	0.2	18.6	28.0	13.1	9.1	13.3	7.2	6.5	7.5	5.6	8.2	10.9	5.0
8.	4.1	6.2	2.7	—	—	—	7.3	15.1	2.7	9.4	16.3	6.4	7.3	9.9	5.1	6.0	4.1	8.1
9.	4.1	7.6	1.9	0.1	0.3	—	2.0	4.2	0.7	8.8	18.8	4.5	10.1	16.8	4.3	7.4	9.9	4.7
10.	5.2	10.6	1.9	—	—	—	2.5	6.1	0.4	8.1	19.9	3.1	15.4	26.9	5.6	11.8	15.4	7.8
11.	2.6	6.2	0.4	0.0	0.1	—	0.3	0.8	—	4.1	11.4	0.9	7.6	15.4	0.9	7.4	11.9	2.3
12.	1.9	4.3	0.4	0.1	0.2	—	0.3	0.4	0.2	2.2	5.8	0.6	5.2	10.5	0.6	7.6	10.9	3.9
DK	9.1	4.5	11.9	12.3	7.9	14.7	3.2	0.8	4.7	6.2	1.9	8.1	6.8	2.1	10.8	8.5	1.4	16.7
京浜																		
1.	33.9	25.5	40.2	51.3	44.1	57.8	15.1	0.8	24.0	20.8	0.9	31.0	14.7	2.7	22.8	6.9	2.7	10.6
2.	14.9	14.5	15.3	21.8	24.6	19.2	4.6	3.2	5.4	7.9	—	11.9	13.6	1.8	21.6	3.8	—	7.1
3.	6.8	6.9	6.7	9.1	11.5	6.9	4.6	3.2	5.4	5.1	—	7.6	4.7	—	7.8	1.9	—	3.5
4.	3.4	3.4	3.4	3.2	4.4	2.1	3.6	2.4	4.4	1.6	0.9	1.9	2.5	0.9	3.6	9.4	5.4	12.9
5.	6.4	5.2	7.3	4.5	5.2	3.9	13.0	7.1	16.7	5.7	0.9	8.1	3.6	1.8	4.8	12.6	13.5	11.8
6.	5.4	5.3	5.5	1.0	0.9	1.1	21.2	24.6	19.1	4.4	0.9	6.2	3.9	1.8	5.4	8.8	16.2	2.3
7.	5.1	6.2	4.2	0.6	0.7	0.5	19.4	29.4	13.2	7.3	9.4	6.2	3.6	0.9	5.4	5.7	9.5	2.3
8.	3.1	4.4	2.2	—	—	—	6.7	12.7	2.9	7.3	14.9	3.3	6.1	6.3	6.0	5.0	4.1	5.9
9.	3.3	5.6	1.5	0.3	0.6	—	3.0	5.6	1.5	11.0	24.3	4.3	5.7	8.9	3.6	5.7	10.8	1.2
10.	4.5	8.1	1.7	—	—	—	3.6	8.7	0.5	11.4	25.2	4.3	12.9	28.6	2.4	10.1	10.8	9.4
11.	2.3	4.7	0.5	—	—	—	0.3	0.8	—	4.4	12.1	0.5	9.0	20.5	1.2	6.9	10.8	3.5
12.	2.5	5.0	0.6	0.1	0.2	—	0.6	0.8	0.5	3.5	7.5	1.4	10.0	23.2	1.2	8.2	16.2	1.2
DK	8.5	5.1	11.0	8.1	7.8	8.4	4.2	0.8	6.4	9.8	2.8	13.3	9.7	2.7	14.4	15.1	—	28.2
首都圏																		
1.	33.6	28.3	38.4	55.3	51.6	59.1	10.5	—	17.3	14.9	—	21.0	13.1	0.7	24.1	6.1	1.2	14.0
2.	16.5	15.0	17.8	24.2	27.1	21.1	3.2	2.0	4.0	11.5	—	16.2	10.6	0.7	19.4	4.6	—	12.0
3.	7.1	4.6	9.4	6.8	7.8	5.8	7.3	2.0	10.7	8.1	—	11.4	7.2	—	13.5	6.9	2.5	14.0
4.	3.6	2.2	4.8	2.8	3.4	2.3	5.7	4.1	6.7	4.7	—	6.6	4.4	0.7	7.7	2.3	—	6.0
5.	4.6	3.9	5.1	2.6	3.2	2.0	10.5	6.1	13.3	6.4	4.4	7.2	3.8	2.0	5.3	9.9	9.9	10.0
6.	5.1	4.5	5.6	0.9	1.0	0.8	25.8	32.7	21.3	9.8	7.3	10.8	2.8	0.7	4.7	8.4	9.9	6.0
7.	4.2	5.0	3.5	—	—	—	23.4	30.6	18.7	8.5	14.7	6.0	3.1	4.0	2.3	6.9	8.6	4.0
8.	3.0	3.9	2.2	—	—	—	8.1	16.3	2.7	8.5	14.7	6.0	4.7	6.7	2.9	3.0	2.5	4.0
9.	4.1	7.5	1.0	—	—	—	—	—	—	9.4	22.1	4.2	11.3	22.7	1.2	6.1	9.9	—
10.	5.7	10.9	1.0	—	—	—	2.4	4.1	1.3	6.4	17.6	1.8	17.2	34.0	2.3	14.5	22.2	2.0
11.	3.3	6.4	0.5	0.1	0.2	—	0.8	2.0	—	4.7	14.7	0.6	8.1	16.0	1.2	10.7	16.0	2.0
12.	1.9	3.9	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	0.9	2.9	—	4.7	10.0	—	9.9	14.8	2.0
DK	7.4	3.8	10.5	7.2	5.6	8.9	2.4	—	4.0	6.4	1.5	8.4	9.1	2.0	15.3	10.7	2.5	24.0

(次ページに続く)

(前ページの続き)

I-11	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
関東・中部																		
1.	33.9	14.2	45.0	56.5	42.2	60.6	11.6	2.2	22.5	12.5	—	20.4	7.9	0.8	16.7	12.5	2.1	27.3
2.	13.6	7.8	16.8	17.9	21.1	16.9	2.3	2.2	2.5	13.4	—	21.9	8.8	0.8	18.5	6.3	6.4	6.1
3.	6.2	6.1	6.2	6.3	16.3	3.4	9.3	4.3	15.0	4.9	—	8.0	6.3	—	13.9	5.0	4.3	6.1
4.	3.4	2.0	4.1	2.0	4.1	1.4	9.3	4.3	15.0	5.4	1.1	8.0	3.3	—	7.4	2.5	—	6.1
5.	7.5	7.0	7.8	3.5	8.8	2.0	22.1	15.2	30.0	10.3	3.5	14.6	9.2	4.6	14.8	11.3	6.4	18.2
6.	4.3	7.6	2.4	0.6	2.7	—	17.4	23.9	10.0	6.7	6.9	6.6	3.3	3.0	3.7	16.3	21.3	9.1
7.	4.3	9.1	1.6	—	—	—	15.1	28.3	—	7.6	11.5	5.1	7.1	9.1	4.6	10.0	14.9	3.0
8.	3.4	8.3	0.7	—	—	—	7.0	13.0	—	8.5	19.5	1.5	7.1	11.4	1.9	2.5	—	6.1
9.	5.1	12.0	1.2	—	—	—	3.5	6.5	—	9.4	19.5	2.9	14.2	21.2	5.6	8.8	14.9	—
10.	6.2	15.5	1.0	—	—	—	—	—	—	9.8	21.8	2.2	18.8	31.8	2.8	15.0	21.3	6.1
11.	2.0	5.4	—	—	—	—	—	—	—	3.1	8.1	—	6.7	12.1	—	2.5	4.3	—
12.	1.2	3.0	0.1	—	—	—	—	—	—	3.6	8.1	0.7	2.1	3.8	—	2.5	4.3	—
DK	9.1	2.0	13.0	13.2	4.8	15.7	2.3	—	5.0	4.9	—	8.0	5.4	1.5	10.2	5.0	—	12.1
東北・北陸																		
1.	28.0	15.2	32.6	60.5	61.5	60.3	8.1	4.7	9.2	4.7	—	6.1	5.0	0.6	8.6	5.5	3.3	7.8
2.	7.8	2.1	9.9	9.8	6.6	10.3	8.6	2.3	10.7	7.5	—	9.8	5.0	—	9.1	5.0	2.2	7.8
3.	5.8	1.9	7.3	2.7	4.1	2.4	14.9	2.3	19.1	9.6	1.0	12.2	5.0	—	9.1	4.4	3.3	5.6
4.	4.2	1.5	5.2	1.5	0.8	1.6	11.5	9.3	12.2	7.7	2.0	9.4	4.0	—	7.2	1.7	1.1	2.2
5.	7.8	5.4	8.6	2.1	2.5	2.0	13.2	2.3	16.8	12.2	6.1	14.0	10.3	4.5	14.9	12.7	12.1	13.3
6.	7.9	13.1	6.0	0.9	2.5	0.6	15.5	23.3	13.0	13.1	14.1	12.8	11.5	14.0	9.5	12.1	19.8	4.4
7.	7.0	12.0	5.3	0.4	1.6	0.1	15.5	20.9	13.7	11.5	18.2	9.4	10.8	13.4	8.6	10.5	12.1	8.9
8.	6.3	10.9	4.6	—	—	—	8.1	23.3	3.0	11.9	16.2	10.7	10.5	14.0	7.7	10.5	7.7	13.3
9.	4.3	7.7	3.0	—	—	—	0.6	2.3	—	6.6	10.1	5.5	9.8	13.4	6.8	9.4	6.6	12.2
10.	5.0	10.3	3.1	—	—	—	1.7	7.0	—	5.8	14.1	3.3	13.8	16.2	11.8	9.9	9.9	10.0
11.	2.9	9.0	0.7	—	—	—	—	—	—	4.0	11.1	1.8	6.8	14.0	0.9	7.7	13.2	2.2
12.	1.8	4.5	0.8	—	—	—	—	—	—	1.2	4.0	0.3	4.0	7.8	0.9	7.7	6.6	8.9
DK	11.2	6.6	12.9	22.3	20.5	22.6	2.3	2.3	2.3	4.2	3.0	4.6	3.8	2.2	5.0	2.8	2.2	3.3

I-12 あなたの世帯の収入は、過去1年間に税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 40万円未満 2. 40万円から 90万円未満 3. 90万円から 150万円未満 4. 150万円から 200万円未満
 5. 200万円から 300万円未満 6. 300万円から 400万円未満 7. 400万円から 500万円未満 8. 500万円から 600万円未満
 9. 600万円から 700万円未満 10. 700万円から1000万円未満 11. 1000万円から1300万円未満 12. 1300万円以上
 13. よくわからない

I-12	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	1.8	1.8	1.8	3.3	3.8	3.1	0.4	0.4	0.4	0.3	—	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.8
2.	0.8	1.1	0.5	1.2	1.8	0.9	0.8	1.5	0.4	0.3	0.6	0.1	0.1	0.2	—	0.7	0.7	0.8
3.	1.2	1.4	1.1	1.8	2.3	1.5	1.3	1.5	1.1	0.5	0.3	0.6	0.4	0.3	0.4	1.1	1.0	1.2
4.	1.1	1.2	1.1	1.3	2.1	0.9	1.5	0.8	2.0	0.8	—	1.1	0.5	0.5	0.4	1.5	0.7	2.3
5.	2.7	2.8	2.7	2.6	2.9	2.5	3.9	4.6	3.6	2.4	1.7	2.7	1.2	1.0	1.4	6.2	5.5	7.0
6.	3.9	4.3	3.7	2.1	2.5	1.9	10.4	10.6	10.2	3.8	3.0	4.2	3.2	3.1	3.2	8.9	10.2	7.4
7.	5.1	6.0	4.6	3.0	3.8	2.6	12.9	17.4	10.2	5.8	6.1	5.7	4.2	3.8	4.5	8.5	8.9	8.1
8.	6.1	6.9	5.6	2.9	3.6	2.5	12.5	17.0	9.8	10.8	13.0	9.9	6.3	5.6	6.9	6.7	6.1	7.4
9.	6.6	6.7	6.6	3.4	3.3	3.5	7.3	4.6	8.9	12.1	13.0	11.8	9.2	10.3	8.3	8.0	7.8	8.1
10.	17.8	18.8	17.2	8.7	11.1	7.4	19.3	16.3	21.1	29.3	27.7	29.9	31.0	31.2	30.8	17.4	17.8	17.0
11.	10.5	12.3	9.5	6.1	7.0	5.6	6.9	6.1	7.3	15.4	18.8	13.9	20.1	21.8	18.6	11.1	13.3	8.5
12.	9.2	10.1	8.6	4.1	4.3	4.0	7.0	6.4	7.3	11.2	10.5	11.5	18.2	17.8	18.5	19.1	22.2	15.5
13.	26.7	22.2	29.5	49.0	44.4	51.6	12.8	9.9	14.4	5.0	3.0	5.8	3.4	2.4	4.2	5.6	2.7	8.9
DK	6.4	4.4	7.7	10.5	7.2	12.3	3.1	3.0	3.1	2.4	2.2	2.5	1.9	1.4	2.4	4.7	2.7	7.0
京浜																		
1.	1.8	2.1	1.5	3.1	3.7	2.6	0.3	—	0.5	0.3	—	0.5	0.4	—	0.6	—	—	—
2.	1.0	1.8	0.5	1.5	2.4	0.7	1.2	1.6	1.0	0.3	0.9	—	—	—	—	0.6	1.4	—
3.	1.3	1.8	0.9	1.7	2.4	1.1	1.2	2.4	0.5	0.6	0.9	0.5	0.4	—	0.6	0.6	—	1.2
4.	1.7	2.5	1.1	2.7	3.7	1.8	0.3	0.8	—	—	—	—	0.4	0.9	—	3.1	2.7	3.5
5.	3.5	3.8	3.3	4.2	4.3	4.1	3.9	4.0	3.9	1.9	0.9	2.4	0.4	0.9	—	6.3	8.1	4.7
6.	3.6	3.9	3.4	2.2	2.2	2.1	10.0	10.3	9.8	1.3	0.9	1.4	2.5	2.7	2.4	6.9	10.8	3.5
7.	5.7	5.5	5.8	3.5	3.2	3.8	13.6	19.8	9.8	5.4	1.9	7.1	2.9	—	4.8	10.7	12.2	9.4
8.	5.9	6.1	5.7	3.0	3.2	2.8	13.0	16.7	10.8	8.8	12.1	7.1	4.3	1.8	6.0	8.8	6.8	10.6
9.	5.1	4.9	5.2	2.5	2.6	2.5	5.2	1.6	7.3	10.4	14.0	8.6	8.2	8.0	8.4	6.9	9.5	4.7
10.	15.6	14.7	16.3	9.1	10.4	8.1	19.7	14.3	23.0	30.3	31.8	29.5	24.4	24.1	24.5	9.4	8.1	10.6
11.	10.7	11.2	10.4	7.4	7.2	7.6	8.2	7.9	8.3	16.4	18.7	15.2	20.8	25.0	18.0	10.7	13.5	8.2
12.	11.8	10.0	13.1	5.7	3.7	7.6	8.2	7.1	8.8	16.4	12.1	18.6	29.8	33.0	27.5	22.0	23.0	21.2
13.	26.8	27.3	26.4	45.6	44.8	46.3	11.5	10.3	12.3	5.4	2.8	6.7	2.5	1.8	3.0	7.6	2.7	11.8
DK	5.7	4.6	6.6	7.8	6.3	9.0	3.6	3.2	3.9	2.5	2.8	2.4	3.2	1.8	4.2	6.3	1.4	10.6
首都圏																		
1.	1.2	1.6	0.9	2.0	2.7	1.3	—	—	—	0.4	—	0.6	0.6	0.7	0.6	0.8	—	2.0
2.	0.4	0.7	0.2	0.9	1.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.	0.6	0.5	0.6	0.3	0.5	—	0.8	—	1.3	0.9	—	1.2	0.6	0.7	0.6	1.5	1.2	2.0
4.	0.6	0.4	0.7	0.4	0.5	0.3	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	0.6	0.7	0.6	1.5	—	4.0
5.	1.4	1.0	1.8	1.5	1.0	2.0	2.4	4.1	1.3	0.4	—	0.6	0.9	0.7	1.2	3.0	1.2	6.0
6.	3.3	3.9	2.7	2.1	2.9	1.3	10.5	16.3	6.7	2.5	2.9	2.4	1.9	1.3	2.3	8.4	7.4	10.0
7.	3.9	4.9	3.0	2.8	4.1	1.5	7.3	10.2	5.3	7.2	10.3	6.0	1.9	2.0	1.8	6.1	6.2	6.0
8.	5.0	5.9	4.2	2.8	4.4	1.3	12.1	18.4	8.0	8.5	13.2	6.6	4.4	3.3	5.3	6.9	4.9	10.0
9.	7.5	7.8	7.2	4.5	4.6	4.3	10.5	10.2	10.7	11.1	11.8	10.8	11.3	14.0	8.8	7.6	7.4	8.0
10.	20.6	19.6	21.5	13.0	13.3	12.7	23.4	20.4	25.3	29.8	27.9	30.5	33.1	34.0	32.3	17.6	17.3	18.0
11.	13.5	13.7	13.3	8.6	8.7	8.4	5.7	2.0	8.0	20.4	22.1	19.8	23.4	25.3	21.8	14.5	17.3	10.0
12.	11.1	10.9	11.3	6.6	6.3	6.8	12.9	12.2	13.3	12.3	7.3	14.4	16.6	14.7	18.2	22.1	29.6	10.0
13.	26.2	25.6	26.6	47.7	45.0	50.5	11.3	6.1	14.7	3.4	2.9	3.6	3.4	1.3	5.3	3.8	2.5	6.0
DK	4.8	3.5	5.8	6.9	4.8	9.1	2.4	—	4.0	2.5	1.5	3.0	1.3	1.3	1.2	6.1	4.9	8.0

(次ページに続く)

(前ページの続き)

I-12	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
関東・中部																		
1.	2.2	1.5	2.6	3.8	4.1	3.8	2.3	2.2	2.5	—	—	—	0.4	—	0.9	—	—	—
2.	0.7	1.1	0.5	0.8	1.4	0.6	1.2	2.2	—	0.4	1.1	—	0.4	0.8	—	1.3	—	3.0
3.	2.0	3.3	1.3	3.4	8.2	2.0	1.2	2.2	—	—	—	—	0.4	—	0.9	2.5	4.3	—
4.	0.6	0.9	0.5	0.9	2.7	0.4	1.2	—	2.5	0.4	—	0.7	—	—	—	—	—	—
5.	1.8	2.2	1.6	1.9	3.4	1.4	7.0	8.7	5.0	0.4	—	0.7	0.8	0.8	0.9	2.5	—	6.1
6.	3.0	4.4	2.2	1.5	3.4	1.0	4.7	4.3	5.0	4.5	3.5	5.1	2.5	3.0	1.9	10.0	12.8	6.1
7.	4.2	5.9	3.3	2.8	4.1	2.4	15.1	19.6	10.0	2.2	2.3	2.2	5.4	4.6	6.5	6.3	8.5	3.0
8.	6.6	8.3	5.6	3.7	4.1	3.6	10.5	10.9	10.0	12.5	14.9	10.9	7.5	7.6	7.4	6.3	8.5	3.0
9.	8.4	8.9	8.2	4.5	3.4	4.8	9.3	6.5	12.5	16.5	14.9	17.5	10.8	12.1	9.3	10.0	8.5	12.1
10.	20.7	25.9	17.8	10.5	15.0	9.1	13.9	15.2	12.5	31.7	28.7	33.6	37.9	37.9	38.0	28.8	31.9	24.2
11.	9.3	10.5	8.6	5.4	4.8	5.6	7.0	4.3	10.0	14.3	16.1	13.1	17.5	16.7	18.5	5.0	6.4	3.0
12.	6.1	8.9	4.5	1.7	2.7	1.4	1.2	—	2.5	12.5	16.1	10.2	10.8	11.4	10.2	15.0	17.0	12.1
13.	26.3	14.8	32.6	45.7	36.7	48.3	19.8	15.2	25.0	3.1	2.3	3.7	3.3	3.8	2.8	8.8	—	21.2
DK	8.1	3.5	10.7	13.5	6.1	15.7	5.8	8.7	2.5	1.3	—	2.2	2.1	1.5	2.8	3.8	2.1	6.1
東北・北陸																		
1.	2.0	2.1	2.0	4.5	7.4	4.0	—	—	—	0.2	—	0.3	0.3	0.6	—	1.1	1.1	1.1
2.	0.8	0.8	0.8	1.5	1.6	1.4	0.6	2.3	—	0.2	—	0.3	—	—	—	1.1	1.1	1.1
3.	1.2	0.4	1.5	2.1	0.8	2.3	1.7	—	2.3	0.5	—	0.6	0.3	0.6	—	0.6	—	1.1
4.	1.3	0.4	1.6	0.7	—	0.9	4.6	2.3	5.3	1.6	—	2.1	0.8	0.6	0.9	0.6	—	1.1
5.	3.5	3.9	3.4	2.1	2.5	2.0	3.5	2.3	3.8	4.9	5.1	4.9	2.3	1.7	2.7	9.9	9.9	10.0
6.	5.4	5.8	5.3	2.4	1.6	2.6	13.8	11.6	14.5	6.1	5.1	6.4	5.0	5.0	5.0	10.5	11.0	10.0
7.	6.0	8.4	5.1	2.7	4.9	2.3	14.4	16.3	13.7	7.3	11.1	6.1	6.3	7.3	5.4	9.4	8.8	10.0
8.	6.8	8.4	6.2	2.1	2.5	2.0	12.6	23.3	9.2	12.6	12.1	12.8	8.5	8.4	8.6	5.0	5.5	4.4
9.	6.5	6.4	6.5	2.7	1.6	2.9	8.1	4.7	9.2	11.7	11.1	11.9	7.3	7.3	7.2	8.3	6.6	10.0
10.	16.0	18.7	15.1	2.4	1.6	2.6	18.4	18.6	18.3	26.9	22.2	28.4	29.8	28.5	30.8	19.3	18.7	20.0
11.	8.8	13.9	6.9	2.3	2.5	2.3	5.2	7.0	4.6	12.4	19.2	10.4	18.5	20.7	16.7	11.6	13.2	10.0
12.	6.7	10.3	5.4	1.3	2.5	1.1	3.5	4.7	3.0	6.1	6.1	6.1	15.8	15.6	15.8	16.0	17.6	14.4
13.	27.3	14.4	32.0	57.8	50.0	59.2	12.6	7.0	14.5	6.6	4.0	7.3	4.0	2.8	5.0	3.9	4.4	3.3
DK	7.5	6.2	8.0	15.4	20.5	14.5	1.1	—	1.5	2.8	4.0	2.4	1.5	1.1	1.8	2.8	2.2	3.3

II-1 あなたはいまの生活に、全体としてどの程度満足していますか。あなたの「感じ」に近いものを選んでください。

1. 満足している
2. どちらかといえば、満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば、不満だ
5. 不満だ

II-1	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～			
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	
全地域	1.	17.9	17.3	18.2	15.2	13.3	16.2	17.0	16.7	17.1	17.8	16.9	18.2	20.5	19.9	21.0	30.1	30.0	30.2
	2.	43.6	40.5	45.5	42.2	35.8	45.7	39.6	38.6	40.2	47.4	47.4	47.4	44.5	43.6	45.2	47.2	47.8	46.5
	3.	21.4	21.4	21.3	22.7	23.3	22.4	22.7	20.8	23.8	19.5	21.9	18.5	20.7	19.5	21.6	16.7	17.1	16.3
	4.	12.7	13.9	11.9	14.1	17.6	12.1	14.4	15.1	14.0	12.3	10.3	13.2	11.9	13.1	10.8	4.7	3.8	5.8
	5.	4.3	6.6	2.9	5.7	9.7	3.4	6.2	8.3	4.9	3.0	3.6	2.7	2.3	3.7	1.0	1.1	1.4	0.8
	DK	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4	—	—	—	—	0.2	0.2	0.3	0.2	—	0.4
京浜	1.	18.4	14.9	21.1	15.6	12.2	18.6	17.3	12.7	20.1	20.8	15.9	23.3	24.4	21.4	26.4	26.4	27.0	25.9
	2.	43.1	39.2	46.0	39.7	34.6	44.2	44.2	41.3	46.1	48.6	48.6	48.6	44.8	46.4	43.7	50.9	44.6	56.5
	3.	21.1	22.9	19.8	22.6	23.5	21.8	23.6	25.4	22.5	18.9	24.3	16.2	17.6	17.0	18.0	15.7	21.6	10.6
	4.	12.4	15.3	10.3	15.0	18.9	11.5	10.9	14.3	8.8	9.1	8.4	9.5	11.5	12.5	10.8	5.7	5.4	5.9
	5.	4.7	7.2	2.9	6.8	10.0	3.9	3.9	6.3	2.5	2.5	2.8	2.4	1.8	2.7	1.2	1.3	1.4	1.2
	DK	0.2	0.4	—	0.3	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
首都圏	1.	17.6	15.9	19.0	14.6	12.4	17.0	25.0	28.6	22.7	17.0	16.2	17.4	17.5	14.7	20.0	29.8	28.4	32.0
	2.	46.0	39.7	51.5	43.6	34.9	52.8	40.3	28.6	48.0	48.5	42.7	50.9	48.8	48.0	49.4	54.2	53.1	56.0
	3.	19.7	22.3	17.4	20.9	24.5	17.3	11.3	8.2	13.3	18.7	22.1	17.4	23.4	25.3	21.8	13.0	14.8	10.0
	4.	12.0	14.3	9.9	13.5	17.2	9.6	16.9	22.5	13.3	14.0	16.2	13.2	8.4	8.7	8.2	3.0	3.7	2.0
	5.	4.6	7.6	1.9	7.2	11.1	3.0	5.7	10.2	2.7	1.7	2.9	1.2	1.6	3.3	—	—	—	—
	DK	0.2	0.1	0.2	0.1	—	0.3	0.8	2.0	—	—	—	—	0.3	—	0.6	—	—	—
関東・中部	1.	18.4	19.2	17.9	12.9	13.6	12.7	19.8	17.4	22.5	21.4	17.2	24.1	23.8	22.7	25.0	36.3	31.9	42.4
	2.	44.5	42.7	45.5	46.3	42.9	47.3	34.9	34.8	35.0	48.2	49.4	47.5	40.4	40.2	40.7	42.5	44.7	39.4
	3.	21.1	18.7	22.4	23.7	21.1	24.5	23.3	21.7	25.0	18.3	20.7	16.8	17.9	15.1	21.3	15.0	14.9	15.1
	4.	12.1	12.4	11.9	12.9	13.6	12.7	16.3	15.2	17.5	9.8	8.1	10.9	13.3	15.9	10.2	3.8	4.3	3.0
	5.	3.8	7.0	2.0	4.0	8.8	2.6	5.8	10.9	—	2.2	4.6	0.7	4.2	6.1	1.9	2.5	4.3	—
	DK	0.2	—	0.2	0.2	—	0.2	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.9	—	—	—
東北・北陸	1.	17.2	21.9	15.5	17.0	20.5	16.3	9.2	13.9	7.6	14.1	18.2	12.8	18.3	21.2	15.8	30.9	33.0	28.9
	2.	41.7	42.3	41.4	41.0	35.3	42.0	32.8	46.5	28.2	45.4	47.5	44.8	43.3	40.8	45.3	40.9	47.3	34.4
	3.	23.1	19.7	24.4	23.9	21.3	24.4	28.7	20.9	31.3	21.1	20.2	21.3	22.3	19.5	24.4	21.0	16.5	25.6
	4.	13.9	12.2	14.6	14.3	18.0	13.6	18.4	9.3	21.4	15.0	10.1	16.5	14.0	15.1	13.1	5.5	2.2	8.9
	5.	4.0	3.8	4.1	3.9	4.9	3.7	10.9	9.3	11.4	4.4	4.0	4.6	2.0	2.8	1.4	1.1	1.1	1.1
	DK	0.1	0.2	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.6	—	0.6	—	1.1

II-2 今の社会に対するあなたの「感じ」について伺います。

a 「今の社会は豊かになった。今後も多少景気は変動しても、より豊かな社会へと発展していく」という考えと、「こんな豊かな生活は長くは続かない」という考えがあります。あなたはどちらの感じになりますか。下の中からあなたの「感じ」に一番近いものを選んで下さい。

1. さらに豊かな社会に発展していく
2. こんな豊かな生活は長くは続かない
3. 今の社会が豊かだとは思わない

II-2 a	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	28.6	30.6	27.3	28.7	28.2	29.0	28.7	30.7	27.6	30.4	33.8	29.0	28.5	33.9	23.9	23.6	29.7	16.7
2.	43.6	38.7	46.6	46.4	40.2	49.9	31.8	29.5	33.1	38.4	34.6	40.0	44.3	38.4	49.4	51.4	46.8	56.6
3.	27.5	30.3	25.8	24.7	31.3	21.0	38.5	38.3	38.7	31.0	31.6	30.8	26.8	27.8	26.0	24.3	22.5	26.4
DK	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.1	1.0	1.5	0.7	0.2	—	0.2	0.4	—	0.8	0.7	1.0	0.4
京浜																		
1.	28.1	29.9	26.8	29.3	29.6	29.1	28.2	27.8	28.4	30.9	36.5	28.1	25.1	30.4	21.6	18.9	25.7	12.9
2.	37.9	34.8	40.2	41.4	38.7	43.8	26.7	25.4	27.5	30.6	28.0	31.9	38.7	30.4	44.3	49.1	39.2	57.7
3.	33.6	34.7	32.7	29.1	31.3	27.1	44.2	44.4	44.1	38.2	35.5	39.5	35.1	39.3	32.3	32.1	35.1	29.4
DK	0.4	0.5	0.3	0.2	0.4	—	0.9	2.4	—	0.3	—	0.5	1.1	—	1.8	—	—	—
首都圏																		
1.	27.4	28.3	26.6	25.8	24.2	27.4	27.4	20.4	32.0	29.4	30.9	28.7	30.6	36.7	25.3	26.0	35.8	10.0
2.	41.5	36.8	45.7	43.4	39.2	47.7	32.3	36.7	29.3	36.6	26.5	40.7	39.7	32.7	45.9	51.9	40.7	70.0
3.	31.0	34.7	27.7	30.7	36.3	24.9	39.5	40.8	38.7	34.0	42.7	30.5	29.7	30.7	28.8	22.1	23.5	20.0
DK	0.1	0.3	—	0.1	0.2	—	0.8	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	30.0	33.3	28.1	27.4	29.9	26.6	36.0	45.7	25.0	33.9	31.0	35.8	32.5	37.1	26.9	26.3	25.5	27.3
2.	47.2	41.6	50.3	51.2	40.1	54.5	37.2	34.8	40.0	37.0	35.6	38.0	46.3	43.9	49.1	56.3	57.5	54.5
3.	22.7	25.0	21.4	21.4	29.9	18.9	26.7	19.6	35.0	29.0	33.3	26.3	20.8	18.9	23.1	17.5	17.0	18.2
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.9	—	—	—
東北・北陸																		
1.	29.1	32.6	27.8	31.7	33.6	31.4	27.0	34.9	24.4	28.8	35.3	26.8	26.8	31.3	23.1	24.9	29.7	20.0
2.	49.4	46.1	50.6	52.6	50.0	53.0	38.5	27.9	42.0	45.9	46.5	45.7	50.8	44.1	56.1	50.8	52.8	48.9
3.	20.9	20.8	21.0	15.4	16.4	15.2	32.8	37.2	31.3	25.1	18.2	27.1	22.3	24.6	20.4	22.1	14.3	30.0
DK	0.6	0.6	0.6	0.4	—	0.4	1.7	—	2.3	0.2	—	0.3	0.3	—	0.4	2.2	3.3	1.1

b 「科学技術の発展により世の中が便利になり、スイッチひとつで洗濯や料理ができるなど、快適な生活を送れるようになった」という意見があります。その一方で、「技術が進んだ結果、生活のすみずみまで機械やコンピュータが入り込んできて、機械の操作ができないと銀行でお金もおろせないなど、かえって複雑になって住みにくくなった」という意見もあります。あなたの中ではどちらの感じの方が強いですか。

1. 便利で快適な世の中になった
2. 複雑になって住みにくくなった

II-2b	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	73.6	72.7	74.2	82.1	80.1	83.2	77.0	78.8	76.0	68.5	70.9	67.5	59.7	60.0	59.5	59.2	63.5	54.3
2.	25.8	26.7	25.2	17.6	19.6	16.5	22.0	20.8	22.7	30.7	28.0	31.8	39.5	38.9	40.1	39.6	36.2	43.4
DK	0.6	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3	1.0	0.4	1.3	0.8	1.1	0.7	0.7	1.0	0.4	1.3	0.3	2.3
京浜																		
1.	75.2	76.1	74.5	81.8	79.3	84.1	77.3	80.2	75.5	72.9	78.5	70.0	57.0	61.6	53.9	59.8	64.9	55.3
2.	23.9	22.9	24.5	17.7	20.0	15.6	22.4	19.8	24.0	24.9	18.7	28.1	41.9	36.6	45.5	37.7	35.1	40.0
DK	0.9	0.9	0.9	0.5	0.7	0.3	0.3	—	0.5	2.2	2.8	1.9	1.1	1.8	0.6	2.5	—	4.7
首都圏																		
1.	73.7	73.7	73.7	80.6	79.4	81.7	79.0	85.7	74.7	71.1	69.1	71.9	61.9	62.7	61.2	60.3	61.7	58.0
2.	25.8	25.8	25.8	19.2	20.6	17.8	18.5	12.2	22.7	28.9	30.9	28.1	37.5	36.0	38.8	38.9	37.0	42.0
DK	0.5	0.5	0.5	0.3	—	0.5	2.4	2.0	2.7	—	—	—	0.6	1.3	—	0.8	1.2	—
関東・中部																		
1.	74.0	71.2	75.5	80.8	83.0	80.1	76.7	69.6	85.0	71.4	72.4	70.8	60.8	62.1	59.3	62.5	59.6	66.7
2.	25.5	28.3	24.0	19.1	17.0	19.7	23.3	30.4	15.0	27.7	26.4	28.5	38.3	37.1	39.8	36.3	40.4	30.3
DK	0.5	0.4	0.5	0.2	—	0.2	—	—	—	0.9	1.1	0.7	0.8	0.8	0.9	1.3	—	3.0
東北・北陸																		
1.	71.6	66.5	73.5	85.1	82.8	85.5	75.3	76.7	74.8	62.3	62.6	62.2	59.3	55.3	62.4	56.3	65.9	46.7
2.	28.0	33.3	26.0	14.8	17.2	14.3	23.0	23.3	22.9	37.5	37.4	37.5	40.3	44.1	37.1	43.1	34.1	52.2
DK	0.4	0.2	0.5	0.1	—	0.1	1.7	—	2.3	0.2	—	0.3	0.5	0.6	0.4	0.6	—	1.1

c 「現代の社会は豊かになったから、将来の生活は心配しなくてもなんとかなる。だから、先のことをあれこれ考えるより、今の自分の生活を充実させることが大事である」という意見があります。これに対して、「将来の自分の生活を考えて、きちんと計画を立てて生活することが大切であり、そのためには我慢することも必要だ」という考え方もあります。あなたのお考えはどちらに近いですか。

1. 今の生活を充実させることが大切だ
2. 計画を立てて生活することが大切だ

II-2c	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	30.3	34.3	27.9	36.1	43.8	31.8	30.1	33.7	28.0	24.6	26.6	23.8	22.7	24.4	21.2	24.5	24.2	24.8
2.	69.4	65.3	71.9	63.7	55.7	68.1	69.5	65.9	71.6	75.1	72.6	76.1	77.0	75.4	78.4	75.3	75.8	74.8
DK	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	0.1	0.4	0.4	0.4	0.3	0.8	0.1	0.3	0.2	0.4	0.2	—	0.4
京浜																		
1.	33.7	37.8	30.6	39.1	45.2	33.7	34.8	38.9	32.3	27.1	23.4	29.0	22.6	22.3	22.8	25.2	27.0	23.5
2.	65.7	61.4	68.9	60.3	53.9	66.0	64.6	61.1	66.7	72.2	75.7	70.5	77.1	76.8	77.3	74.2	73.0	75.3
DK	0.6	0.7	0.5	0.6	0.9	0.3	0.6	—	1.0	0.6	0.9	0.5	0.4	0.9	—	0.6	—	1.2
首都圏																		
1.	32.5	38.2	27.3	39.0	45.8	32.0	24.2	28.6	21.3	29.8	35.3	27.5	24.7	26.7	22.9	23.7	29.6	14.0
2.	67.2	61.4	72.3	60.7	54.0	67.8	75.0	69.4	78.7	69.8	63.2	72.5	74.7	73.3	75.9	76.3	70.4	86.0
DK	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.8	2.0	—	0.4	1.5	—	0.6	—	1.2	—	—	—
関東・中部																		
1.	26.6	28.8	25.3	29.4	40.1	26.2	24.4	21.7	27.5	22.8	23.0	22.6	21.3	22.7	19.4	32.5	27.7	39.4
2.	73.4	71.0	74.7	70.6	59.9	73.8	75.6	78.3	72.5	76.8	75.9	77.4	78.8	77.3	80.6	67.5	72.3	60.6
DK	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	0.4	1.1	—	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	27.2	27.1	27.3	34.3	35.3	34.1	28.2	37.2	25.2	20.8	27.3	18.9	22.0	25.1	19.5	21.0	15.4	26.7
2.	72.7	72.8	72.7	65.7	64.8	65.9	71.8	62.8	74.8	79.2	72.7	81.1	77.8	74.9	80.1	79.0	84.6	73.3
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.4	—	—	—

d 大都市には人や企業がますます集中し、また、さまざまな情報があふれるようになり、社会が巨大化し、世の中のしくみが複雑になってきたと言われます。このような社会の中では、「個人の力はあまりに小さく、もはや個人の努力では社会を変えていくことはできない」という意見があります。あなたはこの意見についてどう思われますか。

1. そのとおりだと思う
2. そうは思わない

II-2d	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	57.9	59.7	56.9	59.1	61.6	57.7	59.2	63.3	56.9	55.3	52.6	56.4	56.3	58.8	54.0	58.6	59.0	58.1
2.	42.0	40.1	43.1	40.9	38.3	42.3	40.8	36.7	43.1	44.5	46.8	43.5	43.6	41.0	45.8	41.2	41.0	41.5
DK	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	—	—	—	—	0.3	0.6	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	—	0.4
京浜																		
1.	56.0	58.0	54.5	58.8	60.9	56.8	58.2	63.5	54.9	45.7	37.4	50.0	51.6	54.5	49.7	59.8	62.2	57.7
2.	43.9	41.9	45.3	41.3	39.1	43.2	41.8	36.5	45.1	53.9	61.7	50.0	48.0	45.5	49.7	39.6	37.8	41.2
DK	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	0.3	0.9	—	0.4	—	0.6	0.6	—	1.2
首都圏																		
1.	57.7	60.6	55.1	60.5	64.2	56.6	58.9	67.3	53.3	53.6	48.5	55.7	54.1	58.0	50.6	55.7	53.1	60.0
2.	42.2	39.3	44.9	39.4	35.6	43.4	41.1	32.7	46.7	46.4	51.5	44.3	45.9	42.0	49.4	44.3	46.9	40.0
DK	0.1	0.1	—	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	58.5	60.8	57.3	58.6	61.9	57.7	55.8	60.9	50.0	52.2	55.2	50.4	60.8	61.4	60.2	71.3	66.0	78.8
2.	41.3	38.8	42.8	41.4	38.1	42.3	44.2	39.1	50.0	47.3	43.7	49.6	38.8	37.9	39.8	28.8	34.0	21.2
DK	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	0.4	1.1	—	0.4	0.8	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	59.9	60.7	59.7	58.7	55.7	59.2	63.2	60.5	64.1	64.9	69.7	63.4	58.5	60.3	57.0	54.1	58.2	50.0
2.	40.0	39.3	40.3	41.3	44.3	40.8	36.8	39.5	35.9	34.9	30.3	36.3	41.5	39.7	43.0	45.9	41.8	50.0
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.3	—	—	—	—	—	—

e また、このような社会では、「社会のしくみや世間のことを大事にしながら生活するより、要領よくふるまうほうが結局得をする」という考え方があります。あなたはこの考えについてどう思われますか。

1. そのとおりだと思う
2. そう思うが、反発を感じる
3. そうは思わない

II-2 e	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	12.2	15.1	10.4	15.1	19.8	12.5	12.5	15.5	10.7	8.2	11.9	6.7	9.0	9.8	8.3	10.3	9.9	10.9
2.	64.8	59.6	68.1	71.8	65.0	75.6	62.3	55.3	66.4	62.8	58.2	64.7	55.8	55.7	56.0	49.5	50.2	48.8
3.	22.9	25.2	21.4	13.0	15.1	11.9	25.2	29.2	22.9	29.0	29.9	28.6	35.2	34.5	35.7	39.9	39.9	39.9
DK	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.4
京浜																		
1.	12.5	16.6	9.5	16.1	20.4	12.3	12.4	18.3	8.8	6.6	9.4	5.2	8.6	12.5	6.0	5.7	2.7	8.2
2.	62.2	58.7	64.9	68.8	64.6	72.6	59.7	47.6	67.2	54.9	54.2	55.2	50.9	43.8	55.7	54.1	63.5	45.9
3.	25.2	24.5	25.6	14.9	14.6	15.1	27.9	34.1	24.0	38.5	36.5	39.5	40.5	43.8	38.3	40.3	33.8	45.9
DK	0.1	0.2	—	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
首都圏																		
1.	11.0	14.9	7.6	15.2	19.6	10.7	10.5	14.3	8.0	6.0	10.3	4.2	5.3	6.7	4.1	8.4	9.9	6.0
2.	63.3	58.2	67.8	70.6	64.4	77.2	64.5	59.2	68.0	62.1	57.3	64.1	53.8	50.7	56.5	42.0	40.7	44.0
3.	25.7	26.9	24.5	14.1	16.0	12.2	25.0	26.5	24.0	31.9	32.3	31.7	40.9	42.7	39.4	48.8	49.4	48.0
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	—	2.0
関東・中部																		
1.	9.7	11.6	8.6	9.4	14.3	7.9	11.6	8.7	15.0	5.8	10.3	2.9	10.8	8.3	13.9	17.5	17.0	18.2
2.	69.1	62.3	72.8	77.4	72.1	78.9	61.6	65.2	57.5	67.9	59.8	73.0	56.3	58.3	53.7	51.3	44.7	60.6
3.	21.3	26.1	18.5	13.2	13.6	13.1	26.7	26.1	27.5	26.3	29.9	24.1	32.9	33.3	32.4	31.3	38.3	21.2
DK	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	14.5	16.1	14.0	18.0	24.6	16.9	14.4	16.3	13.7	11.9	17.2	10.4	11.0	11.7	10.4	12.7	12.1	13.3
2.	66.3	60.7	68.4	72.7	59.8	74.9	66.1	62.8	67.2	66.3	61.6	67.7	60.8	65.4	57.0	50.3	50.5	50.0
3.	19.1	23.2	17.6	9.1	15.6	8.0	19.5	20.9	19.1	21.8	21.2	22.0	28.3	22.9	32.6	37.0	37.4	36.7
DK	0.1	—	0.1	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

II-3 科学技術や自然破壊の問題に対するあなたのご意見を伺います。

a 科学技術の発展により、われわれの生活がどんどん人工的になり、都市の人間は自然と隔絶して生活するようになってきました。あなたは次の2つの意見の中のどちらに賛成ですか。

1. 多少不便でも、人間は自然の中で大地に根ざした生活をするほうがよい
2. 人工的でも自然と隔絶していても、便利で快適な生活ができるほうがよい

II-3 a	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	86.7	86.3	86.9	85.6	84.6	86.1	81.8	81.1	82.2	86.3	85.9	86.5	91.2	91.1	91.3	90.4	89.4	91.5
2.	12.9	13.2	12.7	14.1	15.0	13.6	17.2	17.4	17.1	13.1	13.3	13.1	8.4	8.6	8.3	9.3	10.6	7.8
DK	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	1.0	1.5	0.7	0.6	0.8	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	—	0.8
京浜																		
1.	83.9	82.8	84.8	83.7	84.1	83.4	80.3	78.6	81.4	82.0	75.7	85.2	89.3	86.6	91.0	87.4	85.1	89.4
2.	15.2	16.3	14.4	15.5	15.4	15.6	18.5	19.0	18.1	16.4	21.5	13.8	10.8	13.4	9.0	11.9	14.9	9.4
DK	0.9	0.9	0.8	0.8	0.6	1.0	1.2	2.4	0.5	1.6	2.8	0.9	—	—	—	0.6	—	1.2
首都圏																		
1.	86.0	87.0	85.2	83.4	83.8	83.0	80.7	81.6	80.0	86.8	92.7	84.4	92.2	94.0	90.6	90.8	88.9	94.0
2.	13.7	12.9	14.5	16.5	16.2	16.8	19.4	18.4	20.0	12.8	7.3	15.0	7.2	5.3	8.8	9.2	11.1	6.0
DK	0.3	0.1	0.3	0.1	—	0.3	—	—	—	0.4	—	0.6	0.6	0.7	0.6	—	—	—
関東・中部																		
1.	89.8	90.4	89.5	89.5	87.8	90.1	88.4	84.8	92.5	86.6	88.5	85.4	93.3	94.7	91.7	92.5	95.7	87.9
2.	9.8	8.9	10.2	10.0	10.9	9.7	11.6	15.2	7.5	13.4	11.5	14.6	5.8	4.6	7.4	7.5	4.3	12.1
DK	0.4	0.6	0.2	0.5	1.4	0.2	—	—	—	—	—	—	0.8	0.8	0.9	—	—	—
東北・北陸																		
1.	88.2	88.2	88.2	87.1	86.1	87.3	82.2	83.7	81.7	89.0	89.9	88.7	90.5	88.8	91.9	91.7	90.1	93.3
2.	11.5	11.6	11.5	12.9	13.9	12.8	16.1	13.9	16.8	10.8	10.1	11.0	9.3	11.2	7.7	7.7	9.9	5.6
DK	0.3	0.2	0.3	—	—	—	1.7	2.3	1.5	0.2	—	0.3	0.3	—	0.4	0.6	—	1.1

b 森林が破壊され、環境が汚染され、砂漠化が進み、このまれば地球は滅びるのではないかと心配されています。あなたは次の2つの意見のどちらに賛成ですか。

1. 生活のレベルを落としても、快適さを犠牲にしても、自然を大切にしなければいけない
2. そのような環境汚染自体も科学技術の発展によって克服し、素晴らしい社会がつけると思う

II-3b	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	79.2	73.7	82.6	79.9	72.1	84.3	74.1	69.7	76.7	77.4	70.6	80.3	81.7	79.8	83.3	79.7	76.1	83.7
2.	20.1	26.0	16.5	19.7	27.7	15.3	24.6	30.3	21.3	21.5	28.5	18.5	17.0	19.9	14.6	19.8	23.5	15.5
DK	0.7	0.3	1.0	0.3	0.3	0.4	1.3	—	2.0	1.1	0.8	1.2	1.3	0.3	2.1	0.5	0.3	0.8
京浜																		
1.	76.7	70.5	81.3	76.2	69.8	81.9	71.8	69.8	73.0	77.6	63.5	84.8	78.8	73.2	82.6	84.3	82.4	85.9
2.	22.6	29.1	17.8	23.5	30.0	17.7	26.1	30.2	23.5	21.1	33.6	14.8	20.8	26.8	16.8	15.7	17.6	14.1
DK	0.7	0.4	0.9	0.3	0.2	0.3	2.1	—	3.4	1.3	2.8	0.5	0.4	—	0.6	—	—	—
首都圏																		
1.	78.6	73.1	83.5	76.5	69.3	84.0	78.2	69.4	84.0	79.2	77.9	79.6	84.4	84.0	84.7	77.1	70.4	88.0
2.	20.8	26.5	15.8	23.2	30.3	15.7	21.0	30.6	14.7	20.0	22.1	19.2	14.7	15.3	14.1	22.9	29.6	12.0
DK	0.6	0.4	0.7	0.4	0.5	0.3	0.8	—	1.3	0.9	—	1.2	0.9	0.7	1.2	—	—	—
関東・中部																		
1.	80.9	75.2	84.0	84.3	77.6	86.3	72.1	65.2	80.0	75.0	67.8	79.6	82.9	82.6	83.3	72.5	70.2	75.8
2.	18.4	24.6	14.9	15.7	22.5	13.7	26.7	34.8	17.5	24.5	32.2	19.7	14.6	16.7	12.0	25.0	29.8	18.2
DK	0.8	0.2	1.1	—	—	—	1.2	—	2.5	0.4	—	0.7	2.5	0.8	4.6	2.5	—	6.1
東北・北陸																		
1.	81.5	79.2	82.3	85.1	85.3	85.1	76.4	74.4	77.1	77.5	75.8	78.1	80.8	78.2	82.8	80.7	79.1	82.2
2.	17.6	20.6	16.5	14.3	14.8	14.2	23.6	25.6	22.9	21.1	24.2	20.1	17.8	21.8	14.5	18.8	19.8	17.8
DK	0.9	0.2	1.2	0.6	—	0.7	—	—	—	1.4	—	1.8	1.5	—	2.7	0.6	1.1	—

II-5 次に、仕事とそれ以外の生活のあり方について、いろいろな意見がのっています。あなたはどれがもっとも望ましいと思いますか。

1. 仕事よりも、家庭や趣味・スポーツなどの生活に生きがいを求める
2. 仕事はさっさとかたづけて、できるだけそれ以外の生活を楽しむ
3. 仕事にもそれ以外の生活にも、同じくらいの力を入れる
4. それ以外の生活もときには楽しむが、仕事のほうに力を注ぐ
5. 仕事に生きがい求めて、全力を傾ける
6. その他

II-5	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	11.8	13.2	10.9	15.3	20.5	12.4	14.6	13.3	15.3	8.1	6.7	8.7	6.5	4.4	8.4	6.0	7.5	4.3
2.	18.4	18.0	18.6	19.2	21.7	17.8	19.0	17.4	20.0	18.6	13.0	21.0	15.7	13.8	17.4	17.6	17.1	18.2
3.	51.5	45.6	55.1	54.7	44.1	60.6	53.9	53.8	54.0	51.6	52.6	51.2	47.6	45.9	49.1	36.8	35.2	38.8
4.	12.1	15.2	10.2	5.2	5.6	5.0	7.8	9.9	6.7	15.7	20.2	13.8	23.6	29.1	18.8	26.7	27.0	26.4
5.	2.4	3.8	1.5	1.7	2.8	1.1	1.3	1.9	0.9	1.8	3.3	1.2	3.5	4.7	2.5	6.5	8.2	4.7
6.	3.5	3.8	3.3	3.6	4.8	2.9	3.1	3.8	2.7	3.6	3.6	3.6	2.4	1.4	3.3	5.4	4.8	6.2
DK	0.4	0.5	0.4	0.3	0.6	0.2	0.3	—	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.4	0.9	0.3	1.5
京浜																		
1.	12.6	15.8	10.2	16.1	22.2	10.7	13.6	7.9	17.2	7.6	8.4	7.1	6.1	3.6	7.8	6.3	10.8	2.3
2.	19.7	18.7	20.5	20.3	20.7	19.9	19.4	20.6	18.6	18.6	11.2	22.4	20.1	16.1	22.8	17.6	14.9	20.0
3.	50.8	45.0	55.1	52.2	43.0	60.4	52.1	51.6	52.5	53.9	50.5	55.7	47.3	50.0	45.5	37.1	33.8	40.0
4.	9.1	11.4	7.4	4.0	4.8	3.3	9.1	11.9	7.3	12.6	21.5	8.1	16.1	21.4	12.6	26.4	28.4	24.7
5.	2.2	3.0	1.5	1.8	2.6	1.1	1.2	2.4	0.5	0.9	0.9	0.9	4.7	6.3	3.6	4.4	5.4	3.5
6.	5.2	5.5	4.9	5.1	6.1	4.3	4.6	5.6	3.9	5.7	6.5	5.2	4.7	0.9	7.2	6.3	6.8	5.9
DK	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	0.3	—	—	—	0.6	0.9	0.5	1.1	1.8	0.6	1.9	—	3.5
首都圏																		
1.	10.9	12.8	9.4	13.9	17.7	9.9	14.5	20.4	10.7	6.4	2.9	7.8	6.6	2.7	10.0	8.4	9.9	6.0
2.	18.6	19.7	17.6	20.8	24.5	17.0	20.2	14.3	24.0	16.6	14.7	17.4	15.0	12.7	17.1	16.0	16.0	16.0
3.	51.5	44.9	57.4	52.4	43.8	61.4	54.8	53.1	56.0	54.9	55.9	54.5	50.9	48.7	52.9	38.2	29.6	52.0
4.	12.4	14.9	10.3	5.9	6.3	5.6	5.7	8.2	4.0	14.5	16.2	13.8	24.1	32.0	17.1	26.7	29.6	22.0
5.	2.5	3.5	1.6	2.5	3.2	1.8	3.2	4.1	2.7	2.1	4.4	1.2	1.6	2.7	0.6	5.3	6.2	4.0
6.	3.8	3.9	3.6	4.2	4.4	4.1	1.6	—	2.7	5.1	4.4	5.4	1.9	1.3	2.3	5.3	8.6	—
DK	0.2	0.3	0.1	0.3	0.2	0.3	—	—	—	0.4	1.5	—	—	—	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	11.9	12.0	11.9	14.9	19.7	13.5	18.6	21.7	15.0	7.6	9.2	6.6	6.7	3.8	10.2	8.8	6.4	12.1
2.	15.4	15.7	15.2	16.8	19.7	15.9	10.5	10.9	10.0	13.4	9.2	16.1	12.9	13.6	12.0	22.5	25.5	18.2
3.	54.6	47.3	58.7	58.8	49.7	61.4	57.0	50.0	65.0	55.4	56.3	54.7	48.3	41.7	56.5	35.0	36.2	33.3
4.	13.0	17.9	10.2	5.8	5.4	6.0	8.1	10.9	5.0	17.4	17.2	17.5	26.7	32.6	19.4	22.5	23.4	21.2
5.	2.2	3.9	1.2	1.4	1.4	1.4	—	—	—	2.7	5.8	0.7	3.8	6.1	0.9	5.0	6.4	3.0
6.	2.6	3.0	2.3	2.2	3.4	1.8	4.7	6.5	2.5	3.1	2.3	3.7	1.3	2.3	—	6.3	2.1	12.1
DK	0.3	0.2	0.4	0.2	0.7	—	1.2	—	2.5	0.4	—	0.7	0.4	—	0.9	—	—	—
東北・北陸																		
1.	11.4	10.1	11.9	15.9	23.8	14.5	14.4	11.6	15.3	9.6	5.1	11.0	6.8	6.7	6.8	2.8	3.3	2.2
2.	18.6	16.1	19.5	18.0	18.9	17.9	21.8	18.6	22.9	22.5	17.2	24.1	15.0	13.4	16.3	16.6	15.4	17.8
3.	50.3	46.1	51.8	57.2	43.4	59.6	55.2	65.1	51.9	46.1	49.5	45.1	44.8	44.1	45.3	36.5	40.7	32.2
4.	14.6	20.4	12.5	5.6	6.6	5.4	6.9	4.7	7.6	17.8	24.2	15.9	26.5	29.0	24.4	28.7	25.3	32.2
5.	2.7	5.2	1.7	1.1	4.1	0.6	0.6	—	0.8	1.9	3.0	1.5	4.3	4.5	4.1	9.9	13.2	6.7
6.	1.9	1.1	2.2	1.8	1.6	1.9	0.6	—	0.8	1.4	1.0	1.5	2.0	1.1	2.7	4.4	1.1	7.8
DK	0.6	0.9	0.5	0.4	1.6	0.1	0.6	—	0.8	0.7	—	0.9	0.8	1.1	0.4	1.1	1.1	1.1

II-6 あなたは転職の経験がありますか。

0. ない 1. ある (回)

II-6	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
0回	72.1	72.9	71.6	94.7	94.1	95.0	58.4	72.0	50.4	46.0	54.0	42.5	54.2	56.7	52.0	47.2	40.3	55.0
1回	12.0	11.4	12.3	1.8	2.2	1.5	20.2	15.1	23.1	24.3	20.8	25.8	18.7	17.8	19.5	22.5	21.8	23.3
2回	6.6	6.3	6.7	0.9	0.6	0.9	11.1	7.2	13.3	12.5	11.6	12.8	11.2	9.3	12.9	12.7	16.4	8.5
3回	5.2	5.3	5.1	0.6	0.9	0.4	6.4	3.8	8.0	10.8	7.8	12.1	9.4	10.1	8.9	10.3	12.6	7.8
4回	1.4	1.4	1.4	0.2	0.2	0.2	2.1	0.8	2.9	2.7	2.5	2.8	2.9	3.1	2.7	2.0	2.7	1.2
5回	1.0	1.1	0.9	0.1	0.3	0.1	1.1	0.4	1.6	2.0	1.4	2.3	1.8	1.9	1.6	2.5	3.8	1.2
6回	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	0.8	0.2	0.5	0.6	0.5	0.2	—	0.3	0.2	0.3	—
7回	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	—	—	—	—	0.1	—	0.1	0.2	0.5	—	0.2	—	0.4
8回	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	—	0.1	—	0.2	0.1	—	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—
9回	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	—	—	—	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—
10回以上	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	0.1	—	—	—	—	0.2	0.6	—	0.2	0.3	—	0.2	0.3
DK	1.3	0.9	1.5	1.5	1.3	1.7	0.1	—	0.2	0.8	0.6	0.9	1.1	—	2.1	2.2	1.7	2.7
京浜																		
0回	75.2	78.7	72.5	93.7	93.3	93.9	62.4	75.4	54.4	49.2	57.0	45.2	59.5	62.5	57.5	47.2	33.8	58.8
1回	11.4	8.6	13.5	2.3	2.8	1.8	21.8	13.5	27.0	23.3	15.9	27.1	16.5	14.3	18.0	22.6	23.0	22.4
2回	6.2	5.3	6.8	1.1	0.9	1.3	8.8	4.8	11.3	13.9	14.0	13.8	12.2	10.7	13.2	11.3	17.6	5.9
3回	3.9	3.9	4.0	1.1	1.1	1.1	4.2	4.0	4.4	8.8	8.4	9.1	7.5	8.9	6.6	7.6	9.5	5.9
4回	0.7	0.6	0.8	—	—	—	1.2	0.8	1.5	1.3	1.9	0.9	1.1	—	1.8	3.1	4.1	2.3
5回	0.8	1.1	0.5	0.2	0.2	0.2	0.6	0.8	0.5	1.3	1.9	0.9	1.4	1.8	1.2	3.1	6.8	—
6回	0.3	0.2	0.3	0.1	—	0.2	0.6	0.8	0.5	0.6	—	0.9	—	—	—	0.6	1.4	—
7回	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	—	—	—	—	0.3	—	0.5	—	—	—	0.6	—	1.2
8回	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	—	0.3	—	0.5	0.3	—	0.5	0.4	0.9	—	—	—	—
9回	0.0	—	0.1	0.1	—	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10回以上	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	0.3	0.9	—	0.4	0.9	—	0.6	1.4	—
DK	1.1	0.9	1.3	1.3	1.3	1.3	—	—	—	0.6	—	0.9	1.1	—	1.8	3.1	2.7	3.5
首都圏																		
0回	72.9	76.3	69.9	94.1	95.4	92.6	62.1	73.5	54.7	50.6	60.3	46.7	51.3	52.7	50.0	45.8	38.3	58.0
1回	10.9	9.5	12.3	1.7	1.2	2.3	21.0	14.3	25.3	22.5	22.1	22.8	18.1	19.3	17.1	19.9	19.8	20.0
2回	6.5	5.0	7.8	1.1	0.7	1.5	9.7	10.2	9.3	11.5	4.4	14.4	12.8	9.3	15.9	12.2	16.0	6.0
3回	5.0	5.1	4.9	0.1	0.2	—	4.8	2.0	6.7	9.4	8.8	9.6	9.1	10.0	8.2	17.6	19.8	14.0
4回	1.4	1.6	1.2	0.1	—	0.3	0.8	—	1.3	2.1	1.5	2.4	4.1	6.0	2.3	1.5	2.5	—
5回	1.1	1.0	1.2	0.3	0.5	—	1.6	—	2.7	1.3	—	1.8	2.5	2.0	2.9	2.3	3.7	—
6回	0.3	0.1	0.3	0.1	—	0.3	—	—	—	0.9	1.5	0.6	0.3	—	0.6	—	—	—
7回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10回以上	0.3	0.5	—	0.3	0.5	—	—	—	—	0.4	1.5	—	0.3	0.7	—	—	—	—
DK	1.7	0.8	2.5	2.2	1.5	3.0	—	—	—	1.3	—	1.8	1.6	—	2.9	0.8	—	2.0
関東・中部																		
0回	75.4	66.4	80.4	95.5	91.8	96.6	58.1	67.4	47.5	49.5	44.8	52.5	56.7	56.8	56.5	58.8	53.2	66.7
1回	12.1	16.8	9.5	1.9	4.1	1.2	23.3	19.6	27.5	27.7	31.0	25.5	19.2	20.5	17.6	18.8	17.0	21.2
2回	4.7	7.0	3.4	0.5	—	0.6	7.0	4.3	10.0	9.4	12.6	7.3	8.8	9.1	8.3	11.3	14.9	6.1
3回	4.5	6.5	3.4	0.5	2.0	—	5.8	4.3	7.5	8.0	5.8	9.5	10.4	10.6	10.2	8.8	12.8	3.0
4回	1.6	1.5	1.6	0.8	1.4	0.6	4.7	2.2	7.5	3.1	3.5	2.9	1.3	0.8	1.9	1.3	—	—
5回	0.7	0.6	0.7	—	—	—	—	—	—	1.8	1.1	2.2	2.1	1.5	2.8	—	—	—
6回	0.1	0.2	—	—	—	—	1.2	2.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7回	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9回	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	0.4	1.1	—	—	—	—	—	—	—
10回以上	0.1	—	0.1	0.2	—	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	0.7	0.4	0.9	0.8	0.7	0.8	—	—	—	—	—	—	1.3	—	2.8	1.3	2.1	—

(次ページに続く)

(前ページの続き)

II-6	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
東北・北陸	66.0	63.1	67.0	96.0	95.9	96.0	48.3	65.1	42.8	39.1	54.5	34.5	51.3	56.4	47.1	43.1	40.7	45.6
0回	13.3	14.4	12.9	1.1	0.8	1.1	14.9	16.3	14.5	24.1	16.2	26.5	20.5	16.8	23.5	26.0	25.3	26.7
1回	8.2	9.2	7.8	0.5	—	0.6	18.4	13.9	19.9	13.6	13.1	13.7	10.8	8.4	12.7	14.9	16.5	13.3
2回	7.2	7.1	7.2	0.5	0.8	0.4	12.1	4.7	14.5	14.5	8.1	16.5	10.5	10.6	10.4	8.3	8.8	7.8
3回	2.2	2.6	2.0	—	—	—	3.5	—	4.6	4.0	3.0	4.3	4.3	4.5	4.1	1.7	3.3	—
4回	1.4	1.7	1.3	—	—	—	2.3	—	3.0	3.0	2.0	3.3	1.3	2.2	0.4	3.3	3.3	3.3
5回	0.2	0.4	0.1	0.1	0.8	—	—	—	—	0.5	1.0	0.3	0.3	—	0.4	—	—	—
6回	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	1.1	—	—	—	—
7回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9回	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10回以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	1.5	1.1	1.6	1.8	1.6	1.9	0.6	—	0.8	1.2	2.0	0.9	0.8	—	1.4	2.8	2.2	3.3

II-7 転職について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。

1. 職場や仕事内容が適さなければ、転職を考える
2. 一度勤めた以上、簡単にやめるのはよくない
3. 転職は世間の信用をなくすから、やらない方がよい

II-7	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	57.6	56.9	58.1	59.0	61.5	57.7	70.0	65.2	72.9	60.9	61.8	60.6	50.7	47.5	53.5	41.2	42.3	39.9
2.	36.9	36.8	36.9	36.5	32.7	38.7	27.3	31.1	25.1	34.8	33.0	35.6	41.0	44.7	37.8	46.5	48.5	44.2
3.	3.1	4.2	2.3	2.3	3.4	1.7	1.7	2.3	1.3	2.7	4.2	2.1	4.8	6.1	3.8	6.3	6.1	6.6
DK	2.4	2.1	2.6	2.1	2.5	1.9	1.0	1.5	0.7	1.5	1.1	1.7	3.5	1.8	4.9	6.0	3.1	9.3
京浜																		
1.	62.7	60.4	64.5	62.4	61.7	63.0	70.9	65.9	74.0	70.0	67.3	71.4	55.9	54.5	56.9	45.3	40.5	49.4
2.	32.3	33.3	31.5	33.5	32.8	34.2	25.5	28.6	23.5	27.1	28.0	26.7	33.7	33.0	34.1	45.3	52.7	38.8
3.	2.6	4.1	1.5	1.7	3.2	0.5	2.1	3.2	1.5	1.6	2.8	0.9	6.1	8.9	4.2	5.7	6.8	4.7
DK	2.4	2.3	2.5	2.3	2.4	2.3	1.5	2.4	1.0	1.3	1.9	0.9	4.3	3.6	4.8	3.8	—	7.1
首都圏																		
1.	61.0	60.6	61.5	63.7	64.9	62.4	76.6	73.5	78.7	62.1	61.8	62.3	54.4	52.7	55.9	44.3	44.4	44.0
2.	34.0	34.4	33.6	32.2	29.8	34.8	21.8	24.5	20.0	33.6	35.3	32.9	38.8	42.7	35.3	45.8	48.2	42.0
3.	2.5	3.3	1.9	2.3	3.2	1.5	1.6	2.0	1.3	2.1	2.9	1.8	2.8	3.3	2.3	4.6	4.9	4.0
DK	2.4	1.7	3.0	1.7	2.2	1.3	—	—	—	2.1	—	3.0	4.1	1.3	6.5	5.3	2.5	10.0
関東・中部																		
1.	55.9	57.3	55.2	56.6	63.3	54.7	67.4	60.9	75.0	61.2	71.3	54.7	50.4	45.5	56.5	40.0	42.5	36.4
2.	39.1	38.1	39.7	39.8	34.0	41.5	29.1	37.0	20.0	36.2	25.3	43.1	41.7	47.0	35.2	45.0	51.1	36.4
3.	2.7	2.8	2.7	2.0	1.4	2.2	1.2	—	2.5	2.2	3.5	1.5	4.6	6.1	2.8	6.3	—	15.1
DK	2.2	1.7	2.4	1.5	1.4	1.6	2.3	2.2	2.5	0.4	—	0.7	3.3	1.5	5.6	8.8	6.4	12.1
東北・北陸																		
1.	50.3	44.9	52.3	51.7	47.5	52.4	64.9	58.1	67.2	53.4	47.5	55.2	44.3	40.2	47.5	35.9	41.8	30.0
2.	42.9	45.3	42.0	42.4	40.2	42.8	33.9	39.5	32.1	40.5	43.4	39.6	47.5	52.0	43.9	48.6	44.0	53.3
3.	4.3	7.1	3.2	3.3	7.4	2.6	1.1	2.3	0.8	4.2	7.1	3.3	5.8	6.7	5.0	8.3	9.9	6.7
DK	2.6	2.6	2.6	2.6	4.9	2.2	—	—	—	1.9	2.0	1.8	2.5	1.1	3.6	7.2	4.4	10.0

Ⅲ-1 結婚していない若い人たちの男女関係について、どのようにお考えですか。あなたのお考えにいちばん近いものを選んでください。

1. 結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない
2. 結婚を約束した間柄なら、性的まじわりがあってもよい
3. 深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい
4. 性的まじわりをもつのに、結婚とか愛とかは関係ない
5. その他

Ⅲ-1	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	18.8	18.8	19.6	7.5	4.2	9.4	5.7	4.9	6.2	18.2	8.9	22.2	41.1	37.3	44.3	53.9	49.8	58.5
2.	16.7	16.7	16.7	10.5	8.1	11.8	10.9	8.3	12.4	24.9	24.6	24.9	26.7	30.2	23.7	22.1	23.9	20.2
3.	51.3	47.8	53.4	66.0	62.9	67.7	62.6	59.8	64.2	44.5	47.4	43.2	24.6	23.4	25.7	20.0	22.5	17.0
4.	7.2	12.7	3.7	9.2	18.0	4.3	12.5	20.5	7.8	6.0	12.7	3.1	2.3	3.5	1.2	1.1	1.7	0.4
5.	5.9	5.8	6.0	6.5	6.7	6.3	8.0	6.1	9.1	6.2	6.4	6.1	4.8	5.2	4.3	2.0	2.0	1.9
DK	0.4	0.2	0.5	0.3	0.1	0.4	0.3	0.4	0.2	0.3	-	0.5	0.6	0.3	0.8	0.9	-	1.9
京浜																		
1.	15.5	11.3	18.7	7.8	3.9	11.3	6.1	4.8	6.9	15.1	10.3	17.6	37.3	32.1	40.7	52.8	46.0	58.8
2.	12.5	11.6	13.2	9.0	7.6	10.2	8.5	6.3	9.8	16.7	15.9	17.1	23.7	25.0	22.8	18.2	23.0	14.1
3.	55.3	53.6	56.6	64.0	61.7	66.0	63.3	60.3	65.2	53.0	47.7	55.7	30.8	31.3	30.5	23.9	25.7	22.4
4.	10.3	18.0	4.4	12.4	20.9	4.8	13.9	23.8	7.8	10.1	20.6	4.8	2.2	4.5	0.6	1.9	4.1	-
5.	6.2	5.5	6.8	6.7	5.9	7.4	8.2	4.8	10.3	5.1	5.6	4.8	5.7	7.1	4.8	1.9	1.4	2.3
DK	0.2	-	0.4	0.2	-	0.3	-	-	-	-	-	-	0.4	-	0.6	1.3	-	2.3
首都圏																		
1.	19.2	14.4	23.4	7.6	4.8	10.4	6.4	10.2	4.0	21.3	4.4	28.1	36.3	28.0	43.5	57.3	49.4	70.0
2.	17.8	17.0	18.5	9.5	8.7	10.4	12.1	6.1	16.0	29.8	26.5	31.1	30.3	34.7	26.5	21.4	24.7	16.0
3.	49.1	49.2	49.1	63.4	60.8	66.2	62.1	55.1	66.7	40.0	52.9	34.7	27.2	28.7	25.9	18.3	21.0	14.0
4.	7.8	12.9	3.3	11.9	18.2	5.3	9.7	18.4	4.0	3.8	8.8	1.8	2.5	4.7	0.6	0.8	1.2	-
5.	5.8	6.3	5.3	6.9	7.3	6.6	9.7	10.2	9.3	5.1	7.3	4.2	3.1	3.3	2.9	2.3	3.7	-
DK	0.4	0.3	0.6	0.6	0.2	1.0	-	-	-	-	-	-	0.6	0.7	0.6	-	-	-
関東・中部																		
1.	19.6	18.1	20.5	9.4	2.0	11.5	4.7	2.2	7.5	16.1	6.9	21.9	43.3	38.6	49.1	57.5	46.8	72.7
2.	20.1	21.1	19.5	14.0	6.1	16.3	12.8	6.5	20.0	28.6	29.9	27.7	30.4	34.8	25.0	22.5	27.7	15.1
3.	48.0	44.4	49.9	63.8	70.8	61.8	64.0	65.2	62.5	38.8	41.4	37.2	17.9	17.4	18.5	17.5	23.4	9.1
4.	5.4	9.4	3.2	5.5	13.6	3.2	15.1	19.6	10.0	7.1	13.8	2.9	1.7	1.5	1.9	-	-	-
5.	6.5	6.5	6.5	7.2	7.5	7.2	2.3	4.3	-	8.5	8.1	8.8	5.8	6.8	4.6	1.3	2.1	-
DK	0.5	0.4	0.5	-	-	-	1.2	2.2	-	0.9	-	1.5	0.8	0.8	0.9	1.3	-	3.0
東北・北陸																		
1.	20.8	29.0	17.9	5.6	5.7	5.6	5.2	2.3	6.1	19.9	12.1	22.3	46.3	47.5	45.3	50.8	55.0	46.7
2.	18.3	21.7	17.1	10.9	10.7	10.9	13.8	18.6	12.2	26.2	28.3	25.6	23.8	26.3	21.7	26.0	22.0	30.0
3.	50.7	38.6	55.1	73.2	66.4	74.4	60.9	58.1	61.8	43.6	48.5	42.1	22.3	18.4	25.3	18.8	20.9	16.7
4.	4.3	5.8	3.8	5.0	9.8	4.2	10.3	13.9	9.2	3.5	6.1	2.7	2.5	3.3	1.8	1.1	1.1	1.1
5.	5.4	4.9	5.6	5.1	7.4	4.7	9.2	7.0	9.9	6.3	5.1	6.7	4.8	4.5	5.0	2.2	1.1	3.3
DK	0.4	-	0.6	0.2	-	0.3	0.6	-	0.8	0.5	-	0.6	0.5	-	0.9	1.1	-	2.2

Ⅲ-2 あなたは同棲についてどう思いますか。次の中からあなたのお考えにいちばん近いものを選んでください。

1. 同棲はよくない。正式に結婚すべきだ
2. 結婚前にために同棲するのはよいと思う
3. 別々に暮らすより経済的に得だ
4. 好きな相手でもしばれるのはいやだから、結婚よりも同棲の方がよい

Ⅲ-2	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	42.0	41.3	42.4	21.2	16.0	24.1	28.0	24.6	30.0	55.5	48.8	58.4	76.3	75.6	76.9	82.8	85.7	79.5
2.	40.0	35.1	42.9	58.3	52.4	61.6	47.5	44.7	49.1	27.5	29.1	26.8	11.9	12.4	11.6	6.3	6.1	6.6
3.	9.9	14.0	7.4	12.9	20.3	8.9	14.0	19.3	10.9	7.7	12.2	5.7	4.4	5.6	3.5	2.7	1.4	4.3
4.	6.3	7.7	5.4	6.4	9.5	4.8	7.7	9.5	6.7	6.0	6.7	5.7	5.3	4.5	6.0	6.3	6.1	6.6
DK	1.9	1.9	1.8	1.1	1.8	0.7	2.8	1.9	3.3	3.3	3.3	3.3	2.0	1.9	2.1	1.8	0.7	3.1
京浜																		
1.	34.5	29.9	37.9	20.8	16.1	25.0	26.1	21.4	28.9	41.3	38.3	42.9	69.5	66.1	71.9	75.5	78.4	72.9
2.	44.4	41.3	46.8	55.7	50.4	60.4	50.3	48.4	51.5	42.3	38.3	44.3	13.6	15.2	12.6	8.8	6.8	10.6
3.	11.4	16.8	7.3	14.5	21.3	8.5	14.2	19.8	10.8	6.6	11.2	4.3	5.7	7.1	4.8	1.9	1.4	2.3
4.	7.6	9.5	6.1	7.7	9.8	5.8	5.4	8.7	3.4	6.6	8.4	5.7	9.0	8.9	9.0	10.7	10.8	10.6
DK	2.2	2.5	2.0	1.3	2.4	0.3	3.9	1.6	5.4	3.2	3.7	2.9	2.2	2.7	1.8	3.1	2.7	3.5
首都圏																		
1.	42.9	38.4	46.8	20.1	15.5	24.9	25.8	30.6	22.7	60.4	44.1	67.1	76.3	75.3	77.1	86.3	86.4	86.0
2.	38.7	37.5	39.8	58.3	53.0	59.6	48.4	34.7	57.3	25.1	33.8	21.6	14.1	13.3	14.7	6.1	7.4	4.0
3.	10.4	13.8	7.4	15.4	19.4	11.2	15.3	22.5	10.7	6.0	8.8	4.8	3.4	5.3	1.8	—	—	—
4.	6.3	8.4	4.4	7.2	10.4	3.8	9.7	10.2	9.3	5.1	10.3	3.0	3.8	2.7	4.7	6.1	6.2	6.0
DK	1.7	2.0	1.5	1.1	1.7	0.5	0.8	2.0	—	3.4	2.9	3.6	2.5	3.3	1.8	1.5	—	4.0
関東・中部																		
1.	45.4	49.5	43.1	24.8	14.3	27.8	30.2	26.1	35.0	62.5	55.2	67.2	77.1	78.0	75.9	86.3	91.5	78.8
2.	38.8	30.3	43.6	58.5	55.1	59.4	41.9	41.3	42.5	21.4	23.0	20.4	11.7	12.1	11.1	6.3	6.4	6.1
3.	8.8	13.1	6.5	10.6	21.8	7.4	16.3	19.6	12.5	7.1	11.5	4.4	4.6	6.1	2.8	3.8	2.1	6.1
4.	5.0	5.4	4.8	5.1	8.2	4.2	10.5	10.9	10.0	4.5	4.6	4.4	4.2	3.0	5.6	2.5	—	6.1
DK	2.0	1.7	2.1	1.1	0.7	1.2	1.2	2.2	—	4.5	5.8	3.7	2.5	0.8	4.6	1.3	—	3.0
東北・北陸																		
1.	47.5	59.0	43.4	20.1	19.7	20.2	32.2	25.6	34.3	59.7	57.6	60.4	80.5	79.9	81.0	85.1	87.9	82.2
2.	36.7	24.7	41.1	63.8	55.7	65.2	44.3	48.8	42.8	21.1	21.2	21.0	9.3	10.1	8.6	4.4	4.4	4.4
3.	8.5	9.9	8.0	10.1	17.2	8.9	11.5	13.9	10.7	9.6	16.2	7.6	4.3	4.5	4.1	5.0	2.2	7.8
4.	5.7	5.4	5.8	5.1	6.6	4.9	9.2	9.3	9.2	6.8	4.0	7.6	4.8	4.5	5.0	4.4	5.5	3.3
DK	1.5	0.9	1.8	0.9	0.8	0.9	2.9	2.3	3.0	2.8	1.0	3.3	1.3	1.1	1.4	1.1	—	2.2

Ⅲ-3 結婚についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけてください。

1. 結婚はするのが当然である
2. 結婚しないと世間では一人前として扱ってくれない
3. いろいろ考えると結婚した方がよいと思う
4. しいて結婚する必要はない

Ⅲ-3	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～			
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	
全地域	1.	20.3	28.5	15.3	14.0	16.0	12.9	10.9	17.8	6.9	19.3	28.0	15.6	32.7	44.5	22.5	45.7	59.0	30.6
	2.	4.9	6.8	3.7	3.0	4.7	2.1	7.1	10.2	5.3	6.3	8.6	5.3	6.3	8.4	4.5	6.9	6.8	7.0
	3.	50.7	44.3	54.6	56.0	51.6	58.4	52.7	49.6	54.4	50.0	42.9	53.1	43.7	37.0	49.5	32.7	25.3	41.1
	4.	23.8	20.1	26.1	26.7	27.3	26.4	28.9	22.0	32.9	24.1	19.9	25.9	17.0	9.9	23.0	14.3	8.5	20.9
	DK	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3	0.6	0.1	0.3	0.2	0.4	0.4	0.3	0.4
京浜	1.	14.9	20.5	10.7	13.0	15.9	10.3	8.5	15.1	4.4	11.4	17.8	8.1	21.5	28.6	16.8	37.7	55.4	22.4
	2.	4.8	6.4	3.6	3.8	5.2	2.6	8.2	10.3	6.9	3.8	4.7	3.3	4.7	8.9	1.8	6.9	6.8	7.1
	3.	49.6	47.1	51.5	50.5	49.4	51.4	51.8	50.0	52.9	50.5	47.7	51.9	49.8	46.4	52.1	36.5	25.7	45.9
	4.	30.4	25.6	34.0	32.5	29.3	35.5	30.6	23.8	34.8	34.1	29.0	36.7	23.7	16.1	28.7	18.9	12.2	24.7
	DK	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.9	0.8	1.0	0.3	0.9	-	0.4	-	0.6	-	-	-
首都圏	1.	21.3	27.2	16.1	13.3	13.1	13.4	12.1	20.4	6.7	20.0	32.3	15.0	33.4	44.0	24.1	52.7	67.9	28.0
	2.	4.0	5.3	2.8	2.8	4.4	1.3	3.2	6.1	1.3	3.8	5.9	3.0	7.8	8.7	7.1	2.3	2.5	2.0
	3.	48.5	44.2	52.5	53.2	51.3	55.1	57.3	51.0	61.3	49.4	38.2	53.9	41.6	38.0	44.7	27.5	19.8	40.0
	4.	25.8	22.9	28.4	30.2	30.5	30.0	27.4	22.5	30.7	26.8	23.5	28.1	16.6	8.7	23.5	17.6	9.9	30.0
	DK	0.4	0.5	0.2	0.5	0.7	0.3	-	-	-	-	-	-	0.6	0.7	0.6	-	-	-
関東・中部	1.	22.3	35.3	15.1	14.5	19.0	13.1	11.6	17.4	5.0	21.0	29.9	15.3	37.5	53.0	18.5	56.3	63.8	45.5
	2.	4.8	7.6	3.2	2.9	4.8	2.4	9.3	13.0	5.0	6.7	11.5	3.7	5.4	6.8	3.7	7.5	6.4	9.1
	3.	53.4	42.0	59.8	61.4	56.5	62.8	58.1	50.0	67.5	49.5	37.9	56.9	42.5	31.8	55.6	27.5	25.5	30.3
	4.	19.4	15.0	21.8	21.1	19.7	21.5	20.9	19.6	22.5	22.8	20.7	24.1	14.6	8.3	22.2	8.8	4.3	15.1
	DK	0.1	-	0.1	0.2	-	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東北・北陸	1.	24.2	38.6	18.9	16.0	23.0	14.8	14.4	23.3	11.4	23.9	34.3	20.7	37.0	48.6	27.6	43.1	51.7	34.4
	2.	5.7	8.8	4.6	2.2	3.3	2.0	6.9	11.6	5.3	9.4	12.1	8.5	6.8	8.9	5.0	9.9	11.0	8.9
	3.	52.0	41.6	55.8	62.2	56.6	63.2	48.3	46.5	48.8	50.3	45.5	51.8	42.0	34.1	48.4	35.4	29.7	41.1
	4.	17.8	10.7	20.4	19.5	17.2	19.9	30.5	18.6	34.3	15.9	7.1	18.6	14.0	8.4	18.5	10.5	6.6	14.4
	DK	0.3	0.4	0.3	0.1	-	0.1	-	-	-	0.5	1.0	0.3	0.3	-	0.4	1.1	1.1	1.1

Ⅲ-4 結婚と子供の有無の問題についてお尋ねします。あなたのお考えに最も近い項目1つに○を付けて下さい

1. 結婚したら、子供をつくることは当然である
2. 結婚したら、子供をつくるかどうかは自然にまかせる
3. 結婚しても、子供はつからない
4. 子供はつくるつもりだが、結婚はしない
5. 結婚も、子供も必要ではない

Ⅲ-4	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	34.6	42.0	30.1	32.4	35.1	30.9	23.7	31.4	19.1	33.1	44.0	28.4	41.7	51.5	33.2	49.9	58.7	39.9
2.	61.4	53.3	66.4	63.0	58.3	65.6	69.8	61.4	74.7	62.8	50.7	68.1	58.6	47.6	64.3	48.6	39.6	58.9
3.	1.2	1.1	1.2	1.3	1.5	1.2	2.7	2.7	2.7	1.3	1.1	1.3	0.4	—	0.8	0.2	0.3	—
4.	0.8	0.8	0.5	1.0	1.3	0.8	0.8	1.5	0.4	0.4	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—
5.	1.8	2.6	1.2	2.2	3.7	1.4	2.5	3.0	2.2	1.8	2.8	1.3	0.5	0.7	0.3	0.7	1.0	0.4
DK	0.4	0.3	0.5	0.2	0.1	0.2	0.6	—	0.9	0.7	1.1	0.5	0.9	0.2	1.5	0.5	0.3	0.8
京浜																		
1.	28.2	36.7	21.8	28.5	35.4	22.5	22.1	31.8	16.2	22.7	30.8	18.6	29.0	38.4	22.8	47.8	60.8	36.5
2.	66.2	56.8	73.3	66.2	58.2	73.4	69.4	59.5	75.5	68.4	57.9	73.8	69.2	60.7	74.8	49.7	35.1	62.3
3.	1.8	1.5	2.0	1.3	1.3	1.3	3.6	2.4	4.4	3.2	3.7	2.9	0.7	—	1.2	—	—	—
4.	1.0	1.1	0.9	1.4	1.5	1.3	0.9	1.6	0.5	1.3	0.9	1.4	—	—	—	—	—	—
5.	2.3	3.7	1.3	2.3	3.5	1.1	3.0	4.8	2.0	3.5	5.6	2.4	0.4	0.9	—	1.9	4.1	—
DK	0.5	0.2	0.8	0.3	0.2	0.3	0.9	—	1.5	0.9	0.9	0.9	0.7	—	1.2	0.6	—	1.2
首都圏																		
1.	34.8	40.6	29.6	32.6	33.9	31.2	17.7	20.4	16.0	33.2	52.9	25.1	43.8	53.3	35.3	45.0	53.1	32.0
2.	60.2	53.6	66.1	60.5	57.4	63.7	75.0	73.5	76.0	63.4	44.1	71.3	54.4	45.3	62.3	53.4	45.7	66.0
3.	1.4	1.5	1.3	1.6	1.9	1.3	3.2	4.1	2.7	1.3	—	1.8	0.3	—	0.6	0.8	1.2	—
4.	0.7	0.8	0.6	1.1	1.5	0.8	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	—	—	—	—	—	—
5.	2.5	3.2	2.0	4.2	5.3	3.0	3.2	2.0	4.0	0.9	—	1.2	0.3	0.7	—	—	—	—
DK	0.4	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	0.9	2.9	—	1.3	0.7	1.8	0.8	—	2.0
関東・中部																		
1.	38.7	46.6	34.2	35.4	36.0	35.2	32.6	41.3	22.5	35.7	44.8	29.9	43.3	51.5	33.3	66.3	74.5	54.5
2.	59.4	51.4	63.8	62.5	61.9	62.6	64.0	52.2	77.5	61.6	51.7	67.9	55.8	48.5	64.8	33.8	25.5	45.5
3.	0.6	0.4	0.6	0.8	0.7	0.8	1.2	2.2	—	0.4	—	0.7	—	—	—	—	—	—
4.	0.4	0.4	0.4	0.6	0.7	0.6	1.2	2.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5.	0.8	1.1	0.6	0.6	0.7	0.6	1.2	2.2	—	2.2	3.5	1.5	—	—	—	—	—	—
DK	0.2	—	0.4	0.2	—	0.2	—	—	—	—	—	—	0.8	—	1.9	—	—	—
東北・北陸																		
1.	39.0	49.3	35.2	35.1	36.9	34.8	26.4	32.6	24.4	39.3	51.5	35.7	47.8	58.1	39.4	48.1	53.8	42.2
2.	58.3	48.3	62.0	61.3	58.2	61.9	69.5	62.8	71.8	59.0	46.5	62.8	50.0	40.8	57.5	50.8	45.0	56.7
3.	0.9	0.6	0.9	1.5	1.6	1.4	1.1	2.3	0.8	0.2	—	0.3	0.5	—	0.9	—	—	—
4.	0.3	0.4	0.2	0.5	0.8	0.4	0.8	2.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5.	1.1	1.1	1.2	1.5	2.5	1.3	1.7	—	2.3	0.7	1.0	0.6	1.0	1.1	0.9	0.6	—	1.1
DK	0.4	0.4	0.5	0.1	—	0.1	0.6	—	0.8	0.7	1.0	0.6	0.8	—	1.4	0.6	1.1	—

Ⅲ-5 女性の仕事と結婚・育児についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いもの1つを選んで○を付けて下さい。

1. 結婚したら家庭を守り、家事に専念するのが望ましい
2. 結婚して子供ができたら、仕事はやめた方がよい
3. 結婚して子供ができたら、一時仕事はやめ、子供に手がかからなくなったら再開するのがよい
4. 結婚して子供ができたら、仕事を軽減する方がよい
5. 結婚して子供ができて、そのまま仕事は続けた方がよい
6. 結婚しても、子供はつくらないで仕事を続けた方がよい

Ⅲ-5	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	11.0	16.4	7.7	10.8	13.9	8.7	7.0	11.0	4.7	8.2	14.7	5.5	12.9	18.5	8.1	20.9	29.4	11.2
2.	8.2	11.5	6.2	9.3	13.8	6.8	7.8	10.2	6.4	7.0	12.2	4.8	7.0	8.4	5.9	7.6	8.5	6.6
3.	54.4	49.2	57.5	53.8	45.9	58.1	47.2	46.6	47.6	55.1	53.7	55.7	59.9	58.2	63.1	53.4	46.1	61.6
4.	14.3	14.1	14.5	15.8	18.6	14.0	18.5	18.9	18.2	15.9	10.5	18.2	9.5	8.4	10.5	8.4	6.5	10.5
5.	11.0	7.8	13.0	9.6	6.7	11.2	17.6	11.4	21.3	12.8	8.3	14.7	10.1	7.7	12.2	9.4	8.9	10.1
6.	0.6	0.5	0.8	0.9	0.7	1.0	1.3	1.5	1.1	0.3	—	0.5	0.1	—	0.2	—	—	—
DK	0.4	0.6	0.3	0.2	0.4	0.1	0.6	0.4	0.7	0.7	0.6	0.7	0.5	0.9	0.2	0.4	0.7	—
京浜																		
1.	11.3	15.5	8.1	11.0	13.0	9.2	6.4	9.5	4.4	12.0	21.5	7.1	12.2	18.8	7.8	20.8	31.1	11.8
2.	10.1	13.1	7.8	11.7	14.8	8.9	9.4	12.7	7.3	7.6	11.2	5.7	6.4	7.1	6.0	11.9	13.5	10.6
3.	49.9	45.9	52.9	48.0	44.1	51.6	46.4	46.8	46.1	49.2	43.9	51.9	62.0	59.8	63.5	50.3	39.2	60.0
4.	15.0	14.8	15.2	16.8	18.5	15.3	16.1	16.7	15.7	15.5	8.4	19.0	8.6	5.4	10.8	10.7	8.1	12.9
5.	12.5	9.8	14.5	11.4	8.9	13.6	20.0	13.5	24.0	13.9	14.0	13.8	10.8	8.9	12.0	5.0	5.4	4.7
6.	0.8	0.3	1.1	1.0	0.6	1.3	0.9	—	1.5	0.9	—	1.4	—	—	—	—	—	—
DK	0.4	0.5	0.4	0.2	0.2	0.2	0.9	0.8	1.0	0.9	0.9	0.9	—	—	—	1.3	2.7	—
首都圏																		
1.	13.2	18.3	8.6	12.6	16.2	8.9	7.3	14.3	2.7	9.4	16.2	6.6	14.4	18.7	10.6	26.0	32.1	16.0
2.	9.1	11.3	7.1	10.8	13.3	8.1	5.7	4.1	6.7	8.5	16.2	5.4	7.8	8.7	7.1	6.1	6.2	6.0
3.	52.6	49.3	55.5	50.8	45.8	56.1	37.9	38.8	37.3	55.3	52.9	56.3	60.3	59.3	61.2	53.4	51.8	56.0
4.	15.8	14.2	17.3	17.0	18.2	15.7	25.0	24.5	25.3	18.7	7.3	23.4	10.3	8.7	11.8	8.4	3.7	16.0
5.	8.2	5.5	10.5	7.1	4.6	9.6	22.6	16.3	26.7	7.7	7.3	7.8	6.6	3.3	9.4	6.1	6.2	6.0
6.	0.7	0.8	0.7	1.4	1.2	1.5	0.8	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	0.4	0.7	0.2	0.4	0.7	—	0.8	—	1.3	0.4	—	0.6	0.6	1.3	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	11.2	17.9	7.4	8.9	11.6	8.1	7.0	13.0	—	6.7	12.6	2.9	17.1	24.2	8.3	28.8	34.0	21.2
2.	7.4	11.3	5.2	6.2	10.9	4.8	8.1	15.2	—	8.0	11.5	5.8	10.0	12.1	7.4	7.5	6.4	9.1
3.	56.1	49.9	59.8	56.0	50.3	57.7	53.5	41.3	67.5	60.3	57.5	62.0	55.4	47.0	65.7	50.0	51.1	48.5
4.	13.4	13.1	13.5	15.5	20.4	14.1	16.3	15.2	17.5	13.4	12.6	13.9	9.2	8.3	10.2	5.0	2.1	9.1
5.	11.0	6.8	13.4	12.3	5.4	14.3	12.8	10.9	15.0	11.2	5.8	14.6	7.5	7.6	7.4	8.8	6.4	12.1
6.	0.6	0.6	0.5	0.8	0.7	0.8	2.3	4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
DK	0.4	0.4	0.4	0.3	0.7	0.2	—	—	—	0.4	—	0.7	0.8	0.8	0.9	—	—	—
東北・北陸																		
1.	8.9	13.9	7.1	9.3	13.1	8.6	8.1	9.3	7.6	5.6	8.1	4.9	9.8	14.0	6.3	13.8	23.1	4.4
2.	5.9	9.0	4.8	6.9	13.9	5.7	6.3	4.7	6.9	5.2	11.1	3.3	5.0	6.2	4.1	5.0	7.7	2.2
3.	59.7	54.5	61.7	62.9	49.2	65.3	52.3	60.5	49.6	56.7	61.6	55.2	60.8	58.1	62.9	57.5	44.0	71.1
4.	13.0	13.5	12.8	12.8	18.0	11.9	19.5	23.3	18.3	15.9	13.1	16.8	9.8	10.1	9.5	7.7	9.9	5.8
5.	11.6	8.4	12.8	7.3	5.7	7.8	12.1	—	18.0	15.7	5.1	18.9	14.0	10.6	16.7	16.0	15.4	16.7
6.	0.5	0.2	0.8	0.6	—	0.7	1.7	2.3	1.5	0.2	—	0.3	0.3	—	0.4	—	—	—
DK	0.3	0.6	0.2	0.1	—	0.1	—	—	—	0.7	1.0	0.6	0.5	1.1	—	—	—	—

Ⅲ-6 家庭でおこなわれる家事・育児などの いろいろな仕事についてどのようにお考えですか。

1. 家事・育児は、もっぱら妻がおこなうのがよい
2. 家事・育児は、主に妻がおこない、夫がそれを助けるのがよい
3. 家事・育児は、夫も妻と同等におこなうのがよい

Ⅲ-6	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	5.7	11.2	2.3	4.4	8.7	2.0	3.4	6.8	1.3	4.3	11.4	1.3	9.9	17.5	3.3	10.7	13.6	7.4
2.	72.0	71.7	72.2	68.8	68.7	68.9	65.8	69.3	63.8	77.6	74.2	79.1	78.9	74.9	78.7	76.4	76.8	76.0
3.	22.1	17.0	25.2	26.7	22.7	29.0	30.5	23.5	34.7	17.9	14.4	19.4	13.1	7.7	17.7	11.8	9.2	14.7
DK	0.2	0.1	0.3	0.1	—	0.1	0.3	0.4	0.2	0.2	—	0.2	0.2	—	0.3	1.1	0.3	1.9
京浜																		
1.	5.4	9.0	2.8	6.1	9.1	3.5	2.7	6.3	0.5	2.5	5.6	0.9	7.2	13.4	3.0	8.8	10.8	7.1
2.	68.3	69.4	67.4	65.1	68.2	62.4	64.2	65.1	63.7	72.9	70.1	74.3	74.2	73.2	74.8	79.9	79.7	80.0
3.	26.0	21.6	29.4	28.7	22.8	34.0	32.7	28.8	35.3	24.3	24.3	24.3	17.9	13.4	21.0	10.7	9.5	11.8
DK	0.3	—	0.5	0.1	—	0.2	0.3	—	0.5	0.3	—	0.5	0.7	—	1.2	0.6	—	1.2
首都圏																		
1.	6.4	11.3	2.0	5.8	9.9	1.5	4.8	8.2	2.7	4.7	13.2	1.2	7.2	14.0	1.2	12.2	13.6	10.0
2.	71.4	72.4	70.6	68.2	69.3	67.0	50.0	59.2	44.0	78.3	78.5	79.0	80.3	80.0	80.6	77.9	79.0	78.0
3.	22.0	16.3	27.1	25.9	20.8	31.2	45.2	32.7	53.3	17.0	10.3	19.8	12.5	6.0	18.2	8.4	7.4	10.0
DK	0.2	—	0.3	0.1	—	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	4.0
関東・中部																		
1.	5.9	12.6	2.1	2.2	5.4	1.2	4.7	8.7	—	6.3	13.8	1.5	13.8	21.2	4.6	12.5	12.8	12.1
2.	72.3	71.0	73.1	68.6	64.6	69.8	72.1	76.1	67.5	78.6	73.6	81.8	75.8	72.0	80.6	75.0	78.7	69.7
3.	21.7	16.3	24.7	29.2	29.9	29.0	23.3	15.2	32.5	15.2	12.6	16.8	10.4	6.8	14.8	11.3	8.5	15.1
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	—	3.0
東北・北陸																		
1.	5.4	14.0	2.3	2.4	6.6	1.7	2.9	4.7	2.3	4.4	14.1	1.5	11.5	20.1	4.5	10.5	16.5	4.4
2.	76.4	75.1	76.8	74.8	73.8	74.9	77.0	86.1	74.1	80.3	77.8	81.1	76.8	73.7	79.2	72.9	71.4	74.4
3.	18.0	10.5	20.7	22.8	19.7	23.4	19.5	7.0	23.7	15.0	8.1	17.1	11.8	6.2	16.3	15.5	11.0	20.0
DK	0.2	0.4	0.1	—	—	—	0.6	2.3	—	0.2	—	0.3	—	—	—	1.1	1.1	1.1

Ⅲ-7 あなたにとって「家庭」とはどういうものですか、あなたのお考えに最も近いもの1つを選んで○を付けて下さい。

1. 家庭というのは生活の中心であり、心のよりどころである
2. 家庭というのは便利な時もあるが、わずらわしい時もある
3. 個人中心の生活の方が気ままでよい

Ⅲ-7	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	75.7	75.4	75.9	71.9	68.0	74.1	70.2	65.2	73.1	78.1	79.2	77.6	83.1	86.2	80.3	85.1	89.8	79.8
2.	21.6	20.5	22.3	24.2	25.5	23.5	27.0	29.9	25.3	20.5	18.6	21.3	15.8	12.4	18.8	13.6	8.9	19.0
3.	2.5	3.9	1.6	3.7	6.1	2.4	2.7	4.9	1.3	1.3	2.2	0.9	0.9	1.2	0.6	1.1	1.0	1.2
DK	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	0.1	0.1	—	0.2	0.2	—	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	—
京浜																		
1.	72.1	69.7	73.9	68.8	66.5	70.8	67.9	58.7	73.5	77.0	78.5	76.2	78.8	76.8	80.2	83.0	87.8	78.8
2.	24.6	25.4	23.9	26.8	27.4	26.3	28.5	34.1	25.0	21.1	17.8	22.9	19.7	22.3	18.0	15.7	12.2	18.8
3.	3.1	4.7	2.0	4.3	5.9	2.8	3.3	7.1	1.0	1.9	3.7	0.9	0.7	—	1.2	1.3	—	2.3
DK	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	—	0.5	—	—	—	0.7	0.9	0.6	—	—	—
首都圏																		
1.	74.8	74.4	75.2	67.2	65.6	68.8	73.4	67.3	77.3	83.8	82.3	84.4	84.4	88.7	80.6	84.0	90.1	74.0
2.	21.9	20.8	22.9	27.4	26.4	28.4	23.4	28.6	20.0	15.3	17.6	14.4	15.0	10.7	18.8	15.3	8.6	26.0
3.	3.0	4.6	1.6	5.1	7.5	2.5	3.2	4.1	2.7	0.9	—	1.2	0.3	0.7	—	0.8	1.2	—
DK	0.3	0.3	0.2	0.4	0.5	0.3	—	—	—	—	—	—	0.3	—	0.6	—	—	—
関東・中部																		
1.	78.4	78.2	78.4	76.5	72.8	77.5	74.4	73.9	75.0	77.2	69.0	82.5	83.3	88.6	78.8	86.3	87.2	84.8
2.	20.0	19.2	20.5	20.9	21.8	20.7	25.6	26.1	25.0	21.4	27.6	17.5	16.3	10.6	23.1	13.8	12.8	15.1
3.	1.5	2.2	1.1	2.3	4.1	1.8	—	—	—	1.3	3.5	—	0.4	0.8	—	—	—	—
DK	0.2	0.4	—	0.3	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	78.8	84.8	76.6	77.3	77.1	77.4	70.1	72.1	69.5	76.1	86.9	72.9	84.8	88.3	81.9	87.3	92.3	82.2
2.	19.0	12.2	21.5	20.1	18.9	20.3	27.6	23.3	29.0	22.3	12.1	25.3	13.5	8.9	17.2	10.5	4.4	16.7
3.	2.0	2.8	1.7	2.6	4.1	2.3	2.3	4.7	1.5	1.2	1.0	1.2	1.8	2.8	0.9	1.7	2.2	1.1
DK	0.2	0.2	0.1	—	—	—	—	—	—	0.5	—	0.6	—	—	—	0.6	1.1	—

Ⅲ-8 あなたにとって「家族」とはどういうものですか。あなたのお考えに最も近いもの1つを選んで○を付けて下さい。

1. 家族というのは一番大切な人間関係である
2. 家族のためならある程度個人の生活を犠牲にしてもよい
3. 家族よりも個人の幸福の方が大事だ

Ⅲ-8	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	73.3	67.3	77.0	69.9	60.6	75.1	71.7	63.8	76.4	77.6	71.5	80.2	78.5	77.5	79.4	75.1	73.7	76.7
2.	20.8	26.8	17.1	21.3	29.8	16.5	21.4	28.0	17.6	19.6	26.3	16.8	19.2	20.9	17.7	23.0	25.6	20.2
3.	5.5	5.6	5.5	8.4	9.3	7.8	6.4	7.6	5.8	2.2	1.9	2.4	1.9	1.4	2.4	1.6	0.7	2.7
DK	0.4	0.3	0.5	0.4	0.3	0.5	0.4	0.8	0.2	0.6	0.3	0.7	0.3	0.2	0.4	0.2	—	0.4
京浜																		
1.	68.5	62.7	72.9	64.8	58.0	70.8	67.9	62.7	71.1	72.6	64.5	76.7	76.0	75.0	76.7	75.5	75.7	75.3
2.	23.0	28.6	18.9	24.2	31.1	18.1	23.0	26.2	21.1	22.4	29.0	19.0	19.7	22.3	18.0	22.0	23.0	21.2
3.	8.0	8.4	7.7	10.6	10.7	10.5	8.8	10.3	7.8	4.4	5.6	3.8	3.8	2.7	4.2	2.5	1.4	3.5
DK	0.4	0.3	0.6	0.4	0.2	0.7	0.3	0.8	—	0.6	0.9	0.5	0.7	—	1.2	—	—	—
首都圏																		
1.	71.9	67.7	75.6	65.4	60.5	70.6	74.2	63.3	81.3	77.4	75.0	78.4	82.2	83.3	81.2	74.1	71.6	78.0
2.	22.1	25.9	18.7	25.0	28.6	21.3	18.5	30.6	10.7	20.4	25.0	18.6	15.9	16.0	15.9	25.2	28.4	20.0
3.	5.6	5.9	5.4	8.8	10.2	7.4	7.3	6.1	8.0	2.1	—	3.0	1.6	—	2.9	0.8	—	2.0
DK	0.4	0.5	0.3	0.7	0.7	0.8	—	—	—	—	—	—	0.3	0.7	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	75.2	68.8	78.8	73.5	59.2	77.7	70.9	63.0	80.0	80.4	74.7	83.9	77.1	75.0	79.6	73.8	76.6	69.7
2.	20.2	28.3	15.7	19.4	34.7	14.9	26.7	32.6	20.0	17.4	24.1	13.1	21.3	24.2	17.6	25.0	23.4	27.3
3.	4.2	2.8	5.0	6.8	6.1	7.0	2.3	4.3	—	1.3	1.1	1.5	1.7	0.8	2.8	1.3	—	3.0
DK	0.3	—	0.5	0.3	—	0.4	—	—	—	0.9	—	1.5	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	78.6	73.8	80.3	78.8	73.8	79.7	77.6	67.4	80.9	79.9	73.7	81.7	78.3	76.0	80.1	76.2	72.5	80.0
2.	17.5	23.8	15.3	14.9	22.1	13.6	17.8	25.6	15.3	18.3	26.3	15.9	20.3	21.8	19.0	21.5	26.4	16.7
3.	3.5	2.3	3.9	6.1	4.1	6.4	3.5	4.7	3.0	1.2	—	1.5	1.3	2.2	0.4	1.7	1.1	2.2
DK	0.4	0.2	0.5	0.2	—	0.3	1.1	2.3	0.8	0.7	—	0.9	0.3	—	0.4	0.6	—	1.1

Ⅲ-9 離婚についていろいろな意見があります。次の各項目の中で、あなたがそう思うもの1つに○をつけてください。

1. 愛情が失われても、結婚継続のために最大限の努力をすべきだ
2. 別居はしても、法的に離婚すべきではない
3. 愛情が失われたら、離婚すべきだ

Ⅲ-9	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	49.1	50.9	48.0	43.8	43.1	44.2	43.4	47.3	41.1	49.6	47.4	50.6	60.8	63.7	58.3	62.6	66.2	58.5
2.	3.9	4.2	3.8	4.8	5.4	4.4	2.7	3.0	2.4	2.9	2.8	3.0	3.3	3.7	3.0	4.2	3.1	5.4
3.	45.8	43.7	47.1	50.6	50.7	50.6	52.7	48.1	55.3	45.6	47.7	44.8	34.7	31.8	37.2	31.9	29.4	34.9
DK	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	1.3	1.5	1.1	1.8	2.2	1.7	1.2	0.9	1.5	1.3	1.4	1.2
京浜																		
1.	42.4	42.9	42.1	39.3	38.9	39.6	37.9	38.9	37.3	42.0	43.9	41.0	52.0	48.2	54.5	59.1	68.9	50.6
2.	4.1	5.1	3.3	5.6	7.4	3.9	1.5	1.6	1.5	2.2	0.9	2.9	2.5	3.6	1.8	5.0	2.7	7.1
3.	52.1	50.4	53.3	54.2	52.4	55.8	58.2	56.3	59.3	53.0	53.3	52.9	44.8	46.4	43.7	34.6	27.0	41.2
DK	1.4	1.7	1.3	1.0	1.3	0.7	2.4	3.2	2.0	2.8	1.9	3.3	0.7	1.8	-	1.3	1.4	1.2
首都圏																		
1.	48.8	50.2	47.5	43.6	44.5	42.6	41.9	49.0	37.3	47.2	38.2	50.9	60.3	64.7	56.5	61.8	63.0	60.0
2.	3.7	4.2	3.2	3.8	3.6	4.1	3.2	4.1	2.7	3.4	5.9	2.4	3.4	4.7	2.3	3.8	4.9	2.0
3.	46.4	44.9	47.8	51.3	51.3	51.3	54.0	46.9	58.7	48.5	52.9	46.7	35.0	30.7	38.8	33.6	30.9	38.0
DK	1.1	0.7	1.5	1.2	0.5	2.0	0.8	-	1.3	0.9	2.9	-	1.3	-	2.3	0.8	1.2	-
関東・中部																		
1.	52.5	57.7	49.6	47.2	46.9	47.3	51.2	60.9	40.0	51.3	51.7	51.1	60.4	65.2	54.6	76.3	78.7	72.7
2.	3.3	2.8	3.5	4.2	2.7	4.6	4.7	6.5	2.5	2.2	2.3	2.2	1.3	1.5	0.9	3.8	4.3	3.0
3.	42.9	38.6	45.3	48.0	49.7	47.5	44.2	32.6	57.5	43.8	43.7	43.8	35.8	32.6	39.8	18.8	17.0	21.2
DK	1.3	0.9	1.6	0.6	0.7	0.6	-	-	-	2.7	2.3	2.9	2.5	0.8	4.6	1.3	-	3.0
東北・北陸																		
1.	54.8	60.7	52.6	47.6	52.5	46.7	51.2	55.8	49.6	55.7	53.5	56.4	67.5	71.5	64.3	60.2	60.4	60.0
2.	4.4	3.8	4.7	5.0	5.7	4.9	3.5	2.3	3.8	3.5	3.0	3.7	5.0	4.5	5.4	3.9	1.1	6.7
3.	40.1	34.5	42.2	47.1	41.8	48.0	45.4	41.9	46.6	39.6	41.4	39.0	26.8	22.9	29.9	34.3	36.3	32.2
DK	0.7	1.1	0.5	0.4	-	0.4	-	-	-	1.2	2.0	0.9	0.8	1.1	0.4	1.7	2.2	1.1

Ⅲ-10 老後の問題についてお伺いします。

a あなたの両親のどちらかが、配偶者に先立たれ、自分で身の廻りのことができなくなった場合どうしますか。

1. どんなに大変でも、同居して面倒をみる
2. 経済的負担が大きくても、老人ホームなどの施設に入ってもらう
3. その他 ()

Ⅲ-10 a	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	67.6	69.0	66.7	73.0	67.8	75.9	61.3	67.4	57.8	61.4	70.1	57.7	65.1	71.4	59.6	61.0	69.3	51.5
2.	11.0	13.6	9.4	7.9	13.3	4.9	10.2	12.5	8.9	14.0	14.4	13.8	13.1	12.9	13.2	19.8	16.4	23.6
3.	20.3	16.2	22.8	18.4	18.1	18.6	28.0	19.3	33.1	23.4	14.4	27.2	20.3	14.5	25.4	15.1	10.9	19.8
DK	1.2	1.2	1.1	0.7	0.8	0.6	0.4	0.8	0.2	1.3	1.1	1.3	1.5	1.2	1.8	4.2	3.4	5.0
京浜																		
1.	62.8	65.3	61.0	69.3	67.4	70.9	58.5	63.5	55.4	53.0	58.9	50.0	57.3	64.3	52.7	54.7	63.5	47.1
2.	10.7	13.4	8.8	8.5	12.0	5.4	11.2	14.3	9.3	14.5	15.9	13.8	11.5	15.2	9.0	17.0	14.9	18.8
3.	25.2	20.1	28.9	21.3	19.4	23.0	30.0	21.4	35.3	31.2	24.3	34.8	29.0	19.6	35.3	23.9	17.6	29.4
DK	1.3	1.3	1.3	0.9	1.1	0.7	0.3	0.8	—	1.3	0.9	1.4	2.2	0.9	3.0	4.4	4.1	4.7
首都圏																		
1.	64.0	66.4	61.9	67.0	65.4	68.8	54.8	65.3	48.0	59.6	66.2	56.9	63.8	67.3	60.6	62.6	70.4	50.0
2.	13.0	16.2	10.2	11.0	16.5	5.3	9.7	14.3	6.7	14.9	17.6	13.8	13.1	12.0	14.1	24.4	22.2	28.0
3.	21.6	16.4	26.3	20.9	17.7	24.4	34.7	20.4	44.0	23.8	13.2	28.1	22.5	20.0	24.7	7.6	3.7	14.0
DK	1.4	1.0	1.6	1.0	0.5	1.5	0.8	—	1.3	1.7	2.9	1.2	0.6	0.7	0.6	5.3	3.7	8.0
関東・中部																		
1.	74.8	72.1	76.3	79.2	70.1	81.9	68.6	69.6	67.5	69.6	77.0	65.0	71.3	73.5	68.5	70.0	68.1	72.7
2.	6.8	9.6	5.2	5.2	8.8	4.2	5.8	6.5	5.0	7.1	11.5	4.4	9.2	9.9	8.3	12.5	10.6	15.1
3.	17.3	16.6	17.7	15.1	19.7	13.7	25.6	23.9	27.5	22.3	11.5	29.2	17.1	14.4	20.4	12.5	14.9	9.1
DK	1.2	1.7	0.9	0.5	1.4	0.2	—	—	—	0.9	—	1.5	2.5	2.3	2.8	5.0	6.4	3.0
東北・北陸																		
1.	71.1	76.8	69.1	79.2	75.4	79.8	67.8	79.1	64.1	64.4	78.8	60.1	67.8	77.7	59.7	61.3	73.6	48.9
2.	12.3	13.9	11.7	6.1	13.1	4.9	10.9	11.6	10.7	16.6	13.1	17.7	16.5	14.5	18.1	22.1	15.4	28.9
3.	15.6	8.4	18.3	14.4	11.5	14.9	20.7	7.0	25.2	17.8	7.1	21.0	14.5	6.7	20.8	13.8	9.9	17.8
DK	0.9	0.9	0.9	0.4	—	0.4	0.6	2.3	—	1.2	1.0	1.2	1.3	1.1	1.4	2.8	1.1	4.4

b あなた自身が配偶者に先立たれたときどうしますか。

1. できれば子供と一緒に暮らしたい
2. 新しいパートナーをさがす
3. できるだけ一人でがんばる
4. シルバーマンション、老人ホームなどの施設に入る

Ⅲ-10b	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	37.4	39.8	36.0	39.9	39.4	40.3	28.0	29.9	26.9	33.8	36.6	32.5	39.2	46.4	33.0	37.9	41.6	33.7
2.	10.2	13.3	8.3	12.6	16.0	10.7	16.3	20.8	13.6	8.1	13.0	6.1	4.8	7.3	2.7	4.2	7.2	0.8
3.	40.4	36.6	42.7	35.1	34.8	35.3	39.8	36.0	42.0	47.4	40.2	50.5	46.7	37.5	54.5	44.7	38.2	51.9
4.	10.9	9.4	11.8	11.6	9.1	13.0	13.4	11.4	14.7	10.0	10.0	10.0	7.8	7.3	8.3	12.3	12.6	12.0
DK	1.1	0.9	1.2	0.8	0.8	0.8	2.5	1.9	2.9	0.8	0.3	0.9	1.5	1.4	1.5	0.9	0.3	1.5
京浜																		
1.	29.4	34.3	25.6	33.6	38.7	29.1	24.5	27.0	23.0	24.6	29.0	22.4	23.7	27.7	21.0	28.3	32.4	24.7
2.	12.5	16.6	9.5	15.0	17.6	12.6	16.7	20.6	14.2	9.5	18.7	4.8	6.1	11.6	2.4	3.8	6.8	1.2
3.	44.2	38.4	48.5	38.6	35.4	41.5	41.2	38.1	43.1	50.2	40.2	55.2	59.9	48.2	67.7	50.9	43.2	57.7
4.	12.4	9.2	14.8	11.7	7.0	15.8	13.9	11.9	15.2	14.8	11.2	16.7	8.6	9.8	7.8	15.7	16.2	15.3
DK	1.6	1.6	1.6	1.1	1.3	1.0	3.6	2.4	4.4	0.9	0.9	0.9	1.8	2.7	1.2	1.3	1.4	1.2
首都圏																		
1.	32.2	37.7	27.3	35.2	39.0	31.2	19.4	22.5	17.3	23.0	27.9	21.0	35.6	42.0	30.0	34.3	40.7	24.0
2.	10.4	12.5	8.6	13.4	15.3	11.4	20.2	26.5	16.0	6.4	7.3	6.0	4.7	5.3	4.1	4.6	7.4	—
3.	44.8	38.0	50.9	38.4	33.4	43.7	46.0	40.8	49.3	57.5	51.5	59.9	49.4	44.0	54.1	49.6	37.0	70.0
4.	11.7	11.3	12.0	12.4	11.6	13.2	12.9	8.2	16.0	12.8	13.2	12.6	8.8	8.7	8.8	11.4	14.8	6.0
DK	0.8	0.5	1.0	0.6	0.7	0.5	1.6	2.0	1.3	0.4	—	0.6	1.6	—	2.9	—	—	—
関東・中部																		
1.	43.9	44.0	43.8	46.9	44.2	47.7	40.7	34.8	47.5	34.8	39.1	32.1	43.8	50.0	36.1	48.8	44.7	54.5
2.	8.8	11.8	7.2	10.9	15.6	9.5	13.9	21.7	5.0	7.6	10.3	5.8	3.3	5.3	0.9	6.3	10.6	—
3.	37.8	37.5	38.0	31.2	35.4	30.0	36.0	32.6	40.0	50.5	42.5	55.5	44.6	37.9	52.8	37.5	38.3	36.4
4.	8.9	6.5	10.2	10.3	4.8	11.9	8.1	10.9	5.0	6.7	8.1	5.8	7.9	6.1	10.2	7.5	6.4	9.1
DK	0.6	0.2	0.7	0.6	—	0.8	1.2	—	2.5	0.4	—	0.7	0.4	0.8	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	46.5	49.1	45.5	47.9	37.7	49.7	34.5	41.9	32.1	45.9	48.5	45.1	50.3	59.2	43.0	44.2	48.3	40.0
2.	8.3	9.7	7.8	9.8	11.5	9.5	13.8	13.9	13.7	8.4	13.1	7.0	5.0	7.8	2.7	3.3	5.5	1.1
3.	34.2	30.5	35.5	29.9	36.1	28.8	34.5	27.9	36.8	38.2	30.3	40.5	36.5	25.1	45.7	38.7	35.2	42.2
4.	9.9	9.7	10.0	11.7	14.8	11.2	15.5	13.9	16.0	6.6	8.1	6.1	6.5	5.6	7.2	12.1	11.0	13.3
DK	1.1	0.9	1.2	0.7	—	0.9	1.7	2.3	1.5	0.9	—	1.2	1.8	2.2	1.4	1.7	—	3.3

Ⅲ-11 寝たきり老人の世話は誰がするのがよいと思いますか。

1. どんなに大変でも子供が世話するべきだ
2. 収入の半分以上が税金にとられるようになって、自治体や国が行うようにすべきだ
3. その他 ()

Ⅲ-11	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	53.7	55.8	52.3	62.0	58.0	64.3	42.7	50.8	38.0	44.9	52.3	41.7	49.8	58.6	41.9	44.3	50.2	37.6
2.	22.8	26.0	20.9	16.8	21.9	13.9	26.0	28.8	24.4	28.8	30.2	28.3	27.1	27.8	26.6	33.6	31.7	35.7
3.	22.2	16.7	25.5	20.0	18.1	21.0	29.5	18.2	36.2	24.7	16.3	28.3	21.8	12.9	29.4	21.6	17.4	26.4
DK	1.3	1.5	1.2	1.2	2.0	0.8	1.7	2.3	1.3	1.6	1.1	1.8	1.5	0.7	2.1	0.5	0.7	0.4
京浜																		
1.	46.3	51.8	42.1	55.7	58.2	53.5	38.8	48.4	32.8	31.5	35.5	29.5	37.3	39.3	35.9	39.0	54.0	25.9
2.	26.4	28.5	24.9	19.7	22.4	17.2	28.5	32.5	26.0	38.5	45.8	34.8	33.7	39.3	29.9	34.0	24.3	42.3
3.	26.0	18.4	31.7	23.4	17.8	28.4	31.2	16.7	40.2	28.1	17.8	33.3	27.2	21.4	31.1	27.0	21.6	31.8
DK	1.3	1.4	1.3	1.2	1.7	0.8	1.5	2.4	1.0	1.9	0.9	2.4	1.8	—	3.0	—	—	—
首都圏																		
1.	48.7	52.3	45.6	55.4	53.3	57.6	28.2	36.7	22.7	40.8	47.1	38.3	48.4	58.7	39.4	42.0	49.4	30.0
2.	25.6	27.5	24.0	21.6	25.4	17.5	33.1	36.7	30.7	25.5	26.5	25.1	28.1	26.0	30.0	37.4	35.8	40.0
3.	24.1	18.5	29.1	21.3	19.1	23.6	37.1	26.5	44.0	31.1	23.5	34.1	22.8	14.7	30.0	19.9	13.6	30.0
DK	1.5	1.7	1.4	1.7	2.2	1.3	1.6	—	2.7	2.5	2.9	2.4	0.8	0.7	0.6	0.8	1.2	—
関東・中部																		
1.	61.0	63.4	59.7	67.1	64.6	67.8	58.1	63.0	52.5	52.2	64.4	44.5	54.6	65.9	40.7	58.8	51.1	69.7
2.	18.3	21.8	16.3	13.2	15.0	12.7	20.9	21.7	20.0	21.4	23.0	20.4	25.0	23.5	26.9	27.5	36.2	15.1
3.	19.8	13.7	23.1	18.8	17.7	19.1	20.9	15.2	27.5	25.5	12.6	33.6	18.8	9.9	29.8	13.8	12.8	15.1
DK	0.9	1.1	0.9	0.9	2.7	0.4	—	—	—	0.9	—	1.5	1.7	0.8	2.8	—	—	—
東北・北陸																		
1.	61.2	61.6	61.1	73.4	65.8	74.8	52.9	60.5	50.4	53.2	63.6	50.0	56.3	65.4	48.9	44.2	47.3	41.1
2.	19.5	23.0	18.2	10.7	16.4	9.7	19.0	16.3	19.9	27.4	22.2	29.0	23.0	25.1	21.3	33.2	31.9	34.4
3.	17.9	13.7	19.5	14.9	16.4	14.6	25.3	16.3	28.2	18.3	13.1	19.8	19.0	8.4	27.6	21.5	19.8	23.3
DK	1.4	1.7	1.2	1.0	1.6	0.9	2.9	7.0	1.5	1.2	1.0	1.2	1.8	1.1	2.3	1.1	1.1	1.1

Ⅲ-12 ガン患者についてお伺いします。

a 家族の一員がガンになったと医師から告げられた時どうしますか。

1. 本人に告げる
2. 本人には言わない
3. ケース・バイ・ケースで考える

Ⅲ-12a	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	13.4	19.3	9.8	17.5	26.2	12.6	11.8	20.5	6.7	7.9	12.5	5.9	9.3	12.0	6.9	11.4	12.3	10.5
2.	19.2	18.4	19.6	12.4	10.4	13.6	15.6	14.8	16.0	26.8	24.6	27.7	28.7	30.0	27.6	27.8	24.9	31.0
3.	67.4	62.2	70.5	70.1	63.4	73.8	72.7	64.8	77.3	65.2	62.9	66.2	61.8	57.6	65.5	60.6	62.8	58.1
DK	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.2	0.2	0.3	—	0.2	—	0.4
京浜																		
1.	14.4	21.7	8.9	18.8	26.3	12.1	13.0	23.8	6.4	8.5	14.0	5.7	9.3	12.5	7.2	6.3	9.5	3.5
2.	13.9	14.1	13.8	9.7	9.8	9.5	14.6	12.7	15.7	18.0	18.7	17.6	22.2	26.8	19.2	20.8	21.6	20.0
3.	71.6	64.1	77.3	71.5	63.9	78.3	72.4	63.5	77.9	73.5	67.3	76.7	68.1	59.8	73.7	73.0	68.9	76.5
DK	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	0.9	—	—	—	—
首都圏																		
1.	14.5	19.8	9.8	19.6	26.9	11.9	15.3	22.5	10.7	7.2	10.3	6.0	8.1	8.7	7.7	11.4	11.1	12.0
2.	17.6	19.5	15.9	10.3	11.6	8.9	15.3	24.5	9.3	25.5	26.5	25.1	27.8	32.0	24.1	25.2	27.2	22.0
3.	67.9	60.7	74.3	70.1	61.5	79.2	69.3	53.1	80.0	67.2	63.2	68.9	64.1	59.3	68.2	63.4	61.7	66.0
DK	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	12.5	17.0	10.0	14.3	21.1	12.3	12.8	19.6	5.0	7.6	10.3	5.8	11.7	15.9	6.5	13.8	17.0	9.1
2.	20.7	23.8	19.0	12.5	8.2	13.7	17.4	13.0	22.5	27.2	36.8	21.2	33.3	34.8	31.5	35.0	27.7	45.5
3.	66.8	59.3	71.0	73.2	70.8	74.0	69.8	67.4	72.5	65.2	52.9	73.0	55.0	49.2	62.0	51.3	55.3	45.5
DK	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	11.9	16.3	10.3	16.0	29.5	13.6	6.3	9.3	5.3	8.0	14.1	6.1	8.8	11.7	6.3	14.9	13.2	16.7
2.	25.4	20.2	27.3	18.4	11.5	19.6	16.7	11.6	18.3	33.7	19.2	38.1	31.3	26.8	34.8	32.6	24.2	41.1
3.	62.5	63.3	62.3	65.6	59.0	66.8	77.0	79.1	76.3	57.8	66.7	55.2	59.8	60.9	58.8	51.9	62.6	41.1
DK	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	0.5	—	0.6	0.3	0.6	—	0.6	—	1.1

b あなたがガンになった時どうしてほしいですか。

1. 知らせてほしい
2. 知らせてほしくない
3. どちらともいえない

Ⅲ-12b	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	62.7	66.9	60.0	70.1	76.4	66.6	66.5	70.1	64.4	54.0	57.9	52.3	51.4	55.3	48.0	55.7	58.4	52.7
2.	11.2	10.6	11.6	7.8	7.5	8.0	9.5	9.1	9.8	15.7	13.6	16.6	15.3	13.8	16.7	15.6	15.4	15.9
3.	26.0	22.3	28.3	22.0	16.0	25.4	24.0	20.8	25.8	30.1	28.5	30.8	33.0	30.7	35.0	28.7	26.3	31.4
DK	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	—	—	—	—	0.3	—	0.4	0.2	0.2	0.3	—	—	—
京浜																		
1.	66.1	70.5	62.8	72.6	76.1	69.5	66.7	72.2	63.2	56.8	63.5	53.3	53.4	51.8	54.5	58.5	64.9	52.9
2.	9.5	8.6	10.2	7.9	8.0	7.9	9.4	8.7	9.8	11.0	7.5	12.9	14.0	12.5	15.0	10.7	9.5	11.8
3.	24.3	20.6	27.0	19.4	15.7	22.7	23.9	19.0	27.0	31.9	29.0	33.3	32.3	34.8	30.5	30.8	25.7	35.3
DK	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	0.3	—	0.5	0.4	0.9	—	—	—	—
首都圏																		
1.	64.3	68.9	60.3	71.6	76.0	67.0	71.8	75.5	69.3	56.6	58.8	55.7	50.9	54.7	47.7	58.8	63.0	52.0
2.	11.4	10.3	12.4	8.2	8.0	8.4	4.8	2.0	6.7	18.7	13.2	21.0	15.6	15.3	15.9	13.7	14.8	12.0
3.	24.2	20.9	27.2	20.2	16.0	24.6	23.4	22.5	24.0	24.3	27.9	22.8	33.4	30.0	36.5	27.5	22.2	36.0
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.6	—	—	—	—	—	—
関東・中部																		
1.	60.5	62.8	59.2	65.5	76.2	62.4	66.3	63.0	70.0	54.5	56.3	53.3	53.8	59.1	47.2	50.0	42.5	60.6
2.	12.5	12.9	12.3	8.8	5.4	9.7	15.1	21.7	7.5	19.2	21.8	17.5	13.8	9.9	18.5	17.5	19.1	15.1
3.	27.0	24.4	28.4	25.7	18.4	27.8	18.6	15.2	22.5	26.3	21.8	29.2	32.1	31.1	33.3	32.5	38.3	24.2
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.9	—	—	—
東北・北陸																		
1.	58.9	61.4	58.0	68.8	79.5	66.9	62.6	65.1	61.8	50.1	52.5	49.4	49.0	55.3	43.9	53.6	57.1	50.0
2.	12.2	12.9	11.9	6.6	6.6	6.6	10.3	4.7	12.2	15.7	13.1	16.5	17.0	16.2	17.6	20.4	18.7	22.2
3.	28.8	25.7	29.9	24.6	13.9	26.5	27.0	30.2	26.0	34.0	34.3	33.8	33.8	28.5	38.0	26.0	24.2	27.8
DK	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.3	0.3	—	0.4	—	—	—

c 末期ガンの患者の介護はどうするのがよいと思いますか。

1. どんなに大変でも、在宅で家族が介護するのがよい
2. 経済的負担が大きくても、通常の病院で最後まで治療してもらうのがよい
3. 高額の税金を払うようになって、ホスピスのような施設を大幅に増やすのがよい
(ホスピス：末期ガン患者のための施設。無駄な延命措置はおこなわないで、残された人生を積極的に生きるよう支援する)

Ⅲ-12c	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	27.5	29.0	26.6	38.9	40.5	38.1	21.0	23.1	19.8	14.6	15.8	14.1	17.6	21.3	14.4	15.4	17.4	13.2
2.	21.7	23.7	20.5	18.1	17.8	18.2	18.2	22.7	15.6	25.4	30.2	23.4	26.7	29.1	24.6	29.6	30.7	28.3
3.	49.5	46.3	51.5	42.0	40.6	42.7	59.0	53.8	62.0	58.3	52.9	60.6	54.4	48.5	59.5	53.9	51.2	57.0
DK	1.3	1.0	1.4	1.0	1.1	0.9	1.8	0.4	2.7	1.7	1.1	1.9	1.3	1.0	1.5	1.1	0.7	1.5
京浜																		
1.	26.3	30.2	23.3	37.5	40.6	34.8	17.6	19.8	16.2	12.0	13.1	11.4	13.6	15.2	12.6	13.8	20.3	8.2
2.	19.0	21.2	17.3	17.1	17.0	17.1	16.1	23.0	11.8	17.7	22.4	15.2	26.2	28.6	24.5	28.9	35.1	23.5
3.	53.0	47.0	57.5	43.9	40.6	46.8	63.9	56.3	68.6	68.4	62.6	71.4	58.1	54.5	60.5	56.6	44.6	67.1
DK	1.8	1.6	1.9	1.6	1.9	1.3	2.4	0.8	3.4	1.9	1.9	1.9	2.2	1.8	2.4	0.6	-	1.2
首都圏																		
1.	27.5	31.3	24.1	38.0	40.0	36.0	22.6	30.6	17.3	16.2	17.6	15.6	15.3	21.3	10.0	16.8	17.3	16.0
2.	17.3	21.8	13.2	14.6	18.2	10.9	9.7	14.3	6.7	19.1	26.5	16.2	21.8	27.3	16.5	26.7	30.9	20.0
3.	54.2	46.1	61.5	46.2	41.2	51.5	67.7	55.1	76.0	63.0	52.9	67.1	62.2	50.7	72.3	55.7	51.8	62.0
DK	1.0	0.8	1.3	1.1	0.7	1.5	-	-	-	1.7	2.9	1.2	0.9	0.7	1.2	0.8	-	2.0
関東・中部																		
1.	30.5	27.0	32.4	41.1	38.8	41.8	23.3	26.1	20.0	15.2	14.9	15.3	20.8	22.7	18.5	23.8	25.5	21.2
2.	21.0	26.6	17.9	15.5	18.4	14.7	30.2	26.1	35.0	25.0	36.8	17.5	25.4	28.0	22.2	31.3	29.8	33.3
3.	47.7	45.5	48.8	42.9	42.2	43.1	45.3	47.8	42.5	58.9	48.3	65.7	52.5	47.7	58.3	42.5	42.5	42.4
DK	0.9	0.9	0.9	0.5	0.7	0.4	1.2	-	2.5	0.9	-	1.5	1.3	1.5	0.9	2.5	2.1	3.0
東北・北陸																		
1.	27.1	25.1	27.8	40.1	44.3	39.4	25.3	20.9	26.7	15.5	18.2	14.6	20.3	24.0	17.2	12.1	11.0	13.3
2.	28.8	28.5	29.0	24.9	18.9	25.9	22.4	27.9	20.6	34.9	35.3	34.8	32.0	31.8	32.1	31.5	27.5	35.6
3.	43.0	46.1	41.8	34.4	36.9	34.0	50.0	51.2	49.6	47.8	46.5	48.2	46.8	43.6	49.3	55.3	60.4	50.0
DK	1.1	0.4	1.4	0.6	-	0.7	2.3	-	3.0	1.9	-	2.4	1.0	0.6	1.4	1.1	1.1	1.1

IV-1 親戚とは、どんな付き合いをするのが望ましいと思いますか。

1. できれば付き合いたくない
2. なるべく最低限の付き合いですませたい
3. 一応気軽に行き来できる程度の付き合いをしたい
4. 何かにつけ相談したり、助け合ったりするような付き合いをしたい

IV-1	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～			
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	
全地域	1.	1.2	1.7	1.0	1.5	2.2	1.1	1.7	2.3	1.3	1.3	1.9	1.1	0.4	0.7	0.2	0.7	0.3	1.2
	2.	9.8	9.3	10.1	7.3	8.4	8.7	14.1	12.5	15.1	12.3	10.8	12.9	10.7	8.7	12.5	12.0	9.2	15.1
	3.	59.8	58.8	60.5	57.7	56.3	58.5	66.1	64.8	66.9	65.8	65.7	65.9	59.2	59.3	59.0	53.0	54.3	51.5
	4.	28.7	29.8	28.0	33.0	32.5	33.3	17.6	20.1	16.2	20.2	21.6	19.6	29.3	30.9	27.9	33.6	35.5	31.4
	DK	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	—	0.5	0.4	0.3	0.4	0.7	0.7	0.8
京浜	1.	2.1	2.6	1.7	2.3	2.6	2.1	2.1	3.2	1.5	2.5	3.7	1.9	1.1	1.8	0.6	1.3	1.4	1.2
	2.	11.5	10.8	12.0	9.2	9.8	8.7	12.7	10.3	14.2	15.1	12.1	16.7	12.5	14.3	11.4	16.4	12.2	20.0
	3.	63.3	60.5	65.5	60.3	55.6	64.5	68.8	67.5	69.6	69.1	72.0	67.6	66.3	67.9	65.3	57.2	56.8	57.7
	4.	22.4	25.5	20.1	27.6	31.5	24.1	15.8	19.0	13.7	12.8	12.1	12.9	20.1	16.1	22.8	22.6	27.0	18.8
	DK	0.6	0.5	0.7	0.5	0.6	0.5	0.6	—	1.0	0.6	—	0.9	—	—	—	2.5	2.7	2.3
首都圏	1.	1.4	1.6	1.2	1.9	2.4	1.3	1.6	2.0	1.3	1.7	1.5	1.8	—	—	—	0.8	—	2.0
	2.	10.3	9.7	10.9	8.4	9.2	7.6	19.4	18.4	20.0	11.5	10.3	12.0	11.3	9.3	12.9	9.2	7.4	12.0
	3.	60.1	58.5	61.6	57.6	56.4	58.9	66.9	67.3	66.7	64.7	61.8	65.9	63.1	61.3	64.7	53.4	55.6	50.0
	4.	27.8	29.7	26.2	31.9	31.5	32.2	11.3	10.2	12.0	21.7	26.5	19.8	25.0	28.7	21.8	36.6	37.0	36.0
	DK	0.4	0.5	0.2	0.3	0.5	—	0.8	2.0	—	0.4	—	0.6	0.6	0.7	0.6	—	—	—
関東・中部	1.	0.7	1.3	0.4	0.9	2.0	0.6	—	—	—	0.9	2.3	—	0.4	0.8	—	—	—	—
	2.	8.1	8.1	8.2	5.1	2.7	5.8	9.3	6.5	12.5	11.2	12.6	10.2	11.3	9.1	13.9	13.8	14.9	12.1
	3.	56.8	57.1	56.6	55.5	61.9	53.7	61.6	58.7	65.0	66.5	62.1	69.3	55.4	54.5	56.5	38.8	38.3	39.4
	4.	33.9	33.3	34.2	37.7	32.7	39.2	29.1	34.8	22.5	21.4	23.0	20.4	32.5	35.6	28.7	47.5	46.8	48.5
	DK	0.5	0.2	0.6	0.8	0.7	0.8	—	—	—	—	—	—	0.4	—	0.9	—	—	—
東北・北陸	1.	0.5	0.4	0.5	0.4	—	0.4	1.7	2.3	1.5	0.5	—	0.6	0.3	0.6	—	0.6	—	1.1
	2.	8.5	8.9	9.1	5.2	6.6	5.0	15.5	18.6	14.5	11.2	8.1	12.2	8.8	4.5	12.2	9.4	5.5	13.3
	3.	57.6	57.7	57.6	56.0	52.5	56.6	62.6	60.5	63.4	63.7	64.7	63.4	53.3	55.9	51.1	55.3	59.3	51.1
	4.	33.2	34.6	32.6	38.2	40.2	37.8	20.1	18.6	20.6	24.4	27.3	23.5	37.3	38.5	36.2	34.8	35.2	34.4
	DK	0.3	0.4	0.2	0.2	0.8	0.1	—	—	—	0.2	—	0.3	0.5	0.6	0.4	—	—	—

IV-2 近所の人とはどのような付き合い方をしたいですか。

1. あまり付き合いたくない
2. 会ったときにあいさつする程度の最低限の付き合い
3. 一応気軽に話し合えるような付き合い
4. 何かにつけ相談したり、助け合ったりするような付き合い

IV-2	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	1.4	2.3	0.8	1.6	3.0	0.8	2.2	3.0	1.8	1.1	2.2	0.6	0.9	1.8	0.2	0.4	-	0.8
2.	18.0	19.3	17.2	15.6	19.2	13.6	23.5	24.6	22.9	20.7	20.2	20.9	17.9	17.5	18.3	19.6	17.1	22.5
3.	66.0	64.9	66.6	65.4	62.4	67.0	63.9	60.6	65.8	67.4	67.6	67.3	68.2	68.8	67.7	64.1	68.6	58.9
4.	14.5	13.3	15.2	17.3	15.1	18.4	9.9	11.4	9.1	10.5	10.0	10.7	12.9	12.0	13.7	15.8	14.3	17.4
DK	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.4	0.4	0.4	0.3	-	0.5	0.1	-	0.2	0.2	-	0.4
京浜																		
1.	1.7	2.8	1.0	2.0	3.0	1.1	2.7	5.6	1.0	1.6	1.9	1.4	-	-	-	0.6	-	1.2
2.	23.0	24.2	22.1	20.5	22.0	19.2	25.1	27.8	23.5	26.8	25.2	27.6	23.7	28.6	20.4	27.7	25.7	29.4
3.	62.9	61.1	64.2	63.7	60.7	66.3	59.7	54.8	62.8	63.4	66.4	61.9	63.4	62.5	64.1	61.6	64.9	58.8
4.	12.0	11.9	12.2	13.6	14.1	13.1	11.5	11.1	11.8	7.6	6.5	8.1	12.5	8.9	15.0	10.1	9.5	10.6
DK	0.4	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.9	0.8	1.0	0.6	-	0.9	0.4	-	0.6	-	-	-
首都圏																		
1.	1.8	3.2	0.6	2.6	4.4	0.8	-	-	-	1.3	2.9	0.6	1.6	2.7	0.6	-	-	-
2.	18.3	18.8	17.9	18.0	19.1	16.8	21.0	20.4	21.3	17.0	14.7	18.0	18.8	19.3	18.2	19.1	18.5	20.0
3.	66.7	66.0	67.3	63.0	61.3	64.7	72.6	73.5	72.0	71.1	73.5	70.1	70.3	71.3	69.4	67.2	69.1	64.0
4.	13.1	12.1	14.0	16.5	15.3	17.8	6.4	6.1	6.7	10.2	8.8	10.8	9.4	6.7	11.8	13.0	12.4	14.0
DK	0.1	-	0.2	-	-	-	-	-	-	0.4	-	0.6	-	-	-	0.8	-	2.0
関東・中部																		
1.	0.9	2.0	0.4	0.8	1.4	0.6	-	-	-	1.3	3.5	-	1.7	3.0	-	-	-	-
2.	12.8	15.5	11.3	8.9	12.2	7.9	19.8	19.6	20.0	20.5	21.8	19.7	14.2	15.1	13.0	11.3	10.6	12.1
3.	68.8	66.9	69.9	68.2	70.1	67.6	67.4	60.9	75.0	69.2	64.4	72.3	72.1	67.4	77.8	65.0	66.0	63.6
4.	17.3	15.7	18.3	22.0	16.3	23.7	12.8	19.6	5.0	8.9	10.3	8.0	12.1	14.4	9.3	23.8	23.4	24.2
DK	0.1	-	0.1	0.2	-	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東北・北陸																		
1.	0.9	0.9	0.9	0.7	0.8	0.7	4.0	2.3	4.6	0.5	1.0	0.3	0.5	1.1	-	0.6	-	1.1
2.	15.4	14.4	15.7	11.7	15.6	11.0	24.1	25.6	23.7	18.3	17.2	18.6	15.5	10.6	19.5	16.6	12.1	21.1
3.	67.0	68.7	66.3	67.9	64.8	68.5	63.8	62.8	64.1	67.4	67.7	67.4	67.5	71.5	64.3	63.5	72.5	54.4
4.	16.6	15.7	16.9	19.4	18.0	19.6	8.1	9.3	7.6	13.6	14.1	13.4	16.5	16.8	16.3	19.3	15.4	23.3
DK	0.2	0.2	0.1	0.2	0.8	0.1	-	-	-	0.2	-	0.3	-	-	-	-	-	-

IV-3 職場の同僚とは、どんな付き合いをするのが望ましいと思いますか。

1. あまり付き合いたくない
2. 仕事に直接関係する範囲での付き合い
3. 仕事が終わってからも話し合ったり、遊んだりする程度の付き合い
4. 何かにつけ相談したり、助け合ったりするような付き合い

IV-3	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～			
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	
全地域	1.	0.9	1.3	0.7	0.6	1.2	0.2	1.0	1.5	0.7	1.0	0.8	1.1	1.6	1.4	1.8	1.5	1.4	1.5
	2.	19.0	16.7	20.5	5.3	6.4	4.7	22.5	18.9	24.7	34.9	24.6	39.3	33.9	26.9	39.9	31.8	28.0	36.0
	3.	53.3	55.3	52.1	54.7	53.0	55.6	59.7	62.9	57.8	52.2	61.5	48.2	50.4	55.8	45.7	45.2	48.8	41.1
	4.	25.5	26.1	25.2	39.0	38.8	39.2	15.8	16.3	15.6	10.4	11.9	9.7	12.2	15.0	9.8	17.4	20.8	13.6
	DK	1.2	0.7	1.5	0.4	0.6	0.4	1.0	0.4	1.3	1.5	1.1	1.7	1.9	0.9	2.8	4.2	1.0	7.8
京浜	1.	0.9	0.9	0.9	0.8	1.1	0.5	0.3	0.8	—	0.6	—	0.9	1.8	—	3.0	2.5	2.7	2.3
	2.	19.4	16.1	22.0	7.1	8.0	6.2	23.3	23.0	23.5	36.6	25.2	42.4	39.4	29.5	46.1	31.5	29.7	32.9
	3.	54.7	55.2	54.3	55.7	51.7	59.3	61.5	61.9	61.3	53.3	62.6	48.6	47.7	58.9	40.1	48.4	52.7	44.7
	4.	23.6	27.1	20.9	35.9	38.3	33.7	14.6	14.3	14.7	7.6	11.2	5.7	8.6	11.6	6.6	11.9	13.5	10.6
	DK	1.3	0.7	1.8	0.6	0.9	0.3	0.3	—	0.5	1.9	0.9	2.4	2.5	—	4.2	5.7	1.4	9.4
首都圏	1.	1.0	1.3	0.8	0.7	1.5	—	—	—	—	1.7	1.5	1.8	1.6	1.3	1.8	1.5	1.2	2.0
	2.	18.8	14.7	22.4	5.0	4.6	5.3	26.6	22.5	29.3	32.8	20.6	37.7	35.6	32.0	38.8	30.5	24.7	40.0
	3.	53.9	56.0	52.0	56.0	57.1	54.8	58.5	53.1	58.7	55.3	64.7	51.5	51.3	52.7	50.0	42.0	50.6	28.0
	4.	24.8	27.2	22.7	37.9	36.3	39.6	15.3	24.5	9.3	8.5	11.8	7.2	9.1	12.7	5.9	20.6	22.2	18.0
	DK	1.5	0.8	2.1	0.4	0.5	0.3	1.6	—	2.7	1.7	1.5	1.8	2.5	1.3	3.5	5.3	1.2	12.0
関東・中部	1.	1.1	2.0	0.6	0.5	1.4	0.2	2.3	4.3	—	1.3	2.3	0.7	2.5	2.3	2.8	—	—	—
	2.	18.2	20.5	16.9	4.8	6.1	4.4	10.5	4.3	17.5	39.7	33.3	43.8	33.3	31.1	36.1	30.0	27.7	33.3
	3.	51.6	51.8	51.4	52.6	54.4	52.1	69.8	71.7	67.5	48.2	51.7	48.0	48.8	47.0	50.9	41.3	38.3	45.5
	4.	28.1	25.0	29.8	42.0	38.1	43.1	16.3	17.4	15.0	8.5	10.3	7.3	14.2	19.7	7.4	25.0	34.0	12.1
	DK	1.0	0.6	1.2	0.2	—	0.2	1.2	2.2	—	2.2	2.3	2.2	1.3	—	2.8	3.8	—	9.1
東北・北陸	1.	0.7	1.1	0.5	0.1	0.8	—	2.3	2.3	2.3	0.7	—	0.9	1.0	1.7	0.4	1.1	1.1	1.1
	2.	19.3	17.4	20.0	3.7	5.7	3.3	24.1	18.6	26.0	32.3	19.2	36.3	29.0	17.9	38.0	33.7	29.7	37.8
	3.	52.3	57.3	50.5	53.5	43.4	55.3	53.5	67.4	48.8	51.8	66.7	47.3	52.5	63.1	43.9	46.4	49.5	43.3
	4.	26.7	23.4	27.9	42.2	50.0	40.8	18.4	11.6	20.6	14.5	14.1	14.6	16.0	15.6	16.3	16.6	18.7	14.4
	DK	1.0	0.8	1.1	0.5	—	0.6	1.7	—	2.3	0.7	—	0.9	1.5	1.7	1.4	2.2	1.1	3.3

IV-4 あなたにとって大切な人付き合いはどれですか。一つだけ選んでください。

1. 親戚 2. 近所の人 3. 職場の同僚 4. 学校時代の友人 5. サークルや趣味の仲間

IV-4	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	14.9	16.8	13.8	2.6	3.9	1.8	10.8	11.4	10.4	23.6	21.3	24.6	31.6	29.8	33.0	40.8	44.7	36.4
2.	6.7	5.1	7.7	0.5	0.6	0.4	3.6	1.1	5.1	14.1	8.9	16.4	14.0	9.9	17.4	16.9	13.6	20.5
3.	12.0	18.0	8.3	3.6	5.3	2.6	19.3	28.4	14.0	22.5	32.4	18.3	21.1	33.5	10.5	11.1	13.0	8.9
4.	49.3	43.4	52.8	77.7	71.6	81.1	49.2	41.3	53.8	21.7	23.0	21.1	13.3	11.9	14.6	13.3	14.7	11.6
5.	14.6	14.7	14.6	14.2	16.7	12.8	13.7	16.3	12.2	14.0	11.6	15.0	16.7	12.9	20.0	15.4	12.3	19.0
DK	2.5	2.0	2.8	1.5	1.9	1.3	3.4	1.5	4.4	4.1	2.8	4.6	3.3	1.9	4.5	2.5	1.7	3.5
京浜																		
1.	11.1	10.8	11.4	3.1	3.7	2.6	7.6	6.3	8.3	18.0	18.7	17.6	22.9	19.6	25.1	42.1	46.0	38.8
2.	4.6	1.7	6.8	0.3	0.4	0.3	3.9	0.8	5.9	11.0	1.9	15.7	11.5	2.7	17.4	11.9	10.8	12.9
3.	9.5	14.4	5.8	3.4	4.8	2.1	15.8	26.2	9.3	16.7	29.0	10.5	19.7	37.5	7.8	8.2	8.1	8.2
4.	55.8	53.3	57.7	76.1	72.8	79.0	57.3	46.0	64.2	31.9	28.0	33.8	19.0	14.3	22.2	18.9	18.9	18.8
5.	16.1	17.3	15.1	15.1	16.3	14.0	13.0	19.0	9.3	16.7	17.8	16.2	22.6	22.3	22.8	17.0	13.5	20.0
DK	2.9	2.5	3.1	2.0	2.0	2.0	2.4	1.6	2.9	5.7	4.7	6.2	4.3	3.6	4.8	1.9	2.7	1.2
首都圏																		
1.	15.1	15.2	15.1	2.8	3.9	1.8	12.9	18.4	9.3	23.8	22.1	24.5	29.7	26.0	32.9	42.0	45.7	36.0
2.	7.7	5.5	9.6	0.7	1.2	0.3	1.6	—	2.7	17.0	8.8	20.4	16.9	13.3	20.0	16.8	13.6	22.0
3.	10.6	15.6	6.1	2.8	3.6	2.0	21.8	36.7	12.0	17.9	29.4	13.2	20.3	35.3	7.1	10.7	16.0	2.0
4.	46.6	46.1	47.1	75.2	70.2	80.5	41.1	32.7	46.7	20.9	27.9	18.0	10.6	10.7	10.6	9.9	12.4	6.0
5.	17.8	15.5	19.9	16.6	18.6	14.5	21.0	10.2	28.0	16.2	8.8	19.2	20.0	14.0	25.3	19.9	11.1	34.0
DK	2.2	2.0	2.3	1.7	2.4	1.0	1.6	2.0	1.3	4.3	2.9	4.8	2.5	0.7	4.1	0.8	1.2	—
関東・中部																		
1.	16.0	21.4	13.0	3.1	4.8	2.6	18.6	13.0	25.0	24.1	18.4	27.7	32.1	33.3	30.6	47.5	53.2	39.4
2.	8.4	8.5	8.4	0.3	—	0.4	5.8	4.3	7.5	19.2	16.1	21.2	17.1	12.9	22.2	21.3	12.8	33.3
3.	11.9	22.0	6.2	5.1	10.2	3.6	22.1	28.3	15.0	20.5	35.6	10.9	19.6	28.0	9.3	8.8	10.6	6.1
4.	48.3	34.2	56.2	76.6	66.7	79.5	45.3	45.7	45.0	18.8	18.4	19.0	12.9	13.6	12.0	10.0	8.5	12.1
5.	13.8	12.0	14.9	14.0	17.7	12.9	8.1	8.7	7.5	15.2	9.2	19.0	15.8	9.1	24.1	8.8	10.6	6.1
DK	1.6	2.0	1.3	0.9	0.7	1.0	—	—	—	2.2	2.3	2.2	2.5	3.0	1.9	3.8	4.3	3.0
東北・北陸																		
1.	18.3	26.0	15.5	1.1	4.1	0.6	11.5	16.3	9.9	27.4	26.3	27.7	38.8	36.9	40.3	35.9	38.5	33.3
2.	7.1	7.9	8.9	0.5	—	0.6	3.5	—	4.6	12.2	10.1	12.8	11.5	9.5	13.1	19.3	16.5	22.2
3.	15.9	24.2	12.9	3.3	7.4	2.6	23.0	25.6	22.1	30.4	35.3	29.0	23.8	33.5	15.8	14.9	15.4	14.4
4.	44.7	29.8	50.1	83.4	77.1	84.5	41.4	32.6	44.3	16.2	18.2	15.6	11.8	10.1	13.1	12.1	16.5	7.8
5.	11.0	11.2	10.9	10.7	10.7	10.7	12.6	23.3	9.2	10.1	9.1	10.4	10.5	8.9	11.8	13.8	13.2	14.4
DK	3.0	0.9	3.8	1.0	0.8	1.0	8.1	2.3	9.9	3.8	1.0	4.6	3.8	1.1	5.9	3.9	—	7.8

IV-5 あなたは日本に生まれてよかったと思いますか。

1. なにかにつけ日本に生まれてよかったと思う
2. まあ日本に生まれてよかったと思う
3. 時々いやな国だと思う
4. いやな国だとよく思う

IV-5	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	36.4	38.8	34.9	29.0	31.3	27.7	29.0	29.5	28.7	41.6	39.6	42.4	47.1	48.2	46.3	56.6	59.0	53.9
2.	47.8	43.7	50.3	50.5	44.2	54.0	50.8	49.2	51.8	47.5	45.7	48.2	44.5	43.5	45.3	35.6	34.8	36.4
3.	13.6	14.3	13.1	17.8	20.3	16.5	16.3	15.9	16.4	9.2	11.9	8.1	7.8	7.5	8.0	6.5	4.4	8.9
4.	1.9	2.9	1.2	2.5	4.0	1.6	3.1	4.2	2.4	1.3	2.5	0.7	0.6	0.9	0.4	0.9	1.7	—
DK	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.8	1.1	0.7	0.5	0.3	0.6	—	—	—	0.4	—	0.8
京浜																		
1.	31.7	33.9	30.0	28.2	30.7	25.9	23.0	27.8	20.1	30.9	31.8	30.5	44.8	41.1	47.3	53.5	59.5	48.2
2.	47.9	44.6	50.3	48.0	44.4	51.2	52.7	48.4	55.4	50.5	47.7	51.9	44.1	46.4	42.5	38.4	32.4	43.5
3.	17.0	17.0	17.0	19.8	19.8	19.9	19.1	16.7	20.6	14.8	15.9	14.3	10.4	10.7	10.2	8.2	8.1	8.2
4.	2.7	3.9	1.8	3.2	4.6	2.0	3.9	4.8	3.4	2.5	3.7	1.9	0.7	1.8	—	—	—	—
DK	0.7	0.6	0.8	0.7	0.4	1.0	1.2	2.4	0.5	1.3	0.9	1.4	—	—	—	—	—	—
首都圏																		
1.	35.0	36.8	33.4	27.4	31.0	23.6	27.4	24.5	29.3	42.1	39.7	43.1	42.8	44.7	41.2	57.3	56.8	58.0
2.	47.3	44.2	50.0	49.3	42.6	56.3	54.0	57.1	52.0	45.5	42.7	46.7	46.3	48.0	44.7	33.6	38.3	26.0
3.	15.6	18.3	15.1	20.5	22.3	18.5	17.7	18.4	17.3	10.6	14.7	9.0	10.0	7.3	12.4	6.9	2.5	14.0
4.	2.0	2.6	1.4	2.7	3.9	1.5	0.8	—	1.3	1.7	2.9	1.2	0.9	—	1.8	1.5	2.5	—
DK	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	—	2.0
関東・中部																		
1.	34.5	40.5	31.1	28.0	29.3	25.0	36.0	39.1	32.5	38.0	35.8	39.4	46.7	52.3	39.8	55.0	53.2	57.6
2.	52.0	44.7	56.0	56.0	46.3	58.8	48.8	45.7	52.5	52.2	48.3	54.7	47.1	42.4	52.8	36.3	38.3	33.3
3.	11.5	11.8	11.3	15.7	21.1	14.1	9.3	8.7	10.0	8.0	12.6	5.1	5.8	4.6	7.4	6.3	4.3	9.1
4.	1.9	3.0	1.2	2.2	3.4	1.8	4.7	6.5	2.5	1.3	3.5	—	0.4	0.8	—	2.5	4.3	—
DK	0.2	—	0.4	0.2	—	0.2	1.2	—	2.5	0.4	—	0.7	—	—	—	—	—	—
東北・北陸																		
1.	44.0	48.9	42.2	33.9	36.9	33.4	37.9	30.2	40.5	51.0	51.5	50.9	52.5	52.5	52.5	59.7	63.7	55.6
2.	45.5	40.6	47.3	50.6	45.9	51.4	46.0	46.5	45.8	43.8	43.4	43.9	41.8	38.5	44.3	34.3	31.9	36.7
3.	9.5	9.0	9.7	14.1	14.8	14.0	13.2	18.6	11.4	4.9	5.1	4.9	5.3	7.8	3.2	5.0	3.3	6.7
4.	0.9	1.5	0.7	1.3	2.5	1.1	2.3	4.7	1.5	—	—	—	0.5	1.1	—	0.6	1.1	—
DK	0.2	—	0.2	—	—	—	0.6	—	0.8	0.2	—	0.3	—	—	—	0.8	—	1.1

IV-6 あなたは天皇制についてどう思いますか。

1. 天皇制はあった方がよい
2. どちらともいえない
3. 大統領制の方がよい

IV-6	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	30.5	32.1	29.6	20.2	18.4	21.2	25.2	27.3	24.0	36.2	36.6	36.0	43.7	46.8	41.0	59.9	59.0	60.8
2.	59.1	53.2	62.7	68.4	63.3	71.3	60.4	56.8	62.4	55.1	48.5	58.0	47.5	43.5	51.0	33.8	32.4	35.3
3.	9.6	13.6	7.1	10.6	17.0	7.1	13.2	14.4	12.4	8.1	14.1	5.6	7.4	8.2	6.8	5.8	8.2	3.1
DK	0.8	1.2	0.6	0.7	1.3	0.3	1.3	1.5	1.1	0.6	0.8	0.5	1.4	1.6	1.2	0.5	0.3	0.8
京浜																		
1.	26.9	25.9	27.6	21.2	18.9	23.3	21.2	22.2	20.6	30.3	30.8	30.0	37.6	42.9	34.1	53.5	50.0	56.5
2.	59.9	56.7	62.3	65.8	62.6	68.6	61.2	58.7	62.8	54.9	45.8	59.5	50.2	44.6	53.9	42.1	44.6	40.0
3.	11.9	15.8	9.0	12.3	17.4	7.7	15.4	16.7	14.7	13.6	21.5	9.5	9.3	8.0	10.2	3.1	5.4	1.2
DK	1.3	1.7	1.0	0.7	1.1	0.3	2.1	2.4	2.0	1.3	1.9	0.9	2.9	4.5	1.8	1.3	—	2.3
首都圏																		
1.	31.2	30.6	31.7	18.5	17.2	19.8	28.2	26.5	29.3	40.0	39.7	40.1	45.6	46.0	45.3	61.1	65.4	54.0
2.	56.5	53.8	58.9	67.3	63.4	71.3	52.4	51.0	53.3	53.2	54.4	52.7	43.4	43.3	43.5	31.3	24.7	42.0
3.	11.7	14.6	9.1	13.4	17.7	8.9	18.5	20.4	17.3	6.8	5.9	7.2	10.0	10.7	9.4	7.6	9.9	4.0
DK	0.7	1.0	0.3	0.9	1.7	—	0.8	2.0	—	—	—	—	0.9	—	1.8	—	—	—
関東・中部																		
1.	30.7	38.6	26.3	21.2	21.8	21.1	24.4	34.8	12.5	32.6	33.3	32.1	45.0	53.8	34.3	66.3	61.7	72.7
2.	59.7	46.4	67.1	69.2	59.9	72.0	68.6	58.7	80.0	54.9	44.8	61.3	46.7	35.6	60.2	25.0	25.5	24.2
3.	8.6	13.5	5.8	8.5	16.3	6.2	7.0	6.5	7.5	11.6	21.8	5.1	7.1	8.3	5.6	7.5	10.6	3.0
DK	1.0	1.5	0.7	1.1	2.0	0.8	—	—	—	0.9	—	1.5	1.3	2.3	—	1.3	2.1	—
東北・北陸																		
1.	34.1	39.7	32.0	19.8	16.4	20.3	31.0	34.9	29.8	40.3	43.4	39.3	45.5	44.7	46.2	61.9	59.3	64.4
2.	59.8	51.7	62.8	72.7	69.7	73.2	60.3	55.8	61.8	56.4	50.5	58.2	49.5	48.6	50.2	32.0	33.0	31.1
3.	5.8	8.2	4.9	7.4	13.9	6.3	8.1	9.3	7.6	3.0	5.1	2.4	4.3	6.2	2.7	6.1	7.7	4.4
DK	0.3	0.4	0.3	0.1	—	0.1	0.6	—	0.8	0.2	1.0	—	0.8	0.6	0.9	—	—	—

V-1 妊娠初期に男女の識別ができるので、産み分けが可能になりました。これについてどうお考えですか。

1. 男・女どちらでも選べるのは、何かと都合だ
2. あまり望ましくないが、今の時代ではやむを得ない
3. 科学の発展として、そういうことが可能であっても、生命を人為的に操作するのはよくない

V-1	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	8.5	10.1	7.6	9.3	11.9	7.9	11.2	10.6	11.6	6.7	8.9	5.8	5.6	6.3	4.9	10.7	11.3	10.1
2.	17.3	19.1	16.2	15.0	16.5	14.3	17.1	19.3	15.8	19.2	21.3	18.3	19.6	21.6	17.9	22.5	22.2	22.9
3.	73.9	70.6	76.0	75.5	71.4	77.8	71.8	70.1	72.4	73.7	69.5	75.5	74.7	72.1	78.9	66.2	65.9	66.7
DK	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	—	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2	—	0.3	0.5	0.7	0.4
京浜																		
1.	8.9	10.8	7.5	9.9	11.9	8.2	10.0	11.9	8.8	6.6	9.4	5.2	6.1	5.4	6.6	9.4	12.2	7.1
2.	17.5	20.1	15.5	16.5	18.3	14.9	17.6	20.6	15.7	16.1	22.4	12.9	19.4	22.3	17.4	23.9	25.7	22.4
3.	73.3	68.8	76.6	73.4	69.6	76.7	72.1	67.5	75.0	76.7	67.3	81.4	74.2	72.3	75.4	66.7	62.2	70.6
DK	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	—	0.5	0.6	0.9	0.5	0.4	—	0.6	—	—	—
首都圏																		
1.	7.7	10.1	5.6	9.2	11.6	6.6	8.9	8.2	9.3	5.1	4.4	5.4	4.7	8.0	1.8	9.9	12.4	6.0
2.	14.6	15.8	13.6	11.6	13.1	10.1	20.2	28.6	14.7	15.7	10.3	18.0	17.5	13.0	15.3	18.3	18.5	18.0
3.	77.6	74.0	80.8	79.2	75.3	83.3	71.0	63.3	76.0	79.2	85.3	76.7	77.8	72.0	82.9	71.0	67.9	76.0
DK	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	1.2	—
関東・中部																		
1.	6.9	10.7	4.9	6.2	10.2	5.0	10.5	13.0	7.5	7.1	12.6	3.7	5.8	7.6	3.7	12.5	14.9	9.1
2.	16.6	18.3	15.7	15.4	17.7	14.7	17.4	8.7	27.5	18.8	21.8	16.8	16.3	17.4	14.8	21.3	25.5	15.1
3.	76.2	70.6	79.3	78.2	70.8	80.3	72.1	78.3	65.0	74.1	65.5	79.6	77.9	75.0	81.5	65.0	59.6	72.7
DK	0.2	0.4	0.1	0.3	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	—	3.0
東北・北陸																		
1.	9.7	8.2	10.2	11.1	14.8	10.5	15.5	7.0	18.3	7.5	8.1	7.3	5.8	4.5	6.8	11.6	7.7	15.6
2.	19.7	22.7	18.7	16.0	18.0	15.6	13.8	16.3	13.0	23.6	27.3	22.6	23.5	25.7	21.7	24.9	20.9	28.9
3.	70.3	68.9	70.8	72.8	67.2	73.8	70.7	76.7	68.7	68.4	64.7	69.5	70.5	69.8	71.0	63.0	70.3	55.6
DK	0.3	0.2	0.3	0.1	—	0.1	—	—	—	0.5	—	0.6	0.3	—	0.4	0.6	1.1	—

V-3 臓器移植が行われるようになりましたが、あなたは心臓移植についてどう思いますか。

1. それで命が救われるのならば、取り替えたらい
2. あまり望ましくないが、時代の流れだからやむを得ない
3. そこまで人為的に手を加えるべきではない

V-3	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	64.9	63.4	65.8	72.8	70.6	74.1	71.6	75.4	69.3	60.4	59.6	60.8	51.9	51.8	52.0	45.7	50.2	40.7
2.	15.6	16.4	15.1	11.6	12.0	11.4	10.9	11.4	10.7	17.7	18.3	17.5	23.1	24.1	22.2	24.1	21.5	27.1
3.	18.9	19.8	18.5	15.2	16.9	14.2	16.0	12.1	18.2	21.1	21.3	21.0	24.2	23.0	25.2	29.6	28.3	31.0
DK	0.6	0.6	0.6	0.3	0.4	0.3	1.5	1.1	1.8	0.8	0.8	0.7	0.8	1.0	0.6	0.5	-	1.2
京浜																		
1.	64.9	63.7	65.8	69.6	66.1	72.7	71.5	73.8	70.1	63.1	64.5	62.4	52.7	53.6	52.1	42.1	43.2	41.2
2.	14.6	16.6	13.2	12.8	15.0	10.8	11.2	13.5	9.8	15.8	17.8	14.8	21.1	20.5	21.6	21.4	25.7	17.6
3.	19.4	18.9	19.8	17.2	18.5	16.1	14.2	11.1	16.2	19.9	15.9	21.9	24.7	24.1	25.1	35.2	31.1	38.8
DK	1.1	0.8	1.3	0.3	0.4	0.3	3.0	1.6	3.9	1.3	1.9	0.9	1.4	1.8	1.2	1.3	-	2.3
首都圏																		
1.	66.2	67.7	64.8	74.1	73.4	74.9	78.2	89.8	70.7	60.0	61.8	59.3	52.5	51.3	53.5	50.4	60.5	34.0
2.	13.2	12.5	13.9	9.9	10.2	9.6	6.4	-	10.7	15.3	11.8	16.8	20.9	22.7	19.4	17.6	13.6	24.0
3.	20.2	19.2	21.1	15.5	15.7	15.2	15.3	10.2	18.7	24.7	26.5	24.0	25.9	24.7	27.1	32.1	25.9	42.0
DK	0.4	0.7	0.1	0.5	0.7	0.3	-	-	-	-	-	-	0.6	1.3	-	-	-	-
関東・中部																		
1.	64.6	59.9	67.2	73.4	74.8	73.0	66.3	65.2	67.5	59.8	54.0	63.5	52.1	50.8	53.7	42.5	44.7	39.4
2.	15.4	17.4	14.3	11.2	9.5	11.7	10.5	10.9	10.0	14.3	17.2	12.4	24.2	24.2	24.1	31.3	29.8	33.3
3.	19.5	22.0	18.0	15.2	15.6	15.1	22.1	21.7	22.5	24.5	27.6	22.6	22.9	24.2	21.3	26.3	25.5	27.3
DK	0.6	0.6	0.5	0.2	-	0.2	1.2	2.2	-	1.3	1.1	1.5	0.8	0.8	0.9	-	-	-
東北・北陸																		
1.	64.0	59.9	65.5	75.7	76.2	75.6	69.5	74.4	67.9	59.0	57.6	59.5	50.8	52.0	49.8	47.0	49.5	44.4
2.	18.5	20.6	17.8	12.1	8.2	12.8	13.8	18.6	12.2	22.3	24.2	21.6	25.5	27.4	24.0	28.2	20.9	35.6
3.	17.1	19.3	16.3	11.9	15.6	11.3	16.7	7.0	19.9	18.3	18.2	18.3	23.3	20.1	25.8	24.3	29.7	18.9
DK	0.3	0.2	0.4	0.2	-	0.3	-	-	-	0.5	-	0.6	0.5	0.6	0.4	0.6	-	1.1

V-4 尊厳死についてお伺いします。「生きている時の遺言（リビング・ウィル）」によって、尊厳死を認めることにあなたは賛成ですか。

1. 本人の意志で人間らしい生を終わることができるようにするのはよいと思う
2. そのような法律をつくることは、問題が多いのでつくりたくない方がよい
3. 生命を人為的にもてあそぶのはよくない

V-4	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	72.1	69.6	73.8	73.8	72.4	74.6	74.2	68.6	77.6	71.7	67.0	73.8	66.5	65.3	67.6	72.1	70.7	73.6
2.	11.1	11.6	10.8	11.6	11.8	11.5	10.6	12.9	9.3	10.3	12.7	9.3	11.5	11.7	11.3	9.6	8.2	11.2
3.	16.1	18.1	14.9	14.1	15.2	13.4	14.7	18.2	12.7	16.7	18.6	15.9	21.5	22.5	20.6	17.1	20.5	13.2
DK	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	1.3	1.7	1.1	0.6	0.5	0.6	1.3	0.7	1.9
京浜																		
1.	74.3	71.4	76.4	73.1	69.8	76.0	76.4	72.2	78.9	77.3	73.8	79.1	73.1	73.2	73.1	74.2	75.7	72.9
2.	11.2	11.9	10.8	12.9	14.3	11.7	10.3	11.1	9.8	9.8	9.4	10.0	9.0	9.8	8.4	8.2	2.7	12.9
3.	13.9	15.9	12.4	13.6	15.6	11.8	12.4	15.9	10.3	12.0	14.9	10.5	17.6	16.1	18.6	17.0	20.3	14.1
DK	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.5	0.9	0.8	1.0	0.9	1.9	0.5	0.4	0.9	-	0.6	1.4	-
首都圏																		
1.	73.3	71.9	74.5	76.1	76.3	75.9	75.8	69.4	80.0	73.2	66.2	76.1	66.3	66.7	65.9	71.0	65.4	80.0
2.	9.6	9.7	9.6	10.4	8.7	12.2	7.3	12.2	4.0	8.5	11.8	7.2	9.7	10.0	9.4	9.2	11.1	6.0
3.	16.3	17.9	14.9	13.0	14.5	11.4	16.9	18.4	16.0	17.0	20.6	15.6	22.8	22.7	22.9	19.1	23.5	12.0
DK	0.7	0.5	0.9	0.5	0.5	0.5	-	-	-	1.3	1.5	1.2	1.3	0.7	1.8	0.8	-	2.0
関東・中部																		
1.	72.2	68.2	74.4	74.3	73.5	74.6	65.1	58.7	72.5	75.9	69.0	80.3	66.7	65.2	68.5	68.8	68.1	69.7
2.	10.9	11.6	10.6	10.3	7.5	11.1	16.3	15.2	17.5	8.0	13.8	4.4	12.9	13.6	12.0	12.5	10.6	15.1
3.	15.9	19.2	14.1	14.3	17.7	13.3	18.6	26.1	10.0	14.3	13.8	14.6	20.4	21.2	19.4	17.5	21.3	12.1
DK	0.9	1.1	0.9	1.1	1.4	1.0	-	-	-	1.8	3.5	0.7	-	-	-	1.3	-	3.0
東北・北陸																		
1.	68.6	64.4	70.2	72.1	69.7	72.5	73.6	67.4	75.6	64.6	58.6	66.5	62.0	59.2	64.3	72.4	72.5	72.2
2.	12.3	13.9	11.7	12.1	16.4	11.3	10.9	16.3	9.2	12.9	16.2	11.9	13.8	12.9	14.5	9.9	8.8	11.1
3.	18.4	21.2	17.4	15.6	13.1	16.0	15.5	16.3	15.3	21.3	25.3	20.1	23.8	27.4	20.8	15.5	17.6	13.3
DK	0.6	0.6	0.7	0.2	0.8	0.1	-	-	-	1.2	-	1.5	0.5	0.6	0.4	2.2	1.1	3.3

V-5 死後のことについて、あなたのお考えに近い方の番号に○を付けて下さい。

1. 死んでも靈魂は残ると思う
2. 死ねばすべて無に帰すると思う
3. よくわからない

V-5	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～			
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	
全地域	1.	35.1	28.9	38.9	38.9	35.2	40.9	37.5	31.1	41.3	30.8	21.6	34.7	28.5	21.5	34.5	32.3	23.9	41.9
	2.	32.1	40.9	26.6	26.4	31.7	23.5	28.7	36.4	24.2	38.1	48.8	33.5	40.6	51.5	31.2	39.2	52.9	23.6
	3.	32.4	29.9	33.9	34.5	32.8	35.4	33.6	32.2	34.4	30.5	29.1	31.1	30.0	26.9	32.7	27.2	22.5	32.6
	DK	0.5	0.4	0.6	0.2	0.3	0.2	0.1	0.4	—	0.7	0.6	0.7	0.9	0.2	1.5	1.3	0.7	1.9
京浜	1.	33.1	28.5	36.6	36.6	34.1	38.9	35.8	26.2	41.7	24.0	16.8	27.6	27.2	19.6	32.3	30.8	21.6	38.8
	2.	34.7	39.8	30.8	29.4	31.1	27.9	30.3	35.7	27.0	42.6	51.4	38.1	48.0	61.6	38.9	42.1	60.8	25.9
	3.	31.9	31.2	32.4	33.7	34.4	33.0	33.6	37.3	31.4	32.8	30.8	33.8	24.4	18.8	28.1	26.4	16.2	35.3
	DK	0.4	0.5	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.8	—	0.6	0.9	0.5	0.4	—	0.6	0.6	1.4	—
首都圏	1.	33.2	30.1	36.0	36.9	33.9	40.1	42.7	38.8	45.3	27.2	25.0	28.1	26.9	23.3	30.0	27.5	22.2	36.0
	2.	34.7	41.4	28.7	29.4	34.9	23.6	32.3	36.7	29.3	34.9	45.6	30.5	42.2	50.0	35.3	51.2	58.0	40.0
	3.	31.6	28.3	34.6	33.3	30.8	36.0	25.0	24.5	25.3	37.9	29.4	41.3	29.7	26.7	32.3	20.6	19.8	22.0
	DK	0.5	0.3	0.7	0.4	0.5	0.3	—	—	—	—	—	—	1.3	—	2.3	0.8	—	2.0
関東・中部	1.	32.4	26.6	35.7	36.9	36.0	37.2	37.2	37.0	37.5	23.2	20.7	24.8	24.2	18.2	31.5	41.3	21.3	69.7
	2.	33.8	44.4	27.8	27.4	33.3	25.6	27.9	34.8	20.0	45.5	51.7	41.6	42.5	53.8	28.7	32.5	48.9	9.1
	3.	33.4	28.5	36.0	35.4	30.6	36.8	34.9	28.3	42.5	30.8	27.6	32.8	32.5	27.3	38.9	25.0	27.7	21.2
	DK	0.5	0.4	0.5	0.3	—	0.4	—	—	—	0.4	—	0.7	0.8	0.8	0.9	1.3	2.1	—
東北・北陸	1.	40.4	29.8	44.3	45.5	43.4	45.8	37.4	30.2	39.7	41.7	25.3	46.7	33.3	23.5	41.2	33.2	28.6	37.8
	2.	26.0	39.0	21.3	18.5	21.3	18.0	23.6	39.5	18.3	32.5	45.5	28.7	33.0	44.7	23.5	30.9	44.0	17.8
	3.	33.0	31.1	33.7	36.0	35.3	36.1	39.1	30.2	42.0	24.6	28.3	23.5	32.8	31.8	33.5	33.7	27.5	40.0
	DK	0.6	0.2	0.8	—	—	—	—	—	—	1.2	1.0	1.2	1.0	—	1.8	2.2	—	4.4

V-6 あなたの死後、あなたのお骨はどうしてもらいたいですか。

1. 祖先の墓に入れてもらいたい
2. 「ビルの中に作られた墓地」や「ロッカー型のお墓」でよい
3. 太平洋にまいてほしい

V-6	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
1.	72.6	69.7	74.4	75.0	65.5	80.3	64.0	65.2	63.3	69.2	68.1	69.6	73.0	77.8	68.9	75.7	77.1	74.0
2.	4.9	5.2	4.7	3.0	4.1	2.3	6.8	7.2	6.2	7.0	6.4	7.2	7.0	5.2	8.6	5.6	6.5	4.7
3.	20.8	23.3	19.2	20.9	28.7	16.6	27.5	26.9	27.8	21.6	22.4	21.3	17.6	15.2	19.7	16.7	14.7	19.0
DK	1.7	1.8	1.6	1.1	1.7	0.8	2.0	0.8	2.7	2.2	3.0	1.9	2.3	1.8	2.8	2.0	1.7	2.3
京浜																		
1.	65.1	63.4	66.3	69.9	64.4	74.7	58.5	62.7	55.9	53.6	56.1	52.4	64.2	64.3	64.1	68.6	66.2	70.6
2.	5.4	4.7	5.9	2.3	2.2	2.3	6.1	4.8	6.9	11.0	9.4	11.9	10.0	10.7	9.6	6.9	6.8	7.1
3.	27.5	29.9	25.6	26.4	31.3	22.0	33.0	32.5	33.3	32.2	31.8	32.4	22.2	21.4	22.8	23.9	25.7	22.4
DK	2.1	2.0	2.1	1.5	2.0	1.0	2.4	—	3.9	3.2	2.8	3.3	3.6	3.6	3.6	0.6	1.4	—
首都圏																		
1.	66.1	64.9	67.1	66.2	60.3	72.3	62.9	61.2	64.0	63.0	66.2	61.7	66.6	74.0	60.0	72.5	72.8	72.0
2.	6.4	7.2	5.7	4.8	6.1	3.5	8.9	16.3	4.0	8.1	11.8	6.6	8.1	5.3	10.6	6.9	7.4	6.0
3.	25.4	25.8	25.0	26.8	31.2	22.1	27.4	22.5	30.7	26.8	19.1	29.9	22.8	19.3	25.9	18.3	17.3	20.0
DK	2.2	2.1	2.2	2.2	2.4	2.0	0.8	—	1.3	2.1	2.9	1.8	2.5	1.3	3.5	2.3	2.5	2.0
関東・中部																		
1.	78.1	77.3	78.4	80.8	76.2	82.1	77.9	78.3	77.5	69.6	70.1	69.3	77.1	79.6	74.1	82.5	87.2	75.8
2.	4.4	4.6	4.4	2.6	4.8	2.0	2.3	4.3	—	7.1	3.5	9.5	8.3	5.3	12.0	2.5	4.3	—
3.	16.3	16.3	16.2	16.0	19.0	15.1	19.8	17.4	22.5	20.1	20.7	19.7	13.8	13.6	13.9	11.3	6.4	18.2
DK	1.3	1.7	1.0	0.6	—	0.8	—	—	—	3.1	5.8	1.5	0.8	1.5	—	3.8	2.1	6.1
東北・北陸																		
1.	82.9	81.1	83.5	86.2	74.6	88.3	68.4	62.8	70.2	83.8	80.8	84.8	82.0	88.3	76.9	81.2	84.6	77.8
2.	3.5	3.8	3.3	2.3	4.9	1.9	8.1	7.0	8.4	3.3	2.0	3.7	3.3	1.7	4.5	5.0	6.6	3.3
3.	12.5	14.0	12.0	11.5	20.5	9.9	20.7	25.6	19.1	11.7	16.2	10.4	12.5	8.9	15.4	11.6	7.7	15.6
DK	1.1	1.1	1.2	—	—	—	2.9	4.7	2.3	1.2	1.0	1.2	2.3	1.1	3.2	2.2	1.1	3.3

V-7 宗教とか信仰とかに関係すると思われることがらで、あなたが信じているものがありますか。次のリストの中にもしあれば、いくつでも構いませんので○を付けて下さい。

ア. 神 イ. 仏 ウ. 聖書や経典などの教え エ. あの世、来世 オ. 奇跡 カ. お守りやおふだなどの力
キ. 易や占い ク. 何も信じていない ケ. その他

V-7 ※	全年齢			～24才			25～34才			35～44才			45～54才			55才～		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
全地域																		
ア.	39.3	34.6	42.3	38.2	30.6	42.4	36.0	32.2	38.2	38.9	34.9	40.6	42.0	40.0	43.8	45.9	42.7	49.6
イ.	35.9	33.1	37.7	29.8	24.1	32.9	25.4	24.6	25.8	38.8	35.2	40.4	46.5	43.6	49.0	57.9	55.3	60.8
ウ.	11.5	10.6	12.1	9.0	9.4	8.7	15.7	15.5	15.8	11.6	10.8	12.0	13.1	7.7	17.7	18.3	17.1	19.8
エ.	22.7	18.5	25.3	30.8	25.8	33.6	25.9	23.1	27.6	14.1	11.9	15.0	11.6	8.9	14.0	11.8	10.6	13.2
オ.	33.5	32.1	34.3	46.7	47.0	46.6	34.2	34.1	34.2	23.4	24.6	22.9	15.2	15.4	15.0	13.4	10.6	16.7
カ.	22.8	17.5	26.0	29.7	23.0	33.4	17.8	14.0	20.0	17.7	13.3	19.6	16.1	14.8	17.1	12.2	8.2	16.7
キ.	15.2	8.4	19.3	22.9	12.9	28.5	12.0	7.2	14.9	9.0	5.8	10.3	6.2	3.8	8.3	5.1	3.4	7.0
ク.	18.9	24.6	15.4	16.4	23.6	12.4	19.5	24.2	16.7	22.2	24.9	21.0	21.9	27.2	17.3	19.6	23.5	15.1
ケ.	10.3	10.9	9.9	10.9	12.2	10.1	12.0	12.5	11.8	9.8	11.9	8.9	8.8	8.2	9.3	9.1	7.8	10.5
京浜																		
ア.	36.1	29.7	40.9	35.3	29.4	40.4	37.6	26.2	44.6	33.8	29.9	35.7	36.6	32.1	39.5	43.4	33.8	51.8
イ.	28.4	28.5	29.8	25.7	23.5	27.6	19.1	18.3	19.6	28.1	27.1	28.6	37.3	32.1	40.7	52.2	52.7	51.8
ウ.	12.2	9.9	13.9	8.6	7.8	9.4	13.9	12.7	14.7	15.1	14.0	15.7	17.0	10.7	22.2	18.9	13.5	23.5
エ.	23.3	19.3	26.3	28.8	24.6	32.5	27.0	20.6	30.9	14.2	9.4	16.7	10.4	4.5	14.4	16.4	14.9	17.6
オ.	32.8	33.4	32.3	42.8	43.3	42.4	34.8	31.8	36.8	21.5	18.7	22.9	13.6	15.2	12.6	11.9	12.2	11.8
カ.	21.0	17.2	23.8	25.2	20.7	29.2	20.0	17.5	21.6	16.4	12.1	18.6	14.3	10.7	16.8	12.6	8.1	16.5
キ.	13.4	9.0	16.8	19.2	12.4	25.3	10.0	6.3	12.3	6.9	3.7	8.6	6.1	3.6	7.8	4.4	4.1	4.7
ク.	22.2	28.6	17.4	20.2	26.3	14.8	19.4	26.2	15.2	26.2	29.9	24.3	28.0	37.5	21.6	24.5	33.8	16.5
ケ.	12.6	12.4	12.8	12.0	12.8	11.3	12.7	12.7	12.8	15.5	12.1	17.1	11.5	11.6	11.4	13.2	10.8	15.3
首都圏																		
ア.	36.4	32.8	39.6	34.8	30.3	39.6	33.9	40.8	29.3	35.3	27.9	38.3	39.7	34.7	44.1	42.8	42.0	44.0
イ.	30.5	27.9	32.9	23.4	21.3	25.6	23.4	26.5	21.3	31.5	23.5	34.7	42.8	38.7	46.5	49.6	45.7	56.0
ウ.	12.9	12.1	13.7	9.1	10.6	7.4	21.0	26.5	17.3	14.9	10.3	16.8	15.3	9.3	20.6	19.9	17.3	24.0
エ.	22.2	19.7	24.4	29.5	25.2	34.0	28.2	28.6	28.0	14.0	13.2	14.4	12.5	10.0	14.7	9.9	9.9	10.0
オ.	34.1	36.9	31.7	46.7	49.9	43.4	33.1	32.7	33.3	26.4	33.8	23.4	17.2	17.3	17.1	13.0	12.4	14.0
カ.	21.3	18.8	23.5	26.9	24.2	29.7	16.9	14.3	18.7	17.9	10.3	21.0	15.0	14.0	15.9	12.2	9.9	16.0
キ.	12.6	8.8	15.9	17.7	12.1	23.6	14.5	10.2	17.3	7.7	5.9	8.4	5.9	3.3	8.2	3.8	3.7	4.0
ク.	20.8	24.8	17.3	19.5	23.7	15.0	18.5	22.5	16.0	23.4	25.0	22.8	21.9	28.7	15.9	24.4	24.7	24.0
ケ.	11.5	11.7	11.3	12.3	12.4	12.2	16.1	14.3	17.3	13.6	20.6	10.8	7.5	6.7	8.2	8.4	8.6	8.0
関東・中部																		
ア.	36.5	32.9	38.5	35.5	28.6	37.6	33.7	32.6	35.0	34.8	32.2	36.5	38.8	37.9	39.8	45.0	34.0	60.6
イ.	36.5	36.4	36.5	28.1	23.8	29.4	32.6	32.6	32.5	43.8	41.4	45.3	44.6	40.9	49.1	63.8	57.5	72.7
ウ.	9.1	7.4	10.1	8.1	6.8	8.6	8.1	6.5	10.0	9.8	12.6	8.0	8.8	3.0	15.7	17.5	12.8	24.2
エ.	22.0	16.6	25.0	30.5	27.2	31.4	29.1	26.1	32.5	12.9	13.8	12.4	8.3	5.3	12.0	11.3	10.6	12.1
オ.	33.7	27.0	37.4	45.5	42.9	46.3	46.5	43.5	50.0	23.7	25.3	22.6	10.0	9.9	10.2	22.5	12.8	36.4
カ.	23.6	16.6	27.5	29.4	21.1	31.8	13.9	10.9	17.5	21.0	14.9	24.8	16.7	15.9	17.6	15.0	12.8	18.2
キ.	15.9	8.3	20.1	24.0	15.0	26.6	8.1	6.5	10.0	9.4	4.6	12.4	5.8	4.6	7.4	6.3	6.4	6.1
ク.	19.0	24.2	16.1	16.1	21.1	14.7	12.8	15.2	10.0	23.7	24.1	23.4	24.6	29.5	18.5	18.8	27.7	6.1
ケ.	9.6	10.2	9.3	11.1	13.6	10.3	9.3	8.7	10.0	9.8	12.6	8.0	7.5	7.6	7.4	3.8	4.3	3.0
東北・北陸																		
ア.	47.2	47.4	47.1	47.7	39.3	49.1	35.6	39.5	34.3	46.8	47.5	46.7	49.8	50.8	48.9	50.8	55.0	46.7
イ.	48.3	49.6	47.9	43.0	36.1	44.3	35.1	32.6	35.9	48.2	46.5	48.8	57.0	57.0	57.0	66.3	64.8	67.8
ウ.	11.2	12.7	10.6	10.0	15.6	9.0	19.0	20.9	18.3	8.2	6.1	8.8	10.8	7.8	13.1	17.1	22.0	12.2
エ.	22.9	16.9	25.1	35.2	31.1	36.0	20.7	20.9	20.6	14.5	12.1	15.2	13.8	13.4	14.0	9.4	7.7	11.1
オ.	33.7	27.5	35.9	53.2	58.2	52.3	27.6	32.6	26.0	23.2	24.2	22.9	17.8	17.9	17.6	11.1	6.6	15.6
カ.	25.4	17.0	28.5	38.9	31.1	40.3	16.1	7.0	19.1	18.9	15.1	17.4	17.8	17.3	18.1	10.5	4.4	16.7
キ.	18.8	7.1	23.1	32.2	14.8	35.2	16.1	7.0	19.1	11.0	9.1	11.6	6.8	3.9	9.1	6.1	1.1	11.1
ク.	13.6	17.6	12.1	8.4	14.8	7.3	23.6	30.2	21.4	17.8	20.2	17.1	16.0	17.9	14.5	12.1	12.1	12.2
ケ.	7.2	7.5	7.1	7.7	7.4	7.7	9.2	13.9	7.6	3.5	5.1	3.0	8.8	7.8	9.5	8.3	6.6	10.0

卷末資料

1. 本調査質問紙…………… 108
2. 本調査 SCT …………… 124

I-5 あなたが最後に行った、又は、在学中の学校は、次のどれにあたりますか。

1. 中学校
2. 高等学校
3. 専修学校
4. 短大・高専
5. 大学・大学院
6. その他()

I-6 あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。

1. 未婚
2. 結婚
3. 離別
4. 死別

I-7 あなたが現在、一緒に暮らしている人は全部で何人ですか。

1. ()人(あなた自身を含めてお答え下さい)
2. 一人暮らし(下宿、寮などに入っている人も含みます)

I-8 あなたが現在、一緒に暮らしている人すべてに○をつけて下さい。

- ア. 祖父・祖母 イ. 父 ウ. 母 エ. 兄・弟 オ. 姉・妹
カ. 配偶者(夫または妻) キ. 配偶者の父母 ク. 兄弟・姉妹の配偶者
ケ. 息子 コ. 息子の配偶者 サ. 娘 シ. 娘の配偶者
ス. 孫 セ. その他の血縁者 ソ. その他の非血縁者

I-9 あなたの職業は大きく分けて次のどれにあたりますか。複数があてはまる方は、その中で中心になるもの1つを選んで下さい。

1. 自営業主(農・林・漁業)
2. 自営業主(製造業)
3. 自営業主(商業)
4. 自営業主(その他)
5. 家の仕事を手伝っている
(自営業の手伝い)
6. 民間企業などの常勤
7. 官公庁などの常勤
8. 主婦
9. 学生
10. 無職
11. その他()

I-10 あなたはアルバイト、パートタイマー、内職などをしていらっしゃいますか。

1. している
2. していない

I-11 あなた個人の収入は、過去1年間に税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 40万円未満 | 7. 400万円から 500万円未満 |
| 2. 40万円から 90万円未満 | 8. 500万円から 600万円未満 |
| 3. 90万円から 150万円未満 | 9. 600万円から 700万円未満 |
| 4. 150万円から 200万円未満 | 10. 700万円から1000万円未満 |
| 5. 200万円から 300万円未満 | 11. 1000万円から1300万円未満 |
| 6. 300万円から 400万円未満 | 12. 1300万円以上 |

I-12 あなたの世帯の収入は、過去1年間に税込みでどのくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 40万円未満 | 7. 400万円から 500万円未満 |
| 2. 40万円から 90万円未満 | 8. 500万円から 600万円未満 |
| 3. 90万円から 150万円未満 | 9. 600万円から 700万円未満 |
| 4. 150万円から 200万円未満 | 10. 700万円から1000万円未満 |
| 5. 200万円から 300万円未満 | 11. 1000万円から1300万円未満 |
| 6. 300万円から 400万円未満 | 12. 1300万円以上 |
| | 13. よくわからない |

II

II-1 あなたはいまの生活に、全体としてどの程度満足していますか。あなたの「感じ」に近いものを選んでください。

1. 満足している
2. どちらかといえば、満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば、不満だ
5. 不満だ

II-2 今の社会に対するあなたの「感じ」について伺います。

a 「今の社会は豊かになった。今後も多少景気は変動しても、より豊かな社会へと発展していく」という考えと、「こんな豊かな生活は長くは続かない」という考えがあります。あなたはどのように感じになりますか。下の中からあなたの「感じ」に一番近いものを選んで下さい。

1. さらに豊かな社会に発展していく
2. こんな豊かな生活は長くは続かない
3. 今の社会が豊かだとは思わない

b 「科学技術の発展により世の中が便利になり、スイッチひとつで洗濯や料理ができるなど、快適な生活を送れるようになった」という意見があります。その一方で、「技術が進んだ結果、生活のすみずみまで機械やコンピュータが入り込んできて、機械の操作ができないと銀行でお金もおろせないなど、かえって複雑になって住みにくくなった」という意見もあります。あなたの中ではどちらの感じの方が強いですか。

1. 便利で快適な世の中になった
2. 複雑になって住みにくくなった

c 「現代の社会は豊かになったから、将来の生活は心配しなくてもなんとかなる。だから、先のことをあれこれ考えるより、今の自分の生活を充実させることが大事である」という意見があります。これに対して、「将来の自分の生活を考えて、きちんと計画を立てて生活することが大切であり、そのためには我慢することも必要だ」という考え方もあります。

あなたのお考えはどちらに近いですか。

1. 今の生活を充実させることが大切だ
2. 計画を立てて生活することが大切だ

d 大都市には人や企業がますます集中し、また、さまざまな情報があふれるようになり、社会が巨大化し、世の中のしくみが複雑になってきたと言われます。このような社会の中では、「個人の力はあまりに小さく、もはや個人の努力では社会を変えていくことはできない」という意見があります。あなたはこの意見についてどう思われますか。

1. そのとおりだと思う
2. そうは思わない

e また、このような社会では、「社会のしくみや世間のことを大事にしながら生活するより、要領よくふるまうほうが結局得をする」という考え方があります。あなたはこの考えについてどう思われますか。

1. そのとおりだと思う
2. そう思うが、反発を感じる
3. そうは思わない

II-3 科学技術や自然破壊の問題に対するあなたのご意見を伺います。

a 科学技術の発展により、われわれの生活がどんどん人工的になり、都市の人間は自然と隔絶して生活するようになってきました。あなたは次の2つの意見の中のどちらに賛成ですか。

1. 多少不便でも、人間は自然の中で大地に根ざした生活をするほうがよい
2. 人工的でも自然と隔絶していても、便利で快適な生活ができるほうがよい

b 森林が破壊され、環境が汚染され、砂漠化が進み、このままいけば地球は滅びるのではないかと心配されています。あなたは次の2つの意見のどちらに賛成ですか。

1. 生活のレベルを落としても、快適さを犠牲にしても、自然を大切にしなければいけない
2. そのような環境汚染自体も科学技術の発展によって克服し、素晴らしい社会がつくれると思う

II-4 あなたにとって1番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。何でもかまいませんので自由に書いて下さい。

()

II-5 次に、仕事とそれ以外の生活のあり方について、いろいろな意見がのっています。あなたはどれがもっとも望ましいと思いますか。

1. 仕事よりも、家庭や趣味・スポーツなどの生活に生きがいを求める
2. 仕事はさっさとかたづけて、できるだけそれ以外の生活を楽しむ
3. 仕事にもそれ以外の生活にも、同じくらいの力を入れる
4. それ以外の生活もときには楽しむが、仕事のほうに力を注ぐ
5. 仕事に生きがいを求めて、全力を傾ける
6. その他

Ⅱ-6 あなたは転職の経験がありますか。

0. ない 1. ある (回)

Ⅱ-7 転職について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。

1. 職場や仕事内容が適さなければ、転職を考える
2. 一度勤めた以上、簡単にやめるのはよくない
3. 転職は世間の信用をなくすから、やらない方がよい

Ⅲ

「家庭」というのはわれわれの生活の中心であり、「世帯」が生活の単位だと思えます。そして、われわれの生活の基本は「家族」というのが、大多数の日本人の考えだと思えます。

しかし、一方では「家族・氷河時代」、「家庭なき家族の時代」、「シングル・ライフ」などという書物が出版されるような時代になってきました。

このような「性道德」、「結婚観」、「家族観」などについてお伺いしたいと思えます。註1 参照(9頁)

Ⅲ-1 結婚していない若い人たちの男女関係について、どのようにお考えですか。あなたのお考えにいちばん近いものを選んでください。

1. 結婚式がすむまでは、性的まじわりをすべきでない
2. 結婚を約束した間柄なら、性的まじわりがあってもよい
3. 深く愛し合っている男女なら、性的まじわりがあってもよい
4. 性的まじわりをもつのに、結婚とか愛とかは関係ない
5. その他

Ⅲ-2 あなたは同棲についてどう思いますか。次の中からあなたのお考えにいちばん近いものを選んでください。

1. 同棲はよくない。正式に結婚すべきだ
2. 結婚前にためしに同棲するのはよいと思う
3. 別々に暮らすより経済的に得だ
4. 好きな相手でもしばれるのはいやだから、結婚よりも同棲の方がよい

Ⅲ-3 結婚についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近い項目1つに○をつけてください。

1. 結婚はするのが当然である
2. 結婚しないと世間では一人前として扱ってくれない
3. いろいろ考えると結婚した方がよいと思う
4. しいて結婚する必要はない

Ⅲ-4 結婚と子供の有無の問題についてお尋ねします。あなたのお考えに最も近い項目1つに○を付けて下さい

1. 結婚したら、子供をつくることは当然である
2. 結婚したら、子供をつくるかどうかは自然にまかせる
3. 結婚しても、子供はつukらない
4. 子供はつukるつもりだが、結婚はしない
5. 結婚も、子供も必要ではない

Ⅲ-5 女性の仕事と結婚・育児についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いもの1つを選んで○を付けて下さい。

1. 結婚したら家庭を守り、家事に専念するのが望ましい
2. 結婚して子供ができたら、仕事はやめた方がよい
3. 結婚して子供ができたら、一時仕事はやめ、子供に手がかからなくなったら再開するのがよい
4. 結婚して子供ができたら、仕事を軽減する方がよい
5. 結婚して子供ができて、そのまま仕事は続けた方がよい
6. 結婚しても、子供はつぐらないで仕事を続けた方がよい

註1

以下に紹介するのは厚生省人口問題研究所出版の「日本の人口・日本の家族」の附論にある「欧米諸国における家族の変化」の抜粋です。

変化の第1は、結婚の動向です。1970年代半ば以降、未婚のまま過ごす若者、正式に結婚しない「同棲」が増えています。第2は、離婚の増大、第3は、出生率が低くなり、子供数が少なくなっています。第4は、核家族化の進行だけでなく、「単独世帯」が増加し、世帯の規模が縮小してきました。

また、ヨーロッパでは近年「同棲」は社会的にも認められるようになってきました。イギリスでは「同棲法」が施行され、結婚に近い保護が与えられています。

このようになってきた理由はいろいろ考えられます。第一は、「性の自由化」です。そして、それにはピルなど出生抑制手段が普及してきたこと、人口妊娠中絶の合法化、宗教的規制の緩和(伝統的キリスト教的道徳からの解放)などがあげられます。

Ⅲ-6 家庭でおこなわれる家事・育児などの いろいろな仕事についてどのようにお考えですか。

1. 家事・育児は、もっぱら妻がおこなうのがよい
2. 家事・育児は、主に妻がおこない、夫がそれを助けるのがよい
3. 家事・育児は、夫も妻と同等におこなうのがよい

Ⅲ-7 あなたにとって「家庭」とはどのようなものですか。あなたのお考えに最も近いもの1つを選んで○を付けて下さい。

1. 家庭というのは生活の中心であり、心のよりどころである
2. 家庭というのは便利な時もあるが、わずらわしい時もある
3. 個人中心の生活の方が気ままでよい

Ⅲ-8 あなたにとって「家族」とはどのようなものですか。あなたのお考えに最も近いもの1つを選んで○を付けて下さい。

1. 家族というのは一番大切な人間関係である
2. 家族のためならある程度個人の生活を犠牲にしてもよい
3. 家族よりも個人の幸福の方が大事だ

Ⅲ-9 離婚についていろいろな意見があります。次の各項目の中で、あなたが思うもの1つに○をつけてください。

1. 愛情が失われても、結婚継続のために最大限の努力をすべきだ
2. 別居はしても、法的に離婚すべきではない
3. 愛情が失われたら、離婚すべきだ

Ⅲ-10 老後の問題についてお伺いします。

a あなたのご両親のどちらかが、配偶者に先立たれ、自分で身の廻りのことができなくなった場合どうしますか。

1. どんなに大変でも、同居して面倒をみる
2. 経済的負担が大きくても、老人ホームなどの施設に入ってもら
3. その他 ()

b あなた自身が配偶者に先立たれたときどうしますか。

1. できれば子供と一緒に暮らしたい
2. 新しいパートナーをさがす
3. できるだけ一人でがんばる
4. シルバーマンション、老人ホームなどの施設に入る

Ⅲ-11 寝たきり老人の世話は誰がするのがよいと思いますか。

1. どんなに大変でも子供が世話するべきだ
2. 収入の半分以上が税金にとられるようになっても、自治体や国が行うようにすべきだ
3. その他 ()

Ⅲ-12 ガン患者についてお伺いします。

- a 家族の一員がガンになったと医師から告げられた時どうしますか。
1. 本人に告げる
 2. 本人には言わない
 3. ケース・バイ・ケースで考える
- b あなたがガンになった時どうしてほしいですか。
1. 知らせてほしい
 2. 知らせてほしくない
 3. どちらともいえない
- c 末期ガンの患者の介護はどうするのがよいと思いますか。
1. どんなに大変でも、在宅で家族が介護するのがよい
 2. 経済的負担が大きくても、通常の病院で最後まで治療してもらうのがよい
 3. 高額な税金を払うようになって、ホスピスのような施設を大幅に増やすのがよい
- (ホスピス：末期ガン患者のための施設。無駄な延命措置はおこなわないで、残された人生を積極的に生きるよう支援する)

Ⅳ

Ⅳ-1 親戚とは、どんな付き合いをするのが望ましいと思いますか。

1. できれば付き合いたくない
2. なるべく最低限の付き合いですませたい
3. 一応気軽に行き来できる程度の付き合いをしたい
4. 何かにつけ相談したり、助け合ったりするような付き合いをしたい

IV-2 近所の人とはどのような付き合い方をしたいですか。

1. あまり付き合いたくない
2. 会ったときにあいさつする程度の最低限の付き合い
3. 一応気軽に話し合えるような付き合い
4. 何かにつけ相談したり、助け合ったりするような付き合い

IV-3 職場の同僚とは、どんな付き合いをするのが望ましいと思いますか。

1. あまり付き合いたくない
2. 仕事に直接関係する範囲での付き合い
3. 仕事が終わってから話し合ったり、遊んだりする程度の付き合い
4. 何かにつけ相談したり、助け合ったりするような付き合い

IV-4 あなたにとって大切な人付き合いはどれですか。一つだけ選んでください。

- | | | |
|------------|---------------|----------|
| 1. 親戚 | 2. 近所の人 | 3. 職場の同僚 |
| 4. 学校時代の友人 | 5. サークルや趣味の仲間 | |

IV-5 あなたは日本に生まれてよかったと思いますか。

1. なにかにつけ日本に生まれてよかったと思う
2. まあ日本に生まれてよかったと思う
3. 時々いやな国だと思う
4. いやな国だとよく思う

IV-6 あなたは天皇制についてどう思いますか。

1. 天皇制はあった方がよい
2. どちらともいえない
3. 大統領制の方がよい

V

最近の医学、電子工学、分子生物学などの進歩には驚くべきものがあります。その結果、少し前までは考えもされなかった治療法などが開発されてきました。例えば、体外授精、借り腹、産み分け、臓器移植などです。これらの問題についてのお考えをお聞かせ下さい。

V-1 妊娠初期に男女の識別ができるので、産み分けが可能になりました。これについてどうお考えですか。

1. 男・女どちらでも選べるのは、何かと好都合だ
2. あまり望ましくないが、今の時代ではやむを得ない
3. 科学の発展として、そういうことが可能であっても、生命を人為的に操作するのはよくない

V-2 もし、あなた自身が脳死になった場合、他の人に臓器を提供することをどう思いますか。

1. 他の人の役に立つならば、そうしたい
2. あまりそうしたくない
3. どちらともいえない

V-3 臓器移植が行われるようになりましたが、あなたは心臓移植についてどう思いますか。

1. それで命が救われるのならば、取り替えたらい
2. あまり望ましくないが、時代の流れだからやむを得ない
3. そこまで人為的に手を加えるべきではない

V-4 尊厳死についてお伺いします。「生きている時の遺言（リビング・ウィル）」によって、尊厳死を認めることにあなたは賛成ですか。註2 参照

1. 本人の意志で人間らしい生を終わることができるようにするのはよいと思う
2. そのような法律をつくることは、問題が多いのでつくらない方がよい
3. 生命を人為的にもてあそぶのはよくない

V-5 死後のことについて、あなたのお考えに近い方の番号に○を付けて下さい。

1. 死んでも霊魂は残ると思う
2. 死ねばすべて無に帰すると思う
3. よくわからない

V-6 あなたの死後、あなたのお骨はどうしてもらいたいですか。

1. 祖先の墓に入れてもらいたい
2. 「ビルの中に作られた墓地」や「ロッカー型のお墓」でよい
3. 太平洋にまいてほしい

註2

病気や事故などのために、生きてはいるが人間らしい生活ができなくなる場合があります。例えば植物人間です。生きてはいるけれど意識はない。このような状態でただ生き延びることは必ずしも望ましいことではないでしょう。しかし、現在の法律では、医師は患者をできる限り生かす義務があります。

そこで人間の尊厳を保ったまま死ぬためには、本人が健康な時に「単なる延命措置を行わないように」という意志表示をしておく必要があります。これが「生きている時の遺言（リビング・ウィル）」といわれるものです。そのためには、もちろん、法律を作らねばなりません。このような法律ができれば、道徳的に問題だけでなく、悪用される可能性もでできます。

V-7 宗教とか信仰とかに関係すると思われることから、あなたが信じているものがありますか。次のリストの中にもしあれば、いくつでも構いませんので○を付けて下さい。

- ア. 神
- イ. 仏
- ウ. 聖書や経典などの教え
- エ. あの世、来世
- オ. 奇跡
- カ. お守りやおふだなどの力
- キ. 易や占い
- ク. 何も信じていない
- ケ. その他

※この調査についてご意見、ご感想などがあれば、なんでも構いませんので、自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

日本人のライフ・スタイル調査 (第II部)

文章完成法形式

1 あなたの性別を○で囲んで下さい。

1. 男 2. 女

2 あなたの年齢を記入して下さい。

満_____歳

3 あなたのお住まいの住所と郵便番号を記入して下さい。

_____都道府県_____市郡区 丁 _____

記入の仕方

この表紙をめくると、いろいろ書きかけの文章が並んでいます。それを見て、あなたの頭に浮かんできたことを、それにつづけて書き、その文章を完成して下さい。

〔例〕

外国 へ行って、いろいろ変わった風景を見たいものです。

本を読むと 人生について考えさせられることが多い。

このように、あなたの感じたことを、思うままに書いて下さい。できるだけ早く1から順にやして下さい。もし、すぐ浮かばないものがあつたら、その番号に○をつけて後回しにし、先へ進んで下さい。

全部終わったら、裏面を記入して下さい。

Part I

1 子供の頃、私は_____

2 私はよく人から_____

3 私の家は_____

4 私の失敗_____

5 家の人は私を_____

6 私が得意になるのは_____

7 争い_____

8 私が知りたいことは_____

9 私の父_____

10 私がきらいなのは_____

11 親戚_____

12 死_____

13 世の中_____

14 私ができないことは_____

15 恋愛_____

16 将来

17 もし私の母が

18 仕事

19 私がひそかに

20 近所づきあい

21 おと
夫

22 時々私は

23 私が心をひかれるのは

24 私の不平は

25 私の兄弟きょうだい（姉妹）

26 職場では

27 私にとって大事なものは

28 今までは

29 女

30 日本

※ここまでで書いていないところはありませんか。たしかめてからつぎへすすんでください。

Part II

1 家では _____

2 私を不安にするのは _____

3 友だち _____

4 私はよく _____

5 子供 _____

6 もし私が _____

7 私の母 _____

8 転職 _____

9 男 _____

10 私の眠り _____

11 もし私の父が _____

12 どうせ 同棲 _____

13 私が好きなのは _____

14 病気 _____

15 私の頭脳^{おたま} _____

16 金

17 私の野心

18 妻

19 調子のよい時

20 私の健康

21 私が残念なのは

22 大部分の時間を

23 結婚

24 天皇制

25 どうしても私は

26 家の人

27 私が羨ましいのは

28 年とった時

29 私が努力しているのは

30 私が忘れられないのは

※ここまでで書いていないところはありませんか。たしかめてからつぎへすすんでください。

※この調査について、ご意見、ご感想などがあれば、何でも構いませんので、自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。